Cayman, Cayman S, Cayman GTS

取扱説明書

WKD 981 03 70 **15** 07/14

車載マニュアル

取扱説明書や整備手帳など、車両に付属の印刷物は車内に常備してください。車両を売却するときは、次に購入されるお客様にお渡しください。

ご質問、ご提案

車両本体または車載マニュアルについてのご質問、ご提案がございましたら、下記までご連絡ください。

東京都目黒区下目黒1–8–1
ポルシェ ジャパン株式会社
アフターセールス部マーケットサポートグループ

車両の装備について

ポルシェ社では絶えず製品の開発と改良を行っており、お客様の車両の装備品や仕様等がこの取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

オプション装備品や国別仕様は、法律等の基準によってこの取扱説明書の内容と異なる場合があります。そのような項目にはアスタリスク（＊印）を付けていますのでご留意ください。この取扱説明書に記載した装備品の一部はオプション部品です。車両ご購入の際にこれらの装備品を追加したい場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。

この取扱説明書に記載されていない装備品等の取り扱いにつきましては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店はすべての装備品の取り扱い方法とメンテナンスについてご説明致します。

各国の法律等の違いにより、この取扱説明書の内容の一部が車両の仕様と一部異なる場合があります。

エアバッグ警告ラベル

⚠ 危険 チャイルド・シート の助手席での使用

チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、エアバッグが作動したときに重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ 後ろ向きに着座するタイプのチャイルド・シートは**使用しないでください。フロント・エアバッグが作動した場合**、お子様が**重傷または致命傷を負う危険があります。**
「チャイルド・シート」（32ページ）を参照してください。

取扱説明書内の安全に関する指示

この取扱説明書内には様々な安全に関する指示が使用されています。

⚠ 危険 重傷または致命傷を負う危険があります

「危険」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

⚠ 警告 重傷または致命傷を負う危険があります

「警告」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

⚠ 注意 ケガまたは軽傷を負う恐れがあります

「注意」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、ケガまたは軽傷を負う恐れがあります。

知識

車両を損傷する恐れがあります。

「知識」の欄の安全に関する指示を守らなかった場合、車両を損傷する恐れがあります。

インフォメーション

追加情報、ヒントおよび指示につきましては「インフォメーション」に表示されています。「インフォメーション」の内容をよく読み、指示に従ってください。

目次

外観図 3

運転席 4
ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル 5
センター・コンソール 6
コントロール・パネル 7
ルーフ・コンソール 8

開閉操作とロック 9

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック 10
車外からのドアの開閉操作とロック 11
車内からのドアの開閉操作とロック 14
トランク・リッドおよびリヤ・リッドの開閉 15
開閉操作とロック時の故障および特別な機能 17
キーおよびセントラル・ロッキング・システムの知識 20

シート、ミラー、ステアリング・ホイール 24

シート 25
イージー・エントリー機能 27
シート・ヒーター 27
シート・ベンチレーター 28
シートベルト 28
エアバッグ・システム 30
チャイルド・シート 32
ドア・ミラー 41
ルーム・ミラー 43
ステアリング・ホイール・ヒーター 44
ステアリング・ホイールの調節 44
マルチファンクション・ステアリング・ホイール 45
サンバイザー 46
バニティー・ミラー 46

エアコン 47

マニュアル・エアコン 48
2ゾーン・オート・エアコン 51
エア・ベント 55
リヤ・ウィンドウ・ヒーター /ドア・ミラー・ヒーター 56

ウィンドウ 57

パワー・ウィンドウ 58

ライト、方向指示灯、フロント・ワイパー 60

ライト・スイッチ 61
インストルメント・ライト 64
方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・レバー /パーキング・ライト・スイッチ 64
ハザード・ライト 65
インテリア・ライト/読書灯 66
概要 – フロント・ワイパー 67
フロント・ワイパー /ウォッシャー・レバー 68

インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ 71

インストルメント・パネル 72
インストルメント・パネル・ディスプレイ 73
バッテリー /オルタネーター 74
チェック・エンジン（エミッション・コントロール） 75
警告音 75
マルチファンクション・ディスプレイの操作 76
車両メニュー 80
オーディオ・メニュー＊ 83
電話メニュー＊ 83
地図メニュー＊ 84
ナビゲーション・メニュー＊ 84
トリップ・メニュー 85
タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM） 86
クロノ・メニュー（ストップウォッチ） 92
ギヤ・シフト・アシスト・メニュー 94
G-Forceメニュー 95
ACCメニュー 95
制限速度メニュー＊ 95
マルチファンクション・ディスプレイの車両設定機能 95
警告と情報メッセージの概要 108

パーソナル設定 119

概要 – パーソナル設定 120
パーソナル設定の保存 121

安全運転について 123

お出かけの前に 124
慣らし運転の知識 124
車両の技術的な仕様変更 124
運転中の装備の設定および操作 125
地上高 125
サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど） 125
国外での走行 126
テール・パイプ 126
故障診断用ソケット 126
イグニッション・ロック、ステアリング・ロック 126
エンジンの停止/始動 128
オート・スタート/ストップ機能 129
エレクトリック・パーキング・ブレーキ 131
フット・ブレーキ 132

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB) 133
クルーズ・コントロール 134
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC) 135
制限速度表示＊ 147
自動車電話、無線装置＊ 149
ポルシェ・コミュニケーション・システム(PCMおよびCDR) ＊ 149
USB/iPod®およびAUX＊ 149
ETC受信機 149
ボイス・コントロール＊ 150
マニュアル・トランスミッション、クラッチ 150
Porsche Doppelkupplung(PDK) 151
セレクター・レバー・ポジション 153
走行制限プログラム 158
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム 159
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM) 160
HOLD機能：発進アシスタント、停止制御 162
ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム） 163
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM) 164
ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTV)の機能説明 165
ダイナミック・エンジン・マウント(PADM) 166
「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード 166
スポーツ・エキゾースト・システム 168
格納式リヤ・スポイラー 169

収納スペースおよびラゲッジ・コンパートメント 170

収納 171
ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー 172
灰皿 173
シガー・ライター 174
トランク・ルーム 175
ラゲッジ・コンパートメント 177
ラゲッジ・カバー 178

駐車 179

パーキング・アシスタント 180
リバース・カメラ 182
駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え 183
ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）＊ 183

警報システムおよび盗難防止 187

警報システム 188
イモビライザー 189
ステアリング・コラム・ロック 189
盗難を防止するために 189

車両のお手入れ 190

メンテナンスの諸注意 191
エンジン・オイル・レベルの点検 192
エンジン・オイルの補充 193
ウォッシャー液 194
ワイパー・ブレード 194
エミッション・コントロール・システム 195
予備燃料タンク 195
燃料の給油 196
車両のお手入れ 198
リサイクル 202

軽修理 203

軽修理について 204
クーラント・レベルの点検と補充 205
ブレーキ・フルード 206
パワー・ステアリング 207
エア・クリーナーの交換 207
室内防塵用フィルターの交換 207
タイヤとホイール 207
ホイール取り付け面 214
ホイール・ボルト 215
パンクしたとき 216
スペーサー＊ 217
電気系統 219
バッテリー 223
外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動 226
キー（リモート・コントロール）用電池の交換 227
バルブ・リスト 228
バルブの交換 228
ヘッドライト 229
ヘッドライト調整 232
左側通行から右側通行への変更に伴うヘッドライトの切り替え 233
けん引およびけん引によるエンジンの始動 234
消火器＊ 237
発炎筒 238

タイヤ空気圧とテクニカル・データ 240

車両の識別データ 241
エンジン・データ（メーカー発表値） 242
燃費とエミッション（メーカー発表値） 242
タイヤ、ホイール 243
冷間時のタイヤ空気圧(20°C) 244
重量（メーカー発表値） 246
充填容量 247
動力性能（メーカー発表値） 248
車両寸法（メーカー発表値） 248

索引 249

無線装置の検査マーク

＊ 日本仕様に設定はありません。

運転席

A インナー・ドア・ハンドル
(15ページ)

B パーソナル設定用メモリー・ボタン
(121ページ)

C ドア・ミラー設定
(41ページ)

D ライト・スイッチ
(61ページ)

E ルーフ・コンソール
(8ページ)

F パワー・ウィンドウ
(58ページ)

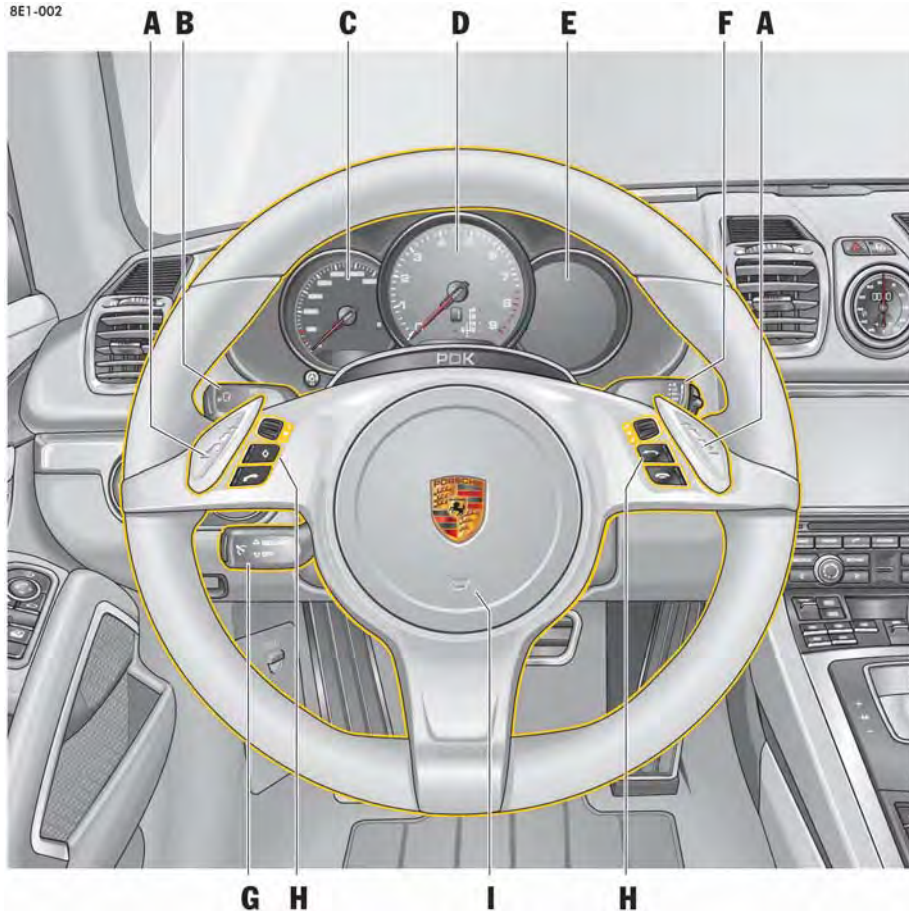
G 故障診断用ソケット

H エレクトリック・パーキング・ブレーキ
(131ページ)

I イグニッション・ロック
(126ページ)

J トランク・リッド/リヤ・リッドのロック解除
(15ページ)

K ステアリング・ホイール調節
(44ページ)

L シート調節
(25ページ)

ステアリング・ホイールおよびインストルメント・パネル

A PDKシフト・ボタン
(151ページ)

B 方向指示灯
(64ページ)

C スピードメーター
(73ページ)

D タコメーター（回転計）
(73ページ)

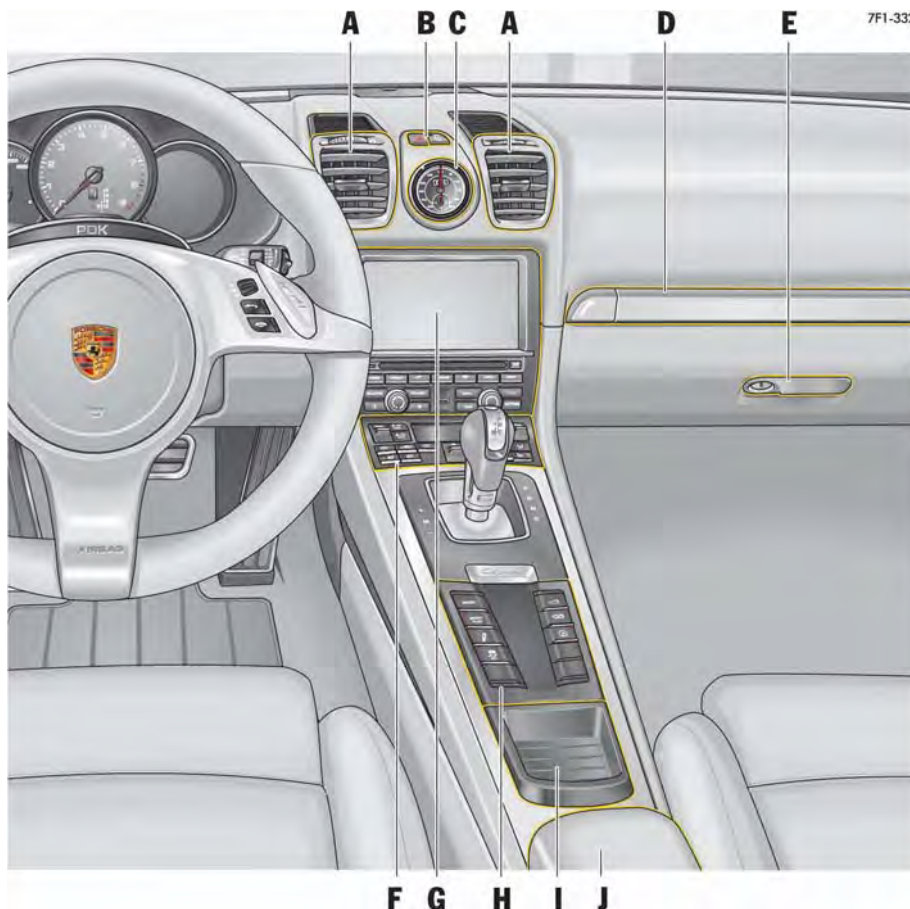
E マルチファンクション・ディスプレイ
(73ページ)

F フロント・ワイパー
(67ページ)

G クルーズ・コントロール
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)
(134ページ)

H 電話コントロール、
マルチファンクション・ディスプレイ
(76ページ)

I ホーン

センター・コンソール

A エア・ベント
(55ページ)

B ハザード・ライト・スイッチ
(65ページ)

C スポーツ・クロノメーター
(92ページ)

D ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー
(172ページ)

E グローブ・ボックス
(171ページ)

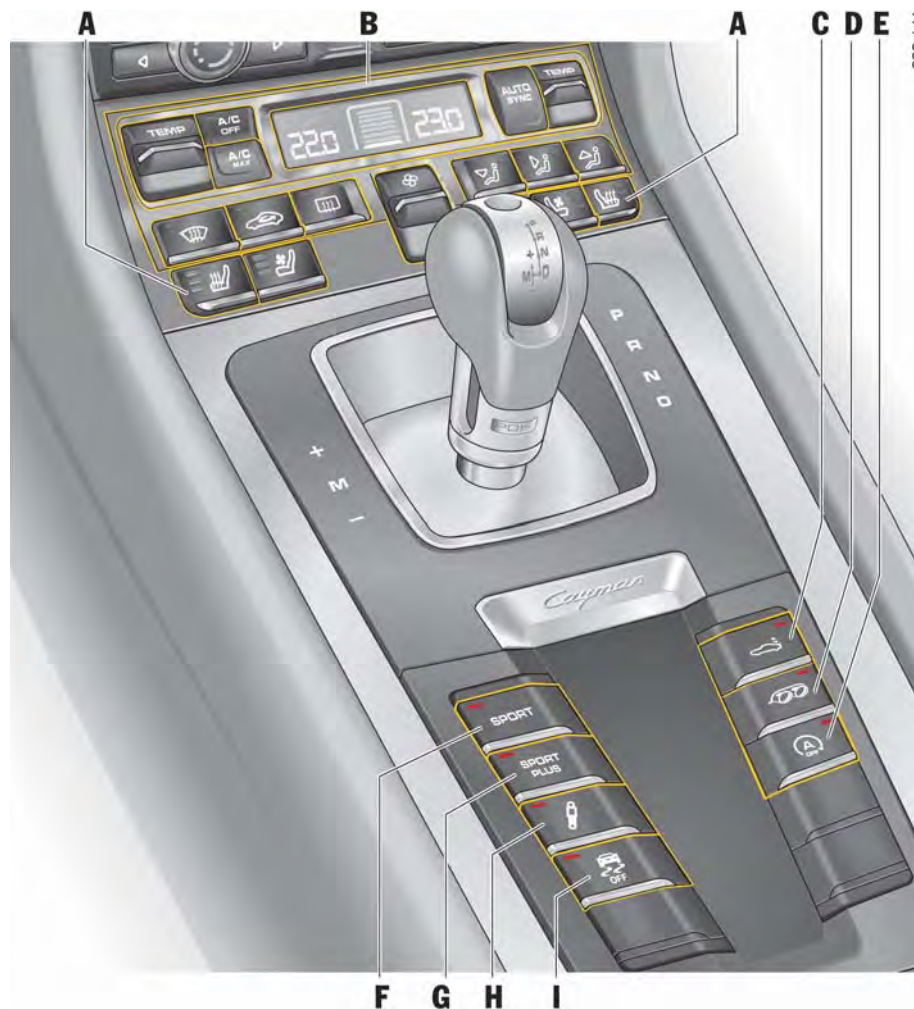
F エアコン・コントロール・パネル
(48ページ)

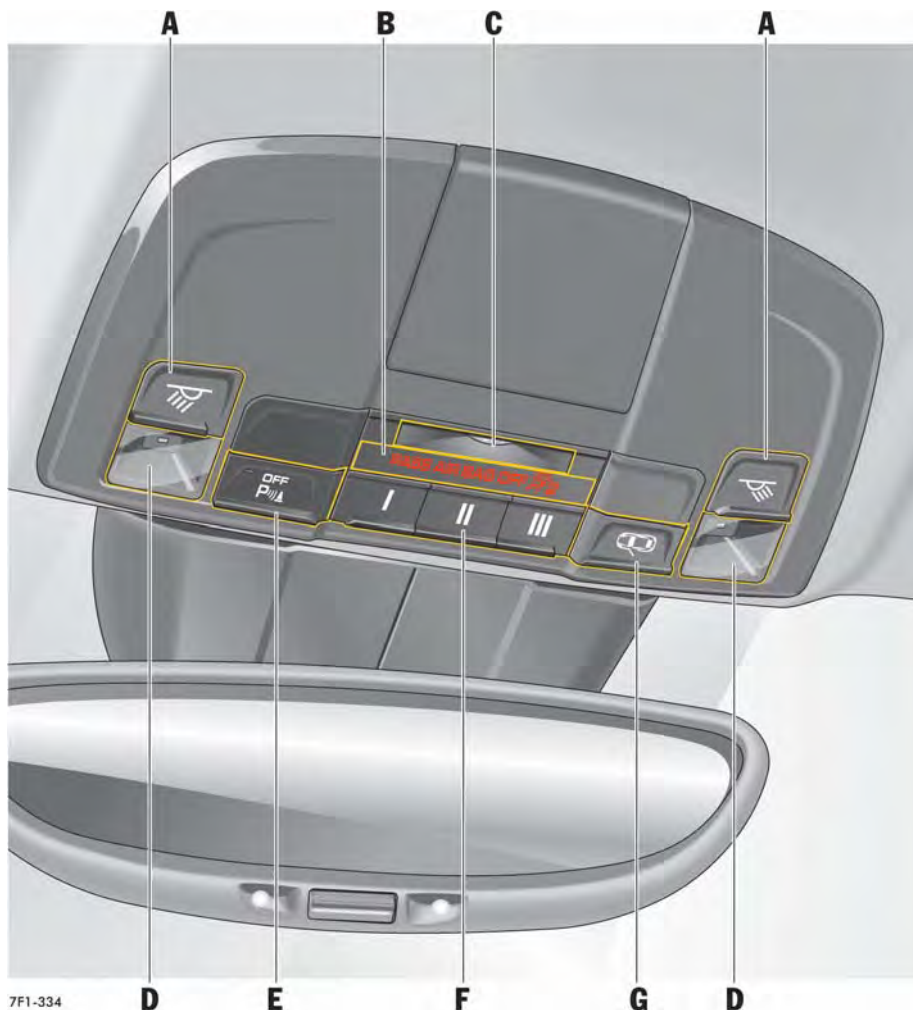
G ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊
(149ページ)

H コントロール・パネル
(7ページ)

I 灰皿、シガー・ライター
(174ページ)

J 小物入れ
(171ページ)

＊ 日本仕様に設定はありません。

コントロール・パネル

A シート・ヒーター/シート・ベンチレーター
(27ページ)
B エアコン・コントロール・パネル
(48ページ)
C リヤ・スポイラー
(169ページ)
D スポーツ・エキゾースト・システム
(168ページ)
E オート・スタート/ストップ、惰性走行モード
(129ページ)
F 「スポーツ」モード
(166ページ)
G 「スポーツ・プラス」モード
(166ページ)
H ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)
(164ページ)
I ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)
(160ページ)

ルーフ・コンソール

A インテリア・ライト/読書灯用ボタン
（66ページ）
B 助手席エアバッグOFF警告灯
（39ページ）
C インテリア・ライト
（66ページ）
D 読書灯
（66ページ）
E パーキング・アシスタント
（180ページ）
F ガレージ・ドア・オープナー
（ホームリンク®）＊
（183ページ）
G インテリア・ライト/読書灯の自動点灯/消灯
（66ページ）

＊ 日本仕様に設定はありません。

開閉操作とロック

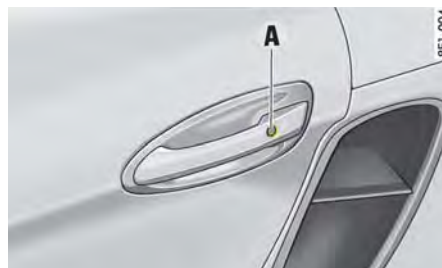
概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック ...10
車外からのドアの開閉操作とロック 11
車内からのドアの開閉操作とロック 14
トランク・リッドおよびリヤ・リッドの
開閉 15
開閉操作とロック時の故障および特別な
機能 17
キーおよびセントラル・ロッキング・
システムの知識 20

概要 – 車外からのドアの開閉操作とロック

ポルシェ・エントリー＆ドライブは、ドア・ハンドルのボタン**A**の操作でロック/ロック解除ができるシステムです。

この概要説明は後述の「車外からの開閉操作とロック」に代わるものではありません。

操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

キー

ポルシェ・エントリー＆ドライブ

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？	その結果は？
ロック解除	キーを使用する： キーの ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルをしっかり握ってください。	ハザード・ライトが1回点滅します。 ドアを開くことができます。
ロック	キーを使用する： キーの ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルのボタン**A**を押してください。	ハザード・ライトが2回点滅します。 – ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。 – 室内モニタリング・システム**装備車**の場合：インナー・ドア・ハンドルを引いても、**車内からドアを開くことはできません**（セーフロック）。
室内モニタリング・システム装備車で人/動物を車両に残してロックする場合： – ロックされた車両でセーフロックを解除する、および – 室内モニター・システムをOFFにする	キーを使用する： キーの ボタンを2回押してください（約2秒以内）。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルのボタン**A**を2回押してください（約2秒以内）。	ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。 ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
警報の解除	キーの ボタンを押してください。 ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車： ドア・ハンドルをしっかり握ってください。	警報が止まります。

A - 車両のロック解除
B - 車両のロック
C - トランク・リッドとドアのロック解除
D - リヤ・リッドとドアのロック解除

車外からのドアの開閉操作とロック

車両装備により、キーまたはポルシェ・エントリー&ドライブ装備車ではキーなしでロックおよびロック解除ができます。

キーを使用する

キーのボタン操作でロックおよびロック解除を行ってください。

 インフォメーション

▷ ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合は、警報システムの作動を回避するために、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロックの**1**の位置）にしなければなりません。助手席側ドアはロック状態を維持します。
アラーム・システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

 インフォメーション

ボタンを使用してロックを解除した後、ドア、トランク・リッド、またはリヤ・リッドを開かなかった場合、車両は30秒後に自動的に再ロックされます。

 インフォメーション

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。
メモリー・パッケージ装備車では、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイでドアの設定を変更し、そのとき使用しているキーの設定情報として保存しておくことができます。
ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：
▷ 「ロックの設定」（101ページ）を参照してください。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車ではキーを携行していれば（例えば着衣のポケットに入れておくだけで）、キーを使用することなく開閉操作およびエンジンの始動が行えます。
▷ キーを強い電磁波にさらさないでください。ポルシェ・エントリー &ドライブに悪影響を及ぼす恐れがあります。

ドア・ロックを解除してドアを開く

キーによるロック解除

1. ボタンを押してください。
ハザード・ライトが1回点滅します。
ドア・ロックが解除されます。

2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

インフォメーション

ドアを開くと、ドア・ウィンドウが自動的に数ミリ下がり、ドアを閉じると再び上がります。この動きによってドアの開閉をしやすくし、シールの保護をしています。

▷ ドアが開く前に、ドア・ウィンドウが下がるようにするため、ドア・ハンドルはゆっくりと引いてください。

インフォメーション

ロックを解除した後、ドア、トランク・リッド、またはリヤ・リッドを開かなかった場合、30秒後に自動的に再ロックされます。傾斜センサー＊と室内モニタリング・システムは解除されます（盗難防止機能が制限されます）。

この場合、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

再度ロックされた後は、室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊が再び作動します。

ポルシェ・エントリー&ドライブによるロック解除（キーレス操作）

キーを携行して運転席または助手席側のドアに近づくと、車両のロックを解除することができます。

1. ドア・ハンドルをしっかり握ってください。
ハザード・ライトが1回点滅します。
ドア・ロックが解除されます。

2. ドア・ハンドルを引いてドアを開いてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ドアのロック解除機能の設定

運転席のドアのみをロック解除する、または助手席のドアも同時にロック解除する設定に変更することができます。

なお、設定内容に関係なく、両方のドアをロック解除できます。

▷ キーの🔓ボタンを5秒以内に2回押してください。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ドアのロック解除機能の設定」(101ページ)を参照してください。

ドアをロックする

セーフロック

セーフロック（室内モニタリング・システム装備車）は、ロックされた車両のインナー・ドア・ハンドルとセントラル・ロッキング・ボタンを無効にし、不正な車内への侵入を難しくします。

⚠ 警告 車外からのドアのロック

車内モニタリング・システム装備車では、車外から車両をロックすると、車内からドアやウィンドウを**開くことができなくなります（セーフロック）**。そのため、車外からロックする場合、車内に人や動物が残っていないことを確認してください。ロックされたドアによって緊急時に救助者が車内に入ることが困難になります。

▷ 車両をロックするときは車内に人や動物がいないことを確認してください。

インフォメーション

ロックするとすべてのドアとトランク・リッド/リヤ・リッドが閉じている場合にのみ、ハザード・ライトが点滅して車両がロックされたことを知らせます。

インフォメーション

ドアまたはトランク・リッド/リヤ・リッドが完全に閉じていない場合、車両をロックできません。
警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。ハザード・ライトは点滅しません。

運転席ドアのみが閉じている状態でロックすると、車両はプリロックされます。残りの開いているドア、トランク・リッド/リヤ・リッドをロックするときは、キーを車内に置き忘れていないか確認してください。

キーが操作範囲外にあると、車両のドアおよびトランク・リッド/リヤ・リッドをロックした後に開くことができなくなります。

キーによるロック

1. ドアを閉じてください。
2. 🔒ボタンを1回押してください。
   ハザード・ライトが2回点滅します。

– 室内モニタリング・システム（セーフロック）**装備車**：
  インナー・ドア・ハンドルを引いて、ドアを**車内側から**開くことは**できません。**

– 室内モニタリング・システム**非装備車**：
  ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

  または、人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

▷ 🔒ボタンを2秒以内に2回押してください。
  ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
  ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

ポルシェ・エントリー&ドライブによるロック（キーレス操作）

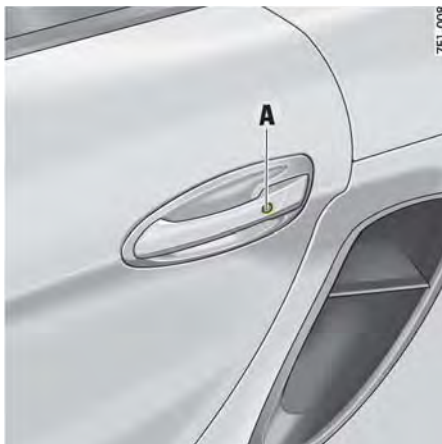
この操作を行うときは、キーを携行していなければなりません。

1. ドアを閉じてください。

2. ドア・ハンドルのロック・ボタン**A**を押してください。
ハザード・ライトが2回点滅します。

– 室内モニタリング・システム（セーフロック）**装備車**：
インナー・ドア・ハンドルを引いて、ドアを**車内側から**開くことは**できません。**

– 室内モニタリング・システム**非装備車**：
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。
または、人や動物を車内に残してロックする場合（ロックされた車両のセーフロックの解除）：

▷ ドア・ハンドルのロック・ボタン**A**を2秒以内に2回押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、インナー・ドア・ハンドルを引くことにより、車内からドアを開くことができます。

▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

車内からのドアの開閉操作とロック

ここでは初期設定の機能をもとに説明しています。

メモリー・パッケージ装備車では、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで設定を変更し、そのとき使用しているキーの設定情報として保存しておくことができます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（101ページ）を参照してください。

セントラル・ロッキング・ボタン

ドアをロックする

ドアが閉じている場合：

▷ セントラル・ロッキング・ボタンを押してください。
イグニッションがONのとき、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
両方の車両ドアがロックされます。
ドアはインナー・ドア・ハンドルを引くことにより開くことができます。

オート・ロック機能による自動ロック

この機能が作動しているときは、速度が約5km/hを超えると自動的にロックされます。

ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」（101ページ）を参照してください。

🔓 ドア・ロックを解除する

▷ セントラル・ロッキング・ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
両方の車両ドアがロック解除されます。

オート・ロック機能による自動ロック解除

この機能を有効にした場合、イグニッション・キーを抜き取ると車両が自動的にロック解除されます。

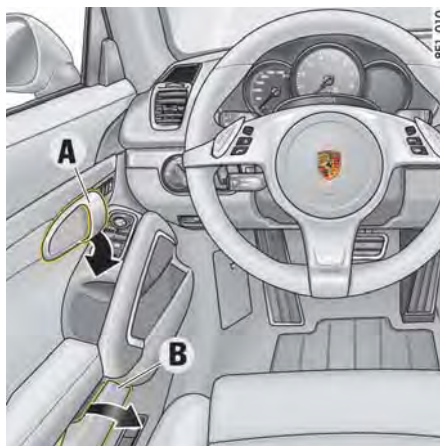
ロック/ロック解除の設定変更に関するインフォメーション：

▷ 「ロックの設定」(101ページ) を参照してください。

 インフォメーション

キーまたはエマージェンシー・キーで車両をロックした場合、セントラル・ロッキング・ボタンでロックを解除することはできません。

 インフォメーション

エアバッグが作動する事故が起きた場合、救助者が車内に入りやすくするためにドアが自動的にロック解除されます。更に、ハザード・ライトが自動的に作動します。

A - インナー・ドア・ハンドル
B - ドア・ポケット

ドアを開く

▷ インナー・ドア・ハンドル（**矢印**）を引いてください。

 インフォメーション

室内モニタリング・システム装備車で、イグニッション・キーの🔒ボタンを1回押して車両をロックした場合、またはポルシェ・エントリー&ドライブ装着車のドア・ハンドルのロック・ボタンを押して車両をロックした場合は、**車内からドアおよびトランク・リッドを開くことはできません。（セーフロック）**

ドア・ポケット

ドア・ポケットを開く

▷ カバー **B**を持ち上げてください。
▷ ドアを閉じるとき、および走行中は、ドア・ポケットのカバーを必ず閉じてください。

A - トランク・リッドのロック解除
B - リヤ・リッドのロック解除

トランク・リッドおよびリヤ・リッドの開閉

トランク・リッドを開く

知識

トランク・リッドまたはフロント・ワイパーを損傷する恐れがあります。

▷ トランク・リッドを開くときは、ワイパーが起きていないことを確認してください。
▷ トランク・リッドを開く前に、必ずフロント・ワイパーをOFF（ワイパー・スイッチを**0**の位置）にしてください。

フロント･ワイパーに関するインフォメーション：

▷ 「フロント・ワイパーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システム」（68ページ）を参照してください。

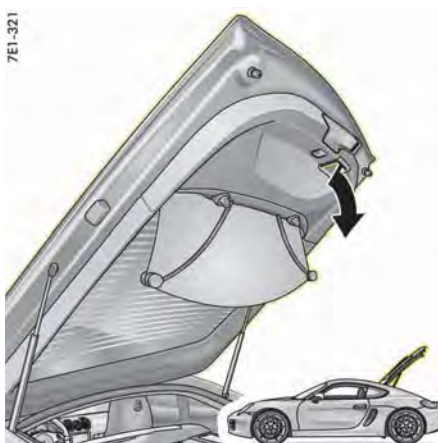
1. 運転席ドアを開いてください。
2. 運転席シートの横にあるプル・ボタン**A**を操作してください。
   リッドがロック解除されます。
3. リッドを少し持ち上げ、赤いレバー（**矢印**）を操作してセーフティー・キャッチのロックを解除し、リッドを開いてください。

トランク・リッドを閉じる

1. リッドが閉じる直前まで手で引き下げ、そこで手を放してリッドを落とし、ロックしてください。ロック部分の真上付近を手のひらで押して、リッドを確実にロックしてください。
2. リッドが確実にロックされていることを確認してください。

リッドが確実にロックされていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

リヤ・リッドを開く

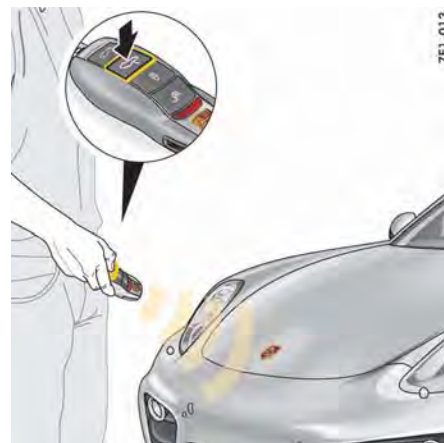
1. 運転席ドアを開いてください。
2. 運転席シートの横にあるプル・ボタン**B**を操作してください。
   リッドがロック解除されます。
3. リッドがわずかに持ち上がり、開くことができます。

インフォメーション

リヤ・リッドは**2段階**で開くことができます。

▷ **位置1**：リヤ・リッドを持ち上げると抵抗がある位置で止まります。
▷ **位置2**：リヤ・リッドを抵抗がある位置から更に持ち上げると全開します。

リヤ・リッドを閉じる

1. リヤ・リッドのハンドル部を持ってリッドを引き下げ、ロックに押し込んでください。ロック部分の真上付近を手のひらで押してください。
2. リヤ・リッドが確実にロックされていることを確認してください。

リヤ・リッドが確実にロックされていない場合、車両の発進時にマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

キーでトランク・リッドおよびリヤ・リッドをロック解除する/開く

インフォメーション

トランク・リッド/リヤ・リッドのロックを解除すると、車両ドアもロック解除されます。

キーでトランク・リッド/リヤ・リッドをロック解除して開く

1. またはボタンを押してください。
   リッドがロック解除されます。
2. リッドがわずかに持ち上がり、開くことができます。トランク・リッドを開くには、赤いレバーを操作してセーフティー・キャッチのロックを解除してください。

ポルシェ・エントリー &ドライブ（キーレス）でトランク・リッド/リヤ・リッドをロック解除する/開く

トランク・リッド

キーを携行して車両の前方にいる場合、トランク・リッドを開くことができます。

1. ポルシェ・クレストとライセンス・プレートの間に手をかざしてください（**図を参照**）。
   センサーによりリッドのロックが解除され、リッドが開きます。
2. リッドを少し持ち上げ、赤色のレバー（矢印）を操作してセーフティー・キャッチのロックを解除し、リッドを開いてください。

リヤ・リッド

キーを携行して車両の後方にいる場合、リヤ・リッドを開くことができます。

1. リヤ・スポイラーとナンバー・プレートの間に手をかざしてください（**図を参照**）。
   センサーによりリヤ・リッドのロックが解除され、リッドが開きます。
2. リヤ・リッドがわずかに持ち上がり、開くことができます。

開閉操作とロック時の故障および特別な機能

トランク・リッドの緊急操作

バッテリーが上がってしまった場合、外部電源を接続してトランク・リッドを開くことができます。

▷ 「トランク・リッドの非常時ロック解除」（222ページ）を参照してください。

運転席ドアのみがロック解除される

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、ドアのロック/ロック解除の設定を変更することができます。

▷ 「ドアのロック解除機能の設定」（101ページ）を参照してください。

なお、設定内容に関係なく、両方のドアをロック解除できます。

▷ キーの🔓ボタンを5秒以内に2回押してください。

車両がロック解除できない

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

– システムが故障している
– キーの電池が消耗している
– 車両近くの電磁波（携帯電話など）の影響によって正常に機能していない（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車のリモート・コントロールでも同様の症状が発生することがあります）

車両のロックが解除できない場合：

1. **助手席側**のフロント・ウィンドウの外端部にキーを置き、同時にボタンを押してください（**図を参照**）。

それでも車両のロックが解除できない場合：

2. エマージェンシー・キーを車両キーから抜き取ってください。

▷ 「エマージェンシー・キー」（21 ページ）を参照してください。

3. エマージェンシー・キーで運転席ドアのロックを解除し、ドアを開いてください（助手席ドアはロック状態を維持します）。
   運転席側ドアのドア・ハンドルを引いたまま保持してください。
   エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、90°反時計回りに回してキーを再度抜き取ってください。

▷ 「セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の運転席側ドアの緊急ロック」（20ページ）を参照してください。

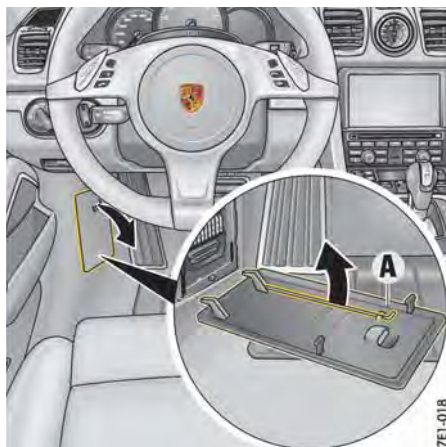
4. ドア・ハンドルから手を離し、もう1回引いてドアを開いてください。
5. 盗難防止警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをONにしてください。
   ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車の追加作業：
   イグニッションをONにできない、またはエンジンが始動しない場合は、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**キーが見つからない/障害 キーの位置を変更して下さい**」が表示されます。
6. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に戻してください。
7. エンジンを再度始動してください。
   エンジンが始動しない場合、メッセージ「**キーが見つからない/障害 キーの位置を変更して下さい**」が再度表示されます。
   約1秒後にメッセージ「**スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む**」が表示されます。
8. コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。イグニッション・キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。

作動待機のOFF（ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車）

車両のロックを一定時間以内に解除しなかった場合、ポルシェ・エントリー &ドライブの作動待機がOFFになります。運転席ドアは96時間後、助手席ドアは36時間後に作動待機がOFFになります。

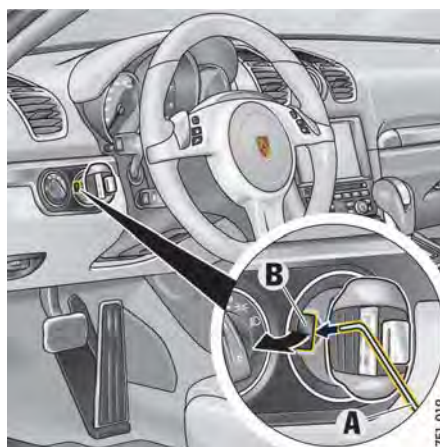
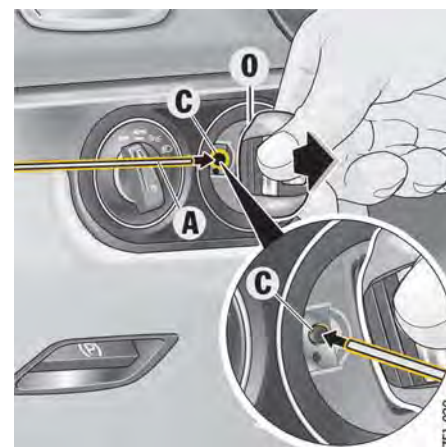
1. **ドア・ハンドルを1回引くと**、ポルシェ・エントリー &ドライブが作動待機状態に戻ります。
2. ドア・ハンドルを**もう1回**引くと、ドアが開きます。

インフォメーション

ボタンを使用してロックを解除した後、ドア、トランク・リッド、またはリヤ・リッドを開かなかった場合、車両は30秒後に自動的に再ロックされます。

緊急操作 – イグニッション・キー / コントロール・ユニットの抜き取り

バッテリーが上がった場合、イグニッション・キーを抜き取るには、緊急操作を行う必要があります。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車のイグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外す場合も緊急操作を行わなければなりません。

1. 運転席側のヒューズ・ボックス・カバーの指穴をつかみ、引いて取り外してください。
2. ヒューズ・ボックス・カバーの裏に収納してあるメタル・フック**A**を取り出してください。
3. メタル・フック**A**を使用して、イグニッション・ロックからプラスチック・カバー **B**を取り外してください。
   取り外したプラスチック・カバー **B**は紛失しないように十分注意してください。
4. コントロール・ユニット/イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置**0**（初期位置）に回してください。
5. メタル・フック**A**を開口部**C**に解除音が聞こえるまで押し込んでください。
6. 初期位置**0**でコントロール・ユニット/イグニッション・キーを取り外してください。
7. プラスチック・カバー **B**を元の位置に取り付けてください。

ドア・ハンドル下のドア・ロック（運転席側）

車両をロックできない

この状態は、ハザード・ライトが点灯せず、ロック音が聞こえないことで判断できます。

リモート・コントロール・キーが、次のいずれかの状態にあることが考えられます。

– システムが故障している
– キーの電池が消耗している
– 車両近くの電磁波（携帯電話など）の影響によって正常に機能していない（ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車のリモート・コントロールでも同様の症状が発生することがあります）

セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の運転席側ドアの緊急ロック

車両をロックできない場合：

1. エマージェンシー・キーを車両キーから抜き取ってください。
   「エマージェンシー・キー」（21ページ）を参照してください。
2. 運転席ドアを開いてください。
3. 運転席ドアのドア・ハンドルを引いたまま保持してください（**図を参照**）。
   エマージェンシー・キーをドア・ロックに挿入し、90°時計回りに回してキーを再度抜き取ってください。
   ハザード・ライトが2回点滅して車両がロックされたことを知らせます。
4. ドア・ハンドルから手を離し、ドアを閉じてください。
   運転席ドアがロックされます。
5. **助手席ドア**を緊急手順を使用してロックする場合、エマージェンシー・キーを運転席ドアのドア・ロックに再度差し込み、90°時計回りに回して再度キーを抜き取ってください。
   助手席ドアがロックされます。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、助手席ドアの緊急ロックはできません。

インフォメーション

セントラル・ロッキング・システムに異常があるときは、運転席ドアのドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んでロックすると、正常に機能しているロックのみが作動します。

▷ セントラル・ロッキング・システムの故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

キーおよびセントラル・ロッキング・システムの知識

キー

この車両には2本のキーが付属しており、それぞれにエマージェンシー・キーを内蔵しています。これらのキーを使用して、車両のすべてのロックを操作できます。

▷ キーの取り扱いには細心の注意を払ってください。特別な状況を除いて、キーを放置しないでください。
▷ わずかな時間でも車両から離れるときは、キーを抜き取り、携行してください。
  キーを車内に残さないでください。
▷ キーを紛失した、または盗難に遭遇したとき、スペア・キーを追加したり交換したりしたときは、ご契約の損害保険会社に連絡してください。
▷ 紛失または盗難に遭遇したキーの電子コードを無効にしていても、そのキーをドア・ロックに差し込んで車両をロック/ロック解除できます。

インフォメーション

メモリー・パッケージ装備車では、車両をロックしたときに車両の各設定が、そのとき使用しているキーに保存されます。

エマージェンシー・キー

エマージェンシー・キーを取り外す

1. リリース・ボタンを横に押してください。
2. エマージェンシー・キーを抜き取ってください。

エマージェンシー・キーを収納する

▷ リリース・ボタンのロック音が聞こえるまで、エマージェンシー・キーを押し込んでください。

スペア・キー

スペア・キーは、ポルシェ正規販売店でのみお求めいただくことができます。新しいキーを注文してからお手元に届くまでには大変時間がかかる場合がございますので、いつでもスペア・キーを使えるように、あらかじめご用意いただくことを推奨します。キーは盗難の恐れがない安全な場所に保管し、車内や車両の近くには置かないでください。

新しいキーを使用するには、そのキーの電子コードを車両のコントロール・ユニットに「登録」する必要があります。この登録作業はポルシェ正規販売店でのみ実施が可能です。また、登録作業を行うときは、現在登録しているすべてのキーを同時に再登録しなければなりません。再登録しなかったキーの電子コードは、コントロール・ユニットから抹消され、以後使用できなくなります。

セントラル・ロッキング

車両にはセントラル・ロッキング・システムが装備されています。セントラル・ロッキング・システムは、次の部位をロック/ロック解除します：

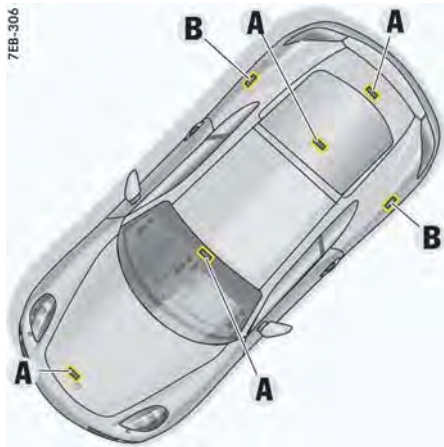
– ドア
– フィラー・フラップ（燃料給油口カバー）

車両をロック/ロック解除したときは、セントラル・ロッキング・システムが自動的に作動します。

マルチファンクション・ディスプレイを使用して、ドアのロック/ロック解除の設定を変更することができます。

なお、設定内容に関係なく、ドアをロック解除することができます。下記の手順に従ってください：

▷ キーの ボタンを5秒以内に2回押してください。
ドア・ロックが解除されます。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ

ポルシェ・エントリー＆ドライブのアンテナの取り付け位置

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、リモート・コントロール付きキーと車両のアンテナが電波で通信することで、ドアやトランク・リッドをロック/ロック解除できます。

植え込み型心臓ペースメーカーまたは植え込み型除細動器を装着されているお客様へ

⚠ 警告

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナAおよび車室外アンテナBから約22cm以内の範囲に、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を近づけないでください。

▷ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、車室内アンテナ**A**および車室外アンテナ**B**から約22cm以内の範囲に近づかないでください。アンテナからは電波が出ており、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える恐れがあります。

▷ 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用されている方は、医師や医療用電気機器製造業者などに電波の影響の有無について事前に確認してください。電波により医療用電気機器の作動に影響を与える恐れがあります。

シート、ミラー、ステアリング・ホイール

シート 25
イージー・エントリー機能 27
シート・ヒーター 27
シート・ベンチレーター 28
シートベルト 28
エアバッグ・システム 30
チャイルド・シート 32
ドア・ミラー 41
ルーム・ミラー 43
ステアリング・ホイール・ヒーター 44
ステアリング・ホイールの調節 44
マルチファンクション・ステアリング・
ホイール 45
サンバイザー 46
バニティー・ミラー 46

シート

シート位置

安全で疲れにくい運転には、正しい着座姿勢が重要です。運転席シートの位置を調節するときは、運転者の体格などに合わせて次の要領で実施することを推奨します：

1. シートの高さを頭上の空間に余裕があり、周囲がよく見える高さに調節してください（バケット・シートを除く）。
2. シートの前後位置を調節してください。
   ブレーキ・ペダルをいっぱいに踏み込んだときに、足が伸びきらない状態になる位置に調節してください。
3. ステアリング・ホイールの上部分を握ってください。バックレストの角度とステアリング・ホイールの位置は肩をバックレストに預けた状態で肘が少し曲がる位置に調節してください（バケット・シートを除く）。このとき、肩をバックレストに預けられる位置に調節してください。
4. 必要に応じて、シートの前後位置を再調節してください。

シートの調節

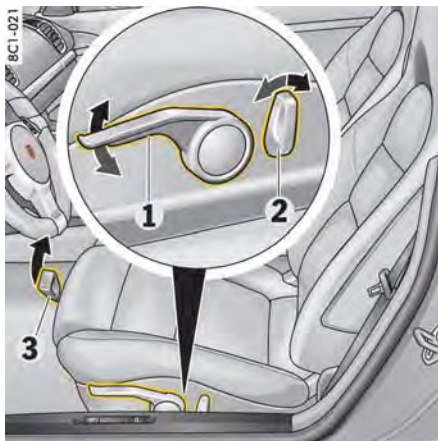
⚠ 警告 運転中のシート調節

運転中にシート調節を行うと、シートが必要以上に大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 運転中はシートの調節を行わないでください。

⚠ 注意 シート調節

シート位置を調節するときに、シートが動く範囲に人や動物がいると、身体の各部が圧迫されたり挟まれたりする恐れがあります。

▷ シートが動く範囲に人や動物がいないことを確認してからシート位置を調節してください。

スポーツ・シート/スポーツ・シート・プラス

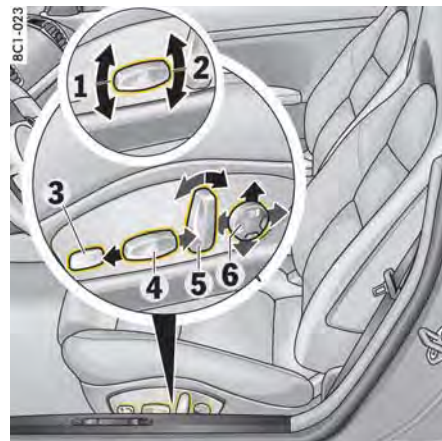
1 高さ調節

▷ レバー**1**を操作して、シートを希望の高さに調節してください：
レバーを上げる＝座面が上昇します。
レバーを下げる＝座面が下降します。

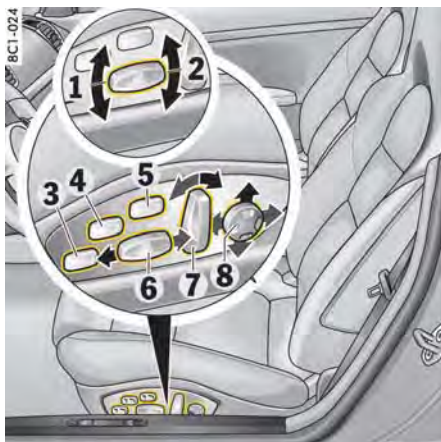
2 バックレストの角度調節

スイッチ**2**を操作して、バックレストを希望の角度に調節してください。

3 前後の調節

▷ ロック・レバー **3**を引き上げてください。
シートを希望の位置に移動させてから、レバーを放してください。
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

電動式スポーツ・シート

1 シートの角度調節
2 高さ調節
3 座面の深さ調節
4 前後の調節
5 バックレストの角度調節
6 ランバー・サポートの調節

▷ 各スイッチを**矢印の方向**に押して、お好みのシート位置に調節してください。

アダプティブ・スポーツ・シート・プラス

1 シートの角度調節
2 高さ調節
3 座面の深さ調節
4 座面のサイド・サポートの調節
5 バックレストのサイド・サポートの調節
6 前後の調節
7 バックレストの角度調節
8 ランバー・サポートの調節

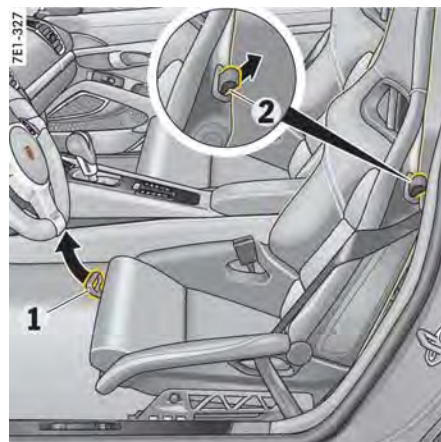
▷ 各スイッチを**矢印の方向**に押して、お好みのシート位置に調節してください。

シート・バックレスト

前方へ倒す

▷ バックレストの側面にあるレバーを引き上げて、バックレストを前方に倒してください。

後方へ戻す

▷ バックレストがブレーキを踏んだときに前に倒れないよう、ロックするまで後方へ押してください。

バケット・シート

バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください。

1 シートの前後調節

▷ ロック・レバー **1**を引き上げてください。
シートを希望の位置に移動させてから、レバーを放してください。
シートがしっかり固定されていることを確認してください。

2 シート・バックレスト

前方へ倒す

▷ バックレストの側面にあるループ**2**を引いて、バックレストを前方に倒してください。

後方へ戻す

バックレストがブレーキを踏んだときに前に倒れないよう、ロックするまで後方へ押してください。

シート設定の保存

シート設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（121ページ）を参照してください。

イージー・エントリー機能

（電動スポーツ・シートまたはアダプティブ・スポーツ・シート装備車）

イージー・エントリー機能は、車両への乗り降りをしやすくするための装備です。

必要条件

– マルチファンクション・ディスプレイで、この機能を作動させる設定に切り替えてください。

イージー・エントリー機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「イージー・エントリーのON/OFF」（102ページ）を参照してください。

降車するとき

以下の操作を行うと、ステアリング・ホイールが上方に移動します：

– イグニッション・キーを抜き取ったとき、
または
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにし、**更に**運転席ドアを開いたとき

以下の操作を行うと、シートが後方に移動します：

– 運転席ドアを開き、イグニッション・キーを抜きとったとき、
または
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにして運転席ドアを開いたとき

乗車するとき

運転席シートおよびステアリング・ホイールはイージー・エントリー位置にあります。

イグニッション・キーを差し込む、またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをONにすると、保存された位置にステアリング・ホイールおよびシートが移動します。

i インフォメーション

キーを交換した場合、シートが予期しない位置に移動する可能性があります。

---

i インフォメーション

シート設定を手動で変更すると、イージー・エントリー機能が中断します。
この場合、ドライビング・ポジションを手動で設定する必要があります。

シート・ヒーター

シート・ヒーターは、エンジン作動中にのみ操作できます。ヒーターの強さは、シート・ヒーター・ボタンを繰り返し押すことにより3段階の設定に調節できます。

ONにする

▷ シート・ヒーター・ボタンを（繰り返し）押してください。
ヒーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

OFFにする

▷ シート・ヒーター・ボタンをすべてのインジケーター・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

室内の温度が高いときはシート・ヒーターを使用できません。
バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、最初にシート・ヒーター機能が制限され、その後OFFになります。

シート・ベンチレーター

シート・ベンチレーターは、エンジン作動中にのみ操作できます。シート・ベンチレーターはシート・ベンチレーター・ボタンを繰り返し押すことにより3段階の設定に調節できます。

ONにする

▷ シート・ベンチレーター・ボタンを（繰り返し）押してください。
ベンチレーターの設定に応じた数のインジケーター・ライトが点灯します。

OFFにする

▷ シート・ベンチレーター・ボタンをすべてのインジケーター・ライトが消灯するまで（繰り返し）押してください。

15℃を下回る場合は、過度の冷却を防止するためにシート・ベンチレーターを使用できません。
バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、最初にシート・ベンチレーション機能が制限され、その後OFFになります。

シートベルト

この車両のシートベルトは身長約150cm以下の乗員には適していません。身長が150cmに満たない乗員は、適切なチャイルド・シートを必ず使用してください。

⚠ 危険 シートベルトを着用していない、または正しく使用していない

シートベルトを着用していない場合、事故の際に保護効果を発揮できません。シートベルトを正しく着用していない場合、事故の際に負傷する危険性が高まります。

▷ 安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用することが義務付けられています。
運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

▷ 1本のシートベルトを同時に2人で使うことは、絶対に避けてください。

▷ だぶついた衣服はシートベルトが正しく着用できない上、動作の自由を奪うことになりますので、乗車時には必ず脱ぐようにしてください。

▷ 堅い物や壊れやすい物（眼鏡、ボールペン、煙草のパイプなど）の上にベルトがかからないようにしてください。
衝突の際にケガをする危険性が高くなります。

▷ シートベルトはねじれやたるみがないように着用してください。

⚠ 危険 損傷したシートベルトを使用した場合

損傷したシートベルト、強い負荷のかかったシートベルト、または摩耗したシートベルトは、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。
作動したシートベルト・プリテンショナー・システムは必ず交換してください。

▷ すべてのシートベルトを定期的に点検し、ベルトの帯が損傷していないか、またバックルと取り付け部が正常な状態にあるかどうか点検してください。

▷ 損傷したベルトや事故などにより強い負荷のかかったベルトは、該当のシート用に認証されているベルトと早急に交換してください。
同様に、作動したシートベルト・プリテンショナー・システムとフォース・リミッターも早急に交換してください。
更に、アンカー部分についても点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ベルトを使用しないときは、汚れや損傷を防ぐために完全にリトラクターに巻き取らせてください。

シートベルト警告灯および警告メッセージ

シートベルトの着用を促すため、運転席または助手席のシートベルトのバックル・プレートが、対応するバックルに差し込まれるまで、次の機能が作動します：

- イグニッションをONにすると、インストルメント・パネルの警告灯が点灯します。
- インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告を表示します。
- 速度が24km/hを超えると、警告音が鳴ります。

シートベルト・プリテンショナー

シートベルト・プリテンショナーは、事故時の衝撃の大きさに応じて作動します。

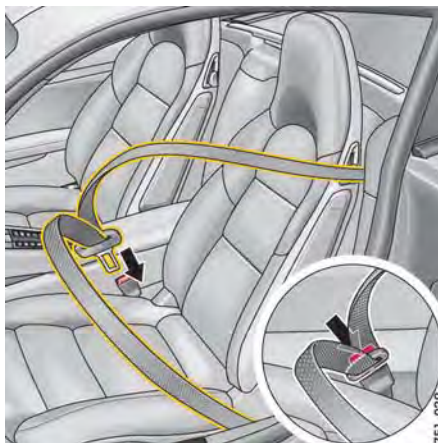
シートベルト・プリテンショナーの作動条件：

- 前方または後方から強い衝撃を受けた場合
- 側面から強い衝撃を受けた場合
- 車両が転倒した場合

インフォメーション

シートベルト・プリテンショナー・システムは1回しか作動できません。作動した場合、早急に交換してください。

シートベルト・プリテンショナー・システムに関連する作業は、必ずポルシェ正規販売店に依頼してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

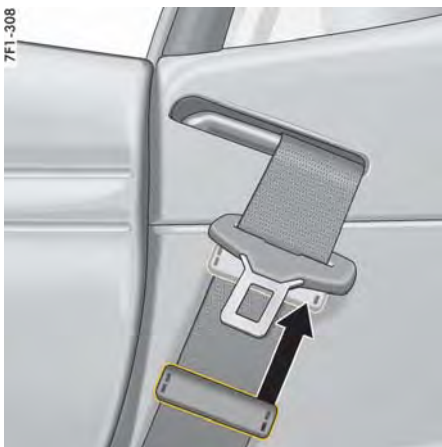
シートベルト・プリテンショナー・システムが作動すると煙が発生しますが、これは異常ではありません。この煙は車両火災の兆候ではありません。

シートベルトを着用する

1. 自然な姿勢で安全に運転できる位置に着座してください。
2. シートベルトを着用したときにベルトが肩の中央を通って上半身を斜めに横切るように、シートのバックレストを調節してください。
3. シートベルトのバックル・プレートを手で持ち、ゆっくりと一定の速さで引き出して、腰の低い位置および胸部にかかるように着用してください。

インフォメーション

坂道などの傾斜地に停車しているときや、シートベルトを急に引いたときは、ベルトがロックされて引き出せないことがあります。

加速中や減速中、コーナリング中、および上り坂を走行中はシートベルトがロックされ、引き出すことができません。

4. シートベルトのバックル・プレートは、着座しているシート側部のバックルにカチッと音がするまで確実に差し込んでください。
5. シートベルトが引っかかったり、ねじれたり、鋭利な物に擦ったりしないように注意してください。
6. 腰ベルトは必ず腰の低い位置（骨盤）にぴったりとかかるようにしてください。プレートをバックルに差し込んで、肩ベルトを上に引っ張ってください。
   妊娠中の方は腰ベルトをできる限り低い位置まで下げて、腹部の圧迫を避けるようにしてください。
7. 走行中も肩ベルトを定期的に引き上げ、腰ベルトがゆるまないようにしてください。

シートベルトを外す

1. シートベルトのバックル・プレートを手で持ってください。
2. バックルの赤色のボタンを押してください。
3. バックル・プレートは、シートベルト引き出し口の約7cm下にプラスチック・スライドで固定してください（**図を参照**）。
   プラスチック・スライドがシートベルトを手の届きやすい位置で保持します。

エアバッグ・システム

安全に関する注意事項

⚠ 危険 不適切なシート位置または適切に収納していない荷物

すべての乗員がシートベルトを着用し、正しいシート位置を維持している場合にのみ、エアバッグ・システムは保護効果を発揮することができます。荷物は必ず安全に収納してください。

▷ **常にシートベルトを着用してください。**

▷ 運転席と助手席の間、あるいは乗員とエアバッグが膨らむ空間に人や動物を座らせたり、物を置いたりしないでください。

▷ ステアリング・ホイールは、必ずリムの外側から持つようにしてください。

▷ エアバッグが保護効果を発揮するには、乗員との間に一定の空間が必要です。
エアバッグに必要以上に近づきすぎない位置に、シート位置を調節してください。
また、サイド・エアバッグ装備車では、ドア（エアバッグの拡張エリア）にもたれかからないでください。

▷ ドアの小物入れから中身がはみ出ないようにしてください。走行中は収納ボックスを閉じてください。

▷ 重い荷物を助手席の上や前方に置かないでください。

▷ ダッシュボードの上に物を置かないでください。

▷ 走行中はグローブ・ボックスを閉じてください。

▷ 運転者はこの章で説明している内容を、すべての乗員に理解してもらってください。

▷ 走行中、足は常に足元の空間に置いてください。ダッシュボードやシート・クッションの上に足を乗せないでください。

⚠ 危険 エアバッグ・システムに変更を加えたことが原因の不具合

変更を加えたエアバッグ・システムは保護効果を十分に発揮できません。エアバッグが不意に作動したり、全く機能しなかったりする恐れがあります。エアバッグが不意に作動した場合、重傷を負う危険があります。

▷ エアバッグ・システムの配線や構成部品を改造しないでください。

▷ ステアリング・ホイール、助手席エアバッグ付近、サイド・エアバッグ付近、ヘッド・エアバッグ付近に、アクセサリーを取り付けたり、ステッカーなどを貼り付けないでください。
シートに保護カバーを装着しないでください。

▷ エアバッグの配線の近くには、アクセサリー類の配線を取り付けないでください。

▷ エアバッグ構成部品（ステアリング・ホイール、フロント・シート、ドア・パネルなど）は取り外さないでください。

⚠ 危険 作動済みエアバッグ・システムの交換

エアバッグ・システムは1回のみ作動するように設計されています。

▷ 作動したエアバッグは直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。

▷ エアバッグ・システムに不具合が発生したときは、必ずポルシェ正規販売店に修理を依頼してください。

機能

エアバッグは、シートベルトと併用することで衝突時の乗員の負傷を最小限に抑えるよう設計されています。

正面または側面から衝撃を受けた場合、エアバッグが作動し、運転者や乗員が受ける衝撃を吸収しつつ、頭部、骨盤、上半身を守ります。

フロント・エアバッグは、運転席側はステアリング・ホイール中央のパッド内、助手席はダッシュボードの中に取り付けられています。

フロント・シートの**サイド・エアバッグ**はバックレストの側面に取り付けられています。

ヘッド・エアバッグはドア・パネルに取り付けられています。

それぞれのエアバッグは、衝突の角度および衝撃の大きさに応じて作動します。

エアバッグ警告灯

エアバッグ・システムが故障した場合、タコメーターの警告灯によって表示されます。

▷ 次の場合は、必ずポルシェ正規販売店で点検を受けてください：

– イグニッションをONにしたときに警告灯が点灯しない
  または
– エンジン始動後も警告灯が消灯しない
  または
– 走行中に警告灯が点灯する

助手席エアバッグOFF警告灯

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、「助手席エアバッグOFF」警告灯およびISOFIXアタッチメント・ブラケットは標準装備されていません。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください。

「助手席エアバッグOFF」警告灯の機能に関するインフォメーション：

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（38ページ）を参照してください。

⚠ 危険

助手席エアバッグの誤作動により重傷または致命傷を負う危険があります。

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに「助手席エアバッグOFF」警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

▷ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。

⚠ 危険

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、助手席乗員が重傷または致命傷を負う危険があります。

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

▷ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

廃棄

未作動のガス発生器、エアバッグが付いたままの車両、およびエアバッグ・ユニットなどは、一般の廃棄物やスクラップとして処分できません。

エアバッグ関連の部品を廃棄するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。処分に関する詳しい情報は、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

チャイルド・シート

ポルシェ社では、ポルシェ・テクイップメント製品のチャイルド・シートを使用することを推奨いたします。

▷ 車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。
▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（34ページ）を参照してください。
▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（35ページ）を参照してください。

⚠ 危険 チャイルド・シート装置の不正な使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。
▷ **バケット・シート**ではチャイルド・シートを使用しないでください。
「チャイルド・シートの各種シートへの取り付け」（38ページ）を参照してください。
▷ チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。
▷ ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。
ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。
推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。
▷ 必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

⚠ 危険

体格が小柄な乗員が助手席エアバッグで重傷または致命傷を負う危険があります。

助手席エアバッグは、ある程度の体格と最低限の体重のある乗員にのみ保護効果を発揮します。チャイルド・シートを助手席に取り付けた場合、または体格が小柄な乗員が助手席に乗車している場合、助手席エアバッグが作動することにより重傷または致命傷を負う危険があります。

▷ チャイルド・シートを助手席に取り付けるときは、必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ チャイルド・シートを取り付けるときは、常にシート・ヒーターのスイッチをOFFにしてください。

助手席エアバッグのOFF

▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（38ページ）を参照してください。

チャイルド・シートの体重グループによる分類

体重グループ0、0＋のお子様：13kgまで

この体重グループのお子様は、**後ろ向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIのお子様：9～18kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIIのお子様：15～25kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

体重グループIIIのお子様：22～36kg

この体重グループのお子様は、**前向きに着座するタイプ**のチャイルド・シートを必ず使用してください。

サンバイザーのエアバッグ警告ステッカー

▷ どのような場合も、警告ラベルや警告表示の表面を汚したり読み取りできない状態にしないでください。

推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）

▷「チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）」（36ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ ベビー・シート G0+	E_1 04301146	955.044.802.94	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・シート ISOFIX G1	E_1 04301199	955.044.802.88	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス G2 + G3	E_1 04301169	955.044.802.90	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス G2 + G3	E_1 04301169	955.044.802.90	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。

推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）

▷「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（37ページ）を参照してください。

体重グループ	メーカー	タイプ	承認番号	ポルシェ部品番号	助手席への取り付け
グループ0および0+： 13kgまで	Britax-Römer	ポルシェ・ ベビー・シート ISOFIX G0+ **使用部品：** ISOFIXベース	E_1 04301146	955.044.802.94 **使用部品：** 955.044.802.95	– 後ろ向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループI： 9～18kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・シート ISOFIX G1	E_1 04301199	955.044.802.88	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループII： 15～25kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。
グループIII： 22～36kg	Britax-Römer	ポルシェ・ ジュニア・プラス ISOFIT G2 + G3	E_1 04301198	955.044.802.96	– 前向きに取り付けること。 – 助手席シートをいっぱいまで後方、上方に調節すること。 – 助手席エアバッグをOFFにすること。

チャイルド・シートの使用（シートベルトによる固定）

下表は、ECE-R16規格に沿ってシートベルトで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています（**図を参照**）。

体重グループ	助手席で使用できるチャイルド・シート[1、2]
グループ0：10kgまで	U/L
グループ0+：13kgまで	U/L
グループI：9～18kg	U/L
グループII：15～25kg	U/L
グループIII：22～36kg	U/L

U：この体重グループに属する「汎用（ユニバーサル）」のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

L：34ページに記載されている特定のチャイルド・シートの取り付けに適しています。

[1] 助手席エアバッグをOFFにすること。
[2] 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。

ECEラベルの例：

A サイズ分類
B 「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」マーク
C 体重グループ

チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）

下表は、ECE-R16規格に沿ってISOFIXシステムで固定して使用できるチャイルド・シートの概要です。
「汎用（ユニバーサル）」または「準汎用（セミ・ユニバーサル）」のマークは、チャイルド・シートのECEラベル（オレンジ色）に表示されています。

体重グループ	サイズ分類	固定具	助手席シートのISOFIXリテーニング・ラグ[1、2]
ベビー・シート （左向きまたは右向きチャイルド・シート）	F G	ISO/L1 ISO/L2	X X
グループ0：10kgまで	E	ISO/R1	IL/SU
グループ0+：13kgまで	E D C	ISO/R1 ISO/R2 ISO/R3	IL/SU IL/SU X
グループI：9～18kg	D C B B1 A	ISO/R2 ISO/R3 ISO/F2 ISO/F2X ISO/F3	IL/SU X IL/SU IL/SU IL/SU
グループII：15～25kg			IL/SU
グループIII：22～36kg			IL/SU

X：　このサイズ分類のチャイルド・シートには適していません。

SU：「準汎用（セミ・ユニバーサル）」– ISOFIXシステム認証のチャイルド・シートの取り付けに適しています。
チャイルド・シートに付属の車両リストを参照してください。

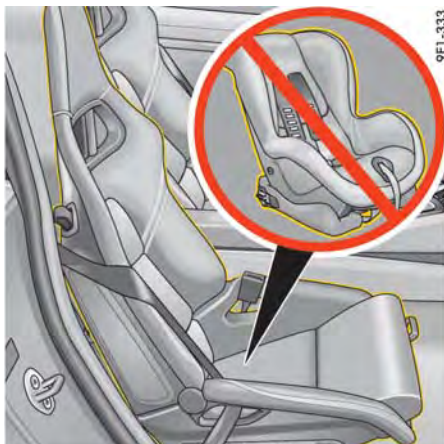
IL：　35ページに記載されている特定のISOFIXチャイルド・シートに適しています。

[1] 助手席エアバッグをOFFにすること。
[2] 助手席シートをいっぱいまで後方、**上方**に調節すること。

バケット・シート

チャイルド･シートの各種シートへの取り付け

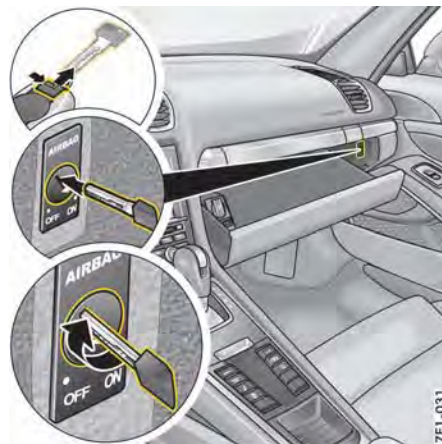
バケット・シートではチャイルド・シートを使用しないでください（**図を参照**）。
その他の種類のシートでは、推奨するチャイルド・シートが使用できます。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（34ページ）を参照してください。
▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（35ページ）を参照してください。
▷ 「シート」（25ページ）を参照してください。

ベビー・シート

サイズ分類FおよびGのお子様を寝かすタイプのチャイルド・シート（ベビー・キャリアなど）は、いかなるシートにも使用できません。

▷ 「チャイルド・シートの使用（ISOFIXシステムによる固定）」（37ページ）を参照してください。

ポルシェ社が推奨する、ポルシェ・テクイップメント製品のチャイルド・シート（ポルシェ・ベビー・シートISOFIX GO+など）を使用してください。

▷ 「推奨するチャイルド・シート（シートベルトによる固定）」（34ページ）を参照してください。
▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（35ページ）を参照してください。

助手席エアバッグのON/OFF

1. イグニッションをOFFにしてください。
2. グローブ・ボックスを開いてください。
3. エマージェンシー・キーを車両キーから抜き取ってください。

エマージェンシー･キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（21ページ）を参照してください。

4. エマージェンシー・キーをキー・スイッチに2回抵抗を感じる位置まで挿入してください。
キーの歯がキー･スイッチ内に約3/4まで挿入されます。
5. エマージェンシー・キーに大きな力をかけずに回し、助手席エアバッグを**OFF（解除）**または**ON（作動）**にしてください。
6. エマージェンシー・キーをキー・スイッチから抜き取ってください。
7. グローブ・ボックスを閉じてください。

インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにしているときは、助手席シートベルト警告メッセージも表示されません。

危険 助手席エアバッグをOFFにする

チャイルド・シートを取り外した後も、助手席エアバッグをOFFにしたままにしておくと、事故の際にエアバッグが作動しません。

▷ チャイルド・シートを助手席に取り付けている場合にのみ、助手席エアバッグをOFFにしてください。

▷ チャイルド・シートを取り外した後は、必ず助手席エアバッグを再びONにしてください。

危険 助手席エアバッグの不意の作動

キー・スイッチにエマージェンシー・キーを挿入したまま走行した場合、振動によってエマージェンシー・キーが不意に回転してエアバッグが作動し、重傷または致命傷を負う恐れがあります。

▷ エマージェンシー・キーを助手席エアバッグ・スイッチに挿入したまま走行しないでください。

知識

助手席エアバッグ・スイッチまたはエアバッグ・システムが損傷することがあります。

▷ エマージェンシー・キーはキー・スイッチに挿入し、2回抵抗を感じる位置でのみ回してください。

▷ 助手席エアバッグはイグニッションがOFFのときにのみ、OFFまたはONに切り替えてください。

 インフォメーション

助手席エアバッグをOFFにするキー・スイッチ、「助手席エアバッグOFF」警告灯およびISOFIXアタッチメント・ブラケットは標準装備されていません。ポルシェ正規販売店でオプションとして装着してください（バケット・シート装備車には取り付けができません）。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

助手席エアバッグOFF警告灯

助手席エアバッグをOFFにした場合、イグニッションをONにしたときにオーバーヘッド・コンソールの「**助手席エアバッグOFF**」警告灯が常時点灯します（図を参照）。

危険 助手席エアバッグの故障と作動不良

助手席エアバッグをOFFにして、イグニッションをONにしたときに「助手席エアバッグOFF」警告灯が点灯しなかった場合は、システムに不具合が発生している可能性があります。

▷ 助手席にチャイルド・シートを取り付けないでください。

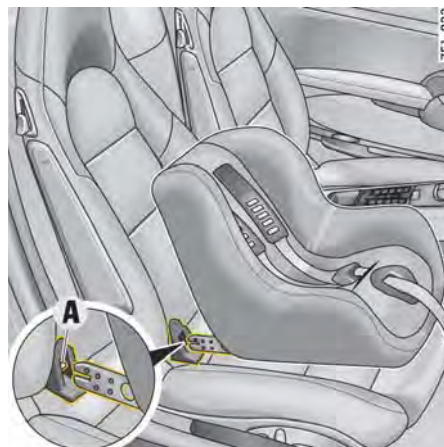
▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エアバッグに関する重要なインフォメーション：
▷ 「エアバッグ・システム」（30ページ）を参照してください。
▷ 車両に適合するチャイルド・シートについては、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け

▷ 「推奨するチャイルド・シート（ISOFIXシステムによる固定）」（35ページ）を参照してください。

ISOFIXチャイルド・シートを固定するリテーニング・ラグ**A**の位置を示すマークは、助手席シートのシート・クッションにあります。

1. エマージェンシー・キーを使用して、助手席エアバッグ・スイッチを**OFF**（解除）にしてください。
オーバーヘッド・コンソールの「**助手席エアバッグOFF**」警告灯が点灯します。
エマージェンシー・キーおよび助手席エアバッグのOFFに関するインフォメーション：
▷ 「助手席エアバッグのON/OFF」（38ページ）を参照してください。

2. チャイルド・シートを付属の説明書に従ってリテーニング・ラグ**A**に固定してください。
3. チャイルド・シートを引っ張って、両側のリテーニング・ラグに確実に固定されているか点検してください。

⚠ 危険 チャイルド・シート装置の不正な使用

チャイルド・シートを正しく使用しなかった場合、重傷または致命傷を負う危険があります。

車種に適さないチャイルド・シートを使用した場合、またはチャイルド・シートを車両に正しく取り付けていない場合は、事故の際に保護効果を十分に発揮できません。

▷ チャイルド・シートに付属の取扱説明書をよく読み、注意事項を必ず遵守してください。

▷ **バケット・シート**ではチャイルド・シートを使用しないでください。
「チャイルド・シートの各種シートへの取り付け」（38ページ）を参照してください。

▷ チャイルド・シートは道路交通法に従って使用してください。

▷ ポルシェ社が推奨するチャイルド・シートのみを使用してください。
ポルシェ社推奨のチャイルド・シートは、ポルシェ社がテストを実施し、この車両のインテリアやお子様の体重グループに適するように調整されています。
推奨外のISOFIXシステム付きチャイルド・シートを使用すると、万一のときに負傷する危険性が高まります。

▷ 必ず助手席エアバッグをOFFにしてください。

ドア・ミラー

後方視野を広くするため、助手席ドア・ミラーは凸面形、運転席ドア・ミラーは非球面形になっています。

⚠ 警告 ドア・ミラーに映る周囲の様子は実際の大きさより小さく、距離が離れているように見えます

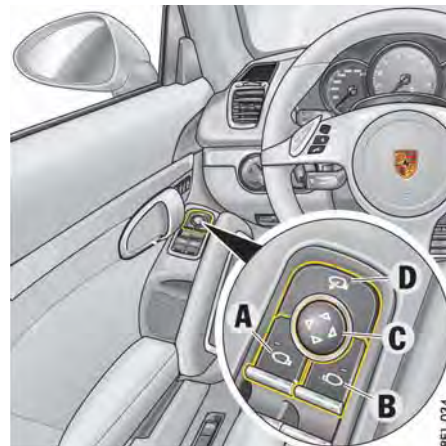
凸面形ミラーでは、車両や物が小さく写るため、実際の距離よりも遠く感じられます。

▷ 後続車との距離を判断するときや、後退して駐車するときなどは、凸面形ミラーの特性を念頭に置いてください。

▷ 距離の判断はルーム・ミラーと併用して行ってください。

知識

洗車機で洗車を行う場合にドア・ミラーを損傷する恐れがあります。

▷ 洗車機を使用する前にドア・ミラーを格納してください。

A - ドア・ミラーの選択 – 運転席側
B - ドア・ミラーの選択 – 助手席側
C - ドア・ミラーの調節
D - ドア・ミラーの格納/復帰

ドア・ミラーの調節

電動調節式ドア・ミラーを操作するには：

– イグニッションがONのとき

– イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで

1. 運転席側はボタン**A**を、助手席側はボタン**B**を押してください。
   選択したボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 調節ボタン**C**を操作して、ドア・ミラーの角度を希望の位置に調節してください。

電動調節機能が故障した場合

▷ ミラー表面を手で押して角度を調節してください。

ドア・ミラーの手動格納

▷ ミラーを手でいっぱいまで内側に倒してください。

ドア・ミラーの手動復帰

▷ ミラーを手でいっぱいまで外側に展開してください。

ドア・ミラーの電動格納/復帰

▷ ボタン**D**を押してください。
両方のドア・ミラーが自動的に格納/復帰します。

電動調節機能が故障した場合

▷ ドア・ミラーを手で格納または復帰してください。

 インフォメーション

速度が約50km/hを超えると、ドア・ミラーは格納できなくなります。

ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

車両をロックした後、ドア・ミラーを自動的に格納することができます。

必要条件：

– マルチファンクション・ディスプレイでこの機能を作動させる設定に切り替えてください。

ドア・ミラーの自動的な復帰

▷ イグニッションをONにしてください。
ドア・ミラーが復帰します。

 インフォメーション

ボタン**D**を押して手動でドア・ミラーを格納した場合は、イグニッションをONにした後、自動的に元の位置に復帰しません。

電動調節機能が故障した場合

▷ ミラーを手でいっぱいまで外側に動かしてください。

ドア・ミラー設定の保存

メモリー・パッケージ装備車では、個々のドア・ミラーの設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのパーソナル・ボタンに保存することができます。

復帰および車両設定の保存に関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（121ページ）を参照してください。

ドア・ミラー・ヒーター

エンジン作動中にリヤ・ウィンドウ・ヒーターをONにすると、ドア・ミラー・ヒーターが自動的に作動します。

リヤ・ウィンドウ・ヒーターの操作に関するインフォメーション：

▷ 「リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター」（56ページ）を参照してください。

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、最初にドア・ミラー・ヒーター機能が制限され、その後OFFになります。

駐車時のドア・ミラー下向き自動切り替え

メモリー・パッケージ装備車では、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席側**ドア・ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

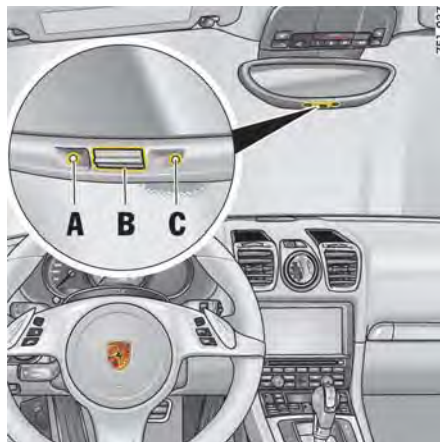
▷ 「駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え」（183ページ）を参照してください。

ルーム・ミラー

ルーム・ミラーは平面鏡です。

ミラーを調節するときは、防眩機能のレバー**A**を前方に向けてください。

▷ 通常位置=レバーを前方に向けてください。

▷ 防眩位置=レバーを手前に引いてください。

自動防眩ルーム・ミラー

ルーム・ミラーの正面と背面に組み込まれているセンサーが、ミラーに投射する光を測定します。その光の強さに応じて防眩機能が自動的に作動し、ミラーが暗くなったり、明るくなったりします。

インフォメーション

照度センサー**C**の検知エリアに当たる光を妨げないでください（リヤ・ウィンドウにステッカーを貼り付けるなど）。

自動防眩機能をOFFにする

▷ ボタン**B**を押してください。
インジケーター・ライト**A**が消灯します。

インフォメーション

次の場合、自動的に防眩機能がOFFになります：

– リバース（後退）ギヤを選択した場合
または

– インテリア・ライトが点灯している場合

自動防眩機能をONにする

▷ ボタン**B**を押してください。
インジケーター・ライト**A**が点灯します。

⚠ 注意

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります

自動防眩ミラーのガラスが破損すると、電解液が漏れ出すことがあります。この液体には皮膚や目への刺激性があります。

▷ 電解液が目や皮膚に触れた場合は、速やかにきれいな水で洗い流してください。
必要に応じて医師の診察を受けてください。

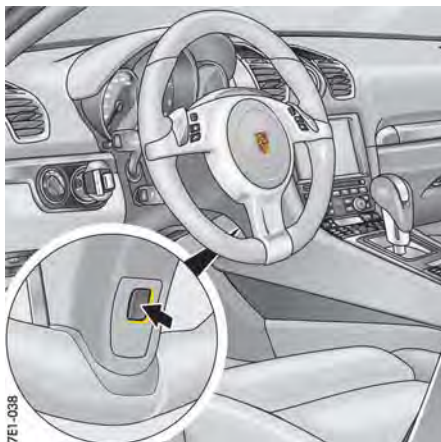
知識

塗装面、本革部品、プラスチック部品および着衣などに損傷を与える恐れがあります。

電解液は乾くと取り除けなくなるため、濡れている間に取り除いてください。

▷ 電解液が付着した部品は水で洗い流してください。

自動防眩ドア・ミラー

ルーム・ミラーの自動防眩機能の切り替えに合わせて、ドア・ミラーの防眩機能が作動します。

ステアリング・ホイール・ヒーター

ステアリング・ホイール・ヒーターはイグニッションがONのときにステアリング・ホイール裏側のボタンを押すことにより、ON/OFFします。

ステアリング・ホイール・ヒーターのON/OFF

▷ ボタンを押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ステアリングホイールヒーティングオン**」または「**ステアリングホイールヒーティングオフ**」が2秒間表示されます。

ステアリング・ホイールの調節

車両の装備仕様により、手動または電動でステアリング・ホイール/ステアリング・コラムを前後上下に調節できます。

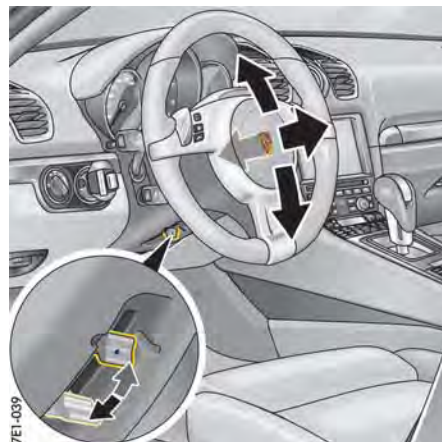
⚠ 警告 運転中のステアリング・ホイールの調節

運転中にステアリング・ホイール調節を行うと、ステアリングが予期せず大きく動き、運転操作を誤る恐れがあります。

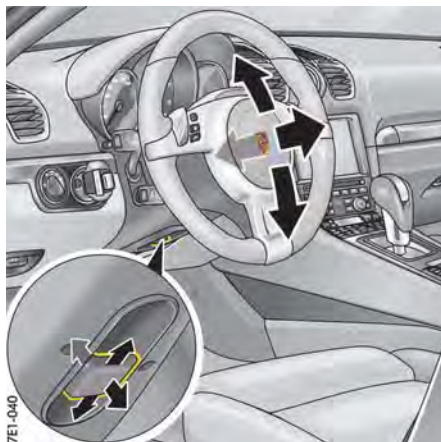
▷ 運転中はステアリング・ホイールの調節を行わないでください。

⚠ 警告 メモリー設定の不意の呼び出し

車両停止時にパーソナル・ボタンが不注意に押された場合、身体の各部が挟まれたり圧迫されたりする恐れがあります。

▷ お子様のみを車内に残さないでください。

ステアリング・ホイールの手動調節

ステアリング・ホイールの手動調節

1. キーをイグニッション・ロックに完全に差し込んでください。
2. ステアリング・コラム下側のロック・レバーを押し下げてください。
3. シート・バックレスト角度や着座位置に合わせて、ステアリング・ホイールを手で持って前後上下に動かし、お好みの位置に調節してください。
4. ステアリング・ホイールがしっかりと固定されるまで、ロック・レバーを元の位置まで戻してください。必要な場合はステアリング・ホイールを前後に動かしてください。

ステアリング・ホイールの電動調節

ステアリング・ホイールの電動調節

▷ ステアリング・コラム下に取り付けられているコントロール・スイッチを前後上下に動かして、ステアリング・ホイールをお好みの位置に調節してください。

ステアリング・ホイール位置が車両設定に保存されます。

ステアリング・ホイール設定の保存と呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」(121ページ)を参照してください。

マルチファンクション・ステアリング・ホイール

⚠ 警告 走行時の設定と操作

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています。）

▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

車両の装備仕様により、マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンを使用して、次のポルシェ・コミュニケーション・システム＊の操作ができます：

– 電話＊
– PCM＊
– CDR-31＊
– マルチファンクション・ディスプレイ
– インストルメント・パネル

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作準備

– イグニッションをONにしてください。

▷ ファンクション・ボタンを操作する前に、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊の取扱説明書をよく読み、機能を把握してください。

インフォメーション

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作では、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊をON/OFFできません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンの機能

インフォメーション

ステアリング・ホイール上部の左右にあるロータリー・ノブは、押して操作することもできます。

ボリューム・スイッチを回す
上方 – 音量が上がります。
下方 – 音量が下がります。
ボリューム・スイッチを押す
ミュート機能がON/OFFします。

ロータリー・ノブを回す
マルチファンクション・ディスプレイのメイン・メニューまたはメニュー項目を選択/ハイライトします。項目を選択/ハイライトするため、ロータリー・ノブを上方向または下方向に回してください。
ロータリー・ノブを押す
サブ・メニューに進む、または選択した機能が作動します。

MFSボタン＊を押す
保存させた機能を呼び出します。
マルチファンクション・ディスプレイ内の任意の機能をボタンに割り当てることができます。

バック・ボタンを押す
メニューに戻ります。

ハンドセット・ピックアップ・ボタンを押す
着信時に通話を開始します。

ハンドセット・ハングアップ・ボタンを押す
通話を終了/拒否します。

サンバイザー

▷ サンバイザーを手で下げて、正面方向からの眩しさを遮ってください。

左右方向から眩しい光が入る場合：

1. サンバイザーを内側のブラケットから外してください。
2. サンバイザーをドア・ウィンドウ側に回転させてください。

バニティー・ミラー

サンバイザーの裏側にはバニティー・ミラーがあり、カバーが付いています。
バニティー・ミラーのカバーを開くと、ミラーの照明が自動的に点灯します。

注意 バニティー・ミラーのカバーを開くとき

カバーを開いている状態で事故が起きた場合、ミラーが割れて車内にガラスの破片が散乱する恐れがあります。

▷ 走行中はカバーを閉じてください。

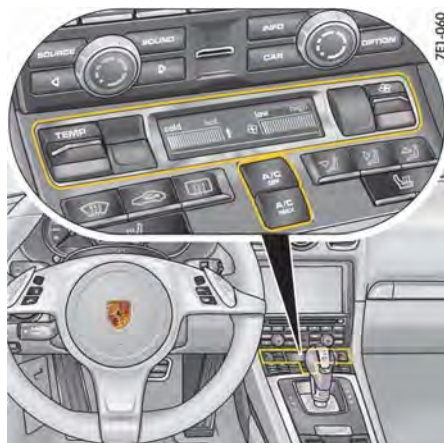
知識

バニティー・ミラーのカバーを損傷する恐れがあります。

▷ カバーを全開位置から無理に開かないでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

エアコン

マニュアル・エアコン 48
2ゾーン・オート・エアコン 51
エア・ベント 55
リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・
ミラー・ヒーター 56

マニュアル・エアコン

室内の温度を調節するために、マニュアル・エアコン・システムの風量、送風口および温度を手動で設定することができます。

エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション

エアコン・コンプレッサー

– エンジンの負荷が過渡的に大きくなると、コンプレッサーが一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
– 外気温度が約2°Cを下回るとコンプレッサーは自動的にOFFになり、このときは手動操作でもコンプレッサーをONにできません。
– ウィンドウを閉じるとエアコン・システムの作動効率が高まります。
  炎天下で長時間駐車したときは、まずウィンドウを開いて室内の空気を入れ替えてから、エアコンを使用すると効果的です。
– 外気温度や湿度によっては、除湿した水分が水滴となってエバポレーターから排出され、車両の下に水たまりができることがあります。
  これは正常な状態で、液漏れ等の故障ではありません。

バッテリー電圧低下時の自動OFF

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、次のエアコン・システムまたはヒーター機能の一部が制限され、その後自動的にOFFになります：

– シート・ヒーター
– シート・ベンチレーター
– リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター
– フレッシュ・エア・ブロアー
– エアコン・コンプレッサー

A/Cモード

外気温度が約2°C以上の場合、エアコン・コンプレッサーは手動でON/OFFを切り替えることができます。
外気温度が約2°Cを下回ると、コンプレッサーが自動的にOFFになります。

A/CモードをONにする

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、A/CモードをONにしてください。

▷ **A/C OFF**ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  エアコン・コンプレッサーがONになります。
  冷房機能が作動します。

A/CモードをOFFにする

例えば燃費を優先した運転をしたいときなどにA/Cモードを手動でOFFにすることができます。

▷ **A/C OFF**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
エアコン・コンプレッサーがOFFになります。
冷房機能が解除されます。

A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で室内を冷却します。

A/C MAXモードをONにする

▷ **A/C MAX**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

▷ **A/C MAX**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

デフロスターを作動させる

▷ [デフロスター記号]ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターを停止させる

▷ [デフロスター記号]ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

内気循環モード

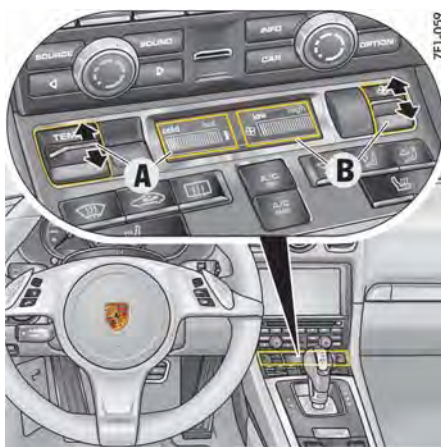
内気循環モードをONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
外気導入が遮断され、室内の空気を循環させます。

内気循環モードをOFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

 インフォメーション

手動または自動でエアコン・コンプレッサーがOFFになると、約3分後に内気循環モードが停止します。

A - 温度の設定
B - 送風量の設定

温度の設定

設定温度はエアコン・ディスプレイにバーで表示されます。

温度を上げる

▷ **TEMP**ボタンを上方向に押してください。
温度設定が**最高温度**に設定されているときは、エアコン・ディスプレイに**すべてのバー**が表示されます。

温度を下げる

▷ **TEMP**ボタンを下方向に押してください。
温度設定が**最低温度**に設定されているときは、エアコン・ディスプレイに**バーは表示されません。**

送風量の設定

マークの横にあるエアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、送風量が多いことを示しています。

送風量を多くする

▷ ボタンを上方向に押してください。

送風量を少なくする

▷ ボタンを下方向に押してください。

ボタンを押して送風量を最小にするとエアコン・ディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・コンプレッサーがOFFになります。

⚠ 警告 風量**OFF**による視界の妨げ

送風量を**OFF**にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

▷ ボタンを上方向に押してください（風量が増加します）。

送風口を切り替える

▷ ボタンを押してください。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。

▷ ボタンを押してください。
中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。エア・ベントのダイヤルを回して、吹き出し口を開いてください。

▷ ボタンを押してください。
足元への送風を開始します。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

2ゾーン・オート・エアコン

温度は、運転席側および助手席側でそれぞれ個別に設定できます。

オート・モードでは、様々な環境条件（日射量、空気の状態など）に応じて室内の設定温度を維持するように、エアコン・システムが送風温度、送風量、送風口を全自動で制御します。

エアコン・システムの設定を手動で変更すると、オート・モードが直ちに解除されます。ただし手動操作で変更しなかった機能については、自動制御を継続します。

エアコン用室内温度センサー

センサー

エアコン・システムの能力を維持するために、エアコン・システムの室内温度センサーの上にカバーを付けたり、ステッカー類を貼り付けたりしないでください。

インフォメーション

エアコン設定は、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイで行うことができます：

▷ 「エアコン設定」（102ページ）を参照してください。

メモリー・パッケージ装備車では、車両をロックするとエアコン・システムのすべての設定が、そのとき使用しているキーに保存されます。

エアコン・コンプレッサーに関するインフォメーション

エアコン・コンプレッサー

– エンジンの負荷が過渡的に大きくなると、コンプレッサーが一時的にOFFになり、エンジンの過熱を回避します。
– 外気温度が約2℃を下回るとコンプレッサーは自動的にOFFになり、このときは手動操作でもコンプレッサーをONにできません。
– ウィンドウを閉じるとエアコン・システムの作動効率が高まります。
  炎天下で長時間駐車したときは、まずウィンドウを開いて室内の空気を入れ替えてから、エアコンを使用すると効果的です。
– 外気温度や湿度によっては、除湿した水分が水滴となってエバポレーターから排出され、車両の下に水たまりができることがあります。
  これは正常な状態で、液漏れ等の故障ではありません。

バッテリー電圧低下時の自動OFF

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、次のエアコン・システムまたはヒーター機能の一部が制限され、その後自動的にOFFになります：

– シート・ヒーター
– シート・ベンチレーター
– リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター
– フレッシュ・エア・ブロアー
– エアコン・コンプレッサー

A/Cモード

オート・モードでは、A/Cモードは既定の温度で作動します。
このとき、エアコン・システムの作動状況に応じてコンプレッサーの出力が全自動で制御されます。
外気温度が約2℃を下回ると、コンプレッサーが自動的にOFFになります。

A/CモードをONにする

外気温度よりも低い温度で室内を冷房したいときは、A/CモードをONにしてください。

▷ **A/C OFF**ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
  エアコン・コンプレッサーがONになります。
  または
  AUTO/SYNCボタンを押してください。
  冷房機能が作動します。

A/CモードをOFFにする

例えば燃費を優先した運転をしたいときなどにA/Cモードを手動でOFFにすることができます。

▷ **A/C OFF**ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
  エアコン・コンプレッサーがOFFになります。
  冷房機能が解除されます。

SYNCモード

SYNC（同期）モードでは、運転席側および助手席側の温度は同じ温度になり、運転席側の**TEMP**ボタンにより制御されます。

SYNCモードをONにする

▷ **AUTO/SYNC**ボタンを、SYNCがディスプレイに表示されるまで押し続けてください。
▷ 運転席の**TEMP**ボタンで、運転席側および助手席側の温度を調節してください。

SYNCモードをOFFにする

▷ **AUTO/SYNC**ボタンまたは助手席側の**TEMP**ボタンを押してください。

A/C MAXモード

A/C MAXモードでは、エアコン・システムが最大出力で室内を冷却します。
このとき室内温度は自動調節されません。

A/C MAXモードをONにする

▷ **A/C MAX**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

A/C MAXモードをOFFにする

▷ **A/C MAX**ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
AUTO/SYNCボタンを押してください。

フロント・ウィンドウ・デフロスター

デフロスターを作動させる

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。
フロント・ウィンドウの曇りや氷結を素早く取り除きます。

デフロスターを停止させる

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
AUTO/SYNCボタンを押してください。

内気循環モード

内気循環モードをONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
外気導入が遮断され、室内の空気を循環させます。

内気循環モードをOFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

インフォメーション

手動または自動でエアコン・コンプレッサーがOFFになると、約3分後に内気循環モードが停止します。

自動内気循環モードの設定

自動内気循環モードでは、空気の状態に応じて自動的に外気導入と内気循環を切り替えます。

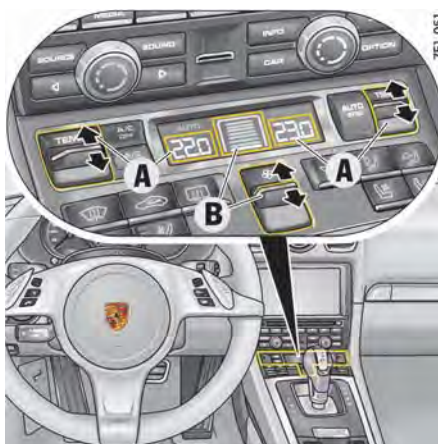
自動内気循環モードはマルチファンクション・ディスプレイでON/OFFの切り替えができます。

外気温度が約5℃を下回ると、ウィンドウの曇りを防止するため、内気循環モードが自動的に停止します。

自動内気循環モードのマルチファンクション・ディスプレイでの調節に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン設定」(102ページ) を参照してください。

 インフォメーション

通常は自動内気循環モード（初期設定）にしておくことを推奨します。

A - 左右温度の設定
B - 送風量の設定

温度の設定

このエアコン・システムでは、運転席および助手席側の室内温度を16～29.5℃の範囲で個別に設定できます。推奨：22℃

選択した温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

温度を上げる

▷ **TEMP**ボタンを上方向に押してください。
設定温度がエアコン・ディスプレイに表示されます。

 インフォメーション

AUTO/SYNCボタンを押すと、設定温度の選択になります。

 インフォメーション

エアコン・システムは、設定温度を維持するために、常に最大能力で車内を冷房または暖房します。

このため、設定温度を一時的にお好みの温度より上げ下げしても、希望する温度に到達する時間は変わりません。

送風量の設定

ボタンの上部にあるエアコン・ディスプレイに設定した送風量がバーで表示されます。バーの数が多くなるほど、送風量が多いことを示しています。

送風量を多くする

▷ ボタンを上方向に押してください。

送風量を少なくする

▷ ボタンを下方向に押してください。

AUTO/SYNCボタンを押すと、オート・モードに切り替わります。

ボタンを押して送風量を最小にするとエアコン・ディスプレイに**OFF**と表示され、外気導入による送風が停止し、エアコン・コンプレッサーがOFFになります。

⚠ 警告 風量**OFF**による視界の妨げ

送風量を**OFF**にした状態では、ウィンドウが曇りやすくなります。

▷ ボタンを上方向に押してください（風量が増加します）。

送風口を手動で切り替える

▷ ボタンを押してください。
フロント・ウィンドウおよびサイド・ウィンドウへの送風を開始します。

▷ ボタンを押してください。
中央および左右エア・ベントからの送風を開始します。エア・ベントのダイヤルを回して、吹き出し口を開いてください。

▷ ボタンを押してください。
足元への送風を開始します。

ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

送風口の手動切り替えの解除

▷ インジケーター・ライトが点灯している（手動で切り替えた）送風口切り替えボタンを再度押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
または
AUTO/SYNCボタンを押してください。
送風量、送風口が自動的に制御され、差異が補正されます。

間接ベンチレーション・パネル

2ゾーン・オート・エアコン装備車のダッシュボード上にある間接ベンチレーション・パネルは、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイの設定で個別にON/OFFを切り替えることができます。
室内へのエアの流れが和らぎます。
エアコン・システムは、間接ベンチレーション・パネルからの送風量を自動調節します。

エア・ベント

ダッシュボードにはエア・ベントがあり、手動で開閉することができます。送風方向も調節可能です。

○ 吹き出し口を開く

▷ エア・ベントのロータリー・ノブを右に回してください。

● 吹き出し口を閉じる

▷ エア・ベントのロータリー・ノブを左に回してください。

インフォメーション

▷ エアコン機能を最適にするためには、冬季はセンター・エア・ベントを閉じ、手を温めるなど必要な場合にのみ開くことをお勧めします。

送風方向の調節

▷ ルーバー角度を調節して希望の方向に風を送ることができます。

マルチファンクション･ディスプレイでのエアコン設定

(2ゾーン・エアコン装備車)

エアコン・システムに関係する機能をマルチファンクション･ディスプレイで設定することができます。

マルチファンクション･ディスプレイでのエアコン設定機能に関するインフォメーション：

▷ 「エアコン設定」(102ページ) を参照してください。

風量

オート・モードでは3段階で送風の強さを調節できます：

– **「弱」**：
  エア・ベントからの送風が和らぎます。
  空気の流れに敏感な乗員に適しています。
– **「標準」**：
  標準の設定です。
– **「強」**：
  室内への送風が強くなります。
  風の流れをはっきりと感じられるようになります。

間接ベンチレーション・パネル

▷ ダッシュボード上にある間接ベンチレーション・パネルは、ON/OFFを切り替えることができます。

自動内気循環モード

▷ 自動内気循環モードはON/OFFを切り替えることができます。

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター

リヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーターは、エンジン作動中にのみ操作できます。

ONにする

▷ [ヒーター・ボタン]ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

外気温度によって、約5～20分後にヒーターのスイッチが自動的にOFFになります。

▷ ボタンを再び押すとヒーターはONに戻ります。

OFFにする

▷ [ヒーター・ボタン]ボタンを押してください。
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

バッテリーの充電状態が著しく悪化した場合、最初にリヤ・ウィンドウ・ヒーター/ドア・ミラー・ヒーター機能が制限され、その後OFFになります。

ウィンドウ

パワー・ウィンドウ 58

パワー・ウィンドウ

⚠ 警告 ウィンドウの開閉

ウィンドウを開閉するときは、作動中のウィンドウと車両の固定部分の間に身体の各部が挟まれないように十分注意してください。特にワンタッチ作動で閉じるときは十分に注意してください。

▷ ウィンドウを開閉するときは乗員がケガをしないように十分注意してください。

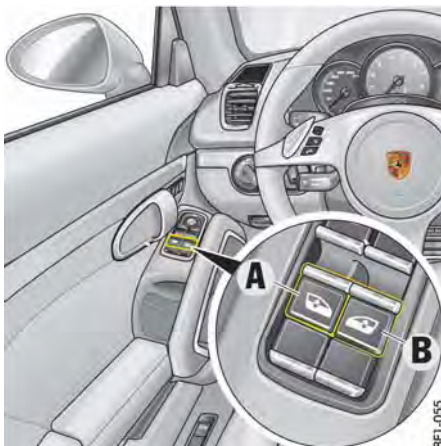
▷ 車両から離れるときは必ずイグニッション・キーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。車両から離れるときは、必ずキーを携行してください。乗員がパワー・ウィンドウを誤って操作し、ケガをする恐れがあります。

▷ 危険が生じたときは、直ちにキーのボタンを放してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、直ちにドア・ハンドルのボタンを放してください。

▷ お子様のみを車内に残さないでください。

パワー・ウィンドウの作動条件

次の条件下で、パワー・ウィンドウを開閉することができます：

– イグニッションがONのとき
– イグニッションをOFFにしてから最大10分以内で、運転席ドアまたは助手席ドアを最初に開くまで
  ドア・ウィンドウのワンタッチ操作はイグニッションがONのときのみ作動します。

A - 運転席のパワー・ウィンドウ
B - 助手席のパワー・ウィンドウ

ウィンドウの開閉

スイッチによるウィンドウ開作動

▷ ウィンドウがお好みの位置になるまで**ウィンドウのスイッチを押してください。**

スイッチによるウィンドウ閉作動

▷ ウィンドウがお好みの位置になるまで**ウィンドウのスイッチを引いてください。**

インフォメーション

スイッチには2段階の作動位置があります。この2段階の作動位置は、スイッチを操作する際にはっきりと感じ取れます。

– **1段目 – 手動操作**
  スイッチを1段目まで動かすと、ウィンドウは手動操作で開閉します。
  スイッチを放すとウィンドウが止まります。
– **2段目 – ワンタッチ操作**
  スイッチを2段目までいっぱいに動かすと、ウィンドウは自動的に開閉します。
  ウィンドウをお好みの位置で停止させたいときは、もう1回スイッチを操作してください。

インフォメーション

ウィンドウを閉じるときに作動が妨げられると、ウィンドウが止まった後、再び数センチ下がり、挟み込みを防止します。

ウィンドウの作動が約10秒以内に2回妨げられると、そのウィンドウのワンタッチ操作ができなくなります。

ウィンドウは手動操作で閉じることができます。このときウィンドウは最大の力で閉じます。

ワンタッチ操作を再度有効にするには、ウィンドウを手動操作で1回完全に閉じてください。

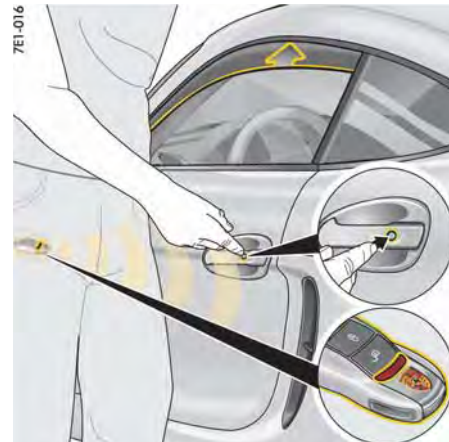
⚠ 警告 ウィンドウの手動閉操作

ワンタッチ操作時にウィンドウが抵抗を感じて無効になった後、手動閉機能を使用してウィンドウを閉じると、最大の力で閉じようとします。

▷ ウィンドウを閉じるとき、乗員がケガをしたり、挟まれたり、圧迫されたりしないことを確認してください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車

キーによるウィンドウの閉操作

▷ ウィンドウが希望の位置になるまでキーのロック・ボタンを押し続けてください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車

ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）

▷ 車両をロックするときにウィンドウが希望の位置になるまで、ドア・ハンドルのボタンを押し続けてください。

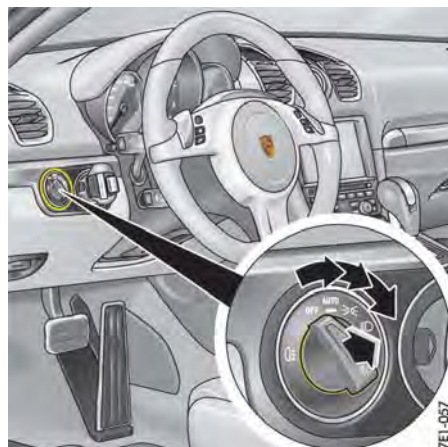
バッテリー接続後のウィンドウ停止位置の保存

バッテリーを外したり、再接続したりしたときは、ウィンドウの停止位置が消去されます。ウィンドウのワンタッチ操作が無効になります。

すべてのウィンドウで以下の作業を行ってください：

1. ロッカー・スイッチを引いて、**1回**ウィンドウを完全に閉じてください。
2. ウィンドウが完全に閉じた後、ロッカー・スイッチを再度短く**3回**引き上げてください。
3. ロッカー・スイッチを押して、**1回**ウィンドウを完全に開いてください。

ライト、方向指示灯、フロント・ワイパー

ライト・スイッチ 61
インストルメント・ライト 64
方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・
レバー /パーキング・ライト・スイッチ 64
ハザード・ライト 65
インテリア・ライト/読書灯 66
概要 – フロント・ワイパー 67
フロント・ワイパー /ウォッシャー・
レバー 68

☼ ## ライト・スイッチ

OFF **ライト消灯**
イグニッションがONのとき、デイタイム・ドライビング・ライト＊が点灯します。

AUTO **オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント**

車幅灯
ライセンス・ライト、インストルメント・ライト、デイタイム・ドライビング・ライト＊が消灯します。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト
イグニッションがONのときのみ。
フォグ・ライトおよびモーターウェイ・ライトが消灯します。

リヤ・フォグ・ライト
ロー・ビーム位置でスイッチを引いてください。インジケーター・ライトが点灯します。

 インフォメーション

灯火類が点灯した状態でキーを抜いてドアを開くと、警告音が鳴り、バッテリー上がりを防止します。
– 各国の法律等に準拠して、ライトの仕様が異なる場合があります。

気温と湿度により、車両のエクステリア・ライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

ロー・ビーム/ドライビング・ライト

ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、次の状況でヘッドライト・ロー・ビームが自動的に点灯します：
– 夕暮れ時
– 夜間
– トンネル内走行時
– 雨天時
– 高速走行（ポルシェ・ダイナミック・ライト・システムPDLS装備車）

ロー・ビームの点灯時には、スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

 インフォメーション

オートマチック・ヘッドライトは、霧を感知することができません。
▷ 霧が発生したときは、手動でドライビング・ライトを点灯させてください。

デイタイム・ドライビング・ライト＊

イグニッションがONの状態で、ライト・スイッチを**OFF**の位置（ライト消灯）にすると、デイタイム・ドライビング・ライト＊が自動的に点灯します。
ライト・スイッチを**AUTO**の位置に設定した場合、イグニッションがONおよび周囲が明るい状態で、デイタイム・ドライビング・ライト＊が自動的に点灯します。
▷ ライト・スイッチが（ヘッドライト・ロー・ビーム/ドライビング・ライト）の位置にあるときは、デイタイム・ドライビング・ライト＊は点灯しません。

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントはコンフォート機能の1つです。この車両のドライビング・ライト（ロー・ビーム）は、周囲の明るさに応じて自動的に点灯/消灯します。
オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントは、デイタイム・ドライビング・ライト＊、ロー・ビーム、オートマチック・カミングホーム・ライト、およびダイナミック・コーナリング・ライト（装備仕様による）の作動も制御します。
ライト・スイッチを**AUTO**の位置にすると、オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタントが作動します。
なおドライビング・ライト・アシスタントを作動させていても、法律等を遵守し、ライト・スイッチの手動操作によってドライビング・ライトを点灯/消灯することは運転者の責務です。ドライビング・ライト・アシスタント機能によるヘッドライトの点灯は、運転者を支援するためのものであり、ドライビング・ライトの操作は運転者が正しく行わなければなりません。

⚠ 警告 無灯火での走行

ライトを点灯しないで走行するとドライバーの視界を大きく制限するのみでなく、他のドライバーに対する視認性を大きく妨げることになります。
▷ オートマチック・ドライビング・ライトの作動状況を常に監視してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

オートマチック・ドライビング・ライト・アシスタント/ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)が故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点灯します。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトに関するインフォメーション：

▷ 「インストルメント・パネル」(72ページ)を参照してください。

雨天時の作動

ワイパーを連続作動に切り替えてから5秒が経過すると、ドライビング・ライトが自動的に点灯します。

その後、ワイパーを停止してから約4分が経過すると、ドライビング・ライトが消灯します。

オートマチック・カミング・ホーム・ライト（ウェルカム・ホーム機能/エントリー機能）

オートマチック・カミング・ホーム・ライトをONにする

▷ ライト・スイッチをAUTOにしてください。

一定時間、次のライトが点灯したままになり、車両に乗降するときの足元を明るく照らして安全性を高めます：

– デイタイム・ドライビング・ライト＊
– ドア・ミラーのカーテシー・ライト（電動格納式ドア・ミラー装備車）
– リヤの車幅灯
– ライセンス・ライト

ウェルカム・ホーム機能（遅延消灯）

車両をロックすると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、ライトが点灯したままになり、遅延消灯時間が経過すると自動的に消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「エクステリア・ライトの設定」(99ページ)を参照してください。

エントリー /イグジット機能

車両をロック解除すると、マルチファンクション・ディスプレイで設定した遅延消灯時間の間、車両の周囲が照らされます。

イグニッションをONにするか、またはライト・スイッチをAUTOの位置以外に設定すると、ライトが消灯します。

エクステリア・ライトの遅延消灯時間設定に関するインフォメーション：

▷ 「エクステリア・ライトの設定」(99ページ)を参照してください。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)

ライト・スイッチをAUTOの位置にすると、ダイナミック・コーナリング・ライトおよび夜間の高速道路機能が作動します。

ダイナミック・コーナリング・ライト

約8km/h以上の速度で走行している場合、そのときの速度やステアリグ・ホイールの切れ角によって、コーナーの先に向けてロー・ビームが向きを変え、進行方向の路面を照らします。

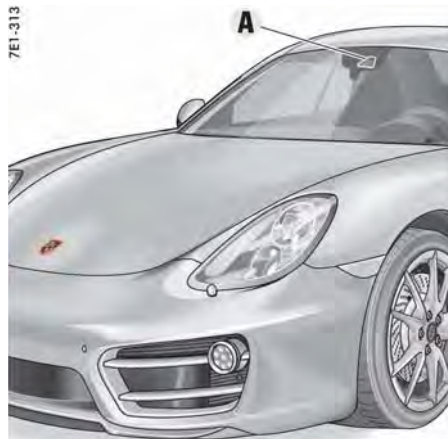
ダイナミック・コーナリング・ライトが故障した場合、インストルメント・パネルのPDLS警告灯が点滅します。

夜間の高速道路走行時の作動

夜間は速度が約130km/hを超えるとドライビング・ライトの配光特性が変化します。
このときドライビング・ライトは、より遠くが見渡せるように照射距離を長くします。

フォグ・ライト

速度が約70km/h以下でフォグ・ライトが点灯している場合、ドライビング・ライトの配光特性が変化します。
このときドライビング・ライトは、眩しさを抑えるように照射され、より広範囲が見えるように照射エリアが広がります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus)

ダイナミック・ハイ・ビーム

ダイナミック・ハイ・ビーム装備車では、ルーム・ミラー付近に取り付けられたカメラ**A**で前方の走行車および対向車の光源を検知し、ドライビング・ライトの遮光ポイントをハイ・ビームからロー・ビームの間で段階的に調節します。ドライビング・ライトの遮光ラインは、検出された車両が認識できるように調節されます。

周囲が暗い状態で以下の条件が揃うと、この機能が作動します：

– ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
– 速度が約60km/h以上
– インストルメント・パネルのマルチ・ファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイ・ビームが作動するように設定している
「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」(99ページ）を参照してください。
– ダイナミック・ハイ・ビームがONになっている
「ヘッドライト・パッシングを作動する」(65ページ）を参照してください。

市街地走行時にハイ・ビームに切り替わらないようにするため、ダイナミック・ハイ・ビームは約35km/h以下の速度では作動しません。

また、カメラが複数の街路灯を検出した場合も自動的にハイ・ビームからロー・ビームに切り替わります。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ）を参照してください。

⚠ 警告 集中力の低下

ダイナミック・ハイ・ビームを過信せず、走行時の周囲の明るさ、視界、交通状況に応じてハイ・ビームを手動で調節し、責任ある運転を心がけてください。このシステムはドライバーの代わりになるものではありません。次のような場合には手動での設定が必要になることがあります：

– 雨、霧、雪、氷、または多量の水しぶきなどの悪天候時
– 対向車を確認しにくい道路（高速道路など）
– 明るさが弱いライトの他車（自転車など）が走行している場合
– 急カーブ、起伏の激しい路面、坂道
– 明かりが少ない市街地
– 光を強く反射する物体（看板など）がある道路
– フロント・ウィンドウのカメラの視界が曇り、汚れ、凍結、またはステッカーで覆われている

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。
▷ 必要な場合、ハイ・ビームを周囲の明るさ、視界、交通状況に合わせて手動で調節してください。

i インフォメーション

▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラー上のカメラの周囲（図を参照）をステッカーなどで塞がないでください。
▷ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」(198ページ）を参照してください。

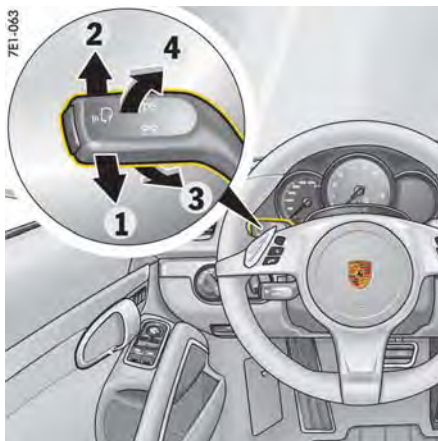
インストルメント・ライト

ライト・センサーにより、周囲の明るさによって、照明が自動的に調節されます。
更に、車両のライト・スイッチがONのときはインストルメント・パネルおよびスイッチの照明を手動で調節することができます。

▷ 調節ボタン**A**を、お好みの明るさになるまで左右どちらかに回して保持してください。

⚠ 警告 走行中の輝度の調節

運転中に明るさ調節を行うと、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 運転中にステアリング・ホイールのスポークの間からボタンを押さないでください。

方向指示灯/ハイ・ビーム/パッシング・レバー/パーキング・ライト・スイッチ

方向指示灯、ロー・ビームおよびハイ・ビームは、イグニッションがONの状態で操作できます。

1 – 方向指示灯、左
2 – 方向指示灯、右
3 – ハイ・ビーム、ダイナミック・ハイ・ビーム
4 – ヘッドライト・パッシング

操作レバー中央位置 - ロー・ビーム

方向指示灯

▷ 操作レバーを下方向1または上方向2に抵抗を感じる位置を超えて動かしてください。
方向指示灯は、操作レバーを手動で初期位置に戻すか、ステアリング・ホイールを回したときに自動的に初期位置に戻るまで、作動したままになります。

▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを下方向**1**または上方向**2**に動かしてください。
方向指示灯が3回点滅します。

ハイ・ビーム・ヘッドライト

点灯/消灯（ダイナミック・ハイ・ビーム非装備車）

▷ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビームを作動させるには、次の条件を満たさなければなりません：

– 夜間
– ライト・スイッチの**AUTO**位置が選択されている
– 速度が約60km/h以上
– インストルメント・パネルのマルチ・ファンクション・ディスプレイでダイナミック・ハイ・ビームが作動するように設定している
「ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止」（99ページ）を参照してください。

▷ **作動**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に1回動かしてください。
スピードメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。ロー・ビームとハイ・ビームの間で段階的に配光が自動調節されます。
ハイ・ビームの一時的な点灯時または完全な点灯時には、タコメーターのインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **停止**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。
タコメーターのインジケーター・ライトが点灯している場合のみダイナミック・ハイ・ビームを停止できます。

点灯/消灯(ダイナミック・ハイ・ビーム装備車)

ダイナミック・ハイ・ビームを停止した場合、または条件が満たされなかった場合、ハイ・ビームは手動操作で点灯および消灯できます。

以下の条件を満たさなければなりません：

– 夜間
– ライト・スイッチのAUTO位置が選択されている

▷ **点灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを前方向**3**に2回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが点灯します。

▷ **消灯**：抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。

ヘッドライト・パッシングを作動する

▷ 抵抗を感じる位置まで操作レバーを手前**4**に1回動かしてください。
タコメーター内のインジケーター・ライトが短時間点灯します。

ダイナミック・ハイ・ビームに関するインフォメーション：

▷ 「ダイナミック・ハイ・ビーム」(63ページ)を参照してください。

パーキング・ライト

パーキング・ライトは、イグニッションがOFFのときのみ点灯します。

▷ 操作レバーを上方向**2**または下方向**1**に動かすと右または左側のパーキング・ライトが点灯します。

パーキング・ライトが点灯した状態でイグニッションをOFFにすると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**パーキングライトオン**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

ハザード・ライト

ハザード・ライトはイグニッションの位置に関係なくONにできます。

ON/OFF

▷ センター・コンソールのハザード・ライト・ボタンを押してください。

すべての方向指示灯とボタンのインジケーター・ライトが点滅を開始します。

ハザード・ライトを長時間作動させた場合、ライトを保護するため、ライトの点灯時間が短くなります。

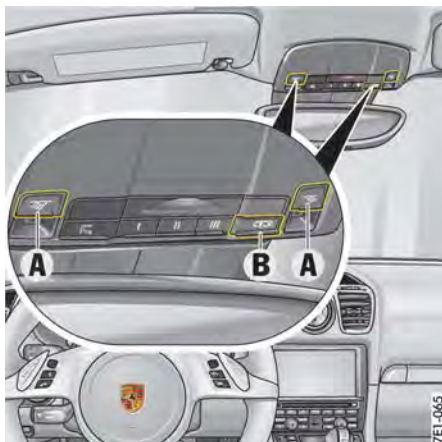
急制動時のハザード・ライトの自動点滅機能

約70km/h以上の速度で走行中、目前に渋滞の最後尾が現れたときなど、停車するために急ブレーキをかけると、制動中にブレーキ・ライトが点滅し、車両が停車後にハザード・ライトが自動的に作動します。

▷ センター・コンソールのボタンを押して、ハザード・ライトを停止させてください。
車両が動き出すと、ハザード・ライトが自動的に停止します。

衝突時のハザード・ライトの自動点滅機能

衝突時、ハザード・ライトが自動的に作動します。

▷ ハザード・ライトを停止するためには、イグニッションをOFFにした後、再度イグニッションをONにしてください。

A - インテリア・ライト/読書灯用ボタン
B - インテリア・ライト/読書灯の自動点灯/消灯

インテリア・ライト/読書灯

インテリア・ライト/読書灯

インテリア・ライト/読書灯の点灯/消灯

▷ ボタン**A**を押してください。

減光（明るさを調節する）

▷ ボタン**A**を希望の明るさになるまで少なくとも1秒間押し続けてください。

インテリア・ライト/読書灯の自動点灯/消灯

装備仕様により、インテリア・ライト/読書灯は**ボタンB**または**マルチファンクション・ディスプレイ**のメニューから点灯/消灯することができます。

ボタンBを使用する：

▷ ボタン**B**を押してください。

インテリア・ライト/読書灯の自動点灯機能がOFFの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

インテリア・ライトの自動点灯機能をONにすると、周囲が暗いときに次のように作動します。

– **以下の場合点灯します**：ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはイグニッション・キーをイグニッション・ロックから抜いたとき
– **以下の場合消灯します**：両方のドアを閉じたとき、約120秒の遅延後
この遅延消灯時間は、マルチファンクション・ディスプレイで変更できます。
イグニッションをONにしたときや、車両をロックしたときは、直ちにインテリア・ライトが消灯します。

▷ 「インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する」（100ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイでの操作：

ドアをロック解除したとき、開いたとき、またはイグニッション・キーをイグニッション・ロックから抜いたときに、インテリア・ライト/読書灯を点灯させるか、または消灯したままにするかをマルチファンクション・ディスプレイで設定することができます：

▷ 「ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効（装備仕様による）」（100ページ）を参照してください。

両方のドアを閉じた際のインテリア・ライト/読書灯の遅延消灯時間をマルチファンクション・ディスプレイで設定することができます：

▷ 「インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する」（100ページ）を参照してください。

インテリア・ライト/読書灯の消灯によるバッテリーの保護

周囲が暗いときは、バッテリー上がりを防止するためにエンジンを停止してから16分後にインテリア・ライトが消灯します。

周囲が明るいときは、インテリア・ライトを手動で点灯した後、1分が経過すると自動的に消灯します。

オリエンテーション・ライト

ルーフ・コンソールおよびイグニッション・ロック部のライトにより、周囲が暗いときに車両の主要な装備の位置を照らして乗降性を高めます。これらのライトは車両のロックを解除したときに点灯し、車両をロックすると自動的に消灯します。

減光（明るさを調節する）

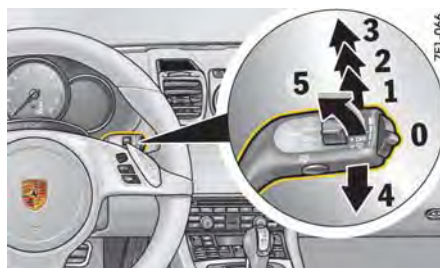
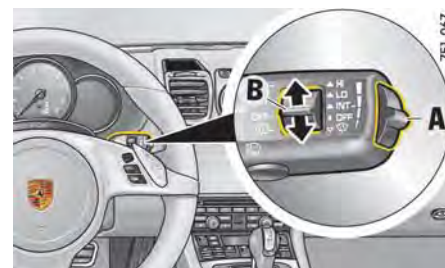
オリエンテーション・ライトの明るさはマルチファンクション・ディスプレイで調節できます。

▷ 「オリエンテーション・ライトの明るさを調節する」（100ページ）を参照してください。

アンビエント・ライト

夜間の運転中、控えめな明るさのライトが車内をやわらかく照らします。アンビエント・ライトは、車両をロックすると自動的に消灯します。

概要 – フロント・ワイパー

この概要説明は後述の「フロント・ワイパー / ウォッシャー・レバー」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

フロント・ワイパー操作レバー

レイン・センサー /間欠作動感度のスイッチ(**A**)およびリヤ・ワイパーのスイッチ(**B**)

運転者が何をしたいか？	その操作方法は？
フロント・ワイパー・オート作動（レイン・センサー /間欠作動）	操作レバーを**1**の位置にしてください。
レイン・センサー /間欠作動の感度設定	操作レバー右部のスイッチ**A**を上（作動回数が増える）または下（作動回数が減る）方向に動かして調節してください。
フロント・ワイパー作動	低速：操作レバーを**2**の位置にしてください。 高速：操作レバーを**3**の位置にしてください。 ワンタッチ：操作レバーを**4**の位置に短く押してください（**4**の位置で保持すると、ワイパーの動きが速くなります）。
フロント・ワイパー &ウォッシャー作動	操作レバーをステアリング・ホイール方向**5**に引いて、保持してください。
リヤ・ワイパー（間欠作動）	操作レバーのスイッチ**B**を上方向**INT**位置まで押してください。
リヤ・ワイパー（ワンタッチ）	スイッチ**B**を上または下方向にいっぱいに押してください。

フロント・ワイパー/ウォッシャー・レバー

⚠ 注意 ワイパーの不意の作動

レイン・センサー・モードでは、フロント・ウィンドウに水滴を検出すると自動的にワイプ作動を行います。
▷ （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、フロント・ウィンドウを清掃する前に必ずワイパーをOFFにしてください。

知識

フロント・ウィンドウ、リヤ・ウィンドウ、およびワイパー・システムを損傷する恐れがあります。
▷ フロント・ウィンドウが十分に濡れた状態でワイパーを作動させてください。乾いた状態での使用はウィンドウの擦り傷の原因になります。
▷ 運転前にワイパーの凍結を溶かしてください。
▷ 凍結時はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
▷ （レイン・センサー機能により）不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずフロント・ワイパーをOFFにしてください。
▷ 洗車機での洗車中はヘッドライト・ウォッシャーを操作しないでください。
▷ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。
▷ ワイパー・ブレードを交換する場合は、左右でワイパー・ブレードの長さが異なるので注意してください。

フロント・ワイパーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システム

フロント・ワイパー

0 – フロント・ワイパー OFF
フロント・ワイパーをOFFにすると、ワイパー・アームが静止位置からわずかに上方に動きます。この動きにより、ワイパー・ブレードのウィンドウ接触面の向きを整えます。

1 – レイン・センサー/間欠作動
▷ ワイパー・レバーを1段目の位置まで上方向に押してください。

2 – フロント・ワイパー低速
▷ ワイパー・レバーを2段目の位置まで上方向に押してください。

3 – フロント・ワイパー高速
▷ ワイパー・レバーを3段目の位置まで上方向に押してください。

4 – フロント・ワイパーのワンタッチ作動
▷ ワイパー・レバーを下方向に押してください。
フロント・ワイパーが1回作動します。

5 – ワイパー/ウォッシャー・システム
▷ ワイパー・レバーをステアリング・ホイールの方向に引いてください。
レバーを手前に引いている間、ウォッシャー・システムとワイパーが作動します。
レバーを放すとウォッシャー・システムが停止し、その後ワイパーが数回作動します。
フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。

インフォメーション
▷ 汚れが激しい場合はウォッシャーを繰り返し作動させてください。
▷ 頑固な汚れ（昆虫の死骸など）は定期的に清掃してください。

車両のお手入れに関するインフォメーション：
▷ 「車両のお手入れ」（198ページ）を参照してください。

良好な視界を確保するためには、ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことが不可欠です。
▷ 「ワイパー・ブレード」（194ページ）を参照してください。

ワイパー・ブレードの交換
▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向**4**に押してください。
ワイパーが上方に約45°移動します。

ワイパーの作動間隔/レイン・センサー感度の調節

レイン・センサー非装備車では、ワイパーの作動間隔を4段階で調節することができます。

間隔を短くする

▷ スイッチ**A**を上方向に操作してください。フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

間隔を長くする

▷ スイッチ**A**を下方向に操作してください。

レイン・センサーの作動（フロント・ワイパー）

レイン・センサーが作動すると、フロント・ウィンドウに付着する水滴の量を感知して、ワイパーの作動速度を自動調節します。ワイパーの作動間隔は、状況に応じて自動的に調節されます。

フロント・ワイパーをONにしているときに速度が約4km/h以下になると、レイン・センサーが自動的に作動します。速度が約8km/hを超えると、ワイパーの動きがレバーで設定した速さに復帰します。

インフォメーション

– イグニッションをONにしたときに、すでにワイパー・レバーが**1**の位置にある場合、速度が約4km/h以上になるとレイン・センサーが作動します。
– イグニッションをONにしたとき、すでにワイパー・レバーが**2**または**3**の位置にある場合、ワイパー・レバーを操作するまでレイン・センサーは作動しません。

インフォメーション

トランク・リッドを開くとワイパーが停止します。

トランク・リッドを閉じた後、ワイパー・レバーを操作してワイパーを再びONにしてください。

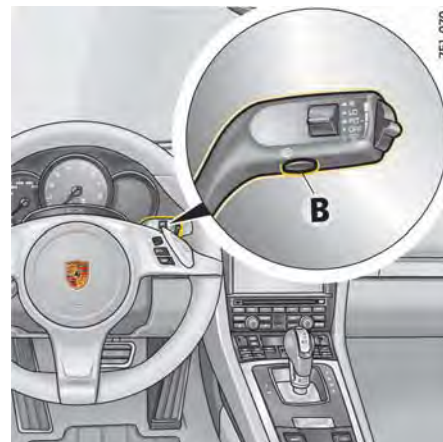
レイン・センサー感度の調節

▷ スイッチ**A**を**上方向**に動かしてください – センサー感度が**高くなります**。
フロント・ワイパーが1回ワイプ作動を行い、感度が切り替わったことを知らせます。

▷ スイッチ**A**を**下方向**に動かしてください – センサー感度が**低くなります**。

マルチファンクション・ディスプレイでのレイン・センサー自動作動の作動/解除

レイン・センサーの自動作動に関するインフォメーション：

▷ 「レイン・センサーの作動/解除」（100ページ）を参照してください。

ヘッドライト・ウォッシャー・システム（バイキセノン・ヘッドライトおよびPDLS/PDLS Plus装備車）

ヘッドライト・ウォッシャー・システムは、ロー・ビームまたはハイ・ビームを点灯しているときのみ作動します。

▷ ワイパー・レバーの下側のボタン**B**を押してください。

なお、フロント・ウィンドウのウォッシャーが10回作動するごとに、ヘッドライト・ウォッシャー・システムが自動的に作動します。ロー・ビームを消灯すると、フロント・ウィンドウ・ウォッシャーの作動回数カウントがリセットされ、再度ゼロからカウントします。

リヤ・ワイパー

リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする

▷ 操作レバーのスイッチ**C**を上方向**INT**位置まで押してください。

リヤ・ワイパーの間欠作動をOFFにする

▷ 操作レバーのスイッチ**C**を下方向**OFF**位置まで押してください。

ワイパー手動操作

▷ ワイパー・レバーのスイッチ**C**を下方向に押して**OFF**位置から動かす、または上方向に押して**INT** – **LO**、**HI** – 位置から動かし、保持してください。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動

雨天時やフロント・ワイパーを作動させているときにリバース（後退）ギヤを選択した場合に、リヤ・ワイパーが自動的に作動するかどうかをマルチファンクション・ディスプレイで切り替えることができます。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定に関するインフォメーション：

▷ 「リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定」（101ページ）を参照してください。

インストルメント・パネルおよびマルチファンクション・ディスプレイ

インストルメント・パネル 72
インストルメント・パネル・ディスプレイ ...73
バッテリー/オルタネーター 74
チェック・エンジン（エミッション・コントロール）..75
警告音 75
マルチファンクション・ディスプレイの操作 76
車両メニュー 80
オーディオ・メニュー＊ 83
電話メニュー＊ 83
地図メニュー＊ 84
ナビゲーション・メニュー＊ 84
トリップ・メニュー 85
タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）.......................................86
クロノ・メニュー（ストップウォッチ）.....92
ギヤ・シフト・アシスト・メニュー 94
G-Forceメニュー 95
ACCメニュー 95
制限速度メニュー＊ 95
マルチファンクション・ディスプレイの車両設定機能 95
警告と情報メッセージの概要 108

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネル

A　スピードメーター
B　タコメーター（回転計）
C　マルチファンクション・ディスプレイ
D　トリップ・メーター・リセット・ボタン/
　インストルメント・パネル明るさ調節ボタン
E　オドメーター（積算距離計）
F　デジタル・スピードメーター
G　シフトアップ・インジケーター
H　PDKトランスミッション：
　セレクター・レバー・ポジション・インジケーター
　PDKトランスミッション/マニュアル・トランスミッション：
　ギヤ・ポジション・ディスプレイ
I　フィラー・フラップ位置の表示
J　燃料計

タコメーターの警告灯およびインジケーター・ライト

エミッション・コントロール警告灯（チェック・エンジン）
エアバッグ警告灯
シートベルト警告灯
PSM警告灯
PSM OFF警告灯
ABS警告灯
方向指示灯、左
方向指示灯、右
ブレーキ警告灯
ハイ・ビーム・インジケーター・ライト
エレクトリック・パーキング・ブレーキ警告灯

スピードメーターの警告灯およびインジケーター・ライト

リヤ・フォグ・ライト・インジケーター・ライト
HOLD　HOLD機能インジケーター・ライト
ロー・ビーム・インジケーター・ライト
ダイナミック・ハイ・ビーム・インジケーター・ライト
PDLS警告灯
タイヤ空気圧警告灯

インストルメント・パネル・ディスプレイ

A – スピードメーター

インストルメント・パネルのタコメーターの左横にアナログ表示のスピードメーター**A**があります。

B – タコメーター（回転計）

タコメーターの目盛りが赤色の部分は、エンジン回転数の許容上限を示しています。

加速中に指針がレッド・ゾーンに達すると、エンジンを保護するために燃料供給が遮断されます。

C – マルチファンクション・ディスプレイ

マルチファンクション・ディスプレイに関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（76ページ）を参照してください。

D – トリップ・メーター・リセット・ボタン/インストルメント・パネル明るさ調節ボタン

トリップ・メーターのリセット

▷ ロータリー・スイッチ**D**を約1秒間押してください。
トリップ・メーターが「0」に戻ります。

インストルメント・ライトの明るさ調節

インストルメント・ライトの明るさ調節に関するインフォメーション：

▷ 「インテリア・ライト/読書灯」（66ページ）を参照してください。

E – オドメーター（積算距離計）

総走行距離計（オドメーター）および区間走行距離計（トリップ・メーター）がスピードメーター内にあります。

ディスプレイの上段は総走行距離を表示し、下段は区間走行距離を表示しています。

トリップ・メーターの最大表示値は9,999kmで、それを超えると「0」に戻ります。

F – デジタル・スピードメーター

インストルメント・パネルのタコメーター内にデジタル表示のスピードメーター**F**があります。

G – シフトアップ・インジケーター

タコメーター内のデジタル・スピードメーター右横にあるシフトアップ・インジケーターは、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▷ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

H – PDKセレクター・レバー・ポジション・インジケーター

エンジン作動中は、セレクター・レバー**D**または**M**の位置が表示されます。

警告メッセージ

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

– 影響：
インストルメント・パネルの該当するセレクター・レバー・ポジションが点滅し、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**ギヤセレクターを正しい位置にシフトしてください**」が表示されます。

– 処置：
フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

トランスミッションに故障が発生した場合

– 重要度に応じて、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」または「**T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能**」または「**T/M温度 高すぎる 負荷を下げる**」が表示されます。

「T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能」

– 影響：
スムーズな変速ができなくなり、リバース・ギヤに入らないことがあります。

– 処置：
ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

「T/M故障 安全に停車してください」

– 影響：
次に停車するまでは走行が可能です。
– 処置：
そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。車両をけん引しなければならない場合は：
「けん引」(234ページ)を参照してください。

「T/M温度 高すぎる 負荷を下げる」

– 影響：
車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。
– 処置：
例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。
▷ 「走行制限プログラム」(158ページ) を参照してください。

PDKトランスミッション/マニュアル・トランスミッション・ギヤ・ディスプレイ

エンジン作動時、ディスプレイには現在締結されているギヤが表示されます。

J – 燃料計

燃料計はイグニッションがONのときに燃料の残量、および設定によっては燃料残量での走行可能距離を示します。

燃料計の設定に関するインフォメーション：
▷ 「燃料計の表示変更」(98ページ) を参照してください。

燃料の品質および給油量に関するインフォメーション：
▷ 「充填容量」(247ページ) を参照してください。

燃料および給油に関するインフォメーション：
▷ 「燃料の給油」(196ページ) を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

燃料残量警告灯

タンク内の燃料残量が約10リットルを下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯が点灯します。
▷ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。
▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。
▷ 警告灯が点灯した場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：
▷ 「エミッション・コントロール・システム」(195ページ) を参照してください。

バッテリー /オルタネーター

警告メッセージ

車両エレクトリカル・システムの電圧が著しく低下すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障ジェネレーター 停車して下さい**」が表示されます。
▷ 安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ) を参照してください。

考えられる原因

– バッテリー充電システムの故障
– ドライブ・ベルトの不具合

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

ドライブ・ベルトが破損すると、エンジン冷却システムが機能しません。
▷ 運転を続けないでください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

チェック・エンジン（エミッション・コントロール）

警告灯

エミッション・コントロール・システムは、排気ガス中の有害物質が増加する原因となるような故障や、それに起因した損傷が引き起こされる前に、排気に関連するシステムの不具合を検出します。

不具合が検出されると、インストルメント・パネルの警告灯が点灯または点滅します。

また不具合の内容が、コントロール・ユニットのフォルト（故障）メモリーに保存されます。

インストルメント・パネルの警告灯は、イグニッションをONにするとバルブ切れチェックのために点灯し、エンジンが始動すると約1秒後に消灯します。

エミッション・コントロール・システムの部品が損傷する原因となるような作動状態（エンジンの失火など）が発生すると、警告灯が点滅します。

▷ このような場合、直ちにアクセル・ペダルから足を放し、エンジンにかかる負荷を小さくしてください。

エンジンやエミッション・コントロール・システム（触媒コンバーターなど）の損傷を避けるために：

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

アクセル・ペダルから足を放しても警告灯が点滅を続ける場合は、エミッション・コントロール・システムがオーバーヒートしている可能性があり、損傷する恐れがあります。

▷ 直ちに安全な場所に停車してください。
可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触しないよう注意してください。

▷ エンジンをOFFにしてください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

警告音

インストルメント・パネルには警告音を発するスピーカーが装備されています。

このスピーカーに不具合が生じると、マルチファンクション･ディスプレイに「**故障 音声出力 メーターパネル/フロントパークアシスタント 要修理**」の警告メッセージが表示されます。

このときは、スピーカーが警告音を発することができません。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの操作

車両の装備仕様により、様々な車両情報の確認、オーディオ（ラジオ、CD、iPodなど）やナビゲーション・システムの操作＊、オイル・レベルやタイヤ空気圧の点検、ストップウォッチの使用などが行えます。
更に、「**車両**」メニューでは車両の設定を変更することもできます。

この取扱説明書のみで、すべての機能を詳細に説明することはできません。ここではメニューの構成や、主な機能を例示し、操作方法をわかりやすく説明します。

⚠ 警告

運転中のマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの操作

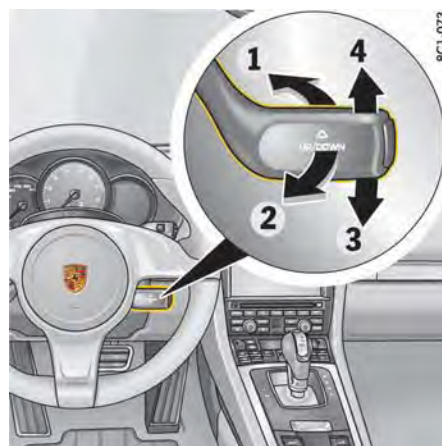
運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。
（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています。）

▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

マルチファンクション・ディスプレイ

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイはイグニッションがONのときのみ操作できます。
また、タイヤ空気圧モニタリング・システムの設定など一部のメニューは停車中のみ利用できます。

マルチファンクション・ステアリング・ホイール非装備車の基本操作

マルチファンクション・ディスプレイは、ステアリング・コラム右下にあるレバーで操作してください。

メニュー、機能、設定の選択

▷ レバーを下方向（**3**の位置）、または上方向（**4**の位置）に押してください。

選択の決定(Enter)

▷ レバーを前方（**1**の位置）に押してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

▷ レバーをステアリング・ホイールの方向（**2**の位置）に1回、または数回引いてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ステアリング・ホイール装備車の基本操作

マルチファンクション・ディスプレイは、ロータリー・ノブ**A**、バック・ボタン**B**および**MFS**ボタン**C**で操作してください。

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのファンクション・ボタンの機能」（46ページ）を参照してください。

メニュー、機能、設定の選択

▷ ロータリー・ノブ**A**を上方向または下方向に回してください。

選択の決定(Enter)

▷ ロータリー・ノブ**A**を押してください。

1つ前、または複数前のメニューに戻る

▷ ボタン**B**（バック・ボタン）を押してください。

MFSボタンのパーソナル設定＊

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)機能＊、CDR機能＊、またはマルチファンクション・ディスプレイ機能を、マルチファンクション・ディスプレイの**MFS**ボタンに割り当てることができます。初期設定ではオーディオ・ソースの選択に設定されています。

MFSボタンのパーソナル設定に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更＊」（106ページ）を参照してください。

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊およびCDR＊に関するインフォメーション：

▷ 取扱説明書（別冊）＊を参照してください。

A - 燃料計
B - タイトル・エリア/メニュー・インジケーター
C - インフォメーション・エリア
D - ステータス・エリア

マルチファンクション・ディスプレイの表示エリア

A – 燃料計

燃料計**A**はイグニッションがONのときに燃料の残量、および設定によっては燃料残量での走行可能距離を示します。

燃料計の設定に関するインフォメーション：

▷ 「燃料計の表示変更」（98ページ）を参照してください。

燃料の品質および給油量に関するインフォメーション：

▷ 「充填容量」（247ページ）を参照してください。

燃料および給油に関するインフォメーション：

▷ 「燃料の給油」（196ページ）を参照してください。

坂道などで車体の傾きが変化すると、燃料計の表示位置が少し変化することがあります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

燃料残量警告灯

タンク内の燃料残量が約10リットルを下回り、イグニッションがON、またはエンジンが作動している場合、マルチファンクション・ディスプレイの警告灯が点灯します。

▷ 最寄りの給油所で給油してください。

知識

燃料が不足した状態で走行を続けると、エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。

▷ 警告灯が点灯した場合は、カーブを曲がるときにスピードを出さないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：

▷ 「エミッション・コントロール・システム」（195ページ）を参照してください。

B – タイトル・エリア/メニュー・インジケーター

タイトル・エリア**B**には、現在選択しているメニュー項目が表示されます。

右側のメニュー・インジケーター（灰色のバー）には、選択可能な全メニューにおける現在のメニュー項目の位置および、選択できるメニュー項目の数が表示されます。
メニュー・インジケーターの幅が広いほど、選択できるメニュー項目の数が少ないことを意味します。

C – インフォメーション・エリア

インフォメーション・エリア**C**には、現在選択できるメニュー項目が表示されます。メニューを選択した後は、そのメニュー項目に関係する情報や、その他の選択肢が表示されます。

D – ステータス・エリア

ステータス・エリア**D**には、コンパス＊、時刻、外気温度、警告などの基本情報が表示されます。
ステータス・エリアに表示する項目は個別の設定ができます。

マルチファンクション・ディスプレイの設定に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの表示を変更する」（96ページ）を参照してください。

メイン・メニューからの機能の作動/サブ・メニューの表示/設定メニューへのアクセス

ロータリー・ノブ**A**を押す、またはステアリング・コラム右下のレバーを前方（**1**の位置）に押して、メイン・メニュー・エリアにかかわらず、その他の機能および設定オプションのメニューにアクセスしてください。

1. メイン・メニューを選択し、決定してください。
2. 機能、サブ・メニュー、設定オプションを選択し、決定してください。

項目数の多いリストの閲覧

PCM装備車で、数多くの登録情報がある電話帳/オーディオ・リストを閲覧するときは、頭文字で直接スキップすることができます。＊

▷ ロータリー・ノブ**A**を短く押してください。または、レバーを**3**または**4**の位置で保持してください。
頭文字を選択する画面が表示されます。

▷ 任意の頭文字を選択し、決定してください。
選択した頭文字ではじまる登録情報の、最初の項目にスキップします。

＊ 日本仕様に設定はありません。

仕様変更により画面表示がこの取扱説明書の内容と異なる場合がありますのでご了承ください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両メニュー

メイン・メニュー「**車両**」では、様々な車両情報を表示したり、車両設定を変更することができます。

1. メインメニュー：「**車両**」を選択してください。

車両情報の表示は、個別に設定ができます。

車両メニューの設定に関するインフォメーション：

▷「情報エリアの表示項目を変更する」（96ページ）を参照してください。

車両情報の表示

メイン・メニュー「**車両**」の下にあるサブ・メニュー「**情報**」では、未解決の警告メッセージ、近い将来のサービス間隔情報、平均燃費を呼び出すことができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
> 「**情報**」を選択し、決定してください。

メッセージの表示

現在のすべての警告メッセージや車両メッセージをマルチファンクション・ディスプレイに表示できます。
下部のステータス・エリアに表示される警告シンボル・マークは、未解決の警告メッセージの数を示しています。
複数の警告メッセージが未解決の場合、メッセージ・リストで閲覧できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
> 「**情報**」

2.「**メッセージ**」を選択し、決定してください。

サービス・インターバルの表示

走行距離カウンターが、次回のメンテナンス・サービス（点検）の時期を表示します。

1. メインメニュー：「**車両**」
> 「**情報**」

2.「**サービス間隔**」を選択し、決定してください。

3. 任意のサービス・インターバルを選択し、決定してください。

選択できるサービス・インターバル：
- 「**メンテナンス**」
- 「**中間メンテナンス**」
- 「**オイルサービス**」

エンジン・オイル・レベルの表示と測定

エンジン・オイル補充に関するインフォメーション：

▷ 「エンジン・オイルの補充」（193ページ）を参照してください。

知識

潤滑が不適切な場合、エンジンに損傷を与える恐れがあります。

▷ 毎回、給油する前にオイル・レベルを点検してください。

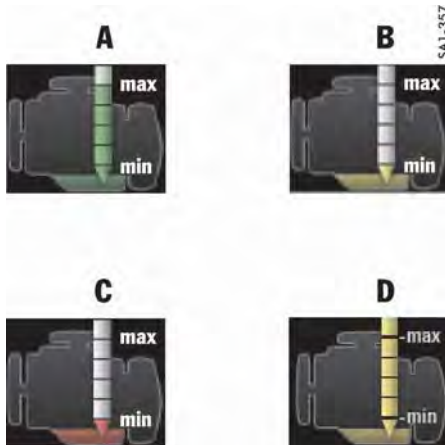
▷ オイル・レベルが下限マークを下回らないように注意してください。

オイル・レベルの測定条件：

1. 車両を平坦な場所に駐車してください。
2. エンジンが作動温度に達している状態でエンジンをOFFにしてください。
3. 約1分間お待ちください。
4. マルチファンクション・ディスプレイで「**オイルレベル**」機能を選択してください。

マルチファンクション・ディスプレイで「オイルレベル」機能を選択する

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**オイルレベル**」を選択し、
   決定してください。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

オイル・レベル表示例
A - 最高オイル・レベルに達している
B - 最低オイル・レベルに達している
C - オイル・レベルが下限を下回っている
D - オイル・レベルが上限を超えている

オイル・レベルの測定結果

オイル測定メニューでは、測定したオイル・レベルがセグメント（階層）で表示されます。

セグメントが最上部まで緑色で表示されている場合（イラスト**A**）は、オイル・レベルが上限(Max)まで達しています。

▷ セグメントが最上部まで表示されていない場合は、エンジン・オイルを補充してください。

最下部のセグメントが黄色で表示されている場合（イラスト**B**）は、オイル・レベルが下限(Min)まで低下しています。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**油量最低ライン オイル要充填**」が表示されます。

▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。

最下部のセグメントが赤色で表示されている場合（イラスト**C**）は、オイル・レベルが下限(Min)を下回っています。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**油量最低以下 要オイル充填 継続走行不可**」が表示されます。

▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。

エンジン・オイルの補充量

オイル・レベル・セグメント表示の下限(Min)と上限(Max)の差は約1.7リットルです。

▷ 上限(Max)を超えてエンジン・オイルを補充しないでください。

セグメントが上限まで黄色で表示されている場合（イラスト**D**）、エンジン・オイルが容量の上限を超えて補充されていることを意味します。オイル・レベルが上限を超えていると排気ガスが青白い色になり、過剰なオイルの量や外的要因によって、長期的には触媒コンバーターを損傷する原因になります。

オイルの補充量が多すぎたときは、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**油量上限超過 整備工場へ 継続走行可**」が表示されます。

▷ 次の機会にオイル量を適正に戻してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エンジン・オイル補充後、またはリヤ・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定

オイル・レベルは、エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間待った後測定可能になります。

エンジン冷間時にリヤ・リッドを開くと（エンジン・オイルを補充するためなど）、オイル・レベルが一定時間表示されません。

マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**現在オイルレベルへの情報信号は利用できません**」が表示されます。

▷ エンジン･オイルはエンジンが作動温度のときのみ補充してください。これによりオイル･レベル表示の待機時間が短くなります。

故障

オイル・レベル・インジケーターが故障すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可**」が表示されます。

制限速度の設定

マルチファンクション･ディスプレイで制限速度を設定して機能を作動させると、その速度を超えたときに警告メッセージが表示されます。例えば、装着しているタイヤの許容最高速度に合わせて制限速度を設定するなど、運転者に注意を喚起したいときに利用できます。

1. メインメニュー：「**車両**」 >「**制限**」を選択し、 決定してください。

制限速度の設定

1. メインメニュー：「**車両**」 >「**制限**」
2.「**制限1：---**」または 「**制限2：---**」を選択し、 決定してください。
3.「**実際の速度**」または 「**---**」を選択し、 決定してください。

現在の速度、または任意の速度を制限速度として設定できます。

速度制限機能の作動/解除

1. メインメニュー：「**車両**」 >「**制限**」
2.「**制限1：---**」または 「**制限2：---**」を選択し、 決定してください。
3.「**有効**」を選択してください。
4. 選択を決定してください。 ☑ 速度制限の作動 ☐ 速度制限の停止

車両設定の調節

「**設定**」サブ・メニューでは、様々な車両設定を変更できます。

車両設定の変更に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション･ディスプレイの車両設定機能」（95ページ）を参照してください。

オーディオ・メニュー＊

「**オーディオ**」メイン・メニューでは、設定状況に応じて「ラジオ局一覧」または「登録放送局リスト」から任意のラジオ放送局を選択できます。また、CDなど現在再生しているオーディオ・ソースの任意のトラックを選択できます。

1. メイン・メニュー：「**オーディオ**」を選択し、決定してください。
2. 任意の放送局または曲を選択し、決定してください。

オーディオ・メニューの調節に関するインフォメーション：

▷「オーディオ・メイン・メニューの表示項目を変更する＊」（96ページ）を参照してください。

電話メニュー＊

メイン・メニュー「**電話**」では、電話帳、最近の通話履歴、または着信履歴から電話番号を呼び出すことができます。

1. メイン・メニュー：「**電話**」を選択し、決定してください。

電話番号をダイヤルする

1. メインメニュー：「**電話**」
2. 「**Phonebook（電話帳）**」または「**Previous calls（発信履歴）**」または「**Received calls（着信履歴）**」を選択し、決定してください。
3. 任意の電話番号を選択し、決定してください。

着信を受ける

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Answer（応答）**」を選択し、決定してください。

着信を拒否する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Reject（拒否）**」を選択し、決定してください。

通話を終了する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**End call（通話終了）**」を選択し、決定してください。

複数の通話を同時に受ける

通話中に、別の相手と通話を開始できます。1つの電話から別の電話に切り替えることも、両方の相手と同時に通話することもできます。

別の相手と通話を開始する

通話中に次の操作をしてください：

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**New call（新しい通話）**」を選択し、決定してください。

2つの電話を切り替える

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Swap（切り替え）**」を選択し、決定してください。

両方の相手と通話する

1. メイン・メニュー：「**電話**」
2. 「**Conference（会議）**」を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

地図メニュー＊

メイン・メニュー「**地図**」では、ナビゲーション・システムの地図画面を表示し、変更することができます。

1. メインメニュー：「**地図**」を選択してください。

地図画面の変更

1. メイン・メニュー：「**地図**」を選択し、決定してください。
2. 「表示オプション」を選択し、決定してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 機能の作動
   ☐ 機能の停止

選択できる表示オプションの種類：

– 「**オートズーム**」
  現在地点から次の注意点までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に切り替わります。
– 「**3Dマップ**」
  3次元地図を表示します。
– 「**北向き**」
  常に地図の上方が北になります。

地図の縮尺を切り替える

地図の縮尺を自由に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**地図**」
   >「**ズーム 手動**」を選択し、
   決定してください。
2. 任意の縮尺を選択し、決定してください。

現在地または目的地を表示する

現在地または目的地を地図上で拡大表示できます。

1. メイン・メニュー：「**地図**」
2. 「**目的地を表示**」または「**現在地を表示**」を選択し、決定してください。

ナビゲーション・メニュー＊

メイン・メニュー「**ナビ**」では、ナビゲーション目的地の入力、ルート案内の開始、ルート上のナビゲーション情報の呼び出しができます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」選択し、決定してください。

ナビゲーション目的地の入力

マルチファンクション・ディスプレイでナビゲーションの目的地を入力できます。
ここでは、過去にルート案内した目的地のリスト、POI情報のリスト、または登録されている目的地からの選択のみができます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
   > 「**Destination input（目的地入力）**」
2. 「**最終目的地**」または
   「**Stored destination（保存された目的地）**」
   または「**POI（POI情報）**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意のナビゲーション目的地を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ルート案内の開始

ルート案内を停止した状態で新しい目的地を入力した場合、新しい目的地へのルート案内を開始できます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
2.「**Start route guidance（ルート案内の開始）**」を選択し、決定してください。

ルート案内の停止

実行中のルート案内を停止できます。

1. メイン・メニュー：「**ナビ**」
2.「**Stop route guidance（ルート案内の停止）**」を選択し、決定してください。

8FB_805

トリップ・メニュー

メイン・メニュー「**トリップ**」では、以下のドライビング･データの呼び出しとリセットができます。

– 走行時間
– 走行距離
– 平均燃費
– 平均車速

1. メインメニュー：「**トリップ**」を選択してください。

ドライビング・データを表示する

3種類のドライビング･データが利用できます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」
2.「**1 – Since（最新）**」または 「**2 – Total（累積）**または 「**3 – To destination（目的地まで）**」＊ を選択し、決定してください。

選択できるドライビング・データの種類：

– 「**Since（最新）**」
  現在運転中のドライビング・データです。イグニッションOFFで2時間以上停車すると、ドライビング･データが自動的にリセットされます。
– 「**Total（累積）**」
  累積したドライビング・データです。
  手動でリセットするまでデータが蓄積されます。イグニッション･キーを抜いてもデータがリセットされません。
– 「**To destination（目的地まで）**」
  ナビゲーション目的地までのドライビング・データです。
  ルート案内を開始すると目的地までのドライビング・データが計算され、表示されます。

ドライビング･データをリセットする

選択したドライビング･データをリセットできます。

1. メイン・メニュー：「**トリップ**」
2. 任意のドライビング・データを選択し、決定してください。
3.「**リセット**」を選択し、決定してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

タイヤ空気圧メニュー(タイヤ空気圧モニタリング、TPM)

タイヤ空気圧モニタリング・システムは4輪すべてのタイヤ空気圧とタイヤ温度を常時監視し、空気圧が異常に低下したときはマルチファンクション・ディスプレイで運転者に警告します。ただし実際のタイヤ空気圧は、ホイールにて手動で調整しなければなりません。

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」(244 ページ)を参照してください。

⚠ 警告 不適切なタイヤ空気圧

不適切なタイヤ空気圧は、走行安全性に悪影響を与える恐れがあります。タイヤ空気圧モニタリング・システムには、様々な利点があります。しかしマルチファンクション・ディスプレイの設定を常に更新したり、タイヤ空気圧を適正に維持することは運転者の責務です。

▷ タイヤ空気圧が適正であることを確認してください。
車両の現在の積載荷重も考慮してください。

▷ マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧モニタリング(TPM)設定が、車両に装着されているタイヤおよび積載重量と一致しているか点検してください。

⚠ 警告 突発的なタイヤ損傷

タイヤ空気圧モニタリング・システムは、空気圧低下の原因となる自然放散や、タイヤに異物が刺さったときなどの空気圧のゆっくりとした低下を検出して警告します。その一方、突発的な外的要因によるタイヤのパンクなど、急激な空気圧の低下は検出できず、警告しません。

⚠ 警告 タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧が不足すると車両の走行安全性が低下するのみでなく、タイヤやホイールを損傷する恐れがあります。

▷ 赤色のタイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、タイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行ってください。

▷ いかなる場合も、タイヤの不具合を放置したまま運転を続けないでください。

▷ パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合の応急処置であり、最寄りの修理工場までの短距離移動のみに使用してください。
このときの最高許容速度は**80km/h**です。

▷ 空気圧を調整しても短時間で空気が抜ける場合、そのタイヤでの運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

▷ 不具合があるタイヤは、直ちにポルシェ正規販売店で交換してください。
いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。

▷ タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合が発生した場合(ホイール・トランスミッターの故障など)、直ちにポルシェ正規販売店で修理を受けてください。
タイヤ空気圧モニタリング・システムに不具合があると、空気圧を全く監視できない場合と、部分的に監視できる場合があります。

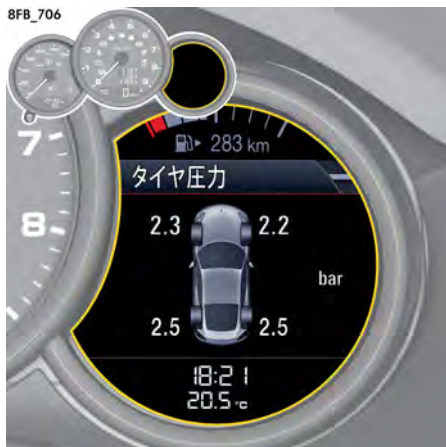
▷ マルチファンクション・ディスプレイへの入力情報が不足していたり、タイヤの選択を誤ると、警告とメッセージ表示の正確さに悪影響を及ぼします。
タイヤを交換したときや、積載荷重が変化したときは、タイヤ空気圧メニューの設定を更新しなければなりません。

▷ タイヤ空気圧を補正するときは、「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」ディスプレイに表示される空気圧の差、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

▷ パンク等の不具合が発生していなくとも、タイヤ空気圧は徐々に低下します(自然放散)。その場合は、車両が停止したときにマルチファンクション・ディスプレイに黄色のタイヤ空気圧警告が表示されます。
次の機会に空気圧を点検してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの概要

タイヤ空気圧モニタリング・システムには次の機能があります:

– 走行中の現在のタイヤ空気圧を表示します。
– 「**充填情報**」ディスプレイ:
停車中、適正値との差(補充する空気圧)を表示します。
– 「**タイヤ種類**」ディスプレイ:
現在の設定を表示します(停車時)。
– 空気圧の低下を**2段階**(黄色/赤色)で警告します。

マルチファンクション･ディスプレイでのタイヤ空気圧の表示

マルチファンクション･ディスプレイでタイヤ空気圧機能を選択する

1. メインメニュー：「**タイヤ空気圧**」を選択してください。

「**タイヤ空気圧**」機能では、4輪すべてについて、温度により変化するタイヤ空気圧（現在の空気圧）を表示します。
走行中の温度の上昇に伴うタイヤ空気圧の増加を読み取ることができます。

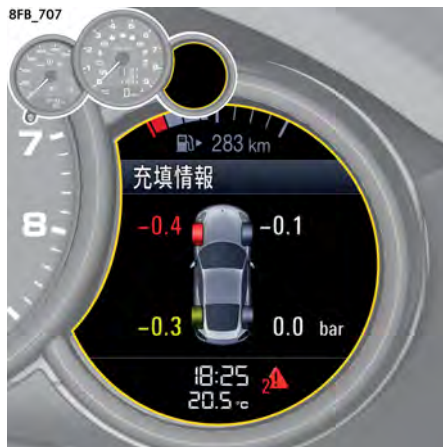
インフォメーション

この表示は、情報としてのみ利用してください。

▷ いかなる場合も、この表示を元にタイヤ空気圧を調整しないでください。

タイヤ空気圧メニューの現在の設定を見る

1. メインメニュー：「**タイヤ空気圧**」

2.「**タイヤ空気圧**」を決定してください。

タイヤ空気圧メニューの充填情報を見る（停車中のみ）

この表示で補正すべきタイヤ空気圧を読み取ることができます。

1. メインメニュー：「**タイヤ空気圧**」

2.「**タイヤ空気圧**」を決定してください。

3.「**充填情報**」を選択し、決定してください。

インフォメーション

イグニッションをONにしてから、すべてのタイヤ空気圧が表示されるまで約1分間かかる場合があります。空気圧を表示するまではダッシュ記号「-.-」を表示します。

ディスプレイの各輪の位置に、補正すべきタイヤ空気圧（補充する空気圧）が表示されます。

例：右フロント・タイヤの位置に「−0.1bar」と表示された場合は、このタイヤに0.1barの空気を補充してください。

表示されている空気圧は、タイヤ温度を考慮した結果の数値です。

▷ タイヤ空気圧を補正するときは、「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」に表示される空気圧、または該当するタイヤ空気圧警告のみを使用してください。

タイヤをまだ「登録」していない場合、現在の空気圧差の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。

タイヤの登録に関するインフォメーション：

▷ 「コンフォート / 標準プレッシャーの選択」（89ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧メニューのタイヤ種類の選択（タイヤの種類とサイズ）

タイヤ/ホイールを交換したときは、新しく装着したタイヤ/ホイールの種類とサイズが従来と同一であっても、改めて選択しなければなりません。

1. メインメニュー：「**タイヤ空気圧**」

2.「**タイヤ空気圧**」を決定してください。

3.「**タイヤ種類**」を選択し、
決定してください。

4. ◉「18"サマー」または
○「18"ウインター」または
○「19"サマー」または
○「19"ウインター」または
○「20"サマー」を選択し、
決定してください。

◉ 選択されたオプション
○ 選択されていないオプション

選択した設定が、タイヤ空気圧メニューの「**タイヤ種類**」のラインに表示されます（例：「**19" ウインター**」を選択した場合は「**19"(W)**」）。

マルチファンクション・ディスプレイに次のようなメッセージが表示されたときのみ、タイヤの設定が完了します（例）：「**タイヤ空気圧監視システムが学習されていません**」。

▷ 「タイヤ/ホイールの交換」（91ページ）を参照してください。

 インフォメーション

設定のプロセスが中断されると、メッセージ「**Action cancelled（設定キャンセル）**」が表示されます。この時点までの入力情報がすべて無効になり、元の設定に戻ります。

マルチファンクション・ディスプレイに登録されていないサイズのタイヤを装着するときは、そのタイヤを装着する前に、ポルシェ正規販売店でマルチファンクション・ディスプレイに不足情報を追加する必要があります。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ポルシェ社が承認したタイヤのみを使用してください。

タイヤ空気圧メニューの項目は、車両のモデル・タイプにより異なります。このため本書で説明している選択項目の中には、お客様の車両のマルチファンクション・ディスプレイで利用できないものが含まれることがあります。

コンフォート/標準プレッシャーの選択

270km/hまでの車速では、乗り心地の快適性を増すためにタイヤ空気圧を減圧することができます（20インチ・ホイール/タイヤ装着車のみの機能）。
タイヤ空気圧モニタリング・システムには、必ず状況に合わせたタイヤ空気圧を設定しなければなりません（コンフォート・プレッシャーまたは標準プレッシャー）。
「**コンフォート**」を選択した場合、空気圧をモニターしているとき、TPMシステムは自動的に低いプレッシャー値を使用します。

1. メインメニュー：「**タイヤ空気圧**」

2.「**タイヤ空気圧**」を決定してください。

3. ☑ コンフォート
コンフォート・プレッシャーが選択されます。

☐ コンフォート
標準プレッシャーが選択されます。

「**コンフォート**」ボックスを有効または無効にしてコンフォート・プレッシャー/標準プレッシャーを変更または選択してください。

コンフォート・プレッシャーについては、テクニカル・データを参照してください。
または
「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」で、コンフォート・プレッシャーとの違いを比較できます。
タイヤをまだ登録していない場合、補充するタイヤ空気圧の代わりに、新しい規定空気圧が表示されます。
タイヤの登録に関するインフォメーション：
▷ 「システムの登録」（89ページ）を参照してください。

速度警告「コンフォート圧力 速度を低減します」
設定したコンフォート・プレッシャーの制限速度を超え、タイヤ空気圧が危険限界を下回ると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

⚠ 警告 コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行する

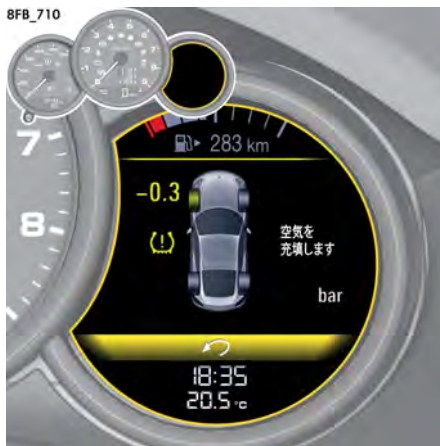
コンフォート・プレッシャーでの制限速度を超過して走行するとタイヤの損傷につながります。
▷ 表示された最大速度まで車速を落としてください。
▷ 高速走行するときは、必ずタイヤ空気圧を標準タイヤ空気圧まで充填してください。

システムの登録

タイヤ/ホイールを交換、ホイール・トランスミッターを交換、またはタイヤの設定を更新すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を開始します。このプロセスによって、タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤとその装着位置を認識します。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**タイヤ空気圧監視システムが学習されていません**」が表示されます。
タイヤ登録のプロセスは、車両が動いているとき（速度が25km/h以上のとき）のみ実行されます。
タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧は表示されません。
– すべてのタイヤの登録が完了するまで、タイヤ空気圧警告灯が点灯したままになります。
– 「**タイヤ空気圧**」機能のディスプレイに「-.-」が表示されます。
– 「**タイヤ空気圧**」メイン・メニューの「**充填情報**」に、冷間時(20°C)のタイヤ空気圧が表示されます。

タイヤ空気圧モニタリング・システムが各タイヤの装着位置を割り当てると、直ちにタイヤの位置と空気圧情報が表示されます。
▷ 「**充填情報**」ですべてのタイヤの空気圧を点検してください。
▷ 必要に応じてタイヤ空気圧を規定空気圧（空気圧の差「**0.0**」）に調整してください。

タイヤ空気圧警告

インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージは、空気圧低下の程度に応じて2段階（黄色/赤色）で異常を知らせます。

黄色の警告：「空気を充填」

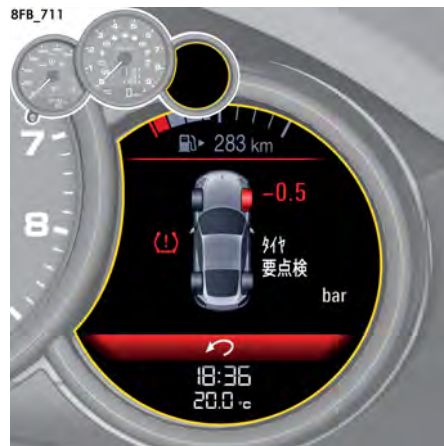
タイヤ空気圧が**0.3～0.5bar**不足しています。タイヤ空気圧警告は、空気圧が不足しているタイヤを特定し、補充すべき空気圧を表示します。

▷ 次の機会に空気を充填してください。

タイヤ空気圧警告灯は次のような状況で表示されます：

– 停車してイグニッションをOFFにしたときに約10秒間、**または**
– イグニッションを再度ONにしたとき

イグニッションをONにすると警告を確認できます。

タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

赤色の警告：「タイヤ 要点検」

速度が**160km/h以下**のときは：

– タイヤ空気圧が**規定空気圧より20%**または**少なくとも0.5bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

速度が**160km/h以上**のときは：

– タイヤ空気圧が**少なくとも0.4bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

▷ タイヤ空気圧警告が表示されたときは、直ちに適切な場所に停車し、該当するタイヤに損傷がないか点検してください。必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。

このタイヤ空気圧警告は走行中でも表示され、異常を知ることができます。

タイヤ空気圧を補正した（空気圧の差「**0.0**」）場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

速度警告「タイヤ空気圧 速度を低減します」

速度が**270km/h以上**のときは：

– タイヤ空気圧が**少なくとも0.3bar**不足しています。走行安全性が低下して危険です。

▷ タイヤ空気圧警告が表示された場合は、この警告が消えるまで車速を270km/h以下に落としてください。
高速で走行する場合、タイヤ空気圧を規定空気圧（空気圧の差「**0.0**」）まで補充してください。

パンク修理剤（シーラント）に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ・シーラントの充填」（216ページ）を参照してください。

警告灯

以下の場合インストルメント・パネルの警告灯が点灯します：

– 空気圧の低下を検出した場合（警告灯：点灯し続ける）
– タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障、または一時的な不具合が生じた場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）
– 新しく装着したホイール/ホイール・トランスミッターを学習している場合、またはホイールを認識できない場合（警告灯：60秒間点滅し、その後点灯し続ける）

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージも表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

不具合が解消した場合のみ、インストルメント・パネルのタイヤ空気圧警告灯が消灯します。

タイヤ/ホイールの交換

▷ 新しいホイールには、タイヤ空気圧モニタリング・システムの無線式トランスミッターを取り付けなければなりません。
タイヤ交換の前に、ホイール・トランスミッターのバッテリーの充電状態を点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ホイールを交換するときは、イグニッションをOFFにしてください。

タイヤを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。

設定を更新しなかった場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ホイールを交換しましたか?選択し直します**」が表示されます。

▷ 次回車両が停止したときにマルチファンクション・ディスプレイの設定を更新してください。

温度が上昇することによる空気圧の上昇

物理原則に従い、空気圧は温度変化に応じて変動します。

タイヤ空気圧は10℃の温度変化につき、約0.1bar増加、または減少します。

部分的なタイヤ空気圧の監視

1個または2個のホイール・トランスミッターが故障した場合、その他のホイールのみタイヤ空気圧の監視が行われます。

– タイヤ空気圧警告灯が点灯します。
– マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**監視が制限されています**」が表示されます。
– 故障したホイール・トランスミッターが取り付けられたホイールの空気圧はマルチファンクション・ディスプレイに表示されません。

タイヤ空気圧の監視が行えない場合

故障が発生すると、タイヤ空気圧モニタリング・システムはタイヤ空気圧の監視を行うことができません。

インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されます。

以下の場合、タイヤ空気圧の監視を行うことができません：

– タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障している場合
– タイヤ空気圧モニタリング・システム用のホイール・トランスミッターが取り付けられていない場合
– タイヤの設定を更新した直後の登録プロセス中
– ホイールを交換した後、設定を更新しなかった場合
– 4個以上のホイール・トランスミッターが検出された場合
– ワイヤレス・ヘッドホンなどの外部からの電波干渉を受けている場合
– タイヤの温度が高すぎる場合

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

クロノ・メニュー（ストップウォッチ）

ストップウォッチはレース・サーキットや業務上の走行時等の時間計測にご使用いただけます。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)装備車では、測定したラップ時間を保存したり、必要に応じて評価することができます。＊

▷ PCM 取扱説明書の「スポーツ・ディスプレイ」の章を参照してください。＊

ダッシュボードのストップウォッチ

ストップウォッチにはアナログ・ディスプレイとデジタル・ディスプレイがあります。

アナログ・ディスプレイの長針は秒を計測し、短針2本は時間と分を計測します。このディスプレイは12時間が経過するとゼロから再スタートします。

秒および1/10秒、1/100秒の単位はデジタル・ディスプレイで読み取ることができます。

デジタル・ディスプレイおよびマルチファンクション・ディスプレイは99時間と59分まで表示できます。

ストップウォッチ・タイミング・ディスプレイ：

ストップウォッチの時間はダッシュボードの異なる場所に表示できます：

– ダッシュボードのストップウォッチ
– マルチファンクション・ディスプレイの「**クロノ**」メニュー
– PCMの「**車両**」メイン・メニュー＊

ストップウォッチ時刻の表示

マルチファンクション・ディスプレイでダッシュボードのストップウォッチが時刻を表示するように設定することができます。

ストップウォッチの時刻表示に関するインフォメーション：

▷ 「ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示」(104ページ)を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション･ディスプレイのクロノ

すべてのストップウォッチ･ディスプレイはマルチファンクション・ディスプレイの「**クロノ**」メニューから開始/停止できます。

マルチファンクション･ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷「マルチファンクション･ディスプレイの操作」（76ページ）を参照してください。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」を選択し、決定してください。

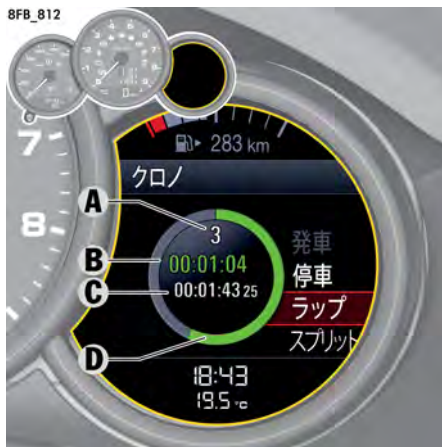
 インフォメーション

ストップウォッチ作動中に「**クロノ**」メニューから抜けても、計測は続きます。

ストップウォッチはイグニッションをOFFにすると停止します。約4分以内にイグニッションを再度ONにすると、ストップウォッチは作動を再開します。

ストップウォッチをゼロにリセットするには、「**クロノ**」メニューの「**リセット**」を選択してください。

ストップウォッチのリセットに関するインフォメーション：

▷「ストップウォッチ・タイムのリセット」（94ページ）を参照してください。

A - 周回したラップ数
B - 現在のストップウォッチ時間
C - 基準タイム（最速ラップ）
D - サークル・ディスプレイ：現在のラップ・タイムと基準タイムとの比較

計時の開始

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」

2.「**開始**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイム**B**は車両のすべてのストップウォッチ･ディスプレイに同時に表示されます。

ラップの停止/新しいラップの開始

現在のストップウォッチ・タイムをラップ・タイムとして保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」

2.「**周回**」を選択し、決定してください。

ラップ・カウンターの値**A**が1ずつ増えます。
最速コンプリート・ラップのタイムが参照値**C**として一時的に保存されます。
ストップウォッチ・タイム**B**とサークル・ディスプレイ**D**の色が変更されることによって、現在のラップ・タイムが参照値より速いか、遅いか、または同一かを表します。

– 緑：現在のラップ・タイムが速い
– 黄：現在のラップ・タイムと同一
– 赤：現在のラップ・タイムが遅い

 インフォメーション

参照値がまだ保存されていない場合は、参照タイムの位置**C**は空白のままです。
セグメント･ディスプレイに色の変化はありません。

1回のセッションで最高63ラップを保存することができます。

中間ラップの保存

中間タイムを保存できますが、ストップウォッチは停止しません。

1. メイン・メニュー：「**クロノ**」

2.「**中間**」を選択し、決定してください。

中間タイムは、マルチファンクション･ディスプレイに表示されます。保存はされません。
時間測定はバックグランドで継続しています。

計時の停止

ストップウォッチはいつでも止めることができます。

1.	メイン・メニュー：「**クロノ**」
2.	「**停止**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイム**B**が停止します。

計時の継続

ストップウォッチを停止後、再開することができます。

1.	メイン・メニュー：「**クロノ**」>「**停止**」
2.	「**継続**」を選択し、決定してください。

ストップウォッチ・タイム**B**が継続します。

ストップウォッチ·タイムのリセット

計時をゼロにリセットすることができます。

1.	メイン・メニュー：「**クロノ**」>「**停止**」
2.	「**リセット**」を選択し、決定してください。

すべてのストップウォッチ・タイムをゼロにリセットすることができます。

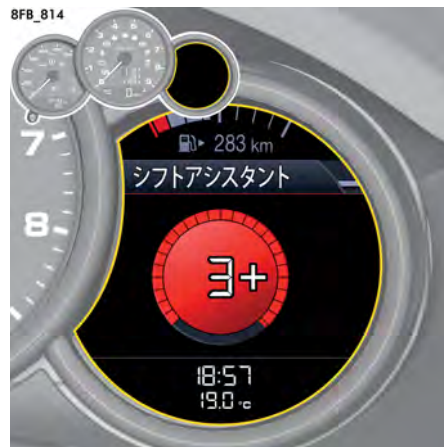
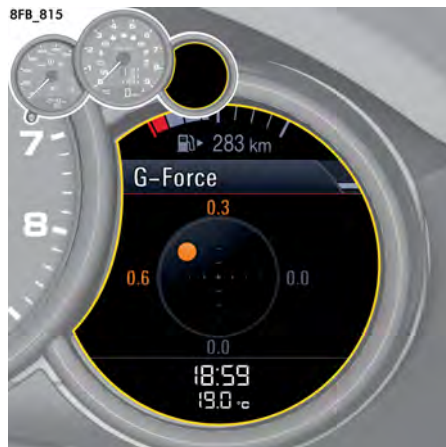
8FB_813

ギヤ・シフト・アシスト・メニュー

（マニュアル・トランスミッション装備車）

性能を重視した走行中にドライバーをアシストするため、グラフィック表示のシフトアップ・インジケーターが「**シフトアシスト**」メイン・メニューに表示されます。

ギヤシフト・アシストは、次のギヤへのシフト操作のタイミングをセグメントが増加するグラフィックによって事前にドライバーにお知らせします。セグメントが増加するにしたがって、表示色が**白**、**黄色**、**赤**の順番に変化します。

8FB_814

すべてのセグメントが赤で表示されると、「**+**」サインが、次にシフトするギヤ段数の横に表示されます。

G-Forceメニュー

「**G-Force**」メイン・メニューに、現在の横および縦方向の加速度（単位G）が円形の図によって表示されます。
最大の横方向および縦方向の加速度（単位G）が「**G-Force最大**」サブメニューに表示されます。その数値はメニュー項目「**リセット**」を選択するとリセットできます。

1. メイン・メニュー：「**G-Force**」
2. 「**G-Force最大**」を決定してください。
3. 「**リセット**」を選択し、
   決定してください。

ACCメニュー

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の操作および表示に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)」（135ページ）を参照してください。

制限速度メニュー＊

制限速度表示に関するインフォメーション：

▷ 「制限速度表示＊」（147ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイの車両設定機能

車両の装備仕様により、マルチファンクション・ディスプレイで様々な設定を変更できます。
メモリー・パッケージ装備車は、車両の設定を、そのとき使用しているキーや運転席ドアのパーソナル・ボタンに保存することができます。
メモリー・パッケージに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」（121ページ）を参照してください。

設定メニューの選択

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   ＞「**設定**」を選択し、
   決定してください。

設定オプションの選択/車両機能の作動

各設定メニュー・オプションの項目名の前に付いているシンボル・マークは、その項目が選択されているか、またはその機能が作動しているかを示します。

複数のオプションから1つを選択してください

◉ 選択されたオプション
○ 選択されていないオプション

機能の作動/停止

☑ 機能が作動します
☐ 機能が作動解除されます

工場出荷時の設定に戻す

マルチファンクション・ディスプレイのすべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます：

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

工場出荷時の設定に戻すと、それまでに設定したすべての個別設定が失われます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
2. 「**工場設定**」を選択し、
 決定してください。
3. 「**はい**」を選択し、
 決定してください。

マルチファンクション·ディスプレイの表示を変更する

マルチファンクション·ディスプレイに表示するメニュー項目や、表示方法を個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**表示**」を選択し、
 決定してください。

メイン・メニューの表示項目を選択する

メイン・メニューの各項目を表示/非表示させることができます。

ただし、メニュー項目「**車両**」および「**ACC**」は非表示にできません。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**表示**」
2. 「**メニュー種類**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意のメイン・メニュー項目を選択してください。
4. 選択を決定してください。
 ☑ メニュー項目が表示されます。
 ☐ メニュー項目が非表示になります。

オーディオ・メイン・メニューの表示項目を変更する＊

「**オーディオ**」メイン・メニューでは、「現在受信できるすべてのラジオ放送局リスト」または「登録しているすべてのラジオ放送局リスト」のいずれかを表示できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**表示**」
2. 「**オーディオ**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の表示項目を選択し、
 決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**ラジオ局一覧**」
 現在受信可能な放送局のリスト
– 「**事前設定一覧**」
 登録している放送局のリスト

情報エリアの表示項目を変更する

「**車両**」メニューでは、様々な車両情報の中から4種類を選び出し、ディスプレイ**1**、**2**、**3**、**4**のエリアに割り当てることができます。

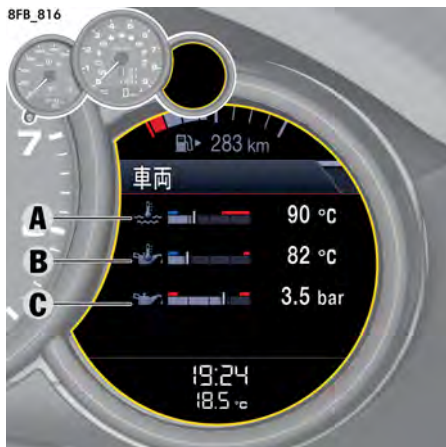
1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**表示**」
2. 「**車両メニュー**」を選択し、
 決定してください。
3. 「**フィールド1：**」または
 「**フィールド2：**」または
 「**フィールド3：**」または
 「**フィールド4：**」を選択し、
 決定してください。
4. 任意の表示項目を選択し、
 決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**電圧**」
– 「**オイル圧力**」
– 「**オイル温度**」
– 「**冷却水温度**」– 水温
– 「**燃料残量での可走距離**」
– 「**目的地：到着**」– 目的地への到着時刻＊
– 「**経由：到着時刻**」– 中間目的地への到着時刻＊
 「**目的地：走行時間**」– 目的地までの走行時間＊
– 「**経由：走行時間**」– 中間目的地までの走行時間＊
– 「**コンパス**」＊
– 「**GPS高さ**」＊
– 「**時刻**」
– 「**日付**」
– 「**放送局/曲**」– 現在のラジオ放送局/トラック＊
– 「**電話情報**」– 信号の強さ/ネットワーク名＊
– 「**制限速度**」＊
– 「**表示なし**」– 空白

 インフォメーション

車両情報の1つの項目を複数のディスプレイ・エリアに同時に割り当てることはできません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

マルチファンクション・ディスプレイ情報エリアの構成例
A - 水温計
B - 油温計
C - 油圧計

A – 水温計

エンジンのクーリング・システムに異常がある場合は、ポルシェ正規販売店で点検を受けてください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

バーが左にあるとき – エンジン冷間時

▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。また、大きな負荷をかけないでください。

バーが中央にあるとき – エンジン通常作動温度

気温が高いときにエンジンに大きな負荷をかけるとバーがレッド・ゾーンに入ることがあります。

水温警告

エンジン水温が異常に高まると、水温計が最高温度マークまで動き、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**エンジン温度超過 停車して冷まして下さい**」が表示されます。

▷ エンジンをOFFにして冷やしてください。
▷ 車両前部のラジエーター表面や空気取り入れ口がゴミなどで塞がれていないか点検してください。
▷ クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（205ページ）を参照してください。
▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

インフォメーション

エンジンの過熱を防ぐため、冷却風の取り入れ口をフィルムやストーン・ガードなどで塞がないでください。

クーラント・レベル警告

エンジン温度が**60°C**以下のとき：

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**冷却水要充填 エンジン温度要監視**」が表示され、クーラント・レベルが低すぎることを知らせます。

▷ クーラントを補充してください。

エンジン温度が**60°C**以上のとき：

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可**」が表示され、クーラント・レベルが低すぎることを知らせます。水温計が最高温度マークまで動きます。

▷ エンジンをOFFにして冷やしてください。
▷ クーラントを補充してください。

エンジン水量が少ない場合、急な坂道など車両が急角度で傾いたり、円状に走行するなど、長いカーブで横加速度が発生したりすると警告灯が点灯することがあります。車両が「通常」の状態に戻ったときに警告灯が消灯しない場合、クーラント・レベルを点検してください。

▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（205ページ）を参照してください。
▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

▷ クーラント・レベルが適正でも警告が表示され続けるときは、運転を続けないでください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。

B – 油温計

エンジン油温が異常に高まると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます：

▷ レッド・ゾーンに達した場合、直ちにエンジンの回転数を下げ、エンジンの負荷を軽減してください。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

C – 油圧計

エンジン油圧は、エンジンの作動状態に応じて制御されており、エンジン回転数が5,000rpmのときに少なくとも3.5barでなければなりません。

エンジン油圧は、エンジンの回転数や油温、エンジンの負荷によって変化します。

エンジン作動中または走行中に油圧が突然低下し、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージが表示されたときは：

▷ 直ちに適切な場所に停車してください。
▷ エンジンをOFFにしてください。
▷ エンジンまたは車体下部に明らかなオイル漏れがないか点検してください。
▷ マルチファンクション・ディスプレイ上で「**オイルレベル**」を選択してください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」(81ページ）を参照してください。
▷ 必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。

知識

エンジンを損傷する恐れがあります。

▷ 明らかなオイル漏れがあるときは走行を続けないでください。
▷ オイル・レベルが適正でも警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マルチファンクション・ディスプレイにPCMインフォメーションを表示する＊

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)に関連する様々な情報を、マルチファンクション・ディスプレイに一時的に表示させることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
  >「**設定**」
    >「**表示**」

2.「**PCM 表示**」を選択し、
  決定してください。

3. 任意のPCM情報を選択してください。

4. 選択を決定してください。
  ☑ 情報が表示されます。
  ☐ 情報は表示されません。

選択できるPCM情報：

– 「**地図情報**」
  ナビゲーション情報を利用すると、ナビゲーション地図が自動的に表示されます。
– 「**電話情報**」
  着信/発信電話の情報が表示されます。
– 「**音声操作**」
  ボイス・コントロール・ボタンを押すとヘルプ・テキストが表示されます。
– 「**注記 矢印**」
  ナビゲーション情報を利用すると、進行方向を示す矢印が自動的に表示されます。
– 「**制限速度**」
  マルチファンクション・ディスプレイに交通標識を表示します。

 インフォメーション

制限速度表示装備車の場合、「**制限速度**」メニュー項目は表示されず、制限速度が自動的に表示されます。＊

燃料計の表示変更

燃料残量での走行可能距離は表示または非表示にできます（上のライン)。

1. メインメニュー：「**車両**」
  >「**設定**」
    >「**表示**」

2.「**上のライン**」を選択し、
  決定してください。

3. 表示項目を選択し、
  決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**燃料残量での可走距離**」

ステータス・エリアの変更

マルチファンクション・ディスプレイのステータス・エリアに、現在時刻および外気温度を表示させることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
  >「**設定**」
    >「**表示**」

2.「**下のライン**」を選択し、
  決定してください。

3. 任意の表示項目を選択し、
  決定してください。

選択できる表示項目の種類：

– 「**時刻**」
– 「**温度**」
– 「**時間&温度**」

＊ 日本仕様に設定はありません。

ディスプレイの明るさを調節する

マルチファンクション・ディスプレイの明るさをお好みに調節することができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**表示**」
2. 「**明るさ**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、
 決定してください。

ライト/視界の設定

エクステリア・ライト、インテリア・ライト、リバース（後退）ギヤ選択時の運転支援機能などを個別に設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**ライト&ビュー**」を選択し、
  決定してください。

エクステリア・ライトの設定

「**外部ライト**」メニューでは、ダイナミック・ハイ・ビーム、ウェルカム・ホーム/エントリー機能の遅延消灯モードなど、車両に装備されているエクステリア・ライトの機能を変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**ライト&ビュー**」
   >「**外部ライト**」を選択し、
   決定してください。

ダイナミック・ハイ・ビームの作動/停止

ダイナミック・ハイ・ビーム・コントロールの作動/停止が切り替えられます。設定はイグニッションをOFFにしても保存され続けます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**ライト&ビュー**」
   >「**外部ライト**」
2. 「**Dyn. full beam（ダイナミック・ハイ・ビーム）**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ☑ ダイナミック・ハイ・ビームが作動します。
 ☐ ダイナミック・ハイ・ビームが停止します。

ウェルカム・ホーム/エントリー機能（遅延消灯）の設定

ウェルカム・ホーム/エントリー機能の遅延消灯モードは個別に設定できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**ライト&ビュー**」
   >「**外部ライト**」
2. 「**遅延消灯**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の遅延消灯を設定し、
 決定してください。

右側/左側通行でヘッドライトを切り替える（アダプティブ・ライト・システム）

アダプティブ・ライト・システム(PDLS/PDLS Plus)装備車では、右側/左側通行でヘッドライトを切り替えることができます。

インフォメーション

停車中のみ、ヘッドライトの右側/左側通行の切り替えができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
  >「**ライト&ビュー**」
   >「**外部ライト**」
2. 「**左/右側通行**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**標準**」
 ヘッドライトが右側通行の位置になります（左ハンドル車）。
– 「**反転**」
 ヘッドライトが左側通行の位置になります（左ハンドル車）。

インフォメーション

ヘッドライトの位置を「**反転**」にすると、イグニッションをONにしたときに毎回、マルチファンクション・ディスプレイに「**ライト 左側通行/右側通行が切り替えられました**」のメッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

インテリア・ライトの設定

「**内部ライト**」メニューでは、車両に装備されているインテリア・ライトの機能を個別に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**内部ライト**」を選択し、
   決定してください。

ドアを開いたときのインテリア・ライト自動点灯の有効/無効（装備仕様による）

ドアを開いたときにインテリア・ライトが点灯するように設定できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**内部ライト**」
2. 「**ドアを開く際の車内ライトの設定**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ インテリア・ライトが点灯します。
   ☐ インテリア・ライトは点灯しません。

オリエンテーション・ライトの明るさを調節する

オリエンテーション・ライトの明るさを個別に調節できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**内部ライト**」
2. 「**Orientation（オリエンテーション）**」を選択し、決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、
   決定してください。

アンビエント・ライト

アンビエント・ライトの明るさを個別に調節できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**内部ライト**」
2. 「**アンビエント・ライト**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の明るさを選択し、
   決定してください。

インテリア・ライトの遅延消灯モードを設定する

車両のドアを閉じた後の車内照明の遅延消灯モードを個別に設定できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**内部ライト**」
2. 「**遅延消灯**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の遅延消灯を設定し、
   決定してください。

レイン・センサーの作動/解除

雨天時にフロント・ワイパーの速さを自動調節するように設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ライト&ビュー**」
   >「**ワイパー**」
2. 「**レインセンサー**」を選択し、
   決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**自動**」
  ワイパーの速さが自動的に調節されます。
– 「**手動**」
  ワイパー・レバーを使用してワイパーの速さを手動で調節する必要があります。

リバース（後退）ギヤ選択時のリヤ・ワイパーの作動設定

雨天時にリバース（後退）ギヤを選択したとき、リヤ・ワイパーを自動的に作動させるかどうかを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ライト&ビュー**」
 >「**ワイパー**」
2. 「**リヤワイパー**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**自動**」
 リバース（後退）ギヤを選択したとき、
 リヤ・ワイパーが自動的に作動します。
– 「**手動**」
 リバース（後退）ギヤを選択しても、リヤ・ワイパーが自動的に作動しません。

リバース（後退）オプションの調節

リバース（後退）ギヤを選択したとき、ドア・ミラーを自動的に下げるかどうかを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ライト&ビュー**」
 >「**後退オプション**」を選択し、
 決定してください。

駐車時に助手席ドア・ミラーを下向きにする

メモリー・パッケージ装備車では、助手席側の車体後方下部にある障害物を視認しやすくするため、リバース（後退）ギヤを選択したときに、助手席ドア・ミラーを自動で下向きに切り替えることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ライト&ビュー**」
 >「**後退オプション**」を選択し、
 決定してください。
2. 「**ミラー下向き**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ☑ ドア・ミラーが下向きになります。
 ☐ ドア・ミラーは下向きになりません。

ロックの設定

車両のロック/ロック解除の設定を変更できます。イージー・エントリー機能をON/OFFすることができます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」を選択し、
 決定してください。

ドアのロック解除機能の設定

車両のロックを解除したときに、ロックが解除されるドアを特定できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**ロック解除**」を選択し、
 決定してください。
3. 任意の設定を選択し、
 決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**すべてのドア**」
 車両のロックを解除すると、すべてのドアのロックが解除されます。
– 「**運転席ドア**」
 車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックが解除されます。

ドアのロック機能の設定

乗車した後の自動ロック機能を選択できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**ドアロック**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**オフ**」
 乗車後にドアは自動でロックされません。
- 「**イグニッションONの後**」
 イグニッションをONにすると、ドアが自動的にロックされます。
- 「**発進後**」
 車両を発進させると、ドアが自動的にロックされます。

イージー・エントリーのON/OFF

運転者の乗降性を高めるため、運転席シートとステアリング・ホイールを自動的に遠ざけることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**コンフォートエントリー**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ☑ イージー・エントリーが作動します。
 ☐ イージー・エントリーは作動しません。

オート・メモリーのON/OFF

車両をロックしたとき、パーソナル設定を自動的に車両キーに保存するかどうかを設定できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**オートメモリ**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ☑ オート・メモリーを作動します。
 ☐ オート・メモリーを停止します。

パーソナル設定の保存および呼び出しに関するインフォメーション：

▷ 「パーソナル設定の保存」(121ページ) を参照してください。

ドア・ミラーの自動的な格納/復帰

車両をロックしたとき、ドア・ミラーを自動的に格納するように設定することができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**ロック**」
2. 「**ミラーを格納する**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
 ☑ ドア・ミラーが格納します。
 ☐ ドア・ミラーは格納しません。

エアコン設定

(2ゾーン・エアコン装備車)

オートマチック・エアコン・システムの設定を個別に変更できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**エアコン**」を選択し、
 決定してください。

風量調節

送風の強さと送風量を調節できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**エアコン**」
2. 「**エアフロー**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

- 「**弱**」
- 「**標準**」
- 「**強**」

間接ベンチレーション・パネルのON/OFF

ダッシュボード上にある間接ベンチレーション・パネルは、ON/OFFを切り替えることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**エアコン**」
2. 「**ベントパネル**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ ベンチレーション・パネルが作動します。
   ☐ ベンチレーション・パネルは作動しません。

内気循環モードのON/OFF

外気の汚れ具合に応じて、外気導入と内気循環を自動的に切り替えることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**エアコン**」
2. 「**自動内気循環**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 自動内気循環モードが作動します。
   ☐ 自動内気循環モードは作動しません。

日付と時刻の設定

車内に表示される日時を個別に設定できます。

 インフォメーション

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)装備車は、GPS衛星からの信号を利用して日時を自動的にセットおよび同期します。＊衛星電波の受信状態により、いくつかの設定オプションが一時的に利用できないことがあります。

---

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」を選択し、決定してください。

時刻の設定

「**時刻**」メニューでは、時刻、時刻の表示モード、タイム・ゾーンを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」を選択し、決定してください。

GPS時刻の表示＊

時刻はGPS信号と同期させて表示することができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**GPS時刻**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 時刻をGPSと同期します。
   ☐ 時刻をGPSと同期しません。

時刻表示の設定

時刻は12時間表示/24時間表示を切り替えることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**形式**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：
– 「**12h（12時間表示）**」
– 「**24h（24時間表示）**」

＊ 日本仕様に設定はありません。

現在時刻の設定

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)を装備していない車両は、設定時に時間と分を別々に設定することができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**時間/分**」を選択してください。
3. 任意の時間を設定し、決定してください。

タイム・ゾーンの設定

ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)装備車は、車両時計のタイム・ゾーンを個別に設定することができます。＊

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**時刻**」
2. 「**ゾーン**」を選択し、決定してください。
3. 任意のタイム・ゾーンを選択し、決定してください。

日付の設定

「**日付**」メニューでは、日付、日付の表示モードを設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」を選択し、決定してください。

日付形式の設定

日付の表示形式を切り替えることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」
2. 「**形式**」を選択し、決定してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：

– 「**DD.MM.YYYY（日.月.西暦年）**」
– 「**MM/DD/YYYY（月/日/西暦年）**」
– 「**YYYY/MM/DD（西暦年/月/日）**」

現在の日付の設定

ナビゲーション非装備車では、「日」、「月」、「西暦年」をそれぞれ設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
   >「**日付**」を選択し、決定してください。
2. 「**日付**」を選択してください。
3. 任意の日付を設定し、決定してください。

サマー・タイムの設定

サマー・タイムに合わせて時計の表示時刻を変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**夏時間**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ サマー・タイムが有効になります。
   ☐ サマー・タイムが無効になります。

ダッシュボードのストップウォッチの時刻表示

ダッシュボードのストップウォッチに時刻を表示させる設定をすることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**日付&時刻**」
2. 「**時刻 クロノ**」を選択してください。
3. 選択を決定してください。
   ☑ 時刻が表示されます。
   ☐ 時刻は表示されません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

単位の設定

インストルメント・パネルのデジタル・スピードメーター、エアコン・ディスプレイの温度計、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ空気圧表示など、車両の設定単位を設定できます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**単位**」を選択し、
   決定してください。

スピードメーターの単位の設定

スピードメーターのスピードおよび距離の表示単位を変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**単位**」
2. 「**スピードメーター**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**km / km/h**」
- 「**マイル / mph**」

温度計の単位の設定

温度計の測定単位を変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**単位**」
2. 「**温度**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**°C（摂氏）**」
- 「**°F（華氏）**」

タイヤ空気圧モニタリング・システムの表示単位の設定

タイヤ空気圧モニタリング･ディスプレイの測定単位を変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**単位**」
2. 「**タイヤ空気圧**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**bar**」
- 「**psi**」

平均燃費の表示単位の設定

平均燃費の表示単位の設定ができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**単位**」
2. 「**平均燃費**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、
   決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**l/100km**」
- 「**MPG（米国）**」
- 「**MPG（英国）**」
- 「**km/l**」

言語設定

マルチファンクション･ディスプレイに表示するテキストの言語を切り替えることができます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**言語**」
2. 任意の言語を選択し、
   決定してください。

警告/インフォメーション音量を設定する

警告/パーキング･アシスタント･インフォメーション音量を変更できます。

パーキング･アシスタントの警告音量を設定する

パーキング・アシスタント・インフォメーションのボリュームを変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**音量**」
2. 「**駐車アシスト**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」

警告音量を設定する

警告音のボリュームを個別に変更できます。

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**音量**」
2. 「**警告トーン**」を選択してください。
3. 任意の設定を選択し、決定してください。

選択できる設定オプション：
- 「**高**」
- 「**中**」
- 「**低**」

マルチファンクション･ステアリング･ホイールのボタンの割り当て変更＊

マルチファンクション・ステアリング・ホイールの**MFS**ボタンに、マルチファンクション・ディスプレイまたはPCM/CDRの任意の機能を割り当てることができます。＊

1. メインメニュー：「**車両**」
   >「**設定**」
   >「**ステアリング・ホイール・オプション**」
2. 「**MFSボタン**」
   を選択し、決定してください。
3. 「**PCM機能＊**」または
   「**組み合わせ機能**」を選択し、
   決定してください。
4. 任意の機能割り当てを選択し、決定してください。

選択できるPCM機能：＊
- 「**オーディオ**」
  オーディオを切り替えます。
- 「**音声操作**」
  音声操作を作動します。
- 「**音声案内繰返**」
  ナビゲーションの音声案内を繰り返します。
- 「**放送局/曲<**」
  前の放送局/オーディオ・トラック
- 「**放送局/曲>**」
  次の放送局/オーディオ・トラック
- 「**地図**」
  PCMにナビゲーション地図を表示します。
- 「**メニュー変更**」
  メイン・メニュー・エリアを変更します。

利用できるインストルメント・パネルの機能：
- 「**計時開始/停止**」
  開始/停止タイミング
- 「**車両メニュー**」
  車両メニューを表示します。
- 「**トリップメニュー**」
  トリップ・メニューを表示します。
- 「**TPMメニュー**」
  TPMメニューを表示します。
- 「**クロノメニュー**」
  クロノ・メニューを表示します。
- 「**オーディオ設定＊**」
  オーディオ・メニューを表示します。
- 「**電話メニュー＊**」
  電話メニューを表示します。
- 「**ナビメニュー＊**」
  ナビゲーション・メニューを表示します。
- 「**地図メニュー＊**」
  マルチファンクション・ディスプレイにナビゲーション地図を表示します。
- 「**制限速度＊**」
  マルチファンクション・ディスプレイに交通標識を表示します。

インフォメーション

制限速度表示装備車の場合､「**制限速度**」メニュー項目は表示されず､制限速度が自動的に表示されます。＊

＊ 日本仕様に設定はありません。

アシスタンス・システム

アクティブ・セーフ(PAS)

ポルシェ「アクティブ・セーフ」機能は全体または部分的に無効にできます。設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。

1. メイン・メニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**アクティブセーフ**」を選択し、決定してください。

システムON

すべてのポルシェ「アクティブ・セーフ」機能は有効/無効にできます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**アクティブセーフ**」

2.「**システム オン**」を選択してください。

3. 選択を決定してください。
☑ アクティブ・セーフがONになります。
☐ アクティブ・セーフがOFFになります。

すべてのポルシェ「アクティブ・セーフ」機能をOFFにすると、マルチファンクション・ディスプレイの下方にグレーのシンボルが表示されます。

予期警告作動

潜在的または予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は作動状態になっています。
潜在的および予期警告機能は「**事前警告 オン**」から作動させます。

1. メインメニュー：「**車両**」
 >「**設定**」
 >「**Assist. systems（アシスタンス・システム）**」
 >「**アクティブセーフ**」

2.「**事前警告 オン**」を選択してください。

3. 選択を決定してください。
☑ 予期警告がONになります。
☐ 予期警告がOFFになります。

警告と情報メッセージの概要

警告メッセージが表示されたときは、本書の該当する説明を必ず読んでください。
すべての作動条件が満たされた場合のみ、警告メッセージが表示されます。
このため、すべてのフルード・レベルを定期的に点検してください。特にエンジン・オイル・レベルは、給油の前に毎回点検してください。

警告と情報メッセージの分類

赤色 **システムの故障または警告**

▷ 直ちにポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

黄色 **作動の不具合、またはシステム故障を知らせる警告**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。

白色 **インフォメーション/メッセージ**

▷ 次の機会にポルシェ正規販売店で点検を受けてください(*)。または、お客様ご自身で対処してください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	油圧が低すぎます 停車して下さい	直ちに安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。運転を続けないでください。 マルチファンクション・ディスプレイで「**オイルレベル**」を選択してください。必要に応じてエンジン・オイルを補充してください。 オイル・レベルが適正であるにもかかわらず警告メッセージが表示されるときは、運転を続けないでください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	故障 油圧測定 継続走行可 整備工場へ	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	油温 高過ぎ 負荷軽減	エンジンをOFFにして冷やしてください。オイル・レベルを点検し、必要に応じてオイルを補充してください。
	故障 表示油温 整備工場へ 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	故障 油量測定 整備工場へ 継続走行可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	現在オイルレベルの情報信号は 利用できません	エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間待った後測定可能になります。エンジン冷間時にリヤ・リッドを開くと（エンジン・オイルを補充するためなど)、オイル・レベルが一定時間表示されません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	油量最低ライン オイル要充填	早急にエンジン・オイルを補充してください。
	油量最低以下 要オイル充填 継続走行不可	早急にエンジン・オイルを補充してください。
	油量 上限超過 整備工場へ 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 次の機会にポルシェ正規販売店でオイル・レベルを適正値に調整してください。 *
水温計が最高温度マークまで動きます。	エンジン温度超過 停車して冷まして下さい	クーラント温度または油温が高すぎます。 エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラントまたはエンジン・オイルのレベルを点検してください。クーラントまたはエンジン・オイルを、必要に応じて補充してください。
	冷却水要充填 エンジン温度 要監視	クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
水温計が最高温度マークまで動きます。	すぐに冷却水を充填して下さい 継続走行不可	エンジンをOFFにして冷やしてください。 クーラント・レベルを点検してください。必要に応じてクーラントを補充してください。
	故障 冷却システム 整備工場へ 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	故障 表示 冷却水温 継続走行可 整備工場へ	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	故障 エンジンルームファン 全負荷 回避 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	故障ジェネレーター 停車して下さい	安全な場所に停車してエンジンをOFFにしてください。 運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。 *
	バッテリー 弱 エンジンを始動し しばらく稼働させて下さい	バッテリーを充電するため、早急にエンジンを始動してください。
	バッテリー 弱 消費装置オフ	バッテリーの放電を防ぐため、様々なコンフォート機能への電源供給が停止されます。
	停車中にバッテリー保護が有効でした	バッテリーの放電を防ぐため、駐車中は様々な機能への電源供給が停止されます。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	バッテリー機能 制限中 整備工場へ	ポルシェ正規販売店にご相談ください。*
	低下したエンジン出力 継続走行可 整備工場へ	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。*
	故障 エンジン制御 整備工場へ 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	エンジンを手動で始動してください	イグニッションを使用して、手動でエンジンを始動してください。
	イグニッションをOFFにして下さい	バッテリー上がりを防ぐため、エンジンが自動的に停止した後、車両から離れるときはイグニッションをOFFにしてください。
セレクター・レバー位置表示が点滅	ギヤセレクターを正しい位置にシフトしてください	PDKトランスミッション： セレクター・レバーが2つのポジションの間にある可能性があります。 セレクター・レバーを正しい位置にシフトしてください。
	選択レバーをP位置にします	PDKトランスミッション： イグニッション・キーを抜き取るときや、駐車する場合はセレクター・レバーをPの位置にしてください。
	選択レバーをP位置またはN位置にします	PDKトランスミッション： セレクター・レバーがPまたはNの位置にあるときのみエンジンを始動することができます。
	ブレーキを操作	PDKトランスミッション： 始動時はフットブレーキを踏んでください。
セレクター・レバー位置表示が点滅	T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能	スムーズな変速ができなくなり、リバース・ギヤに入りません。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
セレクター・レバー位置表示が点滅	T/M故障 安全に停車して下さい	インストルメント・パネルにセレクター・レバーの位置が表示されません。 次に停車するまでは走行ができます。 そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。 取扱説明書の「けん引」のセクションをお読みください。ポルシェ正規販売店まで車両をけん引してください。
	T/M温度 高すぎる 負荷を下げる	車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。 例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。 エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。 警告が消えるまでセレクター・レバーをPまたはNの位置にしてエンジンをアイドリングしてください。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	変速機 温度超過 冷却のため 停車して下さい	トランスミッションの温度が高すぎます。 直ちに適切な場所に停車してください。エンジンをOFFにして冷やしてください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	クラッチを踏みます	マニュアル・トランスミッション： 始動時はクラッチ・ペダルを踏んでください。
	ブレーキ液レベル 安全な場所に停車して下さい	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 ブレーキバランス 安全な場所に停車して下さい	直ちに適切な場所に停車してください。運転を続けないでください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ブレーキ冷却 故障	ブレーキ温度が高すぎます。 直ちに適切な場所に停車してエンジンをOFFにし、ブレーキを冷やしてください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 ABS/PSM 慎重に走行して下さい	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	摩耗限度 ブレーキパッド要交換 継続走行可能	直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店にご相談ください。*
点滅	パーキングブレーキ 解除	エレクトリック・パーキング・ブレーキのスイッチを引いてください。
	ブレーキペダルを操作	エレクトリック・パーキング・ブレーキを解除するときは、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
	故障 パーキングブレーキ	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	電動パーキングブレーキがサービスモードです	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	緊急ブレーキ	エレクトリック・パーキング・ブレーキの緊急ブレーキ機能が作動しています。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	PSMシステム 故障 安全な場所に停車して下さい	安全な場所に停車してください。 運転を続けないでください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	故障 PSM 整備工場へ 慎重に走行して下さい	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
OFF	PSM オフ	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントがOFFになっています。
	PSM オン	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントがONになっています。
OFF 点滅	PSMが診断モードです	ポルシェ・スタビリティ・マネージメントが診断モードです。
	故障 スポイラー 要減速	走行安定性が損なわれます。状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
燃料計の警告灯が点灯	目的地までの距離に注意してください	最寄りの給油所で給油してください。
	故障 燃料計表示 修理が必要です	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊
	タンクキャップ 要点検	燃料給油口のキャップを正しく取り付け、確実に閉じてください。
	ウォッシャー液を補充します	
	安全ベルトを装着します	車両に乗車したら、安全のため、すべての乗員がシートベルトを着用してください。
	故障 エアバッグ表示灯 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。＊

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	助手席エアバッグ オン/オフ	助手席エアバッグがONまたはOFFです。
	ステアリングを解除します	ステアリング・ホイールを左右に回して、ステアリング・ロックを解除してください。
	完了するとハンドルがロックされます	車両をロックしてください。
	故障パワーステアリング 操作力増大 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	パワーステアリング 制限中 慎重に走行して下さい	パワー・ステアリングが一時的に制限されます。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。
	イグニッションキーを抜いて下さい	
	キーをトランクから出して下さい	
	キーが見つからない/障害あり キーの位置を変更して下さい	キーを携行していることを確認してください。
	車両キー内のバッテリーを交換します	キーの電池を交換してください。
	故障 ポルシェエントリ&ドライブ	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車両内に複数のキーが検知されました	インフォメーション・メッセージ： キーが車内に残されています。（乗員の荷物の中など）
	スイッチ部：左へ回し、取り外し、キーを差し込む	キーが車両内で検出されない場合、イグニッションをONにすることができず、エンジンを始動することができません。 コントロール・ユニットをイグニッション・ロック位置**0**に戻し、イグニッション・ロックから取り外してください。 イグニッション・キーを使用してイグニッションをONにしてください（エマージェンシー・キーは除く）。
	PADM 無効 要修理 継続走行可	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 サスペンションシステム 慎重に走行して下さい	ハンドリング性能に悪影響が出ます。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	故障 シャーシシステム	直ちに適切な場所に停車してください。発進または走行を続行しないでください。 早急にポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	タイヤ 要点検	タイヤ空気圧モニタリング・システムが、160km/h以下で走行中の場合は少なくとも20%または0.5bar、160km/h以上で走行中の場合は少なくとも0.4bar、270km/h以上で走行中の場合は少なくとも0.3barの空気圧の低下を検出しました。 安全な場所に停車し、タイヤの損傷を点検してください。 必要に応じてパンク修理剤で応急処置を行い、タイヤ空気圧を適正値に調整してください。
	空気を充填	タイヤ空気圧モニタリング・システムが少なくとも0.3barの空気圧の低下を検出しました。 次の機会に空気を充填してください。
	監視が制限されています	1個または2個のホイール・トランスミッターが故障しています。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	タイヤ空気圧監視システムが学習されていません	タイヤ空気圧モニタリング・システムがタイヤの登録を完了するまでには一定の時間が必要です。 このプロセスを実行中は、マルチファンクション・ディスプレイに現在のタイヤ空気圧が表示されません。
	故障 タイヤ空気圧監視 要修理	タイヤ空気圧モニタリング・システムが故障しています。タイヤ空気圧は監視されません。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	タイヤ空気圧監視 一時的に無効	タイヤ空気圧モニタリング・システムに一時的な故障が発生しています。 タイヤ空気圧は監視されません。
	ホイールを交換しますか? 選択し直します	タイヤを交換した後は、マルチファンクション・ディスプレイのタイヤ設定を必ず更新してください。
	タイヤ空気圧 速度を低減します	現在の空気圧に対して走行速度が高すぎます。タイヤ空気圧を規定空気圧まで充填してください。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。
	コンフォート圧力 速度を低減します	設定したコンフォート・プレッシャーの最高速度を超過しています。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。
	ヘッドライト 点灯	ヘッドライトまたは車幅灯が点灯しています。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	パーキングライトオン	左または右のパーキング・ライトが点灯しています。
	例： 左前ウィンカーを点検します	表示されたライトが点灯していません。 バルブ（電球）の点検をしてください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	ダイナミックコーナリング ライト故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点灯	自動ヘッドライト制御 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ヘッドライトレベリング制御 故障 要修理	状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ダイナミックハイビーム 使用不可	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	雨/光センサー故障 修理が必要です	ワイパーおよびライトは手動で操作してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
点滅	ヘッドライト制御 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ダイナミックハイビーム 使用不可 ハイビーム手動で操作	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ダイナミックハイビーム オフ、カメラ視野無 場合により要洗浄	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	PDLS+ 制限中 カメラ視野無 場合により 要センサー洗浄	PDLS+がカメラ故障のために一時的に利用できなくなっています。
	故障 PDLS+ ハイビーム 手動で操作 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	故障 アシスタントシステム/ カメラ 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	視野 前面カメラ制限中 場合により要ガラス洗浄	天候状態やウィンドウの汚れにより、アシスタンス・システム/カメラが一時的に使用できなくなっています。必要であればウィンドウを清掃してください。
	ワイパー故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	ドアが開いています 例	表示されたドアまたはリッドを閉じてください。
	ローンチコントロールが 有効です	ローンチ・コントロールが作動しています。
	システムエラー 継続走行可能 要修理	複数の電気系統のシステムが故障している可能性があります。 状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 音声出力メーターパネル/ フロントパークアシスタント 要修理	方向指示灯の音、警告音および距離信号（パーキング・アシスタントなど）が作動していません。 駐車するときなどは注意してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 音声出力 パークアシスタント 要修理	警告音およびパーキング・アシスタントの距離信号などが使用できません。 駐車するときなどは注意してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	故障 パークアシスト	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	車間距離 ブレーキを操作	前走車との車間距離が十分ではありません。ブレーキを踏んで、車間距離を調節してください。
	ACC/PAS 使用不可 要修理	アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)：車両前部のセンサーがほこりや雪などに覆われているか、または悪天候の影響を受けている可能性があります。状況に応じた走行スタイルと速度で運転してください。 アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)またはポルシェ「アクティブ・セーフ」の故障をポルシェ正規販売店で修理してください。*
	制限1/制限2を越えました	設定した速度制限1または2を超過しています。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	制限速度表示 制限中 カメラ視野無 要ガラス洗浄	悪天候またはフロント・ウィンドウの汚れにより、制限速度表示が一時的に利用できなくなっています。＊必要であればウィンドウを清掃してください。
	制限速度表示 現在制限中	ナビゲーション・データを一時的に受信できなくなっています。＊
	制限速度表示 現在使用不可	一時的にカメラ画像を評価できなくなっています。＊
	故障 制限速度表示 要修理	カメラまたはナビゲーション・システムが故障しています。＊ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	VTS強化、コードを入力して確定してください	リモート・キーパッドを使用してコードを入力し、選択を決定し、PVTSを停止してください（ポルシェ車両追跡システム）。＊
	VTS強化、X分以内にコードを入力して下さい	リモート・キーパッドを使用してコードを入力し、選択を決定し、PVTSを停止してください（ポルシェ車両追跡システム）。＊
	ドライバーカード 認識不可	キーを使用してドライバー・カードを再度作動してください。必要に応じてコントロール・センターにご相談ください。＊
	ドライバーカード電池不足 交換して下さい	バッテリー電圧が低すぎます。ドライバー・カード・バッテリーを交換してください。＊
	リモートキーパッド電池不足 交換して下さい	バッテリー電圧が低すぎます。リモート・キーパッド・バッテリーを交換してください。＊
	コードが 間違っています 再入力して下さい	リモート・キーパッドの数字キーを使用して入力したコードが間違っています。コードを再入力し、選択を決定してPVTSを停止してください（ポルシェ車両追跡システム）。＊
	窃盗未遂が 検知されました、VTSアラーム有効	コントロール・センターに連絡してください。＊
水温計の警告灯が点滅します。	故障 エンジン制御	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*

＊ 日本仕様に設定はありません。

インストルメント・パネルのライト	マルチファンクション・ディスプレイの警告およびインフォメーション・メッセージ	意味/対処法
	表示外気温 故障 要修理	ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。*
	例： 1,000kmでのメンテナンス	サービス・インジケーター 表示されている距離/期日を過ぎる前にメンテナンスを行ってください。なお、整備手帳に掲載されているサービス・インターバルを優先してください。

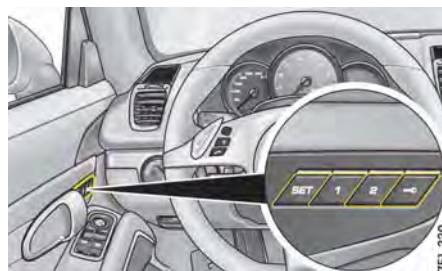
* この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

パーソナル設定

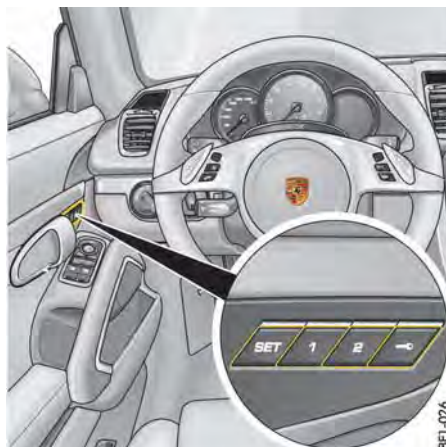
概要 – パーソナル設定 120
パーソナル設定の保存 121

概要 – パーソナル設定

この概要説明は後述の「パーソナル設定」に代わるものではありません。
操作する際は、この概要のみでなく、「警告」を必ずお読みください。

設定のキーへの自動保存
(「**オート・メモリー**」機能作動時)

設定の運転席ドアボタンへの手動保存

どこでパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？	メモリー・パッケージでは、どのようなパーソナル設定の保存/呼び出しができますか？
キーによりドアをロック/ロック解除すると自動的に行われます。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シート、ドア・ミラー、電動ステアリング・コラム **コンフォート設定** – エアコン、マルチファンクション・ディスプレイ、およびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊ 必要条件：マルチファンクション・ディスプレイで、「**オート・メモリー**」機能を有効にしてください。 ▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（102ページ）を参照してください。 **知識**：「**オート・メモリー**」機能を有効にした場合、キーまたはキー・ボタン🔑に保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。
ボタン**1**および**2**を使用して手動で行います。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シート、ドア・ミラー、助手席シート、電動ステアリング・コラム
運転席ドアのキー・ボタン🔑を使用して手動で行います。	**人間工学に基づいた設定** – 運転席シート、ドア・ミラー、電動ステアリング・コラム **コンフォート設定** – エアコン、マルチファンクション・ディスプレイ、およびポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊ 設定は運転席ドアのキー・ボタン🔑およびキーに保存されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

運転席ドア・メモリー・ボタン（コンフォート・メモリー）

パーソナル設定の保存

メモリー・パッケージは、電動スポーツ･シートまたはアダプティブ・スポーツ・シート・プラスとともに提供されます。パーソナル設定を、キーや運転席ドアのメモリー・ボタンに保存することができます。

メモリー・パッケージ

メモリー・パッケージでは、以下の**人間工学に基づいた設定**を保存できます：

– 運転席シート
– 電動ステアリング・コラム
– ドア・ミラー

以下の**コンフォート設定**も保存できます：

– エアコン
– マルチファンクション・ディスプレイ
– ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)＊

注意　シート、ミラー、および電動ステアリング・コラムの自動設定の呼び出し

メモリー設定が予期せぬタイミングで起動した場合、身体の一部が挟まれたり、圧迫される恐れがあります。

▷ メモリー・ボタンまたはシート調節ボタンのいずれかを押すと、設定の自動呼び出し機能をキャンセルできます。
▷ お子様のみを車内に残さないでください。

インフォメーション

マルチファンクション・ディスプレイで自動保存機能を作動状態に設定している場合、車両をロックすると、設定内容がキーに自動的に保存されます。

自動保存機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（102ページ）を参照してください。

マルチファンクション・ディスプレイで自動保存機能が作動状態に設定されているかどうかに関係なく、設定内容はキー（キー・ボタン ⊸ を押す）とメモリー・ボタン**1**または**2**に保存でき、そこから呼び出すことができます。

キーへの設定の保存

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーに個別に割り当てることができます。

 インフォメーション

各メモリーの情報は最大で4本のキーに保存することができます。この他のキーについては、4本目のキーのメモリー情報が保存されます。

車両のロックによる自動保存

マルチファンクション・ディスプレイで、この機能を作動させる設定に切り替えてください。

▷ 「オート・メモリーのON/OFF」（102ページ）を参照してください。

– 車両をロックすると、設定が使用中のキーに保存されます。
– ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合、ドア・ハンドルのロック・ボタンを押すと、設定が保存されます。

「オート・メモリー」機能が役立つ状況

各ドライバーは個別のキーを使用しています。車両をロックすると、最後に選択した設定がキーに保存されます。ドライバーが交代すると、パーソナル設定が個々のキーから呼び出されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

「**オート・メモリー**」機能を有効にした場合、手動操作でキーに保存した設定は、車両をロックするたびに更新されます。

運転席ドアのキー・ボタン による保存

▷ イグニッションをONにしてください。

1. **SET**ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にキー・ボタン を押してください。
3. 人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定（キー特定）が保存されます。保存すると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

設定をキー・ボタン に保存することが役立つ状況

車両のロック/ロック解除時に加えて、停車中に設定の保存/呼び出しを行いたい場合があります。このような場合は「**オート・メモリー**」機能が無効になっていることを確認してください。有効のままだと、車両ロック時に設定が更新されます。

キーから設定を呼び出す

人間工学に基づいた設定とコンフォート設定をキーから個別に呼び出すことができます。

車両ロック解除による自動呼び出し

車両をロック解除して、運転席ドアを開くと、使用中のキーから設定が呼び出されます。

運転席ドアのキー・ボタン を押す

▷ すべての設定が呼び出されるまでキー・ボタン を押し続けてください。
または

▷ 運転席ドアを開いてイグニッションをOFFにした状態で、短くキー・ボタン を押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

キー・ボタン の設定が保存した内容と違う場合

「**オート・メモリー**」機能をマルチファンクション・ディスプレイで有効にした場合、人間工学に基づいた設定およびコンフォート設定は車両ロック時にキーに保存されます。このとき、キー・ボタン に保存された設定が更新されます。

ボタン1および2への設定の保存

人間工学に基づいた設定を運転席ドアのボタン**1**と**2**に個別に割り当てることができます。

▷ イグニッションをONにしてください。

1. **SET**ボタンを押してください。ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
2. 10秒以内にボタン**1または2**を押してください。
3. 人間工学に基づいた設定が該当するボタンに保存されます。保存されると確認音が鳴り、**SET**ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

ボタン1または2による設定の呼び出し

運転席ドアのボタン**1または2**による**人間工学に基づいた設定**の呼び出し

▷ すべての設定が呼び出されるまで**ボタン1または2**を押し続けてください。
または

▷ 運転席ドアを開いてイグニッションをOFFにした状態で、ボタン**1または2**を短く押してください。
設定が自動的に呼び出されます。

ロック時にキーの設定を自動保存する機能のキャンセル

マルチファンクション・ディスプレイで、この機能を作動解除する設定に切り替えてください。

自動保存機能のON/OFFに関するインフォメーション：

▷「オート・メモリーのON/OFF」（102ページ）を参照してください。

安全運転について

お出かけの前に 124
慣らし運転の知識 124
車両の技術的な仕様変更 124
運転中の装備の設定および操作 125
地上高 125
サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど） 125
国外での走行 126
テール・パイプ 126
故障診断用ソケット 126
イグニッション・ロック、ステアリング・ロック 126
エンジンの停止/始動 128
オート・スタート/ストップ機能 129
エレクトリック・パーキング・ブレーキ 131
フット・ブレーキ 132
ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB) 133
クルーズ・コントロール 134
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC) 135
制限速度表示＊ 147
自動車電話、無線装置＊ 149
ポルシェ・コミュニケーション・システム（PCMおよびCDR）＊ 149
USB/iPod®およびAUX＊ 149
ETC受信機 149
ボイス・コントロール＊ 150
マニュアル・トランスミッション、クラッチ 150
Porsche Doppelkupplung(PDK) 151
セレクター・レバー・ポジション 153
走行制限プログラム 158
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム 159
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM) 160
HOLD機能：発進アシスタント、停止制御 162
ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム） 163
ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM) 164
ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTV)の機能説明 165
ダイナミック・エンジン・マウント(PADM) 166
「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード 166
スポーツ・エキゾースト・システム 168
格納式リヤ・スポイラー 169

＊ 日本仕様に設定はありません。

お出かけの前に

▷ すべてのタイヤの空気圧、トレッドおよびその他の状態に異常はありませんか？
▷ ヘッドライト・レンズ、リヤ・ライト、ウィンドウ、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサー、リバース・カメラ・レンズが汚れていませんか？
▷ イグニッションをONにしたとき、ヘッドライト、ブレーキ・ライト、方向指示灯が正常に作動しますか？
▷ イグニッションON（エンジンOFF）状態で、各種警告灯/インジケーター・ライトが正常に作動しますか？
▷ 燃料が不足していませんか？
▷ ルーム・ミラーおよびドア・ミラーは、後方がきちんと確認できる位置にありますか？
▷ 運転者および同乗者は、シートベルトを着用していますか？
▷ 各種オイル/フルード・レベルは、指定された点検時期以外でも定期的に点検してください。

慣らし運転の知識

車両の性能を最良の状態で維持するために、新車時は慣らし運転を行うことをお薦め致します。

最新鋭の精密な製造技術を採り入れても、可動部分が馴染む過程で初期摩耗することを完全には防げません。この初期摩耗は、主に新車時から3,000kmまでの期間に生じます。

インフォメーション

走行距離が3,000kmに達するまでは、次の事項を遵守してください。

▷ 慣らし運転中はなるべく長距離を運転することを推奨します。
▷ 冷間始動と近距離運転の繰り返しは、できる限り避けてください。
▷ クラブ・スポーツ・イベント、スポーツ・ドライビング・スクール等に参加しないでください。
▷ エンジンを高回転域まで回さないでください。特に、エンジンの暖機が完了するまでは、高回転を避けてください。

オイル消費量/燃費

慣らし運転中は、オイルと燃料の消費量が通常よりも若干多くなります。

オイルと燃料の消費量については「テクニカル・データ」の章を参照してください：

▷ 「エンジン・データ（メーカー発表値）」(242ページ）を参照してください。
▷ 「燃費とエミッション（メーカー発表値）」(242ページ）を参照してください。

新しいブレーキ・パッドの慣らし運転

新品のブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクも、エンジンと同様に慣らし運転が必要です。新しい部品を装着してから最初の数百kmは、ブレーキ性能を完全には発揮できません。
通常よりも、わずかながらブレーキの効きが弱くなるため、強めにペダルを踏む必要があります。
ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクを新品に交換した場合も、同様に慣らし運転が必要です。

新しいタイヤの慣らし運転

▷ 注意してください：新しいタイヤは、そのグリップ性能を十分に発揮できません。
新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、ゆっくりとした速度で慣らし運転を行ってください。

インフォメーション

装着されているサマー・タイヤはスポーツ・カー用に特別に開発されたハイ・パフォーマンス・タイヤです。
外気温が低い（15°C以下）場合、このタイヤの特性は変化します。
外気温が低いときに駐車操作やハンドル操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

車両の技術的な仕様変更

▷ 車両の技術的な仕様変更はポルシェ正規販売店で実施してください。
これにより、お客様のポルシェの信頼性と走行安全性を維持することができ、改造に起因する不具合を回避できます。
ポルシェ正規販売店では、お客様のご要望に応じた適切なアドバイスを行います。

知識

▷ 部品交換やアクセサリーの取り付けには、ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準に適合する同等部品のみを使用してください。ポルシェ純正部品は、ポルシェ正規販売店で入手することができます。安全性に関係するアクセサリーを取り付けるときは、ポルシェ・テクイップメント製品またはポルシェ社がテストを実施し、承認

した部品のみをお選びください。アクセサリーについてご不明な点は、ポルシェ正規販売店にお気軽にご相談ください。
ポルシェ純正部品、またはポルシェ社が承認した以外の部品やアクセサリーの使用は、車両に悪影響を及ぼす可能性があります。この結果として生じた損害、損傷に対してポルシェ社は責任を負いかねます。
ポルシェ純正部品や承認部品、アクセサリーを供給しているメーカーの製品でも、特定の部品を使用することで車両の安全性に悪影響を与える可能性があります。
マーケットには膨大な数の部品、アクセサリーが流通しているため、ポルシェ社はそれらのすべてについて評価と承認を行うことができません。

▷ また、ポルシェ純正部品または承認部品以外の部品を使用した場合、保証期間内であってもメーカー保証を適用できなくなる可能性がありますのでご注意ください。

⚠ 警告 空力に影響する部品の損傷または欠損

スポイラーやアンダー・パネルなど、空力に影響する部品が損傷または欠損すると、走行安定性に悪影響を及ぼす危険性があります。

▷ 不具合の兆候などがないか、日頃から定期的な点検を実施してください。
▷ これらの不具合が発生したときは、直ちに修理してください。

運転中の装備の設定および操作

⚠ 警告 運転中のマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの操作および設定

運転中にマルチファンクション・ディスプレイ、ラジオ、ナビゲーション・システム、電話などの機器の操作、設定を行うと、注意力が散漫になり、運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 周囲の交通状況が安全を確保できる場合に限って運転中の操作を行ってください。（*運転中のナビゲーションの操作、注視は道路交通法で禁止されています。）
▷ 複雑な操作、設定は必ず車両を停止してから行ってください。

地上高

知識

車両の下廻りを損傷する恐れがあります。

この車両は車高（地上高）が低いため、車体が路面と接触する恐れがあります。

▷ 立体駐車場入口のスロープ、縁石、不整路、作業リフトなどへの乗り入れでは、ゆっくりと慎重に走行してください。
▷ 急な傾斜路での走行は避けてください。
▷ 地上高が低いため、けん引時または他の車両にけん引されるときは十分に注意してください。

サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）

ブレーキ・フルード、ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）の高温、高負荷時においてブレーキ性能に悪影響を及ぼします。
このため、使用開始から1年以上経過したブレーキ液は、サーキット走行時（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベント）に使用しないでください。

▷ 「整備手帳」のインフォメーションも参照してください。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、運転の仕方やメンテナンスによって大きく左右されます。サーキット走行（スポーツ・ドライビング・スクール、クラブ・スポーツ・イベントなど）によって高温、高負荷がかかるとブレーキ構成部品は激しく摩耗します。

▷ そのため、サーキット走行の前後に、必ずブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクに摩耗がないかポルシェ正規販売店で点検を受けてください。

レース用タイヤ

知識

スポーツ・イベントなどでレース用タイヤ（スリック・タイヤなど）を装着することはポルシェ社では承認されていません。
レース用タイヤを装着すると非常に高い速度でのコーナリングが可能になります。その結果、非常に大きなコーナリング・フォースが発生し、エンジン・オイルの供給不足が生じて潤滑不良が起こり、エンジンを損傷する恐れがあります。
このような不具合は保証の対象になりません。また、ポルシェ社はいかなる責任も負いかねます。

国外での走行

すべてのポルシェ・モデルがすべての国で入手可能であるとは限りません。このため、スペア・パーツが入手できない、あるいは、ポルシェ正規代理店で修理作業が行えないことがあります。

▷ 国外への旅行前に確認しておくこと
– 車両が故障した場合、修理は可能ですか？
– 車両の技術的な調整は必要ではありませんか？
– 条件を満たす品質の燃料は入手可能ですか？

燃料の品質に関するインフォメーション：

▷ 「燃料の給油」（196ページ）を参照してください。

テール・パイプ

⚠ 警告 高温のテール・パイプ

エンジン作動中や、エンジンを停止してからしばらくの間はテール・パイプが熱くなっています。

▷ 車両後方に近づくときは、テール・パイプの近くで立ち止まったり、テール・パイプに触れないでください。
▷ お子様がテール・パイプの熱で火傷をしないように注意してください。

故障診断用ソケット

⚠ 警告 車両エレクトリカル・システムへの不当な介入

外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を故障診断用ソケットに接続した場合、車両システムの機能に支障をきたす恐れがあります。

▷ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

⚠ 警告 運転席足元の装置のゆるみ/ケーブルの垂れ下がり

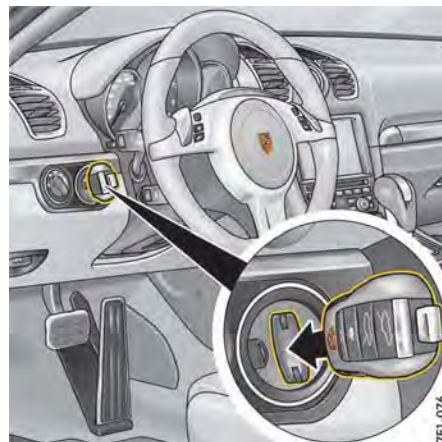
運転席足元で装置がゆるんでいたりケーブルが垂れ下がっている場合、減速時やコーナリング時にペダル周辺のスペースを遮ったり、ペダル間に絡まる恐れがあります。

▷ 運転席足元に装置やケーブルを置かないでください。

知識

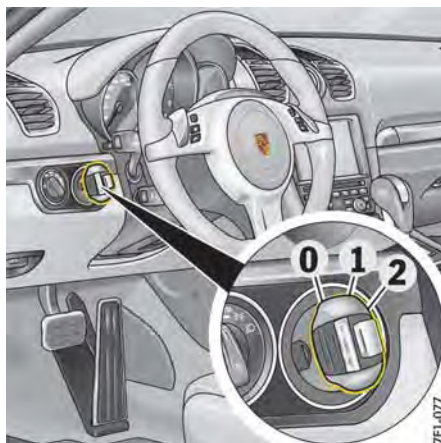
故障診断用ソケットはポルシェ正規販売店で診断装置を接続するためのものです。

イグニッションOFFの状態で故障診断用ソケットを使用して外部装置（ナビゲーション・ユニット、ヘッドアップ・ディスプレイなど）を作動させると、バッテリーが上がる恐れがあります。車両を長期にわたって駐車したままにすると、バッテリーが完全に消耗し、損傷する（完全に上がる）可能性があります。

▷ 故障診断用ソケットに装置を接続しないでください。

イグニッション・ロック、ステアリング・ロック

イグニッション・キーは、ステアリング・コラム左側のイグニッション・ロックに差し込んでください。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、キーを携行していればイグニッション・ロックにキーを差し込む必要がありません。イグニッション・キーはイグニッション・ロック内のコントロール・ユニットに変更されました。このコントロール・ユニットは、けん引のときを除いて**常時**イグニッション・ロックに差し込んでおいてください。

イグニッション・ロックには3つのスイッチ位置があります。

キーの位置
0 - 初期位置
1 - イグニッションON
2 - エンジン始動

 インフォメーション

イグニッション・キーを差し込んだまま放置すると、バッテリーが消耗します。

バッテリー上がりの場合には、イグニッション・キー抜き取りの緊急操作を行った場合のみイグニッション・ロックからキーを抜き取ることができます：

▷ 「緊急操作 – イグニッション・キー／コントロール・ユニットの抜き取り」（19ページ）を参照してください。

イグニッション・ロック位置0 – イグニッションOFF（初期位置）

イグニッション・ロックが位置**0**のときは、エンジンとイグニッションはOFFになっています。イグニッション・キーはこの位置で抜き取ることができます。

イグニッション・ロック位置1 – イグニッションON

▷ イグニッション・キーを**1**の位置に回してください。

すべての電装品が作動可能になります。インストルメント・パネルの警告灯が点灯し、ライトの作動を点検します。

イグニッションをONにしてから10分以上電装品をONにしなかった場合、再度イグニッションをONにする必要があります。

イグニッション・キーをロック位置**0**（初期位置）に回してください。

イグニッションをONにするか、またはエンジンを始動すると、イグニッション・キーが抜き取れなくなります。

イグニッション・キーを抜き取るには：

▷ 停車してください。
▷ **PDKトランスミッション装備車：**
PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
▷ イグニッションをOFFにしてください。
▷ イグニッション・キーを抜き取ってください。

イグニッション・ロック位置2 – エンジン始動

▷ イグニッション・キーをイグニッション・ロック位置**2**に回してください。

エンジンが始動すると、イグニッション・キーがロック位置**2**から**1**に自動的に戻ります。

ステアリング・コラム・ロック

ポルシェ・エントリー &ドライブ非装備車

イグニッション・キーをイグニッション・ロックから抜き取ると、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。イグニッション・キーをイグニッション・ロックに差し込むと、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

ポルシェ・エントリー &ドライブ装備車

イグニッションをOFFにして運転席ドアを開いた場合、または車両をロックした場合、ステアリング・ホイールが自動的にロックされます。

警報システムをキーで無効にした場合、ポルシェ・エントリー &ドライブで運転席ドアを開いた場合、またはイグニッションをONにした場合、ステアリング・ホイールが自動的にロック解除されます。

ポルシェ・エントリー &ドライブの緊急操作

車両とイグニッション・ロックの電波通信が混信したときや、イグニッション・キーのバッテリー残量が低下すると、ポルシェ・エントリー &ドライブが正常に機能しなくなります。

このような場合、イグニッション・ロックからコントロール・ユニットを取り外し、イグニッション・キーで車両を始動することができます。

イグニッション・ロックからのコントロール・ユニットの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「緊急操作 – イグニッション・キー／コントロール・ユニットの抜き取り」（19ページ）を参照してください。

エンジンの停止/始動

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動できます。

▷ 「イモビライザー」（189ページ）を参照してください。

危険 有毒な排気ガス

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

▷ 換気の悪い場所でエンジンを始動したり、アイドリングをしないでください。

警告 高温の排気ガスやエキゾースト・システムによる火傷や火災の恐れがあります

エンジン作動中のエキゾースト・システムは排気ガスにより非常に熱くなります。

▷ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温の排気システムに接触するような場所に駐車したり、走行しないでください。

エミッション・コントロール・システムに関するインフォメーション：

▷ 「エミッション・コントロール・システム」（195ページ）を参照してください。

エンジンの始動

▷ フット・ブレーキを踏んでください。

▷ クラッチ・ペダルをいっぱいに踏み込み、その位置で保持してください（マニュアル・トランスミッション装備車）。

▷ ギヤ・レバーをニュートラルに、またはPDKセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてください。

▷ アクセル・ペダルは踏まないでください。
エンジン・コントロール・ユニットが、エンジン始動に適切な燃料補正を行います。

▷ イグニッション・キーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をロック位置**2**に回してください。
ロック位置**2**（エンジン始動）にすると、直ちにエンジン始動制御が実行され、エンジンが自動的に始動します。

▷ エンジン・スターターを約10秒以上連続して作動させないでください。エンジンが始動しない場合は、10秒程度間をおいてから再度始動させてください。再始動する場合は、はじめにイグニッション・キーをロック位置**0**（初期位置）に戻してください。
1回でエンジンが始動すると、スターターが自動的に停止します。
1回でエンジンが始動しない場合は、引き続きスターターが作動し、自動停止しません。

▷ 停車した状態での暖機運転は行わず、直ちに発進してください。ただしエンジンが通常の作動温度になるまでは、スロットル操作を控えめにし、エンジン回転数を上げすぎないよう注意して運転してください。

▷ バッテリー電圧が低すぎる場合は、ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動してください。

ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動に関するインフォメーション：

▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」（226ページ）を参照してください。

 インフォメーション

バッテリー上がりを防止し、エンジンの始動性を確保するためにも、エンジンを停止したままイグニッションをONにしているときや、渋滞などでエンジン回転数が低いまま運転を続けるときは、不要なアクセサリーの電源をOFFにしてください。

停止

▷ イグニッション・キーを抜く前に、必ず車両を停車させてください。

▷ エンジンをOFFにすると、パワー・ステアリングおよびブレーキ・ブースターの作動も停止するため、車両が停止状態にあるときのみイグニッションをOFFにしてください。

▷ 降車時は**必ず**イグニッション・キーを抜き取り、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、PDK装備車はセレクター・レバーを**P**位置にし、マニュアル・トランスミッション装備車はギヤ・レバーを1速またはリバースにしてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車は、**必ず**コントロール・ユニットをイグニッション・ロックに差し込んだままにしてください。

オート・スタート/ストップ機能

例えば信号待ちや渋滞などで停車すると、オート・スタート/ストップ機能が作動してエンジンが自動停止します。これにより燃料の消費を節約します。

エンジンが自動停止した後もイグニッションがONの状態が維持され、すべての機能が作動可能な状態になっています。

エンジンを自動停止するための条件

– オート・スタート/ストップ機能がONになっている
– ドライバーが乗車している：ドライバーがシートベルトを着用しており、運転席ドアが閉じている
– PDKセレクター・レバーが**D**、**N**、**P**の位置にある、またはギヤ**1**または**2**が手動選択されている、またはギヤ・レバーを**ニュートラル**に入れてクラッチ・ペダルを踏み込んでいない
– エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
– 前回エンジンが自動停止してから、少なくとも1.5秒間、約2km/h以上の速度で走行した

マニュアル・トランスミッション：エンジンの停止/始動

エンジンの停止

停車すると、オート・スタート/ストップ機能が直ちにエンジンを停止します。

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ギヤ・レバーを**ニュートラル**に入れて、クラッチ・ペダルを踏み込んで**いない**場合にエンジンが停止します。

エンジンの始動

次の条件で、オート・スタート/ストップ機能がエンジンを始動します：

▷ クラッチ・ペダルをいっぱいに踏み込み、ギヤを入れてください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

PDKトランスミッション：エンジンの停止/始動

エンジンの停止

停車すると、オート・スタート/ストップ機能が直ちにエンジンを停止します。

1. ブレーキ・ペダルを踏んで停車してください。
2. ブレーキ・ペダルを踏み続けてください。
または
PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

エンジンの始動

次の条件で、オート・スタート/ストップ機能がエンジンを始動します：

▷ PDKセレクター・レバーが**D**または**N**の位置にある、またはトランスミッション・レンジ**1**または**2**が手動選択されている場合：
ブレーキ・ペダルを放してください。
または
アクセル・ペダルを踏んでください。
または
PDKセレクター・レバーを**R**の位置にしてください。

エンジンが始動した後は通常の運転操作で発進できます。

インフォメーション

坂道などで車両が動き始めたとき、エアコンの快適性が低下したとき、ブレーキ・ブースターの負圧が減少したとき、マニュアル・トランスミッション装備車でエンストしたときなど、特定の条件でエンジンが自動的に始動します。

降車後のエンジンの始動

エンジンの自動停止後に降車した場合（ガレージ・ドアを開くためなど）、以下の条件を満たすとエンジンの**自動**始動が行われます：

– セレクター・レバーを**P**位置にシフトする
– 運転者が30秒以内に乗車する
– シートベルトを着用する
– セレクター・レバーを**D**位置にシフトする、および
– ブレーキを解除する

上記の条件が満たされなかった場合、エンジンは**手動操作**で始動する必要があります。マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**エンジンを手動で始動してください**」が表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の例外

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能は**利用できません**：

– 「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき
– PSMがOFFのとき
– クリーピング時
– A/C MAXモードが作動しているとき
– 「フロント・デフロスター」が作動しているとき
– 標高が約3,000mを超えるとき
– エンジンの自動停止中にクラッチを作動せずにギヤを変速したとき

例えば次のような状況では、オート・スタート/ストップ機能が**一時的に制限されます**：

– エアコンやヒーターを高負荷で作動させているとき、またはデフロスターを長時間作動させているとき
– バッテリー電圧が低下したとき
– 上り坂や下り坂で停車したとき
– オート・エンジン・チェック機能など車両が初期点検を実行しているとき
– 外気またはバッテリー温度が非常に低いとき

インフォメーション

エンジンが自動停止した後、上記のいずれかの条件が満たされると、エンジンが自動的に再始動します。

オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードのON/OFF

OFFにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
エンジンの自動停止と惰性走行モードがOFFになります。

ONにする

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
車両が停車すると、自動的にエンジンが停止し、惰性走行モードがONになります。

▷ 「惰性走行モードで走行する」（154ページ）を参照してください。

オート・スタート/ストップ機能の表示

エンジンの自動停止および再始動の準備

ドライバーが乗車している（運転席シートベルトを着用し、運転席ドアが閉じてている）状態で、オート・スタート/ストップ機能でエンジンが自動停止した場合、マルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが緑色に点灯します。

エンジンが自動停止しない、または再始動可能な状態になっていない

オート・スタート/ストップ機能が利用できないとき、または自動停止後にドライバーが降車したとき（運転席シートベルトを外すか、運転席ドアを開いたとき）は、停車中にマルチファンクション・ディスプレイのインジケーター・ライトが黄色に点灯します。

オート・スタート/ストップ・システムは、次の状態を検出します：

– エンジンを自動停止するための条件のいずれか1つが満たされていない。

または

– オート・スタート/ストップ機能の例外条件が、少なくとも1つ以上満たされている。

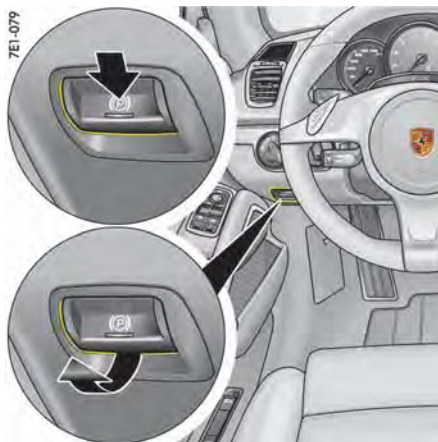
▷ 「エンジンを自動停止するための条件」（129ページ）を参照してください。
▷ 「オート・スタート / ストップ機能の例外」（130ページ）を参照してください。

インフォメーション

停車時にマルチファンクション･ディスプレイの黄色のインジケーター・ライトが点灯し、自動停止の条件が満たされているにもかかわらずエンジンが自動停止しない場合、次の機会にポルシェ正規販売店でオート・スタート/ストップ機能の点検を受けてください。

故障の表示

システムが故障したときは、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**「スタートーストップ」モードが無効です**」が表示されます。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキ

エレクトリック・パーキング・ブレーキは後輪に作用し、駐車中に車両が動き出さないように固定します。

パーキング・ブレーキを作動させる

▷ スイッチⓅを押してください。
インストルメント・パネルのブレーキ警告灯が点灯します。

インストルメント・パネルのインジケーター・ライトおよび警告灯に関するインフォメーション：

▷「インストルメント・パネル」（72ページ）を参照してください。

パーキング・ブレーキを解除する

エレクトリック・パーキング・ブレーキは、イグニッションがONのときのみ解除できます。

1. ブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. スイッチⓅを引いてください。
インストルメント・パネルのブレーキ警告灯が消灯します。

ドライバーの発進操作検出時のエレクトリック・パーキング・ブレーキ自動解除

エンジンが作動中で運転席ドアが閉じており、運転席シートベルトを着用している場合、パーキング･ブレーキをかけたままでも発進することができます。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

このときインストルメント・パネルの警告灯が消灯します。

運転席ドアが閉じていない、または運転席シートベルトを着用していない場合は、ドライバーが発進操作を行ってもエレクトリック･パーキング・ブレーキは自動解除されません。

このとき、マルチファンクション･ディスプレイにメッセージ「**パーキングブレーキ解除**」が表示されます。インストルメント・パネルのブレーキ警告灯と、スイッチのインジケーター・ライトⓅが点滅します。

マルチファンクション･ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

緊急ブレーキ機能

通常のブレーキ操作のみでは車両を停車できない場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキを使用して急制動をかけ、停車させることができます。

▷ スイッチ(P)を押し続けてください。
インストルメント・パネルのブレーキ警告灯と、スイッチのインジケーター・ライト(P)が点滅します。
緊急ブレーキ機能はスイッチから手を放すと解除されます。

⚠ 警告 急激な減速

緊急ブレーキ機能が作動すると非常に高い制動力が発揮されます。周囲の走行を妨げたり、車両のコントロールを失う恐れがあります。

▷ 緊急ブレーキ機能は緊急時にのみ使用してください。

▷ 通常走行時に緊急ブレーキ機能を使用しないでください。

(!) 警告灯

停車中にエレクトリック・パーキング・ブレーキが確実にかからない場合、インストルメント・パネルのブレーキ警告灯が点滅します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

フット・ブレーキ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

▷ フロア・マットなどでブレーキ・ペダルの動きを妨げないようにしてください。
正しいサイズのすべり止め加工がされたフロア・マットが、ポルシェ正規販売店で入手できます。

⚠ 警告 ブレーキ・ブースターの機能停止

ブレーキ・ブースターは、エンジンが作動しているときのみ作動します。エンジンOFF時やブレーキ・ブースターの負圧が低下している場合は、ブレーキ・ペダルを踏み込むときに強い力が必要になります。

▷ ブレーキが故障した車両をけん引しないでください。

けん引およびけん引によるエンジンの始動に関するインフォメーション：

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」(234ページ)を参照してください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクに付着した水膜

激しい降雨時や水たまりを通過したとき、または洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。

▷ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

⚠ 警告 制動力の低下

凍結防止剤（塩分）が撒かれた道路や砂塵の多い道路を長距離にわたって走行すると、ブレーキ・ディスクやパッドが塩や砂で覆われて摩擦力が大幅に低下し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

ブレーキ・ディスクは鋳鉄合金製ですが、長期間にわたり車両を駐車したまま放置した場合、腐食は避けられません。その結果、ブレーキは「引きずり」を発生します。

腐食の程度や範囲、影響は、駐車していた期間、凍結防止剤（塩分）や砂塵の付着、洗車時に油脂溶剤を使用したかどうかなどの条件で変わります（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。

▷ ブレーキ・ディスクの腐食を避けるため、「ブレーキを乾燥させてから」駐車してください（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ装備車を除く）。

▷ ブレーキに気になるほどの不快感がある場合は、ポルシェ正規販売店でブレーキ・システムを点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ブレーキの効きを持続するため、下り坂を走行するときは、タイミング良くギヤを落とし、エンジン・ブレーキを利用してください。
急な下り坂でエンジン・ブレーキの効果だけでは不十分な場合、間隔をおいてブレーキ・ペダルを踏んでください。ブレーキ・ペダルを連続して踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなります。

ブレーキ液とブレーキ液レベルに関するインフォメーション：

▷ 「ブレーキ・フルード」（206ページ）を参照してください。

ブレーキ・パッドおよびブレーキ・ディスク

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクの摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生することがあります。

警告メッセージ

ブレーキ・パッドが摩耗限度に達すると、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

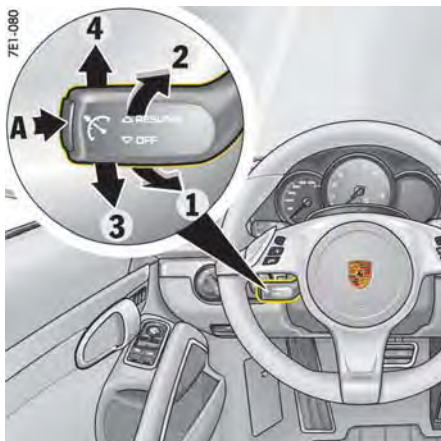
▷ 直ちにポルシェ正規販売店でブレーキ・パッドを交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)

この車両の高性能ブレーキ・システムは、すべての速度域および温度下で、最適な制動効果が得られるように設計されています。
このため、特定の速度、制動力や車両を取り巻く環境（気温、湿度等）によってブレーキから異音が発生する場合があります。

ブレーキ・パッドやブレーキ・ディスクなどのブレーキ・システムおよび関連部品の摩耗は、ユーザーの運転の仕方や使用環境によって大きく左右されるため、必ずしも走行距離には依存しません。

ポルシェ社が使用している数値は、交通状況に合わせた通常の運転操作に基づいています。サーキット走行や過激な運転スタイルは、摩耗を大幅に促進させます。

車両をサーキット走行などに使用する場合は、現在のガイドラインについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

A - クルーズ・コントロールのON/OFF
1 - 加速/速度の設定
2 - 減速
3 - 中断(OFF)
4 - クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

クルーズ・コントロール

クルーズ・コントロールを使用すると、約30～240km/hの範囲でアクセル・ペダルを踏まなくても希望する速度を維持したまま走行できます。クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作します。

PDK装備車

特に下り坂などでは、設定速度を維持するために自動的にシフトダウンします。

⚠ 警告　危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合にクルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

クルーズ・コントロールON（スタンバイ）

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタンAを押してください。

クルーズ・コントロールON

クルーズ・コントロールがスタンバイ状態になると、マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。

速度の設定（維持）

1. アクセル・ペダルの操作で希望する速度まで加減速してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
   そのときの速度が保存され、自動的に維持されます。

設定速度

保存した速度がマルチファンクション・ディスプレイのシンボル・マークの下に表示され、全体が橙色になります。

加速（追い越しなど）

オプション1

▷ 通常走行と同じようにアクセル・ペダルを踏むと加速します。
アクセル・ペダルから足を放すと、設定速度に戻ります。

オプション2

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで前方（**1**の位置）に押し続けてください。
速度が10km/h単位で上がります。

新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

減速

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前（**2**の位置）に素早く引いてください。
速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）に引き続けてください。
速度が10km/h単位で下がります。

新しく設定した速度がマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

PDK装備車

特に下り坂などでは、設定速度を維持するために自動的にシフトダウンします。

クルーズ・コントロールの中断(OFF)

クルーズ・コントロールを中断したときは、直前の設定速度が保存され、クルーズ・コントロール操作レバーを押すと設定速度を呼び出すことができます。

▷ 「クルーズ・コントロールの再開(RESUME)」（135ページ）を参照してください。

▷ 操作レバーを下方（**3**の位置）に押してください。
または
ブレーキ・ペダルまたはクラッチ・ペダルを踏むか、**または**PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

Porsche Doppelkupplung(PDK)に関する追加インフォメーション：

▷ 「PORSCHE DOPPELKUPPLUNG(PDK)」（151ページ）を参照してください。

クルーズ・コントロールの自動中断：

– 設定速度より約25km/h以上速い速度で、20秒以上走行した場合
– 上り坂などで、設定速度より約60km/h以上遅い速度で60秒以上走行した場合
– ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)が0.5秒以上作動した場合

クルーズ・コントロールの再開(RESUME)

▷ 操作レバーを上方（**4**の位置）に押してください。
設定速度に加減速します。

インフォメーション

周囲の交通状況や路面状態が設定速度での走行に適しているときのみクルーズ・コントロールを再開させてください。

クルーズ・コントロールOFF

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**A**を押してください。
設定速度が消去され、シンボルマークが消灯します。

駐車してイグニッションをOFFにすると、保存されている設定速度が消去されます。

インフォメーション

上り坂や下り坂では速度を維持できない場合があります。

▷ エンジン･ブレーキがしっかりとかかり、エンジン回転数が適切な範囲に維持されるように適切なギヤを選び、シフトダウンしてください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)

（PDK装備車のみ）

アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用すると、前走車がいない場合に約30～210km/hの範囲でアクセル･ペダルを踏まずに希望する速度を維持したまま走行できます。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは自車と同一車線上に、設定した速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車との車間距離が短くなると減速し、車間距離が長くなると設定速度の範囲内で加速します。

⚠ 警告 集中力の低下

アダプティブ・クルーズ・コントロールにより快適性は向上しますが、ドライバーは運転に責任を持ち、安全運転を心がけてください。ドライバーは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動していても、安全な車間距離を保ち、適切なスピードで走行するなどの安全運転に努めてください。このシステムはドライバーの代わりになるものではありません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ アダプティブ・クルーズ・コントロールの減速が不十分な場合は、直ちにフット・ブレーキをかけて車両を減速させてください。

▷ 常に車両がコントロールできるか確認してください。

⚠ 警告 危険な交通状況や路面状態が悪い状況での走行

交通状況により前走車との安全な距離を保って走行できない場合、または一定の車速で走行できない場合は、クルーズ・コントロールを使用すると事故を起こす恐れがあります。

▷ 激しい渋滞、道路工事区域、カーブの多い道、路面状態が悪い場合（冬場の滑りやすい路面、濡れた路面、起伏の多い路面など）でクルーズ・コントロールを使用しないでください。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)により他の車両や障害物を検出できない場合

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、停車中または低速走行中の車両、歩行者、路上の障害物、同一車線上の対向車、前方を斜め方向に横切る車両などを検出できません。

▷ 必要に応じて適切な運転操作をしてください。
▷ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

レーダー・センサー

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、フロント・バンパー中央（**矢印**）のレーダー・センサーを使用します。

インフォメーション

▷ システムの正常な機能を維持するために、レーダー・センサーに付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。

車両のお手入れについて：

▷ 「車両のお手入れ」(198ページ) を参照してください。

⚠ 警告 レーダー・センサーの視界不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶきなどでレーダー・センサーの機能が阻害される場合があります。前走車を正しく検出できないことや、全く検出できなくなることがあります。

▷ 上記のような状況下ではアダプティブ・クルーズ・コンロールを使用しないでください。

例外

レーダー・センサーの汚れが激しい場合や雪などで覆われているとき、豪雨など悪天候のとき、トンネルを通過中などにアダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に作動を停止することがあります。
このような場合、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC/PAS 使用不可 センサーに汚れ 要洗浄**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ) を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の基本的な作動

前走車がいないとき – 一般道路での運転

アダプティブ・クルーズ・コンロールはクルーズ・コントロールと同様に作動します。設定された希望の速度が常に維持されます。

前走車を検出したとき – フォロー・モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、自車と同一車線上に希望した設定速度よりも遅い前走車を検出すると、あらかじめ設定した車間距離を自動的に維持するように速度を調節します。

前走車が停止すると、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御範囲内で減速して停車します。
アダプティブ・クルーズ・コントロールは前走車が発進するまで停車状態を維持します。

前走車が発進すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）を再開することができます。

▷ 「再発進」(142ページ)を参照してください。

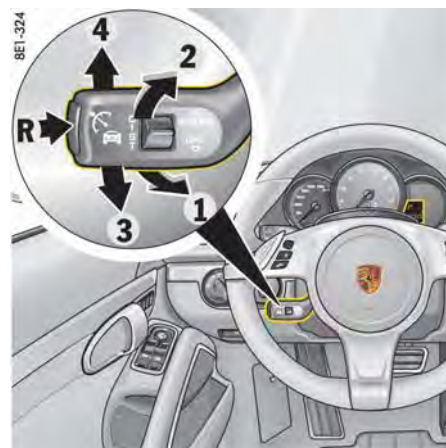
追い越し加速

アクセル・ペダルを踏むことにより、いつでも加速することができます。

設定速度よりも高速で走行すると、アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が解除されます。
このとき、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC 停止中**」が表示されます。
設定された希望の速度は保存されています。

アクセルを放すと、アダプティブ・クルーズ・コントロールは、前走車がいない場合希望の速度まで加速し、前走車がいる場合は車間距離を制御します。

「**ACC 停止中**」の状態に関するインフォメーション：

▷ 「アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON時の作動モード」(139ページ) を参照してください。

R - アダプティブ・クルーズ・コントロールのON/OFF
1 - 加速/速度の設定
2 - 減速
3 - 中断(OFF)
4 - 再開/設定速度への復帰(RESUME)

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の使用

アダプティブ・クルーズ・コントロールは、ステアリング・コラム左下にあるレバーで操作してください。

 インフォメーション

ブレーキ・ペダルまたはアクセル・ペダルを操作した場合、いつでもドライバーの意志が優先されます。

A - 前走車との設定車間距離
B - ステータス表示/設定速度
C - 前走車を検出
D - 前走車との現在の車間距離
E - 前走車の現在の速度
F - 速度制御範囲のバー・グラフ(0～210km/h)
G - 現在の速度

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールに関するすべての重要な情報、メッセージおよび警告はマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

「ACC」メイン・メニュー

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタン、またはステアリング・コラム右下のレバー操作により、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロールの操作画面を呼び出すことができます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（76ページ）を参照してください。

1. メインメニュー：「**ACC**」を選択してください。

ステータス表示

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイ左下にステータス・ディスプレイ**B**が表示されます（**図を参照**）。

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動すると、ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動を中断すると、ステータス・ディスプレイ**B**が灰色になります。

例：

アダプティブ・クルーズ・コントロールをON（スタンバイ状態）にすると、クルーズ・コントロールのシンボル・マークが表示されます。ただし設定速度を設定するまでは、速度表示が空欄になります。

設定速度を設定した後、前走車を検出していないときは、クルーズ・コントロールのシンボル・マークと設定速度が表示されます。

設定速度を設定した後で前走車を検出した場合、車両のシンボル・マークと設定速度が表示されます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON/OFF

アダプティブ・クルーズ・コントロールをONにする

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイに灰色のシンボル・マークが表示されます。
アダプティブ・クルーズ・コントロールはスタンバイ状態になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにする

▷ クルーズ・コントロール操作レバーのボタン**R**を押してください。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC オフ**」が表示されます。
設定速度が消去されます。
設定車間距離が初期値（デフォルト値）にリセットされます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のON時の作動モード

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時には、3種類の作動モードがあります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの作動

アダプティブ・クルーズ・コントロールが、速度および前走車との車間距離を自動的に制御します。
ステータス･ディスプレイ**B**が橙色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロールのスタンバイ

ブレーキ・ペダルを踏んだときや、クルーズ・コントロール操作レバーを下方（**3**の位置、**OFF**）に押したときは、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）が解除されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス･ディスプレイ**B**が灰色になります。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の再開に関するインフォメーション：

▷ 「RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）」（142ページ）を参照してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロールの速度超過

アクセル・ペダルを踏み込むと、自動車速制御と自動車間距離制御が解除されます。
このとき、マルチファンクション･ディスプレイにメッセージ「**ACC 停止中**」が表示されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。
ステータス･ディスプレイ**B**が灰色になります。
アクセル・ペダルを放した後、アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）は再開されます。

速度の設定/設定速度の変更

前提条件

– アダプティブ・クルーズ・コントロールがON
– 車両が動いている
– 前方に静止した物体を検出していない

速度の設定

1. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
そのときの速度が保存され、自動的に維持されます（30～210km/hの制御範囲内）。ステータス・ディスプレイ**B**が橙色になります。
速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。
2. アクセル・ペダルから足を放してください。
自車よりも遅い速度の前走車が検出されるまで、設定速度が自動的に維持されます。

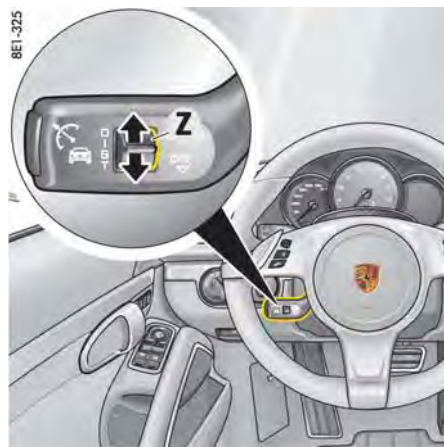
インフォメーション

停車中にクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押すと、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC不可 停車中**」が表示されます。
前方に静止した物体を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ACC不可 静止物体 前方**」が表示されます。

設定速度を上げる

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを前方（**1**の位置）に押してください。
速度が1km/h単位で上がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで前方（**1**の位置）に押し続けてください。
速度が10km/h単位で上がります。
ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

設定速度を下げる

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを手前（**2**の位置）に素早く引いてください。
速度が1km/h単位で下がります。
または
ステアリング・コラムの操作レバーを希望の速度になるまで手前（**2**の位置）に引き続けてください。
速度が10km/h単位で下がります。
ステータス・ディスプレイ**B**が新しく設定した速度を表示します。
速度制御範囲のバー・グラフの下部に表示されている赤色の▲マーク**G**が、現在の速度を示しています。

車間距離の設定

前走車との車間距離を4段階に設定できます。

インフォメーション

車間距離を設定すると、マルチファンクション・ディスプレイにアダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のメイン・メニュー「**ACC**」が一時的に表示されます。
最初にロッカー・スイッチ**Z**を操作すると、設定車間距離を変更することなく、「**ACC**」メイン・メニューが表示されます。

インフォメーション

実際の車間距離は速度に応じて変化します。速度が低いときは車間距離が短くなり、速度が高くなると車間距離が長くなります。

車間距離を長くする

▷ ロッカー・スイッチ**Z**を上方向に押してください。
設定車間距離が長くなります。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が増えます。

車間距離を短くする

▷ ロッカー・スイッチ**Z**を下方向に押してください。
車間距離が短くなります。
前走車との設定車間距離を示す橙色のセグメント**A**の数が減ります。

前走車との車間距離を表示する

前走車を検出すると、マルチファンクション・ディスプレイとステータス・ディスプレイ**B**に車両のシンボル・マーク**C**が表示されます。
灰色のゾーン**D**が、前走車との現在の車間距離を示します。

車間距離の設定オプション

走行速度が高い道路での走行に適した車間距離です。前走車との車間距離は1秒です。この場合、120km/hのときに約33mの車間距離になります。

少し余裕のあるドライビングに適した車間距離です。前走車との車間距離は1.3秒です。この場合、120km/hのときに約43mの車間距離になります。

デフォルト（初期設定値）
道路運行上の安全基準に即した車間距離です。前走車との車間距離は1.8秒です。この場合、120km/hのときに約60mの車間距離になります。

郊外路を走行するときに適しています。前走車との車間距離は2.3秒です。この場合、120km/hのときに約77mの車間距離になります。

自動ブレーキ制御での停止

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに前走車が停止すると、制御範囲内で減速して停車します。
インストルメント・パネルのインジケーター・ライトHOLDが点灯します。
車両は前走車が発進するまで停止状態を維持します。

HOLD機能に関するインフォメーション：
▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（162ページ）を参照してください。

インフォメーション

周囲の交通の流れによっては（例えば、ゆっくりとした交通の流れの中では）、車両はゆっくりと徐行してから停車します。

⚠ 警告 ブレーキ・ペダルの感触の変化

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)が正常に機能している場合や、HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。
これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

再発進

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の作動モードに応じて、停車後に再発進し、自動車速制御と自動車間距離制御を再開することができます。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)の作動

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方(**4**の位置、**RESUME**)に押してください。
または
アクセル・ペダルを短く踏んでください。
車両が自動的に再発進します。

インフォメーション

前走車が停止しているときは発進できません。

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のスタンバイ

車両が動いているときのみ、自動車速制御および自動車間距離制御を再開することができます。

1. 通常の運転操作で発進してください。
2. ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方(**4**の位置、**RESUME**)に押してください。
または
速度の設定してください。

アダプティブ・クルーズ・コントロール（自動車速制御および自動車間距離制御）の中断と再開

OFF（自動車速制御と自動車間距離制御の中断）

▷ ブレーキ・ペダルを踏んでください。
または
ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを下方（**3**の位置、**OFF**）に押してください。
アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されます。
設定された希望速度および設定距離は保存されています。

RESUME（自動車速制御と自動車間距離制御の再開）

▷ ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方(**4**の位置、**RESUME**)に押してください。
自車よりも遅い速度の前走車を検出し、あらかじめ設定した車間距離よりも接近するまでは、設定速度まで加速します。
ステータス・ディスプレイ**B**が灰色から橙色になります。
または
ステアリング・コラムのクルーズ・コントロール操作レバーを上方(**4**の位置、**RESUME**)で保持してください。
通常よりもスポーティーなドライビング・スタイルで、設定速度まで加速します。

インフォメーション

クルーズ・コントロール操作レバーを**3**の位置(**OFF**)に押して、自動車速制御および自動車間距離制御を中断した場合、発進後、前方に静止した物体を検出していないときのみ制御を再開できます。

警告メッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロール作動中(ACC active)のドライバーへの運転操作の要求

アダプティブ・クルーズ・コントロールが作動しているときに、ドライバーのブレーキ操作が必要であると判断した場合、警告音が鳴り、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**車間距離 ブレーキを操作**」が表示されます。

⚠ 警告

アダプティブ・クルーズ・コントロールによるオート・ブレーキ時の不十分な制動力

このような場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールによる制動力は衝突を回避するには不十分です。

▷ 直ちにブレーキをかけてください。

マルチファンクション･ディスプレイのメッセージ

アダプティブ・クルーズ・コントロールが自動的に解除されたときや、正常な作動を実行できないときは、マルチファンクション・ディスプレイに該当するメッセージが青色で表示されます。

– **「ACC 使用不可 センサーに汚れ 要洗浄」**
  レーダー・センサーの機能が雪などで阻害されている場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールは利用できません。
– **「ACC不可 ABS/PSM介入」**
  ABSやPSMが制御を実行しているため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「パーキングブレーキ解除」**
  エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動したため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 ギアセレクター D/Mへ切替」**
  PDKセレクター・レバーが**D**またはマニュアル・ポジション**M**の位置にないため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 停車中」**
  停車中のため、要求した制御（速度の設定など）を実行できません。
– **「ACC不可 回転数超過」**
  PDKセレクター・レバー/シフト・パドルが**M**のマニュアル位置のときにエンジン回転数が許容限度に到達したため、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制御が中断されました。
– **「ACC不可 傾斜過大」**
  坂道の傾斜度が大きすぎるため、速度または車間距離を設定できません。
– **「ACC不可 静止物体 前方」**
  前方に静止物を検出したため、制御を実行できません。
– **「ACC不可 PSMをONにしてください」**
  PSMがOFFになっているため、アダプティブ・クルーズ・コントロールを使用できません。
  ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)に関するインフォメーション：

▷ 「ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)」（160ページ）を参照してください。

– **「ACC 使用不可」**
  ブレーキのオーバーヒートを防ぐなどのため、アダプティブ・クルーズ・コントロールが無効または使用できません。
– **「ACC 不可 ステアリング角過大」**
  ステアリングの操作が速すぎます。

一般的なインフォメーション

「スポーツ」および「スポーツ･プラス」モード

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モードでは、アダプティブ・クルーズ・コントロールが通常の制御よりも運動性能が向上した制御になります。

アダプティブ･クルーズ･コントロール(ACC)の例外

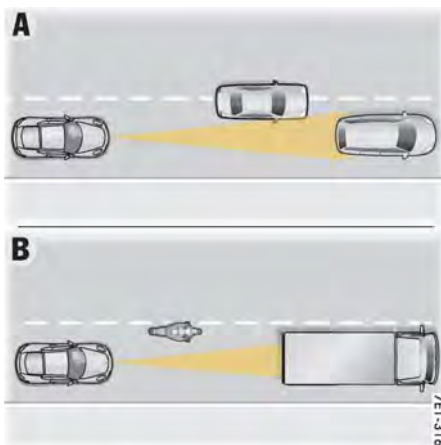
次のような状況では、アダプティブ・クルーズ・コントロールは**利用できません**：

– イグニッションがOFFのとき
– PSMがOFFのとき
– 運転席ドアが開き、運転席シートベルトを着用していないとき
– 駐車するとき、または非常に狭い場所を運転するとき
– エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
– PDKセレクター・レバーが**N**、**R**または**P**の位置にあるとき。
– 上り坂や下り坂の傾斜が20%以上のとき

アダプティブ・クルーズ・コントロールON時に、上記のいずれかの例外状況があてはまる場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールがOFFになります。
マルチファンクション･ディスプレイに該当するメッセージが表示されます。

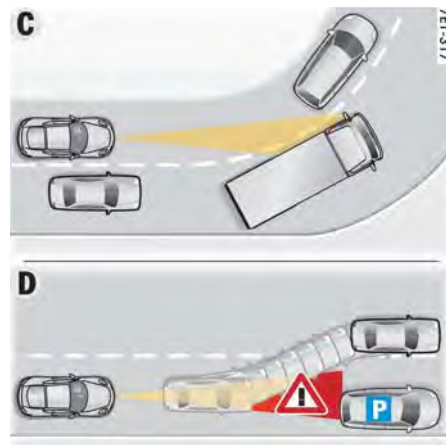
レーダー·センサーが前走車を正常に検出できない状況

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)のレーダー・センサーは、自車正面の比較的狭い範囲を円錐状に監視します。
このため周囲の道路状況や、前走車の大きさによっては、レーダー・センサーが前走車を検知できない、または検知が遅れる場合があります。その結果、アダプティブ・クルーズ・コントロールの制動が遅れたり、ブレーキが突然かかることがあります。
停車中の車両は検出されません。アダプティブ・クルーズ・コントロールは停車中の車両に反応できません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 必要に応じて減速してください。

A – 前走車の車線変更/前方への割り込み

隣の車線を走行する車両が車線変更したり、前方に割り込んだときは、自車と同一車線に完全に移動するまで、その車両を検出しません。

B – 投影面積が小さな車両/幅の狭い車両

小さな車両や幅の狭い車両は検出できないか、または検出のタイミングが遅れます。

C – コーナーへの進入/脱出

コーナーにさしかかったときは、前走車を検出できなかったり、早すぎるタイミングで検出する場合があります。また、隣の車線を走行する車両に反応する場合もあります。

D – 停車中の車両

レーダー・センサーの監視エリアに突然停車中の車両が現れたとき（前走車が車線変更したときなど）は、アダプティブ・クルーズ・コントロールはその車両を検出しません。

⚠ 警告 アダプティブ・クルーズ・コントロールの停止車両の不検出

アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーは停車中の車両を検出しません。

▷ 十分注意して運転してください。
▷ 必要に応じて減速してください。

E – オーバーハングの長い車両

木材運搬トラックなどの車両後部は検出しません。

 警告 前走車の後端が正しく検出されない

前走車に長いオーバーハングがある場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサーはその車両の後端を検出できないか、または正しく検出することができません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 必要に応じて減速してください。

アクティブ・セーフティー – ポルシェ「アクティブ・セーフ(PAS)」

アダプティブ・クルーズ・コントロール・センサーはポルシェ「アクティブ・セーフ」機能に使用されます。

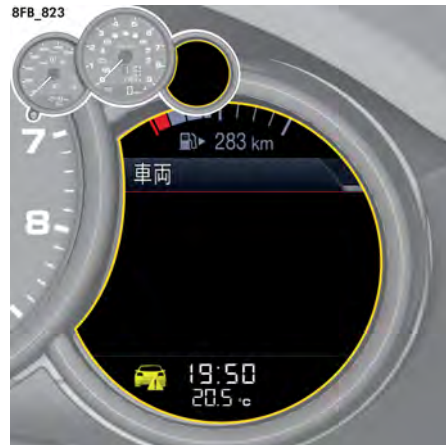
機能内容：

– **ブレーキ・システム・プレフィル**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・システムの圧力をあらかじめ少し高めてブレーキ・パッドをブレーキ・ディスクに軽く押し付け、制動時の応答性を向上させます。

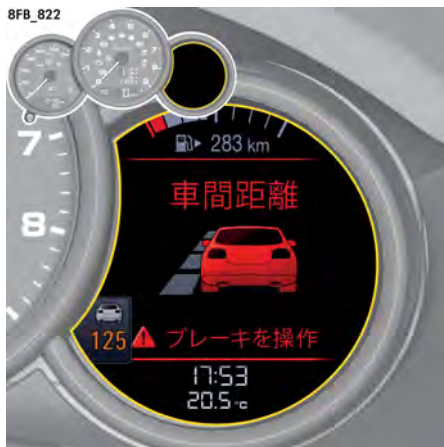
– **ブレーキ・アシスト・プラス**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出すると、ブレーキ・アシスト機能の作動開始が早まります。ブレーキ・アシスト機能の作動は状況の危険度に応じて3段階で早まります。

– **ターゲット・ブレーキ**
  前走車に危険なほど近づいていることをレーダー・センサーが検出し、更にブレーキ制動力が不十分な場合、状況に応じてブレーキ圧力を増加します（必要に応じて最大の制動力まで）。

インフォメーション

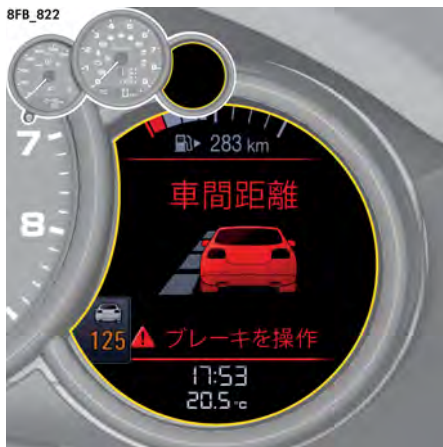
すべてのポルシェ「アクティブ・セーフ(PAS)」機能は車速約30km/h以上で作動します。

潜在的な警告（表示）

車間距離が短い状態で長い時間走行している場合、前走車がブレーキをかけたときに衝突することを防ぐため、マルチファンクション・ディスプレイに潜在的な警告（黄色のマーク）を表示してドライバーに警告します。

▷ 必要に応じて前走車から離れて後方に下がってください。

予期警告（警告音、表示）

前走車に危険なほど近づいており、前走車と衝突しそうなことをレーダー・センサーが検出すると、警告音と表示で予期警告を行います。
ドライバーに警告を促し、ドライバーが適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。
▷ 直ちにブレーキをかけてください。

緊急警告（警告音、表示、触知）

ドライバーが予期警告に対応せず、ブレーキをかけなかった場合、直ちに緊急警告が作動し、警告音と表示に加えてブレーキ振動で知らせます。
ブレーキ圧力を素早く高め、ブレーキ振動を発生させて警告します。これによりドライバーに交通状況を警告します。
ドライバーはこの危険な状況に適切に対応することで衝突を回避できます。

⚠ 警告 車間距離の不足

前走車に追突する恐れがあります。
▷ 直ちにブレーキをかけてください。

インフォメーション

下記の状況ではドライバーは慎重に運転していると想定され、予期警告や緊急警告機能は作動しません：
– 急カーブを走行しているとき
– ブレーキをかけているとき
– 追い越ししようとしている場合などドライバーが急加速したとき

ポルシェ「アクティブ・セーフ(PAS)」警告のON/OFF

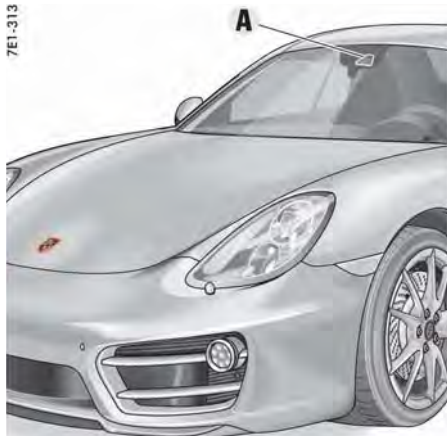
潜在的および予期警告機能は初期設定ではOFFになっています。緊急警告機能は作動状態になっています。
潜在的な警告と予期警告はマルチファンクション・ディスプレイの「**事前警告 オン**」の設定で作動できます。
設定はイグニッションのON/OFFを切り替えても保存され続けます。
▷ 「アクティブ・セーフ(PAS)」（107ページ）を参照してください。
▷ 「アクティブ・セーフティー – ポルシェ「アクティブ・セーフ(PAS)」」（145ページ）を参照してください。

規格との適合（欧州圏における）

アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC)は周波数帯域77GHzで作動するレーダー・センサーを使用します。車両を使用する国によっては、アダプティブ・クルーズ・コントロールをOFFにする必要があります。

用途に基づいて使用する場合、アダプティブ・クルーズ・コントロールが「欧州議会および理事会指令1999/5/EC」の§3および他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。

アダプティブ・クルーズ・コントロールは下記の国で使用できます：

– オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、英国/北アイルランド、ギリシャ、ハンガリー、アイスランド、アイルランド、イタリア（サン・マリノ、バチカン市国）、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、スロバキア共和国、スロベニア、スペイン（アンドラ、バレアレス諸島、カナリア諸島）、スウェーデン、スイス

制限速度表示＊

制限速度表示は、カメラ**A**を使用して、制限速度と追い越し禁止ゾーンの始点と終点を検出します。

交通標識はナビゲーション・システムの地図データと連動して評価され、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。

濡れた路面、分岐レーン、または時限式標識などで制限速度が低くなる場合、車両から供給される情報（レイン・センサー、ナビゲーションの日時など）と比較して補助標識が表示されます。

制限速度表示は国によって異なるため、すべての国別仕様に適用されるわけではありません。ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の制限速度表示に関するインフォメーションは、別冊の取扱説明書を参照してください。＊

⚠ 警告 集中力の低下

ドライバーは、制限速度表示に関係なく、適切な速度で走行するなど、常に安全運転に努めてください。このシステムは、あくまでも補助的な機能のため運転時には細心の注意を払ってください。

制限速度表示には、車両が制限速度を超過した場合の警告機能はありません。設定した制限速度に車両の速度を調整する機能でもありません。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 交通状況と車両周囲には常に注意を払ってください。

▷ 交通状況に応じた速度で運転してください。

⚠ 警告 交通標識を検出するカメラの不良

雨水、雪、氷、多量の水しぶき、対向車のヘッドライトなどでカメラの視界が低下すると、カメラは交通標識を検出できない、または正しく検出できない場合があります。このような場合、制限速度が表示されなかったり、誤った制限速度が表示される場合があります。マルチファンクション・ディスプレイに表示された制限速度よりも、実際の道路交通標識を常に優先して確認してください。

▷ 走行中は道路標識に常に注意を払ってください。

▷ 十分注意して運転してください。

▷ 進行方向の状況に常に気を配ってください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

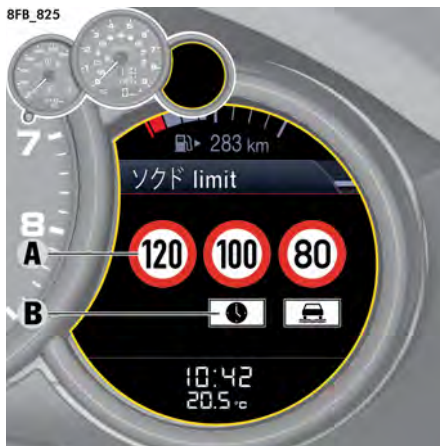
以下の場合、制限速度表示の機能が制限されます：
- カメラの視界に汚れ、凍結、またはステッカー等による遮断がある。
- 悪天候（豪雨など）
- 高速で走行している
- 交通標識が見えにくい状態、または損傷している

インフォメーション

▷ カメラの作動を干渉する物がないことを確認してください：
ルーム・ミラー上のカメラの周囲（図を参照）をステッカーなどで遮断しないでください。

▷ 正常な機能を維持するために、カメラの視界に付着した汚れ、氷、雪などを取り除いてください。
車両のお手入れについて：
「車両のお手入れ」（198ページ）を参照してください。

インフォメーション

交通標識がカメラによって検出されない場合、ナビゲーション・システムに保存されている制限速度が自動的に表示されます。

A - 主要交通標識
B - 補助標識

制限速度の表示

マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタン、またはステアリング・コラム右下のレバー操作により、マルチファンクション・ディスプレイに制限速度の表示を呼び出すことができます。

最大3つの主要交通標識**A**と補助標識**B**を表示できます。最も優先順位の高い交通標識が左側に表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイの使用に関するインフォメーション：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（76ページ）を参照してください。

1. メインメニュー：「**制限速度**」を選択してください。

イグニッションをONにした後、マルチファンクション・ディスプレイに有効な最新の制限速度が表示されます。

制限速度が検知されない場合（速度制限なしの高速道路など）は、マルチファンクション・ディスプレイに「**制限速度表示 認識不可**」と表示されます。

現在のエリアで制限速度表示が利用できない場合は、「**制限速度表示 現在地域では使用不可**」と表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

インフォメーション

- 交通静音化対策地域または住宅地では、制限速度表示は「5km/h」と表示されます。
- 交通標識のない高速道路や幹線道路の入口/出口では、郊外道路の該当する制限速度が表示されます。

自動車電話、無線装置＊

▷ 自動車電話を使用する前に、必ず自動車電話の取扱説明書をお読みください。
▷ 運転中の電話の操作や通話については、各国の法律などを遵守してください。

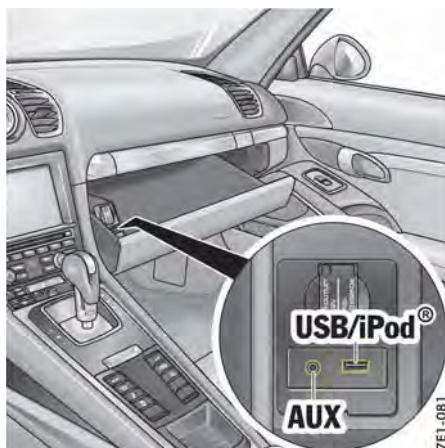
⚠ 警告 車両コントロールの喪失

走行中、携帯電話を使用すると運転に対する注意力が低下することがあります。運転操作を誤る恐れがあります。
▷ 安全上の理由から、自動車電話での通話はハンズフリー・システムのみを使用してください。

ポルシェ・コミュニケーション・システム（PCMおよびCDR）＊

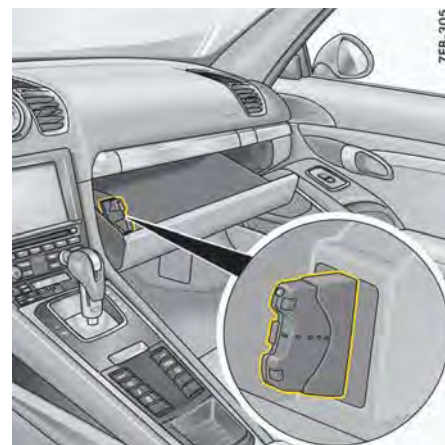
▷ ポルシェ・コミュニケーション・システムを使用する前に、別冊の取扱説明書をよくお読みください。

受信の状態

ポルシェ・コミュニケーション・システムPCMまたはCDRの受信状態は走行中、常に変化します。建物、地形および天候による受信障害は避けられません。
特にFMステレオは周囲の状況変化に敏感です。
電子アクセサリーの取り付けは、必ずポルシェ正規販売店で行ってください。
ポルシェ社がテストを実施し、承認したアクセサリーのみを使用してください。それ以外のアクセサリーを使用すると、ラジオの受信状態に悪影響を及ぼす恐れがあります。

USB/iPod®およびAUX＊

USB/iPod®およびAUXのインターフェースは、グローブ・ボックスの中にあります。
▷ PCM 取扱説明書（別冊）の「外部オーディオ・ソース」の章を参照してください。

インフォメーション

車内は過酷な条件（気温の変化、湿度）になることがあるため、iPod®、USBメモリー、または外部オーディオ・ソースを長時間車内に放置しないでください。

ETC受信機

ETC本体、およびETC受信機は日本仕様では標準で装備されております。
▷ ETC本体はグローブ・ボックス内に取り付けられています。ご利用前にETC専用カードの利用期限を確認し、カードがスロットに確実に挿入されているか確認してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ボイス・コントロール＊

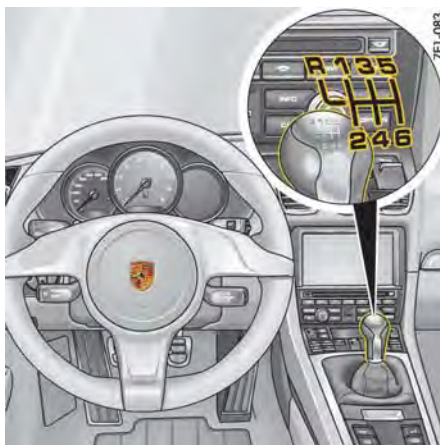
ボイス・コントロール・システムを使用すると、音声によるポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)の操作ができます。

▷ 別冊のPCM取扱説明書にある「ボイス・コントロール」の章を参照してください。

ボイス・コントロールの作動

▷ ボタンを押してください。
確認音が鳴り、最も重要な5種類の音声コマンドのヘルプ・テキストが、マルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
音声コマンドを入力してください。

マルチファンクション・ディスプレイのヘルプ・テキストのON/OFFについては：

▷ 「マルチファンクション・ディスプレイにPCMインフォメーションを表示する＊」（98ページ）を参照してください。

マニュアル・トランスミッション、クラッチ

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マット、正しく固定されていないフロア・マット、またはその他の障害物はペダルの可動域を制限したり、またはペダル操作の妨げになる可能性があります。

▷ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
正しいサイズのすべり止め加工がされたフロア・マットが、ポルシェ正規販売店で入手できます。

シフト・パターン（レバーを動かす位置）は、ギヤ・レバーに刻印されています。

▷ 変速するときはクラッチ・ペダルをしっかりと踏み込み、ギヤ・レバーを確実に操作してください。

▷ ギヤをリバース（後退）に入れるときは完全に停車してから行ってください。
リバース・ギヤには、ギヤ・レバーを左にいっぱいまで動かした後にシフトすることができます。

▷ 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

イグニッションONでギヤ・レバーをリバース（後退）に入れると、リバース・ライトが点灯します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケーター

タコメーター内のデジタル・スピードメーター右横にあるシフトアップ・インジケーターAは、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▷ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

ギヤ・ポジション・ディスプレイ

タコメーター内のギヤ・ポジション・ディスプレイBは現在締結されているギヤを表示します。

エンジンの許容回転数

▷ タコメーター（回転計）の指針が赤色のエリア（レッドゾーン）に到達する前に、1段高いギヤ段にシフトアップするか、またはアクセル・ペダルをゆるめてください。

加速中、エンジン回転数がタコメーターの赤色のエリア（レッドゾーン）に到達すると、燃料の供給が遮断されます。

知識

低いギヤにシフトダウンする場合に、エンジンの過回転（オーバーレブ）が原因でエンジンを損傷する恐れがあります。

▷ 低いギヤ段にシフトダウンするときは、エンジンが許容最高回転数を超えないように注意してください。

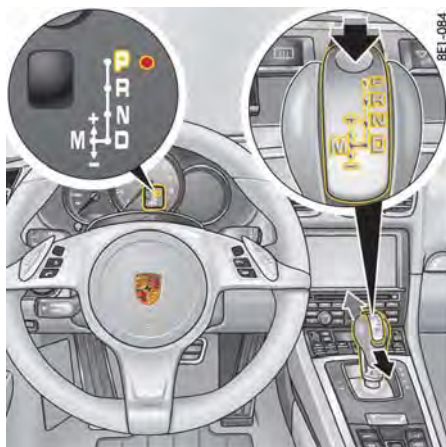
Porsche Doppelkupplung(PDK)

Porsche Doppelkupplung(PDK)はオートマチック・モードとマニュアル・セレクション・モードを備えた7段変速トランスミッションです。

オートマチック・モード（セレクター・レバーが**D**の位置）では、変速が自動的に行われます。ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モードからマニュアル・モードに切り替えることができます。

セレクター・レバーを**M**の位置に入れると**マニュアル・モード**になり、ステアリング・ホイールにあるシフト・ボタンまたはシフト・パドル、またはPDKセレクター・レバーを操作することによりマニュアル・モードのギヤ・チェンジができます。

セレクター・レバーの**D**と**M**は、走行中でも切り替えることができます。

▷ オートマチック、またはマニュアルのどちらのモードにあるときでもステアリング・ホイールのシフト・ボタンを誤って操作しないように注意してください。トランスミッションが思わぬタイミングで変速されます。

セレクター・レバーの操作

イグニッションがOFFのとき、セレクター・レバーは動かないように**P**位置に固定されます。

イグニッションがONのとき、リリース・ボタンを押し、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、セレクター・レバーを**P**および**N**の位置から動かすことができます。

ロック解除ボタン

セレクター・レバーのロック解除ボタン（**矢印**）は、ギヤ・シフトの誤操作を防止するための機構です。
セレクター・レバーを**R**または**P**の位置にシフトするときは、このロック解除ボタンを押さなければなりません。

始動

セレクター・レバーが**P**か**N**の位置にあり、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態でないとエンジンを始動することはできません。

発進

▷ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置（**D**、**M**、**R**）にシフトしてください。
▷ セレクター・レバーを走行位置に動かすと車両がゆっくりと動き出します。発進の準備が整うまでブレーキ・ペダルから脚を放さないでください。

坂道での発進

発進アシスタントにより坂道で発進しやすくなります。ドライバーがフット・ブレーキを解除した直後にブレーキ・ペダルからアクセル・ペダルに踏み替える時間を確保するため、短時間のみ車両がその位置に保持されます。
▷ 「HOLD機能：発進アシスタント、停止制御」（162ページ）を参照してください。

停止

▷ 信号待ちなど短時間の停車時は、セレクター・レバーを走行位置のまま保持し、ブレーキ・ペダルを踏んでください。
▷ 上り坂ではアクセル・ペダルを踏みながら停止位置を保つようなことはしないでください。ブレーキ・ペダルを踏むか、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。
▷ 車両から離れるときは、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、セレクター・レバーを**P**の位置にしてください。

駐車

▷ アクセル・ペダルは慎重に操作してください。
▷ 特に、狭い場所で駐車や移動をする場合は、フット・ブレーキを使用して速度を調節してください。

セレクター・レバー・ポジション・インジケーターおよびギヤ・ポジション・インジケーター

エンジン作動中に、セレクター・レバー位置および選択されたギヤが表示されます。

セレクター・レバーが2つのポジションの間にある場合

影響：
– インストルメント・パネルのセレクター・レバー・ポジション表示が点滅し、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**ブレーキを踏みます**」または「**ギヤセレクターを正しい位置にシフトしてください**」が表示されます。

処置：
▷ フット・ブレーキを踏んで、セレクター・レバーを正しい位置に動かしてください。

ブレーキを踏んでいない状態で不意にセレクター・レバーが**P**または**N**位置から動いてギヤに入ってしまった場合(故障または誤った操作で)、シフト・インジケーターが点滅し、駆動力がカットされます。

▷ 発進するには、ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望のギヤに入れてください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置RまたはDが点滅する

駆動力が伝達されません。

原因:

– フット・ブレーキを踏まずにセレクター・レバーを切り替えた
– 最高許容速度以上でセレクター・レバーを**R**にシフトした

処置:

▷ ブレーキ・ペダルを踏み、セレクター・レバーを再び**P**または**N**から希望するギヤに入れてください。
リバース・ギヤの故障の場合:

▷ 「走行制限プログラム」(158ページ)を参照してください。

インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置表示の故障

「T/M故障 安全に停車してください」

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」が表示されます。

– 影響:
インストルメント・パネルにセレクター・レバーの位置が表示されません。
次に停車するまでは走行が可能です。

処置:

▷ そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。
ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。車両をけん引しなければならない場合は:
「けん引」(234ページ)を参照してください。

トランスミッションに異常がある場合:

マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能**」または「**T/M温度 高すぎる 負荷を下げる**」が表示されます。

▷ 「走行制限プログラム」(158ページ)を参照してください。

▷ ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

セレクター・レバー・ポジション

P – パーキング・ロック

▷ 車両が完全に停止してからパーキング・ロックをかけてください。
インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置**P**が点滅している場合、パーキング・ロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。
セレクター・レバーを再び**R**から**P**の位置に入れてください。

▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、パーキング・ロックをかけてください。
インストルメント・パネルのセレクター・レバー位置**P**が点滅している場合、パーキング・ロックがかかっていません。車両が不意に動き出す恐れがあります。
セレクター・レバーを再び**R**から**P**の位置に入れてください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車:

イグニッション・キーは、セレクター・レバーが**P**の位置にあるときのみ、抜き取ることができます。

R – リバース・ギヤ

▷ 車両が完全に停止し、ブレーキをかけてからシフトしてください。

N – ニュートラル

けん引するときや自動洗車機を使用するときなどは、セレクター・レバーを**N**の位置にしてください。

▷ エンジンがアイドリング状態で、ブレーキ・ペダルを踏んでいるときのみ、走行位置(**D**、**M**、**R**)にシフトしてください。

D – オートマチック・モード

「通常」の走行時には、セレクター・レバーの**D**の位置を使用してください。車速とアクセル・ペダルの踏み込み方により、ギヤが自動的に切り替わります。

ドライバーのドライビング・スタイル（エコ走行、快適走行、またはスポーティーな走行）や、車両に作用する負荷（坂道など）に応じて、ギヤが切り替わるタイミングがエンジン低回転域から高回転域まで変化します。

また変速の特性は、アクセル・ペダルの踏み込み方、車速、エンジン回転数、前後方向の加速度、横方向の加速度および地形に応じて変化します。

コーナー手前などで素早くアクセル・ペダルを戻すと、不必要なシフトアップを回避できます。

コーナリング中は横方向の加速度に応じて、エンジン回転数がレブリミットに達するまでシフトアップは行われません。

ブレーキを踏むと、減速の程度に応じてPDKトランスミッションが早めにシフトダウンします。

コーナー手前でブレーキをかけると、最適なギヤが選択されます。適切なギヤでコーナリングすると、コーナーを曲がりきってアクセルを踏むときにシフトダウンする必要はありません。

スポーティーなドライビング・スタイルで走らせているときは、ドライバーがブレーキ・ペダルにわずかに触れた瞬間から、トランスミッションがシフトダウンの準備を開始します。これにより更にダイナミックなドライビング・スタイルが楽しめます。

PDKトランスミッションは、アクセル・ペダルを素早く踏むと、一時的に最もスポーティーなギヤチェンジ、つまり可能な最も高いギヤチェンジ・ポイントに切り替わります。トランスミッションは直ちに1段または2段下のギヤにシフトダウンされます（一時的なシフトダウン）。

トランスミッションは高速走行で7速を選択しません。

必要に応じて、ギヤを手動で選択することもできます。

PSMが作動しているとき、シフトアップおよびシフトダウンはできるだけ回避されます。PSMがOFFのときにホイールが高速で空転した場合、空転が検出されなくなるまでシフトアップは行われません。

惰性走行モードで走行する

環境に配慮した運転をしたいときは、惰性走行モードで燃料を節約することができます。車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

自動惰性走行モードの作動条件

– セレクター・レバー**D**位置で走行している
– 惰性走行モードがONである
  ボタンのインジケーター・ライトが消灯している
– スポーツおよびスポーツ・プラス・モードがOFFである
– PSMが作動している
– クルーズ・コントロールが作動していない
– エンジン、トランスミッション、バッテリーが作動温度に達している
– 穏やかな/エコ走行スタイル
– ゆるやかな上り/下り勾配
▷ ゆっくりとアクセル・ペダルから足を放してください。
  エンジンは切り離され、アイドル回転数で走行します。走行中、エンジン・ブレーキの効果は得られません。

惰性走行モードはタコメーターに表示されるアイドル回転数で認識できます。

インフォメーション

スポーツ走行や素早くアクセル・ペダルを戻した場合は、エンジン・ブレーキを使用できるように惰性走行モードは抑制されます。急な上り坂では、傾斜の影響で惰性走行距離が短くなり、十分な燃料の節約ができないため、「惰性走行」が行われない場合があります。急な下り坂などでは、エンジン・オーバーラン・トルクがかかっていても減速せず、オーバーラン・カットオフにより燃料が消費されないため、惰性走行モードの作動は抑制されます。

惰性走行モードを終了する/エンジン・ブレーキを使用する

▷ アクセル・ペダルまたはブレーキ・ペダルを踏んでください。
  または
  シフト・パドルまたはシフト・ボタンを操作してください。
  または
  セレクター・レバーでギヤをシフトしてください。

惰性走行モードを手動で開始する

– PDKセレクター・レバー**D**位置または**M**位置で走行する

惰性走行モードが抑制されている場合（スポーツ走行、アクセル・ペダルを急に放す、またはエンジン温度が非常に低い場合など）に、惰性走行モードを手動で開始することができます。

▷ アクセル・ペダルから足を放し、シフト・パドル、シフト・ボタンまたはセレクター・レバーを使用して、可能な最も高いギヤにシフトしてください。

オート・スタート/ストップ・ボタンを使用した惰性走行モードのON/OFF

OFFにする

▷ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
惰性走行モードがOFFになり、エンジンの自動停止が抑制されます。

ONにする

▷ Ⓐボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。
惰性走行モードがONになり、車両が停車すると自動的にエンジンが停止します。

「スポーツ」モードが作動しているとき

PDKトランスミッションがスポーティーな変速特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。よりダイナミックなシフト特性と応答性に変化します。
ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

「スポーツ・プラス」モードが作動しているとき

「スポーツ・プラス」モードでは、PDKトランスミッションがレース・サーキットでの走行に適したシフト特性に切り替わります。7速には変速されません。
「スポーツ」モードと比べて、ギヤチェンジ性能が更に格段に向上します。

▷ 「「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード」(166ページ) を参照してください。

ローンチ・コントロールを使用した発進

ローンチ・コントロールは停車状態から最大加速度で発進することができるシステムです。

⚠ 警告 車両のコントロールの喪失、または他の通行者への危険

発進時にローンチ・コントロールが作動していると車両は非常に早く加速します。そのため、車両のコントロールが失われたり、他のドライバーに危険が及ぶ恐れがあります。

▷ ローンチ・コントロールはサーキットでの使用をお薦めします。
▷ 路面状況や周囲の交通状況から判断して安全が確保できる場合に限って、ローンチ・コントロールを使用してください。
▷ 他の通行者を危険にさらしたり、他人の迷惑になるような状況ではローンチ・コントロールを使用しないでください。

---

i インフォメーション

通常の発進に比べて、最大加速での発進が構成部品に与える負荷は劇的に増大します。

作動条件：

– ローンチ・コントロールはエンジンが作動温度になってから使用してください。
– 「スポーツ・プラス」モードを ON にしてください（ボタンのインジケーター・ライトが点灯し、SPORT PLUSがデジタル・スピードメーターとステアリング・ホイールに表示されます）。

1. 左足でブレーキ・ペダルを踏んでください。
2. 素早くアクセル・ペダルをいっぱいに踏み込んで、そのまま保持してください（キックダウンが作動）。
   エンジン回転数が約6,500rpmに維持されます。
   マルチファンクション・ディスプレイに「**ローンチコントロールが有効です**」と表示されます。
   車両装備によっては、「LAUNCH CONTROL」のロゴがステアリング・ホイールに表示されるものがあります。
3. 数秒以内にブレーキを解除してください。

ローンチ・コントロールの状態で長時間停車しているとトランスミッションに過負荷がかかります。
トランスミッションの損傷を防ぐため、エンジン出力が制限されてローンチ・コントロールのプロセスがキャンセルされます。

ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト

ステアリング・ホイールのシフト・ボタンを操作することにより、一時的にオートマチック・モード**D**からマニュアル・モード**M**に切り替えることができます。

例：

– カーブや市街地に入る前にシフトダウンしたいとき
– 下り坂でエンジン・ブレーキをかけるためにシフトダウンしたいとき
– 急加速時にシフトダウンしたいとき

次の場合は、マニュアル・モードが維持されます：

– コーナリング時（横方向の加速度に応じて）やオーバーラン時
– 車両が交差点などで停車した場合

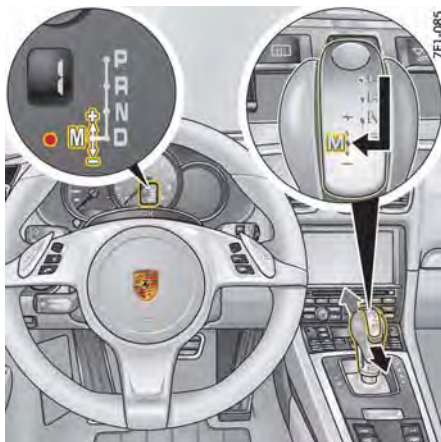
次の場合は、オートマチック・モードに戻ります：

– コーナリング時やオーバーラン時以外は、自動的に約6秒後
– 発進後

キックダウン

キックダウン機能はセレクター・レバーが**D**または**M**のときに機能します。

▷ 追い越し時などで大きな加速力が必要な場合は、アクセル・ペダルをフルスロットルよりも更に（キックダウンの位置まで）踏み込んでください。

車速とエンジン回転数に応じて、トランスミッションがシフトダウンされます。
そのギヤでのエンジン回転数の許容上限に達するまで、シフトアップされません。

PDKセレクター・レバー

M – マニュアル・モード

現在のギヤは、**D**から**M**にシフトしてもそのまま維持されます。

Mから**D**にシフトした場合は、現在のドライビング・スタイルに適した変速特性が選択され、適切なギヤにシフトされます。

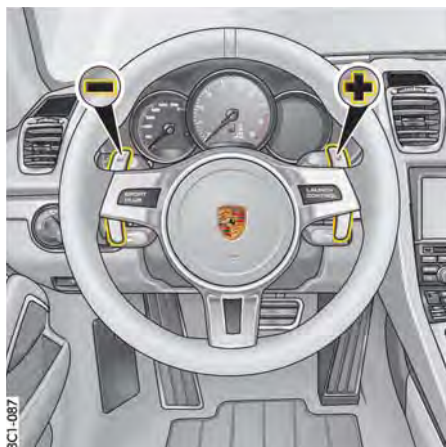
セレクター・レバーおよびステアリング・ホイール・スポーク上部の2個のシフト・ボタン、またはスポークの後ろのシフト・パドルによって、快適で安全に7速前進ギヤのシフト・チェンジができます。

シフト・ボタン付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたはシフト・ボタンでのシフトアップ

▷ PDKセレクター・レバー、またはステアリング・ホイールのシフト・ボタンを前方に押してください。

セレクター・レバーまたはシフト・ボタンでのシフトダウン

▷ PDKセレクター・レバー、またはステアリング・ホイールのシフト・ボタンを手前に引いてください。

シフト・パドル付きステアリング・ホイール

セレクター・レバーまたは右「+」シフト・パドルでのシフトアップ

▷ PDKセレクター・レバーを前方に押してください。またはステアリング・ホイールの右側シフト・パドルを手前に引いてください。

セレクター・レバーまたは左側の「–」シフト・パドルを使用したシフトダウン

▷ PDKセレクター・レバー、またはステアリング・ホイールの左側シフト・パドルを手前に引いてください。

シフト・パドルを使用してN – ニュートラルにシフトする

▷ 両方のシフト・パドルを同時に引いて、すぐに放してください。トランスミッションはN – ニュートラルになります。

車両はエンジンを切り離した状態でアイドル回転数で走行し、エンジン・ブレーキの効果は得られません。ギヤ・インジケーターの数値は消灯し、セレクター・レバー・ポジションが点滅します。

いずれかのシフト・パドルを引く、またはセレクター・レバーを操作することで、駆動力が再度伝達されます。

停止に近い低速になったら駆動力を伝達するためにブレーキを作動させてください。

セレクター・レバー、シフト・ボタンまたはシフト・パドルの連続操作による素早いギヤシフト

シフト・ボタン、シフト・パドル、またはセレクター・レバーを素早く連続操作した数と同じ数のギヤ段をシフトアップまたはダウンできます。

変速したときにエンジンの許容回転数（最高回転数または最低回転数）を超える場合、コントロール・ユニットによって変速が実行されません。

セレクター・レバーが**M**の位置にあるときは、エンジンが許容最高回転数に達しても自動的にシフトアップされません。キックダウンの操作により、シフトアップ禁止の制御をキャンセルすることができます。つまり、追い越し加速中などでエンジンが最高回転数に達したときでも自動的なシフトアップは実行されませんが、キックダウン操作を行うとシフトアップすることができます。

▷ 上り坂ではエンジン・パワーを有効に使用できるように、また下り坂では十分なエンジン・ブレーキがかかるように、適切なギヤを選んでシフトダウンしてください。

シフトアップ・インジケーター：M – マニュアル・モード

低燃費走行のためのシフトアップ・インジケーター

タコメーター内のデジタル・スピードメーター右横にあるシフトアップ・インジケーター**A**は、経済的な運転を促すシフトアップのタイミングを知らせます。

現在選択しているギヤ、エンジン回転数、アクセル・ペダルの踏み込み量に応じてこのインジケーターが点灯し、1段高いギヤにシフトアップする適切なタイミングをお知らせします。

▷ シフトアップ・インジケーターが点灯したときは、1段高いギヤにシフトアップしてください。

走行制限プログラム

タコメーターのセレクター･ディスプレイの故障

タコメーター内のセレクター･ディスプレイに故障が発生した場合、マルチファンクション･ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」が表示されます。

「T/M故障 安全に停車してください」

– 影響：
  タコメーターにセレクター・レバーの位置が表示されません。
  次に停車するまでは走行が可能です。

▷ 処置：
  そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。車両をけん引しなければならない場合は：
  「けん引」(234ページ)を参照してください。

トランスミッションに故障が発生した場合

– トランスミッションに故障が発生した場合、重要度に応じてマルチファンクション･ディスプレイに警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」、または「**T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能**」または「**T/M温度 高すぎる 負荷を下げる**」が表示されます（黄色または赤色)。

「T/M故障 安全に停車してください」

– 影響：
  次に停車するまでは走行ができます。

▷ 処置：
  そのまま運転を続行することはできません。直ちに安全な場所に停車してください。ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。車両をけん引しなければならない場合は：
  「けん引」(234ページ)を参照してください。

「T/M故障 リバースギヤ不可 運転可能」

– 影響：
  スムーズな変速ができなくなり、リバース･ギヤに入らないことがあります。

▷ 処置：
  ポルシェ正規販売店で早急に故障を修理してください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

「T/M温度 高すぎる 負荷を下げる」

– 影響：
  車両発進時に異常を知らせる不自然な動きが感じられるとともに、エンジン出力が制限されます。

▷ 処置：
  例えば坂道では、アクセル・ペダルの操作で車両を静止させないでください。停車中はブレーキ・ペダルを踏んでください。エンジンにかかる負荷を小さくしてください。可能であれば安全な場所に停車してください。警告が消えるまでセレクター・レバーを**P**または**N**の位置にしてエンジンをアイドリングさせてください。

トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム

車両にはパワー・トランスミッションおよびシャーシに作用するすべてのコントロール・システムによって構築された、複合一体型システムが搭載されています。

この連携作動により、走行安全性を最大限に高めつつ優れたドライビング・パフォーマンスを実現します。

車両の装備仕様により、次のコントロール・システムが搭載されています：

システム/名称	適用
PSM ポルシェ・スタビリティ・マネージメント	– ドライビング・スタビリティ・コントロール – アンチロック・ブレーキ・システム(ABS) – ブレーキ・システム・プレフィル – ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト） – オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD) – アンチ・スリップ・コントロール(ASR) – エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR) – ステアリング・トルク・アシスト – HOLD機能：マニュアル・トランスミッション装備車の発進アシスタント、PDK装備車の停止制御
PASM ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント	– 無段階補正コントロール付きショック・アブソーバー・システム
PTV ポルシェ・トルク・ベクトリング	– より俊敏なコーナリングのためのラテラル・ダイナミック・ブレーキ制御 – ロック率非対称型リヤ・ディファレンシャル・ロック

ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)

PSMは、過酷な走行条件下で車両を安定させるためのアクティブ・コントロール・システムです。

PSMは、アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)とエンジン・ドラッグ・トルク・コントロール・システム(MSR)の機能と同様にオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)とアンチスリップ・コントロール(ASR)システムの両方を利用します。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PSMを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PSMが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。
PSMは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

PSMの利点

– 様々な路面状況、運転状況で最適なトラクション性能と直進安定性を確保します。
– コーナリング中、ドライバーがアクセル・ペダルやブレーキ・ペダルから足を放したときの安定性の損失を補正します。この補正は、対横G限界に達するまで持続します。
– PSM は、車線変更や連続したカーブでの急なステアリング操作を行ったときなどに積極的に走行安定性を維持します。
– コーナリング中や変化に富んだ路面状況下でブレーキをかけたときの走行安定性を確保します。
– 急ブレーキをかけたときの制動力を高め、制動距離を短くします。

作動条件

PSMは、エンジンを始動すると自動的にONになります。

機能

ホイール、ブレーキ、ステアリング・システム、およびエンジンのセンサーが常に車両の状態をモニターしています：

– 走行速度
– 作動方向（ステアリング角）
– 横方向加速度
– 縦方向加速度
– 上下軸の回転率

PSMはこれらの数値を利用して、ドライバーの望む進行方向を検出します。
PSMは、ステアリングの切れ角と実際の進行方向の偏差を検出し、その偏差を補正するため、必要に応じて個々のホイールにブレーキをかけます。
更に必要であれば、エンジン出力やPorsche Doppelkupplung(PDK)の変速作動を制御して、走行安定性を高めます。

次の状況ではPSMがドライバーに危険を知らせ、路面状況や走行状態に応じた運転を促します：

– インストルメント・パネルの PSM 警告灯が点滅します。
– 油圧作動音が聞こえます。
– PSMがブレーキを制御することで、減速の度合いやステアリング操作力が変化します。
– エンジン出力が低下します。
– ブレーキ・ペダルが振動し、ペダルの位置が変化します。
このような場合は最大の制動力を得るため、ブレーキ・ペダルを踏む力を弱めず、更に強く踏み込んでください。

PSMの作動例

– コーナリング中、「フロント・ホイールの横滑り」をセンサーが検出すると、エンジン出力を抑えます。更に、必要に応じてコーナー内側のリヤ・ホイールにブレーキをかけます。
– コーナリング中、リヤ・ホイールの横滑りをセンサーが検出すると、コーナー外側のフロント・ホイールにブレーキをかけ、軌道を修正します。
– ブレーキ予圧：
ドライバーがアクセル・ペダルから素早く足を放すと、急ブレーキに備えてブレーキ・システムの圧力を少し高めます。このときブレーキ・パッドが弱い力でブレーキ・ディスクに押し付けられ、ドライバーが急ブレーキをかけたときに素早く制動力が立ち上がるようにします。
– ブレーキ・ブースター（油圧ブレーキ・アシスト）：
急ブレーキ操作時にブレーキ・ペダルを踏む力が弱いと、ブレーキ・ブースターが4輪すべてのブレーキ・システムの圧力を高め最大の制動力をかけます。

オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)

ABDシステムは、フロントおよびリヤ・アクスルを個別に制御します。いずれかのアクスルで一方のホイールが空転し始めると、そのホイールにブレーキをかけて、反対側のホイールの駆動力を確保します。

ABDは走行状況を検出し、適切な制御方法で作動します。水平な砂利道で発進する場合など、トラクションがほとんどかからない状況では、エンジン低回転域からトラクション・コントロールが作動します。上り坂での発進や急加速時など、大きな推進力が必要な場合、その状況に応じてABDシステムが作動します。

アンチ・スリップ・コントロール(ASR)

アンチ・スリップ・コントロールがエンジン出力を制御することで、ホイールの空転を防ぎ、直進安定性やハンドリング性能が維持されます。

エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)

オーバーラン時、ホイールのスリップが激しい場合、エンジン・ドラッグ・トルク・コントロールが駆動輪のロックアップを防ぎます。滑りやすい路面でシフトダウンした場合も同様です。

ステアリング・トルク・パルス

ステアリング・トルク・パルスは摩擦値が異なる路面でブレーキをかけた場合に運転者のステアリング・アシストを行います。
カウンター・ステアリング中も操舵力を追加して運転者を支援します。

PSMをOFFにする

▷ ボタンを1秒以上押してください。
ボタンを押してから実際にPSMがOFFになるまでには、若干の遅れがあります。
ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が点灯します。
マルチファンクション・ディスプレイに「**PSM オフ**」警告が表示されます。

ABSコントロール範囲内でブレーキをかけた場合、PSMがOFFの状態でも車両は安定性を維持します。

片方の駆動輪が空転すると、PSMをOFFにしていてもブレーキをかけて空転を抑制します。

⚠ 警告 PSMアシストの停止

PSMをOFFにすると、ABS制御範囲外の走行状況でPSMサポートが行われません。
▷ 「通常」走行では常にPSMをONにすることを推奨します。

ただし次の場合は、例外として一時的にPSMをOFFにすることが有効です：
– ぬかるんだ路面、または積雪が多い場合
– スタックした車両を脱出させる場合（スノー・チェーン付きの場合も）

インフォメーション

PSM OFF時でもブレーキ・システム・プレフィルが高い制動性能を維持します。

PSMをOFFにすると、ホイールの個別ブレーキ制御や、アンチ・スリップ・コントロール(ASR)の作動もOFFになります。
なおオートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル(ABD)はOFFになりません。

PSMを再度ONにする

▷ ボタンを押してください。
直ちにPSMが復帰します。
ボタンのインジケーター・ライトとインストルメント・パネルのPSM OFF警告灯が消灯します。
マルチファンクション・ディスプレイに「**PSM オン**」のメッセージが表示されます。

「スポーツ・プラス」モード

「スポーツ・プラス」モードをONにすると、よりスポーティーな走行が可能となります。

PSMの作動はノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSMの介入を無効にすることなく、性能限界値ぎりぎりで車両をより機敏に操ることができます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。

PSM 警告灯

– イグニッションをONにすると、ライト作動点検のためにインストルメント・パネルのPSM警告灯が点灯します。
– この警告灯は、PSM が作動していることを示します。PSMがOFFにされているときでも、片方の駆動輪がスピンしてブレーキ制御した場合は点灯します。
– 警告灯およびマルチファンクション・ディスプレイの警告がPSMに不具合が発生したことを表示します。
  インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ**「故障 PSM 整備工場へ 慎重に走行して下さい」**が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。
▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

けん引

けん引に関するインフォメーション：

▷ 「けん引およびけん引によるエンジンの始動」（234ページ）を参照してください。

HOLD機能：発進アシスタント、停止制御

HOLD機能は、上り坂での停車時や発進時に、ドライバーの運転操作を支援します。

この機能により、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

HOLD機能が作動すると、インストルメント・パネルのインジケーター・ライトHOLDが点灯します。

発進アシスタントによる発進（マニュアル・トランスミッション装備車）

1. フット・ブレーキをかけて坂道で停車してください。
   このときエンジンを停止しないでください。
2. クラッチ・ペダルをいっぱいに踏み込んでください。
3. 坂道を登るために適切なギヤに変速します（1速またはリバース・ギヤ）。
4. クラッチ・ペダルを踏んだまま、フット・ブレーキから足を放してください。
   このとき発進アシスタントが作動して、車両は坂道での停車状態を維持し、後退を防いで発進を容易にします。
5. 通常の運転操作で発進してください。

インフォメーション

車両がエレクトリック・パーキング・ブレーキで坂道に停止している場合、通常の運転操作で発進します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキはドライバーの発進操作を検出し、パーキング・ブレーキを自動解除します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（131ページ）を参照してください。

インフォメーション

発進アシスタントが機能しない場合：

– クラッチ・ペダルが踏み込まれていない
– 車両が停止していない
– エンジンが停止している
– 坂道の勾配率が5%以下
– ブレーキ・ペダルを踏む力が弱すぎる

PDKトランスミッション装備車の停止制御

この機能により、ブレーキ・ペダルを踏んでいないときでも、車両の思わぬ後退を自動的に防ぎます。

インフォメーション

HOLD機能は、PDKトランスミッション装備車でPDKセレクター・レバーが**N**の位置にある場合、使用できません。

HOLD機能が作動中にPDKセレクター・レバーを操作すると、HOLD機能は解除されます。

HOLD機能が作動中にドライバーが運転席シートベルトを外し、運転席ドアを開いた場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキが自動的に作動します。

エレクトリック・パーキング・ブレーキに関するインフォメーション：

▷ 「エレクトリック・パーキング・ブレーキ」（131ページ）を参照してください。

⚠ 警告 上り坂での車両の後退

ブレーキを使用せずに急な上り坂で車両を停止する場合、HOLD機能で車両が維持される前に後退する恐れがあります。この状況では、ドライバーはフット・ブレーキを踏んで後退を抑制することができます。

▷ フット・ブレーキをかけて制動力を上げることで、車両の停止維持を補助してください。

⚠ 警告 ブレーキ・ペダルの感触の変化

HOLD機能が作動したときは、ブレーキ・ペダルの感触が変化したり、ブレーキ・システムの油圧作動音が聞こえることがあります。

これはシステムの正常な作動であり、故障ではありません。

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

HOLD機能を装備していても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。上り坂で発進するときは、HOLD機能を過信せず、常に責任ある運転を心がけてください。

HOLD機能によるアシスタントは、滑りやすい路面（凍結路やぬかるみなど）で停止および発進するときは役立たないことがあります。この場合、発進時に車両がスリップする恐れがあります。

▷ 常に路面状況や車両負荷に応じた適切な運転を心がけてください。必要に応じてフット・ブレーキを使用してください。

発進アシスタントが機能していない場合、坂道での発進時に運転操作を支援しません。

▷ フット・ブレーキをかけて停車してください。

ABSブレーキ・システム（アンチロック・ブレーキ・システム）

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

ABSを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。ABSが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。

ABSは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ABSの特徴

- **ステアリングの操作性の確保**
  安定したステアリング・コントロール性能を維持します。
- **優れた走行安定性**
  ホイール・ロックによるスリップを回避します。
- **制動距離の短縮**
  ほとんどの状況で、ブレーキをかけたときの制動距離が短くなります。
- **ホイール・ロックの回避**
  ホイールがロックしたときに生じるタイヤのフラット・スポットを回避できます。

機能

ABSが最も効果を発揮するのは、緊急回避が必要な状況でブレーキをかけたときです。このような状況下でABSは走行安定性を確保し、安定したステアリング・コントロール性を維持します。

ABSは、あらゆる路面状況下での急ブレーキ時、車両が停止する直前までスリップ（ホイール・ロック）を回避します。

ホイールのロック点付近でブレーキをかけたとき（急ブレーキ時）にABSは作動し始めます。このときドライバーは、ABSのコントロール状況（大変小刻みなポンピング・ブレーキをかけるような状態）をブレーキ・ペダルの脈動とノイズから感じ取ることができます。

この脈動やノイズは、ドライバーが道路状況に対してスピードを調整する警告の役目をします。

▷ 急ブレーキ操作が必要な場面では、安全な速度になるまでしっかりとブレーキ・ペダルを踏み続けてください。ABSが作動してブレーキ・ペダルが振動しても、ペダルを踏む力をゆるめないでください。

警告灯

エンジン作動中もインストルメント・パネルにABS警告灯が点灯する場合、何らかの不具合によりABSの作動がOFFになっていることを示します。

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障 ABS/PSM 慎重に走行して下さい**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

この場合、ブレーキ・システムは**ロックを回避できない状態**、つまりABSを装備していない車両と同じ作動になります。

▷ 制動性能の変化に合わせて慎重に運転してください。
  更に思わぬ悪影響を及ぼすような不具合の発生を防止するため、早急にポルシェ正規販売店でABSの点検を受けてください。
  ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ABSコントロール・ユニットは、ポルシェ社が認可した正規サイズのタイヤに合わせてプログラム調整されています。

不正なタイヤを使用した場合、プログラムと異なったホイール回転速度が検出され、ABSがOFFになることがあります。

ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント (PASM)

PASMはショック・アブソーバーをアクティブに調整します。アジャスタブル・ダンパー・システムは、走行状態や条件に応じて適切なダンパー・レベルを選択します。走行安全性、俊敏性、および快適性が最適化されます。

ボタンの操作で、2種類のシャーシ設定を選択できます：

– 「シャーシ 標準」
– 「シャーシ スポーツ」

標準モードでは、車両はスポーティーで快適な設定となります。

スポーツ・モードでは、ショック・アブソーバーの調整が非常にスポーティーなものになります（例：レース・サーキットでの走行などに最適な設定）。

走行状況に合わせて、マニュアル・モードに加えて、PASMもショック・アブソーバーを調整し、スポーティーまたは快適な走行を可能にします。

PASMモードの選択

1. イグニッションをONにしてください。
2. ボタンを（繰り返し）押してください。

ボタンのインジケーター：

– 「シャーシ 標準」（初期設定）を選択した場合、**インジケーター・ライト**は点灯しません。
– 「シャーシ スポーツ」を選択した場合、**インジケーター・ライト**が点灯します。

更に、選択したシャーシ設定はマルチファンクション・ディスプレイに約4秒間表示されます。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、そのとき選択しているシャーシ設定がメモリーに保存されます。

警告メッセージ

このシステムはPASMの不具合を自動的に検出し、マルチファンクション・ディスプレイに表示します。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。
▷ 状況の変化に合わせて慎重に運転してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTV)の機能説明

⚠ 警告 車両コントロールの喪失

PTVを過信せず、路面状況、天候条件、交通状況に応じた責任ある運転を心がけてください。

走行安全性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。PTVが装備されていても、物理的限界を超えて車両をコントロールすることはできません。
PTVは危険なスピードによる事故のリスクを減らすことはできません。

ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTV)

PTVは、ドライビング・ダイナミクスのためにブレーキ制御を行い、リヤ・アクスルへの様々な駆動力配分を可能にするコントロール・システムとメカニカル・リヤ・アクスル・ディファレンシャル・ロックで構成されています。

PTVはコーナリング時に内側のリヤ・ホイールにドライバーが気づかないほど軽くブレーキをかけて、ステアリング操作とステアリング精度を向上させます。車両はフロント・ホイールの舵角に正確に従います。限界域でのアンダーステアはほぼ完全に回避されます。これにより、耐横G性能が向上し、コーナリング・スピードが向上します。

更にメカニカル・リヤ・アクスル・ディファレンシャル・ロックは、ホイール・スピンが起こった際にトラクションを向上させます。高速コーナリング中の荷重変化の影響を低減させ、高速走行安定性を向上させます。

ダイナミック・エンジン・マウント(PADM)

スポーツ・クロノ・パッケージ装備車

多様な減衰調整が可能なダイナミック・エンジン・マウントは、走行ダイナミクスと走行快適性の両方を向上させるためのシステムです。走行状況に応じて、理想的なマウント剛性および減衰力が自動的に設定されます。選択の範囲は、エンジン/ボディ間のコネクションが最も強固な状態（走行ダイナミクスが向上）からエンジンとボディが切り離されている状態（走行快適性が向上）までです。

「スポーツ」モード

「スポーツ」モードをONにすると、エンジン/ボディ間のコネクションがより強固な状態になり、スポーティーなドライビング・スタイルになります。

「スポーツ・プラス」モード

「スポーツ・プラス」モードをONにすると、エンジン/ボディ間のコネクションが最も強固な状態になり、レース・サーキットでの走行に最適となります。

警告メッセージ

ダイナミック・エンジン・マウントに不具合が検出されると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

「スポーツ」および「スポーツ・プラス」モード

全体的によりスポーティーで多様なシャーシ設定が選択できます。

「スポーツ」モードは日常の走行において、躍動感とパフォーマンスを向上させるようコントロール・システムを切り替えます。

「スポーツ・プラス」モードでは、レース・サーキットでの走行に適した最高性能を発揮できる設定に切り替わります。

– 「スポーツ・プラス」モード：
  PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）は自動的に「シャーシ 標準」または「シャーシ スポーツ」モードに切り替わります。
– スポーツ・モードが作動すると、PDKトランスミッションはスポーティーなシフト特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。ギヤ変速が素早く実行されます。
– エンジンはさらに、スロットル操作に対して敏感に反応します。スポーツ・モードがONの状態で車速が40km/hを下回った場合、この機能を作動させるには、アクセル・ペダルをいっぱいまで踏み込むか素早く放す必要があります。
– エンジン回転数リミッター特性は「よりハードな設定」になります。言い換えると、エンジンが性能限界に達したときにスロットルが直ちに反応します(PDKトランスミッション装備車のマニュアル・モードのみ)。
– PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）コントロールは、「スポーツ・プラス」モードで更にスポーティーな設定になります。PSMの介入がノーマル・モードより遅めになります。ドライバーは緊急時のPSMの介入を無効にすることなく、性能限界域で車両をより俊敏に操ることができます。これにより、特にドライ・コンディションのサーキットではラップ・タイムの短縮に貢献します。
– PADMはダイナミック・エンジン・マウントをよりスポーティーな制御に切り替え、エンジン/ボディ間のコネクションをより強固な状態にします。
  「スポーツ」モードではスポーティーな走行スタイルに、「スポーツ・プラス」モードではレース・サーキットでの走行に適したスタイルになります。
– ダイナミック・コーナリング・ライトは、ステアリング角度の変化により自然に反応します。
– スポーツ・エキゾースト・システムは排気音最適化モードに切り替わりますが、ボタンで個別にOFFにすることができます。
  オート・スタート/ストップ機能および惰性走行モードは解除されます。

▷ **該当する章を参照してください。**

「スポーツ」モードのON/OFF

▷ SPORTボタンを押してください。
「スポーツ」モードがONになると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーター、またはステアリング・ホイール（装備仕様により異なる）に「SPORT」の文字が表示されます。

PDKトランスミッションがスポーティーなシフト特性に切り替わり、ギヤ・シフト時間が短くなります。

ドライバーのスポーティーなドライビング・スタイルをいち早く認識し、そのときのドライビング・パフォーマンスに応じたギヤ・シフト時間になります。

減速時のシフトダウンが早いタイミングで実行されます。またエンジン回転数が高いときでも、わずかな減速でシフトダウンされます。

「スポーツ・プラス」モードのON/OFF

▷ SPORT PLUSボタンを押してください。
「スポーツ・プラス」モードがONになると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
デジタル・スピードメーター、またはステアリング・ホイール（装備仕様により異なる）に「SPORT PLUS」の文字が表示されます。

「スポーツ・プラス」モードでは、PDKトランスミッションがレース・サーキットでの走行に適したシフト特性に切り替わります。このとき7速には変速されません。

「スポーツ・プラス」および「PASMシャーシ・スポーツ」モード

「スポーツ・プラス」モードをON/OFFすると、「PASMスポーツ」モードも同時に作動/停止します。
「スポーツ」モードのON/OFF切り替えは、PASMモードに影響しません。

「スポーツ」または「スポーツ・プラス」モードの特性を使用しながら、より快適なシャーシ設定を選択したい場合、PASMモードを手動で解除することができます。

▷ ボタンを押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが消灯します。

故障

不具合が発生した場合、インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**スポーツモードは使用できません**」が表示されます。

マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：

▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

インフォメーション

イグニッションをOFFにすると、スポーツ・モードは自動的にノーマル・モードにリセットされます。

▷ 「ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)」（164ページ）を参照してください。

スポーツ・エキゾースト・システム

ON/OFF

スポーツ・エキゾースト・システムはイグニッションがONのときに排気音最適化モードに切り替えることができます。

▷ ボタンを押してください。
スポーツ・エキゾースト・システムが作動すると、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

格納式リヤ・スポイラー

リヤ・スポイラーは高速走行時の走行安定性を向上させます。

オートマチック・モード

リヤ・スポイラーは約120km/h以上になると自動的に展開し、約80km/h以下になると格納します。

オート・コントロール・システムに不具合があると、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージ「**故障 スポイラー 要減速**」が表示されます。

▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。

⚠ 警告 格納式リヤ・スポイラーの故障

警告メッセージ「**故障 スポイラー 要減速**」が表示された場合、格納式リヤ・スポイラーが故障していることを示します。高速走行時にリヤ・アクスルが浮き気味になるために走行安定性が妨げられます。

▷ この状態を配慮した走行スタイルと速度で運転を行ってください。

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

マニュアル・モード

リヤ・スポイラーは、イグニッションをONにして、センター・コンソールのボタンを操作することにより、手動で展開/格納することができます。
リヤ・スポイラーがマニュアル・モードの場合、ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。

手動でのリヤ・スポイラーの展開

▷ ボタンを短く押してください。
リヤ・スポイラーが展開します。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
リヤ・スポイラーはマニュアル・モードに切り替わります。

手動でのリヤ・スポイラーの格納

0～15km/h：

▷ ボタンのインジケーター・ライトが消灯するまで、ボタンを押し続けてください。

15km/h以上：

▷ ボタンを短く押してください。
ボタンを押した後、すぐにインジケーター・ライトは消灯します。

リヤ・スポイラーはオートマチック・モードに切り替わります。

⚠ 注意 リヤ・スポイラーの展開/格納

車両を停車させてリヤ・スポイラーを手動で展開/格納するときは、動いているスポイラーと車両の固定部分との間に身体の一部が挟まれる恐れがあります。

▷ リヤ・スポイラーが稼動する範囲に人や物がないことを確認してください。

知識

リヤ・スポイラーを損傷する危険があります。

▷ リヤ・スポイラーを持って車両を動かさないでください。

▷ 自動洗車機を使用するときは、リヤ・スポイラーを必ず格納してください。

収納

⚠ 警告 固定されていない、または不適切な位置に積載された荷物

荷物を固定しなかったり不適切な位置に積載すると、ブレーキをかけたりステアリングを操作したとき、または事故の際に飛び出して、乗員がケガをする恐れがあります。

▷ 乗員スペースに荷物や固定していない物を載せて走行しないでください。
▷ 重量物を開いたままの小物入れの中に入れて運搬しないでください。
▷ 走行中は必ず小物入れのカバーを閉じてください。

収納オプション

車両の装備仕様により、様々な収納オプションが用意されています：

– ドア・ポケット
– 助手席シート側のドア・シル・ポケット
– センター・コンソール
– 助手席足元の収納ネット

知識

重く大きな荷物は収納ネットを損傷する恐れがあります。

▷ 重く大きな荷物を収納ネット内に置かないでください。

– シート・バックレストの後ろ側の衣類用フック（車両の装備仕様により異なります）
– ペン・ホルダー付きグローブ・ボックス
– アームレストの小物入れ
– シート後方のカバー付き小物入れ
– ドリンク・ホルダー /カップ・ホルダー

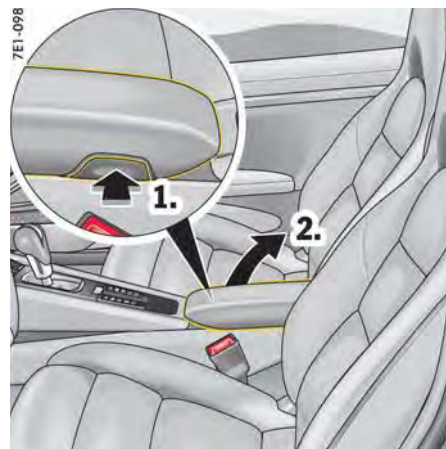
グローブ・ボックス

グローブ・ボックス・リッドの内側にはペン・ホルダーが付いています。

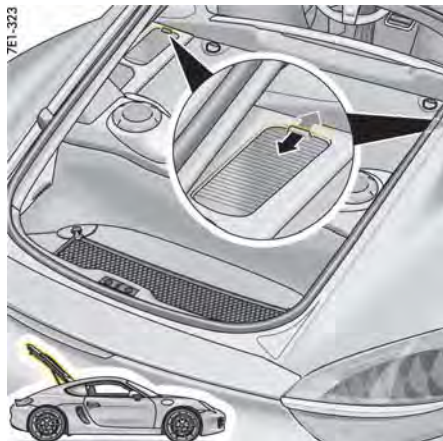
開く

▷ ラッチ・ハンドル（**矢印**）を引いて、グローブ・ボックス・リッドを開いてください。

ロックする

▷ 盗難防止のため、大切な物を収納するときはエマージェンシー・キーでラッチ・ハンドルを常にロックしてください。

シート間のアームレストの小物入れ

開く

▷ アームレストの助手席側のボタン（**矢印**）を押してください。
リッドが自動的に開きます。

シート後方のカバー付き小物入れ

開く

▷ カバーの取っ手を後方、矢印の方向に引いてください。

閉じる

▷ カバーの取っ手を前方、矢印の方向に押してください。

ドリンク・ホルダー/カップ・ホルダー

カップ･ホルダーに飲み物を置くことができます。

⚠ 注意 熱い飲み物がこぼれる

熱い飲み物がこぼれて火傷をする場合があります。

▷ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。

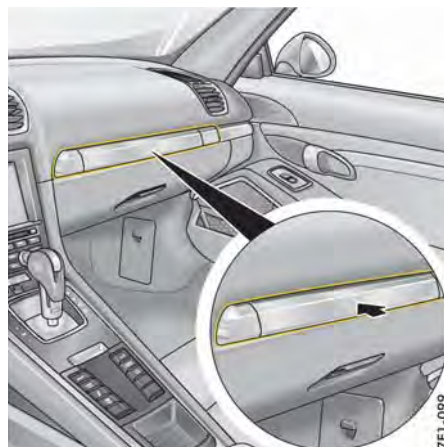
▷ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

▷ 熱い飲み物を置かないでください。

知識

飲み物がこぼれて車両を損傷する恐れがあります。

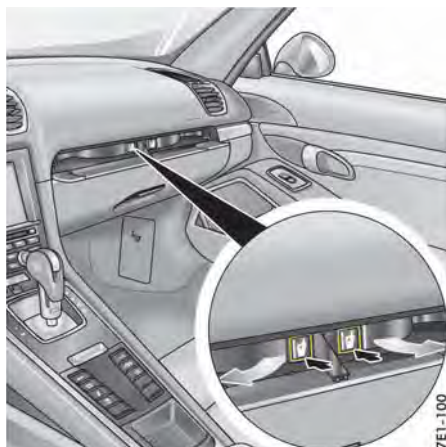
▷ カップ・ホルダーに収まる容器のみを使用してください。

▷ 中身がいっぱいに満たされた容器をカップ・ホルダーに置かないでください。

カップ・ホルダーを開く

グローブ･ボックス上側のパネル後部に折り畳み式カップ･ホルダーが2個装備されています。

 インフォメーション

▷ 運転中はパネルを閉じておいてください。

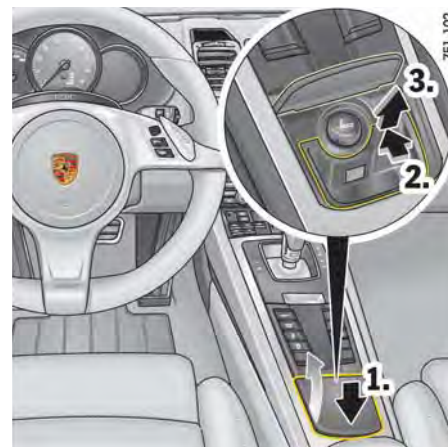
1. カップ・ホルダー・パネルを押してください（図を参照）。
   パネルが開きます。

2. 左右どちらかのカップ・ホルダーのマークを押してください。
   カップ・ホルダーが開きます。
3. 中央のパネルを閉じると、走行中にカップ・ホルダーが動きません。

カップ・ホルダーを引き出すと、大きな容器を置くこともできます。

カップ・ホルダーを引き出す

1. ホルダーを引き出してください（矢印）。
2. カップ/容器を入れてください。
3. 慎重にホルダーを内側にスライドさせ、カップ/容器のサイズに合わせてください。

カップ・ホルダーを折り畳む

1. カップ・ホルダーを押し込んでください。
2. 中央のパネルを開いてください。
3. カップ・ホルダーを折り畳み、はめ込んでください。
4. 中央のパネルを閉じてください。

灰皿

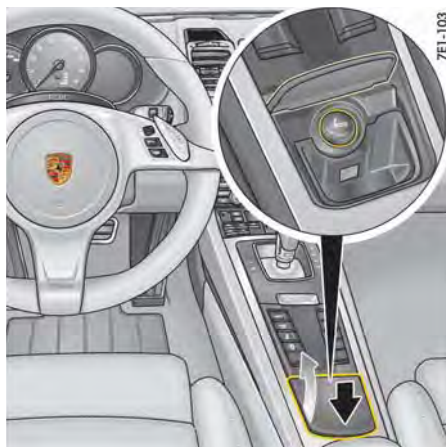
（装備によって異なります）

開く

1. 灰皿のリッドを素早く押してください。
   リッドは自動で開きます。

掃除する

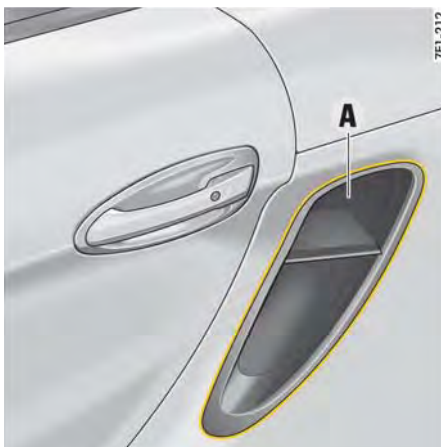
2. 灰皿インサートの右上を前方に押して、ロック解除してください。
3. 灰皿インサートを引き上げて取り外してください。

▷ 灰皿インサートを掃除した後は、元の位置に戻し、カチッと音がするまで所定の位置に押し込んでください。

シガー・ライター
（装備によって異なります）

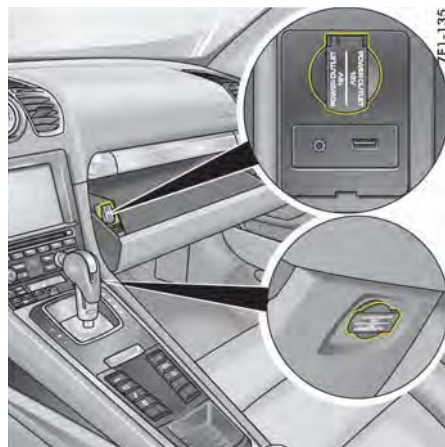
⚠ 警告 加熱したシガー・ライターによる火傷

使用中のシガー･ライターは非常に熱くなります。
▷ お子様のみを車内に残さないでください。
▷ 加熱したシガー･ライターを持つときは、ノブのみを持ってください。

シガー・ライターを使用する
シガー･ライターはイグニッションの位置に関係なく使用できます。
▷ シガー・ライターで充電アダプターを使用する際のインフォメーション：「12Vソケット/シガー･ライターでの充電アダプターの使用」（175ページ）を参照してください。

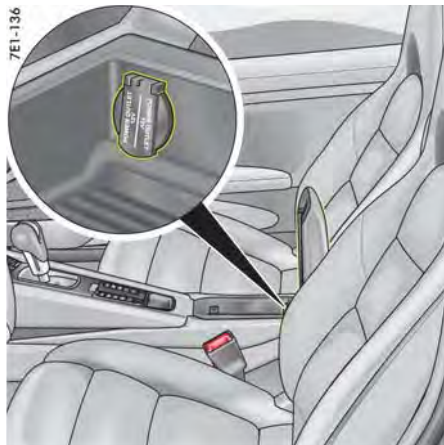
1. 灰皿のリッドを素早く押してください。

2. ライターをソケットに押し込んでください。ライターのフィラメントが赤熱すると、ライターが元の位置まで飛び出します。

⚠ 危険 火のついた煙草の投げ捨てによる火災の恐れ

煙草が走行風によりエア・インレット**A**に入り込み、エンジン・ルーム内で火災が起こる危険があります。
▷ 車内から煙草を投げ捨てないでください。

グローブ・ボックス内および助手席足元のソケット

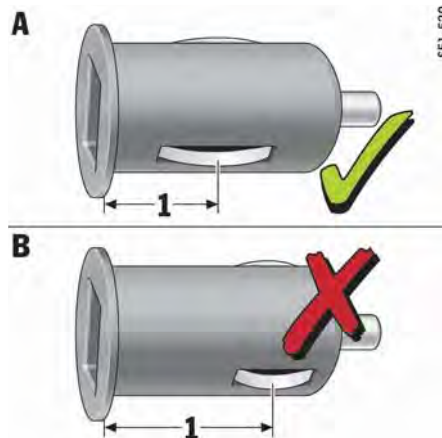
ソケット
12Vソケットには、12V仕様の電装品（アクセサリー）を接続できます。
ソケットはグローブ・ボックスおよびセンター・コンソールの小物入れの中にあります（車両の装備仕様により異なります）。
▷ 12Vソケットでの充電アダプターの使用に関するインフォメーション：「12Vソケット/シガー･ライターでの充電アダプターの使用」（175ページ）を参照してください。

インフォメーション

他の電装品がOFFになっているときのソケットの最大電流値は20Aです。複数の電装品を同時に使用する場合は、1つのソケットの電流値が10Aを超えないようにしてください。

センター・コンソール内のソケット

インフォメーション

ソケットは、イグニッションがOFFのときでも、イグニッション・キーを抜いていても使用できます。

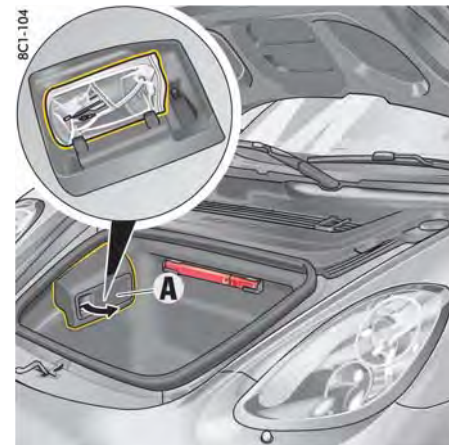
エンジンを停止したままアクセサリーを使用すると、バッテリー上がりの原因になります。車両のバッテリーを保護するため、30分後に電源供給が遮断されます。電装品への電源供給を再開するには、イグニッションをONにしてください。

A - 使用可能な充電アダプター
B - 使用できない充電アダプター

12Vソケット/シガー・ライターでの充電アダプターの使用

知識

電気系統を損傷する恐れがあります。

▷ 下記の条件を満たした使用可能な充電アダプター(**A**)のみを使用してください：
グラウンド（アース）端子と充電アダプターの上端の寸法(**1**)が約16mm**以下**であること。

▷ グラウンド（アース）端子と充電アダプターの上端の寸法(**1**)が16mm以上ある使用できない充電アダプター(**B**)を使用すると、ソケットが損傷することがあります。

トランク・ルーム

停止表示板 *

停止表示板はトランク・ルームの後部に固定されています（**図を参照**）。

応急処置セット *

応急処置セットは、付属のマジック・テープを使用して、トランク・ルーム内のカーペットに固定することができます。
応急処置セットの使用済みの備品や古くなった備品は直ちに交換してください。

タイヤ・シーラント

プラスチック・ボックス**A**の中にタイヤ・シーラントが収納されています。

▷ プラスチック・ボックス**A**の取っ手をつかんで、取り外してください。

▷ プラスチック・ボックスを差し込む際は、後部のタブから挿入してください。
次にボックスの前部をはめ込んでください。

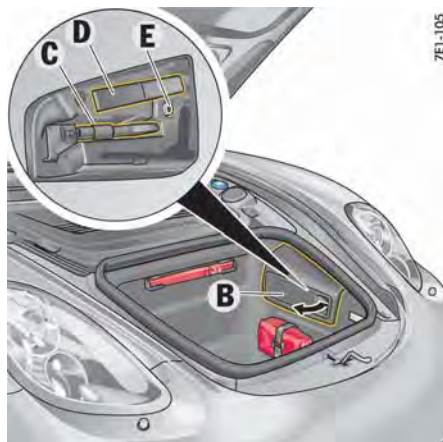
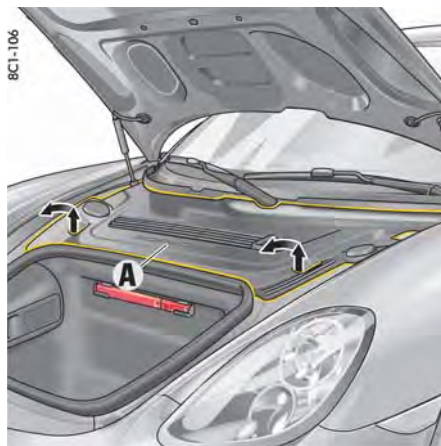
＊ 日本仕様に設定はありません。

C - けん引フック
D - 工具セット
E - 盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

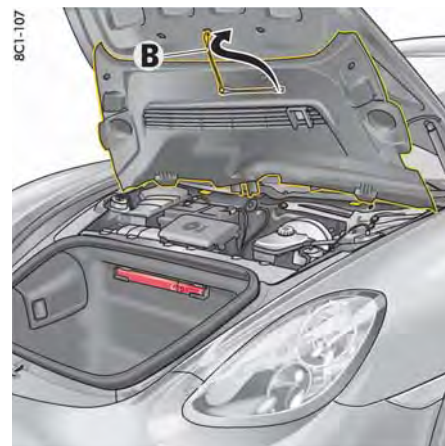
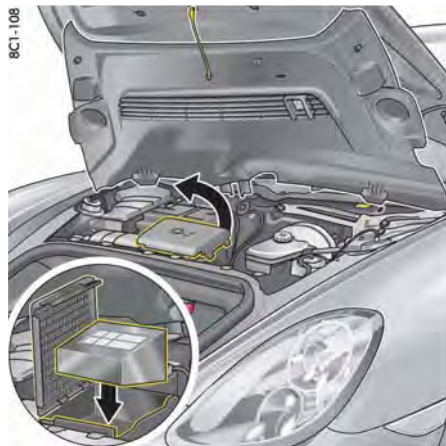
工具

工具はプラスチック・ボックス**B**の中に収納されています。

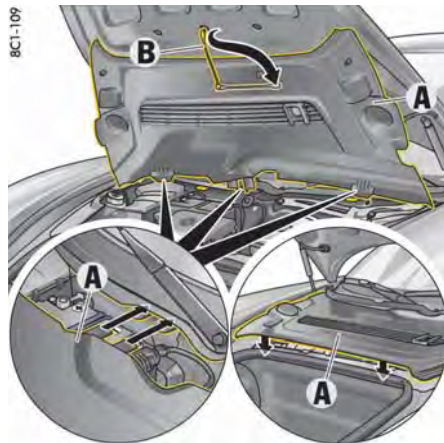
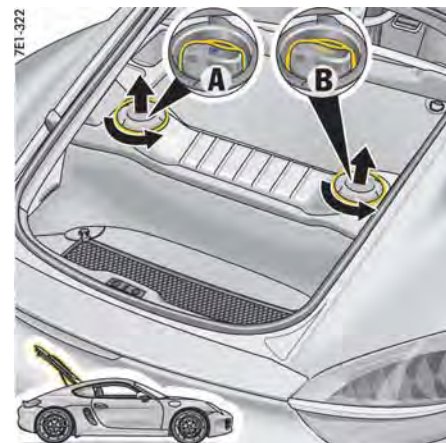
▷ プラスチック・ボックス**B**の取っ手をつかんで、取り外してください。

▷ プラスチック・ボックスを差し込む際は、後部のタブから挿入してください。
次にボックスの前部をはめ込んでください。

タイヤ充填コンプレッサー

タイヤ充填コンプレッサーの取り外し

1. プラスチック・カバー**A**の取っ手（矢印）を持ち上げてクリップを解除し（外れる音が聞こえます）、前方に少し引いてください。
2. プラスチック・カバーの前部を持ち上げてください。

3. 固定ストラップ**B**をトランク・リッドに取り付けてください。

4. タイヤ充填コンプレッサーの収納カバーを開いてください。
5. タイヤ充填コンプレッサーを収納スペースから取り出してください。

タイヤ充填コンプレッサーの収納

1. タイヤ充填コンプレッサーは台形です。
   タイヤ充填コンプレッサーの細い側を前方に向け（**図を参照**)、収納スペースに挿入してください。
2. タイヤ充填コンプレッサーの収納カバーを閉じてください。

3. 固定ストラップ**B**を外し、プラスチック・カバーにはめ込んでください。
4. プラスチック・カバー **A**の後端部をガイドに差し込み、黄色のホルダー上に置いてください。プラスチック・カバーの前部を下げてください。
5. カバー下側のセンタリング・ピンがガイドにはまっていることを確認してください。
   クリップがはまる音が聞こえるまで、カバーの取っ手部分を押してください。

A - クーラントの注入口
B - エンジン・オイルの注入口

ラゲッジ・コンパートメント

ラゲッジ・コンパートメントには、クーラント**(A)**とエンジン・オイル**(B)**の注入口があります。

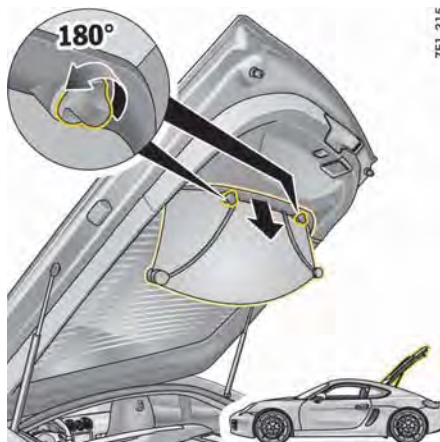
▷ 「クーラント・レベルの点検と補充」（205ページ）を参照してください。
▷ 「エンジン・オイルの補充」（193ページ）を参照してください。

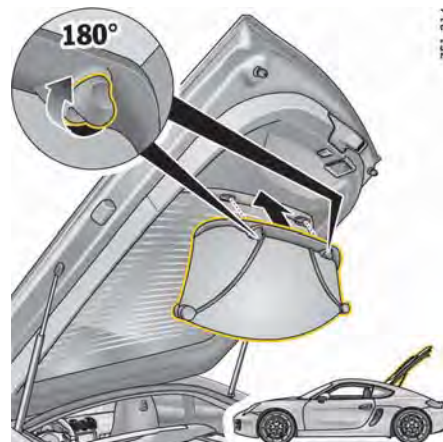
ラゲッジ・カバー

ラゲッジ・カバーはラゲッジ・コンパートメント内の荷物を直射日光や人目から覆い隠します。

知識

ラゲッジ・カバーは鋭利な物や滑った荷物によって損傷する恐れがあります。

▷ ラゲッジ・カバーを損傷する恐れのある荷物を積み込むときは、ラゲッジ・カバーを取り外してください。

ラゲッジ・カバーを取り外す

1. 片手でラゲッジ・カバーを押さえながら、両方のロックをゆるめてください。
2. 両手でラゲッジ・カバーを取り外してください。

ラゲッジ・カバーを取り付ける

▷ 両手でラゲッジ・カバーをマウントに取り付け、片手で押さえながら両方のロックをロックしてください。

駐車

パーキング・アシスタント 180
リバース・カメラ 182
駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動
切り替え 183
ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）＊ 183

＊ 日本仕様に設定はありません。

パーキング・アシスタント

ドライバーが車庫入れをする場合にパーキング・アシスタントが車両と障害物の距離を警告音でお知らせします。

▷ フロントおよびリヤ・センサー装備車：パーキング・アシスタントのディスプレイ表示とリバース・カメラに関するインフォメーションは、ポルシェ・コミュニケーション・システムPCM/CDR操作説明書の「パーキング・アシスタント」の章も参照してください。＊

イグニッションがONのときにリバース（後退）ギヤを選択すると、パーキング・アシスタントが自動的に作動します。

フロント・パーキング・アシスタント装備車では、車両と車両前方の障害物の距離が以下を下回る場合にも自動警告が作動します：

– 約100cm以下（警告音）
  約80cm（警告表示）

警告音が鳴ります：

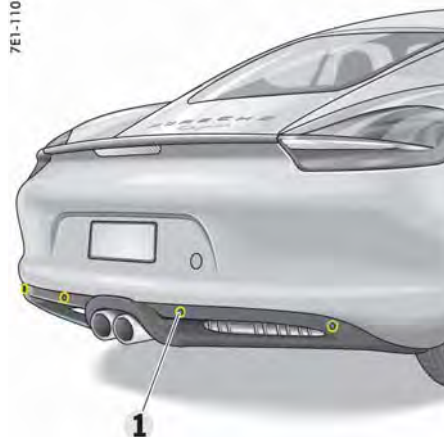
– 車両と車両後方の障害物の距離が約 180cm以下になると、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊のセンター・スクリーンにパーキング・アシスタントのディスプレイが表示されます。

次の場合、パーキング・アシスタント（フロントおよびリヤ）は作動**しません**：

– 速度が約15km/h以上のとき
– エレクトリック・パーキング・ブレーキが作動しているとき
– イグニッションONの状態でオーバーヘッド・コンソールのボタン**A**を押してパーキング・アシスタントをOFFにしたとき（ボタン**A**のインジケーター・ライトが点灯します。）

⚠ 警告 運転中または駐車中の不注意

パーキング・アシスタントにより操作の快適性は向上しますが、無謀な運転は避けてください。パーキング・アシスタントを使用している場合でも、ドライバーには駐車時や障害物に注意を払う責任があります。このシステムはドライバーの注意力の代わりになるものではありません。

▷ 移動範囲内に人、動物、障害物がないか必ず十分に確認してください。

リヤ超音波センサー

センサー

車両の装備仕様により、リヤ・バンパーまたはリヤとフロント・バンパーに超音波センサー**1**が組み込まれており、障害物との距離を測定します。

– 車両後方の検出範囲：約180cm
– 車両側方の検出範囲：約60cm
– 車両前方の検出範囲：約120cm

天井から吊り下がっている物体や地面の近くにある障害物など、センサーの検出範囲よりも上または下にある物体は、センサーの死角になります。このためパーキング・アシスタントが障害物として検出できません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

フロント超音波センサー

メンテナンスの諸注意

▷ センサーの正常な機能を維持するため、センサーに付着した汚れ、氷、雪などは取り除いてください。

▷ センサーを擦ると故障の原因になります。

▷ 高圧洗浄機を使用して清掃するときは、センサーとの距離を十分に確保してください。
圧力が高すぎるとセンサーが損傷します。

▷ 車両への構造変更（例：ナンバー・プレート/可動式ナンバー・プレート・ホルダー、または曲げたり不正な取り付けをされたナンバー・プレート）はシステムに悪影響を及ぼすことがあります。

警告音/機能

リバース（後退）ギヤを選択すると、パーキング・アシスタントが作動したことを知らせる**短い確認音**が鳴ります。

フロント・パーキング・アシスタント装備車では、リバース（後退）ギヤを選択しても確認音が**鳴りません。**

その代わり、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊のセンター・スクリーンにパーキング・アシスタントのディスプレイが表示されます。

障害物を検出すると**警告音が断続的に**鳴ります。障害物との距離が近づくにつれて警告音の断続間隔が短くなります。

障害物との距離が約30cm以下になると、**警告音が連続して**鳴ります。

▷ 警告音が聞こえるようにオーディオの音量を調節してください。

警告音のボリュームを個別に変更できます。

警告音量の調節に関するインフォメーション：

▷ 「パーキング・アシスタントの警告音量を設定する」（106ページ）を参照してください。

⚠ 警告 連続した警告音の無視

警告音が連続して鳴った後も走行を続けると、検出された障害物と衝突する可能性があります。車内または車外の人が負傷する恐れもあります。

▷ 警告音が連続して鳴ったときは、後退を中止してください。

超音波センサーの限界

– 粉雪、布地や毛皮など、音波を吸収する物体があるとき
– ガラスの表面や平らな塗装面など、音波を反射する物体があるとき
– または細い棒状の物体などに対して、パーキング・アシスタントは正常に作動しません。

その他、大型車の排気ブレーキ、清掃機やエア・ジャッキなどを近くで使用したときも、超音波が乱れて正常な作動が妨げられることがあります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

パーキング・アシスタントの停止

フロントおよびリヤ・パーキング・アシスタント装備車両では、パーキング・アシスタント機能を手動で作動解除できます。

▷ オーバー・ヘッド・コンソールのボタン**A**を押してください。
ボタンのインジケーター・ライトが点灯します。
パーキング・アシスタントがOFFになります。

環境要因による表示

一時的な不具合（センサーへの氷結や泥汚れなど）があると、正常な作動が保証できません。

環境要因により、ポルシェ・コミュニケーション・システム＊のセンター・スクリーンに停止警告が警告音を伴い表示されるか、または警告マークが警告音を伴わずに表示される可能性があります。

一時的な故障の原因が取り除かれると、パーキング・アシスタントの作動が正常に復帰します。

パーキング・アシスタントに**継続的な故障**が発生した場合、リバース（後退）ギヤを選択したときに連続音が3秒間鳴ります。

フロントおよびリヤ・センサー装備車のみ：
センサーに不具合がある場合、該当するバンパーのモニタリング領域に警告マークが表示され、連続音が3秒間鳴ります。

考えられる原因：

– システムの作動不良や故障が発生したとき

▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

リバース・カメラ

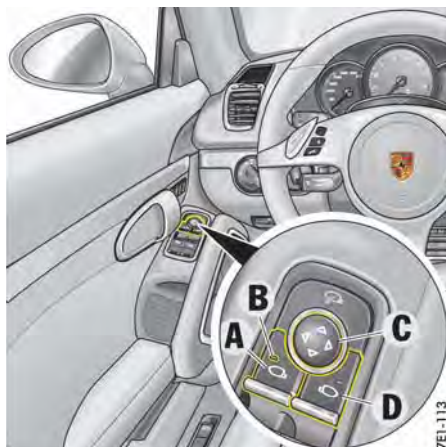
リバース・カメラはバンパーのライセンス・プレート・ライトの間に取り付けられています（図を参照）。

▷ 別冊のPCM/CDR取扱説明書＊にある「リバース・カメラ」の章を参照してください。

▷ リバース・カメラはいつもきれいな状態を維持し、氷や雪が付着したときは取り除いてください。カメラの視界が遮られます。

車両のお手入れについて：

▷ 「メンテナンスの諸注意」（191ページ）を参照してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

駐車時の助手席ドア・ミラー下向き自動切り替え

メモリー・パッケージ装備車では、リバース（後退）ギヤを選択すると、**助手席側**ドア・ミラーが自動的に少し下向きになり、助手席側の車両後方下部にある障害物を視認しやすくなります。

作動条件

– イグニッションをONにしてください。
– マルチファンクション・ディスプレイで、この機能を作動させる設定に切り替えてください。

助手席ドア・ミラーの下向き自動切り替えの設定に関するインフォメーション：

▷「リバース（後退）オプションの調節」（101ページ）を参照してください。

ドア・ミラーを手動で下向きにする

マルチファンクション・ディスプレイで、この機能の作動を解除しているときでも、手動操作で助手席ドア・ミラーを下向きにすることができます。

1. ギヤをリバース（後退）に入れてください。
   運転席ドア・ミラーを調節するためのボタン**A**のインジケーター・ライト**B**が点灯します。
2. 助手席ドア・ミラーを調節するためのボタン**D**を押してください。
   助手席のドア・ミラーが下向きになります。

インフォメーション

自動的に下向きになったミラー・ガラスの位置は、調節ボタン**C**を使用して必要に応じて変更することができます。メモリー・パッケージ装備車では、車両の設定をそのとき使用しているキーや運転席ドアのパーソナル・ボタンに保存することができます。

ドア・ミラーを通常位置に戻す

次の場合、ドア・ミラーが通常の位置に戻ります：

– リバース（後退）以外のギヤを選択してから一定時間が経過した後
  または
– 速度が15km/h以上になったとき

手動操作で助手席のドア・ミラーを通常位置に戻すこともできます。

▷ 運転席ドア・ミラーのボタン**A**を押してください。

ガレージ・ドア・オープナー（ホームリンク®）＊

ホームリンク®システムは、様々なリモート・コントロール装置（ガレージ・ドア、自宅の門や警報システム、家のライトなど）を車内から作動させることができます。

ホームリンク®は最大3種類のリモート・コントロールを登録することができます。オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの3つのメモリー・ボタン**I**、**II**、**III**にリモート・コントロール信号を割り当てることができます。プログラミングしたメモリー・ボタンを使用して、各装置を作動させることができます。

信号の送信は**II**ボタンのインジケーター・ライトに表示されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

- ▷ 各種装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよくお読みください。
- ▷ ホームリンク®システムと各装置のリモート・コントロールの互換性に関する情報は、ポルシェ正規販売店、ホームリンク®のウェブサイト(www.homelink.com)、ホームリンク®のフリーコール(0800 0466 35465)から確認することができます。

⚠ 警告 操作した機器による挟み込み、締め付けまたは圧迫

ガレージ・ドア・オープナー＊の使用時またはプログラミング時に、ガレージ・ドア・オープナー＊で操作する装置の可動範囲に人や動物がいたり、物があったりすると、事故につながる恐れがあります。

- ▷ ホームリンク®システムを操作またはプログラミングするときは、装置の可動範囲に人や動物がいないか、物がないか確認してください。
- ▷ 装置のリモート・コントロール取扱説明書の注意事項を遵守してください。

インフォメーション

- ▷ ボタンを押すと、トランスミッター・ユニットが車両の正面前方に向けて信号を送ります。
  必ず装置の受信機の方向に車両を向けてください。
  これを怠ると、信号の送信エリアから外れることがあります。
- ▷ 車両を売却するときは、ガレージ・ドア・オープナー＊のプログラミング信号をキーパッドから消去してください。
- ▷ プログラミング作業を初めて実施した後、装置が作動しない場合は、装置のリモート・コントロールの取扱説明書をよく読み、装置のリモート・コントロールが固定コード式か、可変コード式かを確認してください。

ガレージ・ドア・オープナー＊の操作

イグニッションをONにしてください。

- ▷ オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの該当するホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。
  信号送信中にインジケーター・ライト**A**が点灯します。

ガレージ・ドア・オープナー＊のプログラミング：登録した信号の消去

ホームリンク®システムは、オーバーヘッド・コンソールとラジエーター・グリル付近でプログラミングします。

作動条件

プログラミングした信号を消去するときや、ガレージ・ドア・オープナー＊信号を登録するときは：

- – イグニッションをONにしてください。
- – 方向指示灯の作動をOFFにしてください。
  および
- – エンジンをOFFにしてください。

ガレージ・ドア・オープナー＊を使用するときは、信号の送信エリア内に装置の受信機がなければなりません。

プログラミングした信号をボタンから消去する

この操作では、ホームリンク®のすべてのプログラミングを消去します。プログラミングしたボタンを個別に消去することはできません。ボタンに信号を追加登録するときは、この操作を行わないでください。

- ▷ オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタン**II**のインジケーター・ライト**A**が素早く点滅するまで、2つの外側ボタン**I**および**III**を約20秒間押し続けてください。
- ▷ ボタンを放してください。

ホームリンク®ボタンは消去され、再プログラミングすることができます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

固定コード式システムのガレージ・ドア・オープナー＊信号をキーに登録する

オーバーヘッド・コンソール：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

新車出荷時に設定されているコードの消去に関するインフォメーション：

▷ 「ガレージ・ドア・オープナー＊のプログラミング：登録した信号の消去」（184ページ）を参照してください。

3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタン**II**のインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅し始めるまで、お好みのボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に立ってください。

車両の前方：

5. 受信部（**図を参照**）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
   システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要がある場合があります。

6. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。
   手順3～5を繰り返してください。
7. 上記の手順3～5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

可変コード式システムのガレージ・ドア・オープナー＊信号をボタンに登録する

システムによっては、可変式コードもホームリンク®システムにプログラミングする必要があります。作業を2人で行うと、プログラミングが容易になります。

可変式コードの識別

▷ 以前プログラミングしたホームリンク®ボタンを押したまま保持してください。

オーバーヘッド・コンソールの**II**ボタンのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し、約2秒後に常時点灯する場合、装置は可変式コード・システムです。

▷ 同期に関するインフォメーションは、プログラミングするシステムの取扱説明書にも記載されています。

ガレージ・ドア・オープナー＊信号のキーへの登録

▷ リモート・コントロールされる装置の範囲内に車両を停車してください。

オーバーヘッド・コンソール：

1. イグニッションをONにしてください。
2. プログラミング作業を**初めて**実施する前に、新車出荷時に設定されている標準コードを消去しなければなりません。

新車出荷時に設定されているコードの消去に関するインフォメーション：

▷ 「ガレージ・ドア・オープナー＊のプログラミング：登録した信号の消去」（184ページ）を参照してください。

3. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタン**II**のインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅し始めるまで、お好みのボタンを押し続けてください。
   ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
4. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に立ってください。

車両の前方：

5. 受信部（**図を参照**）から約30cmの位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
   新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
   車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。

＊ 日本仕様に設定はありません。

システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要がある場合があります。

6. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が1回点滅します。手順3〜5を繰り返してください。
7. 上記の手順3〜5を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
8. ガレージ・ドア・オープナー＊のモーター・ユニットなどプログラミングする装置の受信機のプログラミング・ボタンの位置を特定してください。

システムを同期する

9. **モーター・ユニットを作動させる：**
ガレージ・ドア・オープナー＊受信機のプログラミング・ボタンを押してください。その後、約30秒以内に次の手順10に進んでください（通常、モーター・ユニットの設定インジケーターが作動します）。
10. **オーバーヘッド・コンソールのプログラミング：**
手順3で選んだオーバーヘッド・コンソール・キーパッドのボタンを押してください（装置によっては、登録を完了するまでにキーパッドのボタンを数回押さなければならない場合があります）。
11. 上記の手順3〜10を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。
12. オーバーヘッド・コンソールのプログラミングが完了した後、イグニッションをONにしてメモリー・ボタンを押すと、速やかにホームリンク®信号を認識して起動することを確認してください。

キーパッドの各ボタンへの再プログラミング

ホームリンク®ボタンは、残りのボタンの登録を消去せずに個別に再プログラミングすることができます。

オーバーヘッド・コンソール：

1. イグニッションをONにしてください。
2. オーバーヘッド・コンソール・キーパッドの**II**ボタンのインジケーター・ライト**A**がゆっくりと点滅し始めるまで、プログラムしたいボタンを（約20秒間）押し続けてください。
ボタンの登録作業は5分以内に完了しなければなりません（タイムアウト時間）。
3. プログラミングする**装置のリモート・コントロール**を持って車両の前方に立ってください。

車両の前方：

4. 受信部（**図を参照**）から約30cm位置で、装置のリモート・コントロールを保持してください。車両の方向指示灯が**3回**点滅するまで、またはオーバーヘッド・コンソールのインジケーター・ライト**A**が素早く点滅し始めるまで、**送信ボタン**を押し続けてください（場合によっては約1分以上）。
新しい信号のプログラミングが完了すると、車両の方向指示灯が3回点滅し、インジケーター・ライト**A**が素早く点滅します。
車両と装置のリモート・コントロールの距離を変えて、数回実行しなければならない場合があります。
システムによっては、装置のリモート・コントロールのインジケーター・ライトを消灯するときに、装置のリモート・コントロールの送信ボタンをもう1回押す必要がある場合があります。
5. 登録作業開始から5分が経過するとタイムアウトになり、方向指示灯が**1回**点滅します。手順1〜4を繰り返してください。
6. 上記の手順1〜4を繰り返して、その他のボタンにも別の装置を登録してください。

インフォメーション

▷ 本書の手順、および各装置のリモート・コントロール取扱説明書の記述に従って慎重に登録作業を行ってもボタンに信号を登録できない場合、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。ポルシェ正規販売店にはガレージ・ドア・オープナー＊信号に関する情報を取り揃えています。

▷ ガレージ・ドア・オープナー＊のリモート・コントロールに新品の電池が入っていることを確認してください。
電池が消耗していると、信号の送信不良が生じることがあります。その結果、ガレージ・ドア・オープン機構が正しく認識できない誤ったコードが登録されます。

＊ 日本仕様に設定はありません。

警報システム

警報システムは、次の警報接点を監視します：

– ドア、トランク・リッド、リヤ・リッド、およびヘッドライトの警報接点
– 室内モニタリング・システム（装備仕様による）：車両をロックした後の車内への侵入（例えばウィンドウを壊して車内に侵入したとき）
– 傾斜センサー＊（国別の装備仕様による）：車両の傾き（例えば車両をけん引して盗難しようとしたとき）

これらの警報接点のいずれか1つでも不正な動きを検出すると、アラーム・ホーンが約30秒間鳴り、ハザード・ライトが点滅します。
その後、5秒間警告が中断され、再度警報が作動します。この作動を最大10回繰り返します。

ONにする

▷ 車両をロックすると、警報システムが作動します。

OFFにする

▷ 車両をロック解除すると、警報システムが解除されます。

 インフォメーション

▷ ドア・ロックにエマージェンシー・キーを差し込んで車両のロックを解除した場合、警報システムの作動を回避するため、ドアを開いてから15秒以内にイグニッションをON（イグニッション・ロックの位置**1**）にしなければなりません。
警報システムが作動するまでの時間は、国によって異なる場合があります。

 インフォメーション

ボタンを使用してロックを解除した後、いずれのドア、トランク・リッド、またはリヤ・リッドも開かなかった場合、車両は30秒後に自動的に再ロックされます。

作動した警報システムをOFFにする

▷ ドアをロック解除またはイグニッションをONにしてください。

室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊をOFFにする

車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。

▷ 「ドアをロックする」（13ページ）を参照してください。
▷ ドアを開いた場合、警報システムが作動することを車内に残る人に伝えてください。

キーを使用する

▷ キーのボタンを**2秒以内に2回**押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、車内側から開くことができます。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車

▷ ドア・ハンドルのボタン**A**を素早く**2回**押してください。
ハザード・ライトがゆっくり1回点滅します。
ドアはロックされますが、車内側から開くことができます。

 インフォメーション

次の場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊はOFFの状態を維持します：

– 最後に車両をロックしたときに、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊がOFFになっていた場合
および
ロックを解除してから、いずれのドアも開かなかったために、30秒後に自動的にロックされた場合

機能表示

ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車の場合、車両のロック状態は、セントラル・ロッキング・ボタンのインジケーター・ライトの点滅速度で示されます。
車両をロック解除すると、インジケーター・ライトが消灯します。

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合、車両のロック状態は、ドアのインジケーター・ライトの点滅速度で示されます。

警報システムを起動させた場合

– 車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

警報システムを起動させた場合（室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊がOFFのとき）

– 車両をロックしたときにインジケーター・ライトが素早く点滅し、10秒間消灯し、その後は通常の速さで点滅します。

セントラル・ロッキング・システムと警報システムの故障

インジケーター・ライトが10秒間点灯した後、通常の倍の速さで20秒間点滅し、その後は通常の速さで点滅します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

警報システムの誤作動を回避するために

▷ 車内に人や動物を残して車両をロックするときや、鉄道または船舶などで車両を輸送する場合、室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を一時的にOFFにする必要があります。
「ドアをロックする」（13ページ）を参照してください。

▷ すべてのドア・ウィンドウを必ず閉じてください。

イモビライザー

各キーには、コード信号が保存されたトランスポンダー（電子回路）が組み込まれています。イグニッションをONにする前に、イグニッション・ロックがコードを照合します。

あらかじめ登録されているキーを使用したときのみイモビライザーが解除され、エンジンを始動できます。

ステアリング・コラム・ロック

ポルシェ・エントリー&ドライブ非装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

▷ キーのリモート・コントロールによって車両をロック解除してください。
または
キーをイグニッション・ロックに差し込んでください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

▷ イグニッション・キーを抜き取ってください。

ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車

ステアリング・コラムを自動的にロック解除する

▷ キーのリモート・コントロールによって警報システムを解除し、運転席ドアを開いてください。
または
ポルシェ・エントリー &ドライブを使用して、運転席ドアを開いてください。
または
イグニッションをONにしてください。

ステアリング・コラムを自動的にロックする

▷ 運転席ドアを開いてください（イグニッションをOFFにした状態で）、または車両をロックしてください。

盗難を防止するために

車両から離れるときは、必ず次のことを守ってください：

▷ ウィンドウを閉じてください。

▷ エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。

▷ イグニッション・キーを抜き取ってください（またはポルシェ・エントリー &ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください）。

▷ グローブ・ボックスを閉じてください。

▷ すべての小物入れを閉じてください。

▷ 貴重品、車両の登録書類、携帯電話機、自宅の鍵などを車内に残さないでください。

▷ トランク・リッドとリヤ・リッドを閉じてください。

▷ ドアをロックしてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

車両のお手入れ

メンテナンスの諸注意 191
エンジン・オイル・レベルの点検 192
エンジン・オイルの補充 193
ウォッシャー液 194
ワイパー・ブレード 194
エミッション・コントロール・システム 195
予備燃料タンク 195
燃料の給油 196
車両のお手入れ 198
リサイクル 202

メンテナンスの諸注意

ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束致します。

お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払って作業していただくようお願い致します。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。

不適切なメンテナンスを行うと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

エンジン・ルームでの作業

エンジン・ルーム内の整備点検には、専門的な知識が必要になります。ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

テスト・スタンドでの測定

ブレーキ・テスト

ブレーキ・テストには、ローラー・タイプ・テスト・スタンドのみを使用してください。

ローラー・タイプ・テスト・スタンドを使用する場合、次の条件を守ってください。

– 測定速度：7.5km/h以下
– 測定時間：20秒以内

エレクトリック・パーキング・ブレーキのテスト

ブレーキ・テスト・スタンドでエレクトリック・パーキング・ブレーキを測定するときは、イグニッションをONにし、マニュアル・トランスミッション装備車はニュートラル、Porsche Doppelkupplung (PDK)装備車はセレクター・レバーを**N**の位置にしなければなりません。

車両が自動的にブレーキ・テスト・モードに切り替わり、エレクトリック・パーキング・ブレーキのテストが可能になります。

このときインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**電動パーキングブレーキがサービスモードです**」が表示されます。

オン・ザ・カー・ホイール・バランス

車両にタイヤを装着した状態でホイール・バランスを計測するときは、車両全体をリフト・アップし、ホイールが自由に回転できる状態にしなければなりません。

⚠ 警告 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす危険があります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

▷ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

⚠ 危険 車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発の危険

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

▷ バッテリーや燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所のみで実施してください。

⚠ 警告 有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

▷ これらの油脂類は、お子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。
クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。
- ▷ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。
- ▷ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。
- ▷ エンジンが熱いときにクーラント・リザーブ・タンクのキャップを開く場合は、細心の注意を払ってください。

⚠ 警告 エンジン・ルーム・ブロワ、ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン付近の他の可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部、ネックレス、長い髪などがエンジン・ルーム・ブロワやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。

エンジンを停止してから約30分間はエンジン・ルーム内の温度が監視されています。
この間は、温度に応じてエンジン・ルーム・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。
- ▷ この近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにし、十分に注意して作業してください。

車両前側のラジエーター・ファンは、エンジン作動中に作動し続けたり、不意に作動し始めたりすることがあります。
- ▷ これらの近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにしてください。
- ▷ 身体、衣服、装飾品の一部がラジエーター・ファン、エンジン・ルーム・ブロワ、ドライブ・ベルト、その他の可動部品に絡まることのないように、十分注意してください。

⚠ 警告 イグニッション・システムによる感電

イグニッションがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。
- ▷ イグニッション・システムにかかわる作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

⚠ 警告 不十分な車体の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、修理作業中に車両が不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。
- ▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させて、ギヤ・レバーをニュートラルに入れるか、またはPDKセレクター・レバーを**P**の位置に入れてください。
- ▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず安定したサポート・スタンドで車両を支えてください。
- ▷ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
- ▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両がサポートから落下する恐れがあります。

エンジン・オイル・レベルの点検

- ▷ オイル・レベルは、給油の前に定期的にマルチファンクション・ディスプレイで点検してください。
- ▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」（81ページ）を参照してください。

エンジン・オイルの補充量

オイル・レベル・セグメント表示の下限(Min)と上限(Max)の差は約1.7リットルです。
- ▷ 上限(Max)を超えてエンジン・オイルを補充しないでください。

オイル・レベルの警告

オイル・レベルが低くなると、マルチファンクション・ディスプレイのオイル警告灯でお知らせします。
- ▷ 早急にエンジン・オイルを補充してください。
- ▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

エンジン・オイル補充後、またはリヤ・リッドを開いたときのオイル・レベルの測定

エンジンが作動温度に達した状態で平坦な場所に駐車し、約1分間待った後、オイル・レベルの測定が可能になります。
エンジン冷間時にリヤ・リッドを開くと（エンジン・オイルを補充するためなど）、オイル・レベルが一定時間表示されません。
マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**現在オイルレベルへの情報信号は利用できません**」が表示されます。
- ▷ エンジン・オイルはエンジンが作動温度のときのみ補充してください。これによりオイル・レベル表示の待機時間が短くなります。

インフォメーション

オイル・フィラー・キャップを開いたままエンジンを始動すると、チェック・エンジン警告灯が点灯することがあります。

エンジン・オイルの補充

Porsche recommends Mobil 1

適合オイル：

ポルシェ社認証オイル[1]	粘度等級[2]
Porsche A40	SAE 0W - 40[3] SAE 5W - 40[4] SAE 5W - 50[4]

1) 一般に、メーカーが推奨するエンジン・オイルの仕様や規格は、オイル缶に記載されているかまたは販売店に表示されています。
最新の承認オイルについてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

2) 粘度等級 – 例：SAE 0W - 40
粘度0W = 低温時の粘度（冬）
粘度40 = 高温時の粘度

3) すべての温度範囲に適応

4) –25°C以上の温度に対応

下記の点を必ず守ってください：

– ポルシェ社が認証したオイルのみを使用してください。これは、車両の信頼性を高め、故障を回避するための前提条件です。
– 定期的なエンジン・オイルの交換はメンテナンスの一部です。
「整備手帳」に記載された規定のサービス・インターバルで定期的なサービス（特にオイル交換サイクル）を行うことが重要です。
– エンジンに適合するオイルであれば、互いに混ぜ合わせることができます。
– ポルシェ車のエンジンはオイル添加剤を必要としません。
– リヤ・ラゲッジ・ルームには、この車両に適したオイルの情報を記したステッカーが貼り付けられています。

詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告 エンジン・オイルの発火

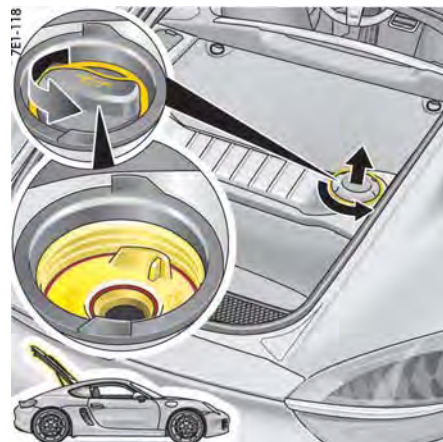
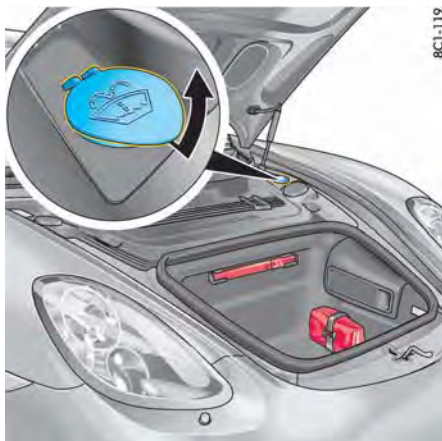
エンジン・オイルが過熱したエンジン部品に触れると発火する恐れがあります。

▷ エンジン・オイルの補充はエンジンを停止し、イグニッションをOFFにしてから行ってください。

▷ 「メンテナンスの諸注意」（191ページ）を参照してください。

知識

エンジン・オイルがあふれて損傷する恐れがあります。ラゲッジ・ルームとラゲッジ・ルーム内の荷物が汚れる恐れがあります。

▷ エンジン・オイルを点検したり補充するときは、こぼしてラゲッジ・ルームや荷物を汚さないように注意してください。

1. リヤ・リッドを開く前に、マルチファンクション・ディスプレイでエンジン・オイル・レベルを確認してください。
▷ 「エンジン・オイル・レベルの表示と測定」（81ページ）を参照してください。
2. 車両を平坦な場所に駐車してください。
3. 作動温度に達している状態でエンジンをOFFにしてください。
4. リヤ・リッドを開いてください。
5. キャップを反時計回りに回して、取り外してください。
6. オイル・フィラー・キャップ（**図を参照**）を取り外してください。
7. マルチファンクション・ディスプレイのオイル・ゲージに従ってオイルを補充してください。
8. オイル・フィラー・キャップを慎重に取り付けてください。
9. キャップを時計回りに回して、取り付けてください。
10. リヤ・リッドを閉じてください。

ウォッシャー液

下記の点を必ず守ってください：

▷ 季節に合わせて、水と適切な溶剤（ウィンドウ・クリーナーの濃縮液、凍結防止剤）を正しい比率で混ぜ合わせてください。

夏季は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液をウィンドウ・クリーナーの容器に記載されている混合比率に従って混ぜてください。

冬季は水とウィンドウ・クリーナーの濃縮液に、凍結防止剤を容器に記載されている混合比率に従って加えてください。

ウィンドウ・クリーナーや凍結防止剤の容器に記載されている注意事項を遵守してください。

▷ 次の条件を満たしているウィンドウ・クリーナーのみを使用してください：
- 濃度1:100
- 無リン
- プラスチック・ヘッドライト・レンズに適しているもの

ポルシェ社が推奨するウィンドウ・クリーナー濃縮液の使用を推奨します。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

フロント・ウィンドウ・ウォッシャーおよびヘッドライト・ウォッシャー・システムのウォッシャー液タンクは、トランク・ルーム内にあります（**図を参照**）。

警告メッセージ

ウォッシャー液が少ない場合、マルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されます。

▷ 次の機会にウォッシャー液を補充してください。

最大容量は約6リットルです。

ウォッシャー液の補充

1. ウォッシャー液タンクのキャップを開いてください（**図を参照**）。
2. ウォッシャー液を補充してください。
3. キャップを慎重に閉じてください。

ワイパー・ブレード

メンテナンス上の諸注意

知識

ワイパー・ブレードのお手入れが適切でない場合、損傷する恐れがあります。ワイパー・ブレードのグラファイト・コーティングが損傷する恐れがあります。

▷ 布またはスポンジでワイパー・ブレードを拭き取らないでください。きれいな水で洗い流すのみにしてください。

知識

ワイパー・アームが不意に倒れたり、ワイパー・ブレードが凍結したりすることにより損傷の恐れがあります。

▷ ワイパー・ブレードを交換する場合は、ワイパー・アームをしっかりと保持してください。

▷ フロント・ウィンドウからはがす前にワイパーの凍結を溶かしてください。

ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことで、良好な視界を確保できます。

▷ ワイパー・ブレードは1年に2回（冬季の前後）またはワイパーの払拭性能が低下したときや、ワイパー・ブレードが損傷した場合に交換してください。

▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向**4**に押してください。
ワイパーが上方に約45°移動します。

▷ ウィンドウ・クリーナーを使用してフロント・ウィンドウを定期的に清掃してください。特に洗車機を使用した後は清掃してください。
ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。ワイパー・ブレードの汚れが激しいとき（昆虫の死骸が頑固に付着しているときなど）は、スポンジまたは布で拭き取ってください。

ワイパー・ブレードのびびりや異音が発生するときは、次の原因が考えられます：
- 自動洗車機を使用すると、フロント・ウィンドウにワックス成分が付着します。このワックスは、ウィンドウ・クリーナーの濃縮液を使用しなければ除去することができません。
- ワイパー・ブレードが損傷または摩耗しています。

▷ 損傷したワイパー・ブレードは、速やかに交換してください。

▷ 「ウォッシャー液」（194ページ）を参照してください。

ワイパー・ブレードの交換

▷ イグニッションをOFFにして、ワイパー・レバーを1回下方向**4**に押してください。
ワイパーが上方に約45°移動します。

▷ ワイパー・ブレードの取り付けは、ワイパー・ブレードに付属の取扱説明書を参照してください。

▷ ワイパー・ブレードの交換作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

知識

ワイパー・ブレードの取り付け不良により損傷する恐れがあります。

ワイパー・ブレードを交換したときに、ブレードがきちんと取り付けられていないと、走行中に脱落することがあります。

▷ ワイパー・ブレードが正しく取り付けられているか点検してください。
ワイパー・ブレードは、ワイパー・アームに正しく固定されていなければなりません。

エミッション・コントロール・システム

エミッション・コントロール・システム（三元触媒コンバーター、O2センサー、エレクトロニック・コントロール・ユニット）の効率を維持するために、

– 定期点検時期（サービス・インターバル）を遵守してください。
– 必ず**無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

インフォメーション

エンジンの空燃比制御システムに不具合が発生すると、触媒コンバーターが過熱して損傷する恐れがあります。

⚠ 警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エンジン作動中のエキゾースト・システムは非常に熱くなっています。エキゾースト・システムの近くに燃えやすい物があると、引火する恐れがあります。

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

▷ 可燃物（乾燥した草や枯れ葉など）が高温のエキゾースト・システムに接触するような場所に駐車したり、走行したりしないでください。

▷ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

知識

エミッション・コントロール・システムに損傷を与える恐れがあります。

▷ 通常の操作でエンジンが始動しない場合にスターター・モーターを何度も繰り返し作動させたり、長時間作動させ続けたりしないでください。

▷ 走行中にミス・ファイヤーが発生したとき（エンジンの回転が安定しないときや、エンジン出力が低下したとき）は、直ちにポルシェ正規販売店で修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 燃料残量警告灯が点灯した場合は高速でコーナリングしないでください。

▷ 燃料タンクが空になるまで走行しないでください。

▷ マニュアル・トランスミッション装備車のけん引または押しがけによるエンジンの始動は、エンジン冷間時にのみ実施してください。
PDKトランスミッション装備車は、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

予備燃料タンク

⚠ 警告 予備燃料タンクの携行

事故などで予備燃料タンクが損傷した場合、燃料が漏れて火災が起こる恐れがあります。予備燃料タンクが爆発する恐れがあります。

▷ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

▷ 関連する法規制を遵守してください。

⚠ 警告 燃料蒸気ガスの吸引

燃料蒸発ガスは人体に有害です。

▷ 車両に予備燃料タンクを積載しないでください。

燃料の給油

イグニッションをONにすると、マルチファンクション・ディスプレイに燃料の残量が表示されます。

▷ 「J – 燃料計」(74ページ) を参照してください。

⚠ 警告 給油時の火災の危険

燃料は強燃性であり、火災または爆発が発生する恐れがあります。

▷ 燃料を取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。

⚠ 警告 燃料蒸発ガスの吸引、および燃料の皮膚への付着

燃料と燃料蒸発ガスは人体に有害です。

▷ 燃料蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

▷ 皮膚や衣類に燃料が付着しないように注意してください。

触媒コンバーターおよびO2センサーの故障を避けるため、**金属系添加剤を含んでいない無鉛ガソリンのみ**を使用してください。

この車両のエンジンは**EN228に基づき、金属系添加剤を含まない、オクタン価が 98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。

この車両のエンジンはエタノール含有量10%以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると、燃費が悪化することがあります。

オクタン価が**95RON/85MON**以上の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合、エンジンのノッキング・コントロール・システムが自動的に点火時期を調整します。

金属系添加物を含まない95RON/85MON以下の無鉛ガソリンを使用すると、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

▷ このような燃料を使用した場合はアクセル・ペダルを全開にしないでください。

i インフォメーション

通常、燃料の品質（オクタン価など）に関する情報は、ガソリン・スタンドの給油機に掲載されています。

表示されていない場合などはガソリン・スタンドのスタッフにお問い合わせください。

推奨燃料が入手困難な状況では、緊急措置として無鉛ガソリン(91RON/82.5MON)を使用することもできます。

ただし、この場合はエンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。

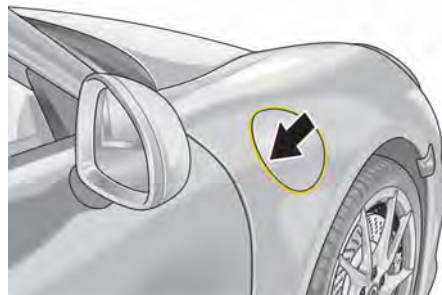
▷ 無鉛ガソリン(91RON/82.5MON)を使用する場合は、アクセル・ペダルを全開にしないでください。

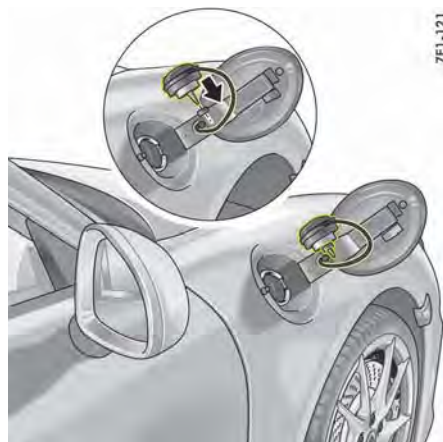
地域によっては、市販の燃料がポルシェ社の基準を満たしておらず、インテーク・バルブにすすが堆積することがあります。

ポルシェ社の基準を満たす燃料を入手できない場合は、推奨する添加剤を混ぜ合わせてください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ポルシェ部品番号：000 043 206 89

▷ 混合比率については、添加剤に付属の取扱説明書に従ってください。

「整備手帳」に記されているインターバルでの定期的なメンテナンスが重要です。特にオイルの交換時期を遵守してください。

給油

1. エンジンを停止して、イグニッションをOFFにしてください。
2. フィラー・フラップの後部（**矢印**）を押すと、フラップが開きます。
   このとき、車両のロックを解除しておいてください。

3. タンクのキャップをゆっくり開いて取り外してください。
取り外したキャップをホルダー（**矢印**）にかけてください。

4. 給油口の奥まで給油ノズルを差し込んでください。このとき、給油ノズルのハンドルが下向きでなければなりません。
燃料タンクの容量：約64リットル
（予備用の約10リットルを含む）

5. 給油ノズルを操作して、燃料を給油してください。
給油ノズルが自動的にOFFになったら、それ以上給油を続けないでください。無理に給油すると、タンクの燃料が吹き返したり、燃料が温まったときにあふれ出したりすることがあります。

6. 給油後は直ちにキャップを取り付け、ロック音と手ごたえを感じるまで、しっかりと閉じてください。

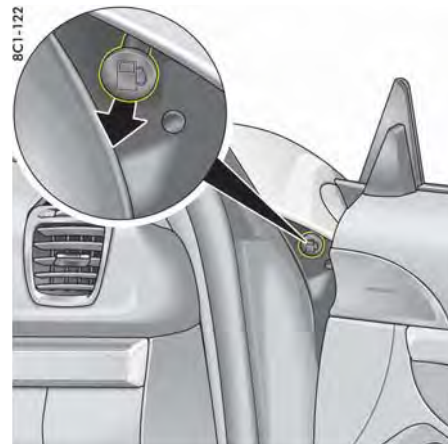
7. フィラー・フラップを閉じてフィラー・フラップの後部（矢印）を押し、しっかりと閉じてください。

燃料タンクの給油キャップを紛失した場合は、必ずポルシェ純正部品と交換してください。

知識

デコラティブ・フィルムが損傷する恐れがあります。

デコラティブ・フィルムに燃料が付着すると、フィルムが色褪せる原因になります。

▷ デコラティブ・フィルムに燃料がこぼれたときは、直ちに拭き取ってください。

緊急時のフィラー・フラップの手動ロック解除

フィラー・フラップの電動ロック解除機構が故障したときは、次の手順で開くことができます：

▷ 右側ドアを開いてください。

▷ 右側ドア開口部にあるボタン（**矢印**）を引いてください。
フィラー・フラップが開きます。

車両のお手入れ

適切な方法で定期的に車両のお手入れを行うことは、車両の価値を長持ちさせるだけでなく、保証を受ける際の有利な条件になります。

ポルシェ正規販売店は、車両に相応しいカー・ケア用品を各種取り揃えており、用途に応じて単品またはセットで販売しています。

▷ カー・ケア用品の使用に際しては、パッケージ等に記載された注意事項を必ず守ってください。
▷ これらの製品は、お子様の手が届かない安全な場所に保管してください。
▷ 不要になった製品は、適切な方法で廃棄してください。

車両の状態がしっかりと点検されているか、保証を受けるための条件が満たされているかを調査するため、すべてのポルシェ正規販売店ではお手入れの状態や整備状況を記録しています。このため、ポルシェ正規販売店ではコンディション・リポートを発行し、「整備手帳」にその結果を記録します。

知識

ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、ラゲッジ・ルームに水が浸入し、損傷する恐れがあります。

▷ 洗車時（高圧洗浄機やウォーター・ホースを使用または手作業）は、トランク・リッド/リヤ・リッドが不意に開くことを防ぐため、必ず車両キーをトランク・リッド/リヤ・リッド・センサーの作動範囲外に維持してください。

高圧洗浄機、スチーム・クリーナー

⚠ 警告 不適切な清掃

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、以下のコンポーネントを損傷する恐れがあります：

– タイヤ
– ロゴ、エンブレム
– 塗装面
– オルタネーター
– エンジン・ルーム内の電装部品とコネクター
– パーキング・アシスタント・センサー
– アダプティブ・クルーズ・コントロール用レーダー・センサー
– リバース・カメラ

▷ 各装置に付属の取扱説明書をよくお読みください。
▷ フラット・ジェット・ノズルやダート・ブラスターなどで洗車するときは、50cm以上離れた距離で使用してください。
▷ 高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用しないでください。
高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーと丸型ジェット・ノズルを組み合わせて使用すると、車両が損傷する原因になります。特にタイヤは損傷しやすいため、丸型ジェット・ノズルで洗浄しないでください。
▷ 高圧洗浄機を使用するときは、これらのコンポーネントにジェット・ノズルを直接向けないでください。

デコラティブ・フィルム

知識

高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用すると、デコラティブ・フィルムが剥れて損傷する恐れがあります。

▷ デコラティブ・フィルムを洗浄するときは、高圧洗浄機またはスチーム・クリーナーを使用しないでください。

ドア・ロックの保護

▷ ロック・シリンダーを無理に操作するなど、過大な力をかけないでください。
▷ 万一、ドア・ロックが凍結した場合は、市販の解凍剤を使用できます。

洗車

車両の外観を美しく保つには、日頃のお手入れが大切です。こまめに洗車し、ワックスで保護してください。

解氷剤（塩分）、砂塵、ばい煙、昆虫の死骸、鳥の糞、樹液や花粉などは、車両に付着してからの時間が長くなるほど塗装に悪影響を与えます。

車両の塗装面に損傷を与えることなく洗車するために、次の点に注意してください：

▷ 車両下部は汚れが激しいため、少なくとも季節の変わり目には洗車して汚れを落としてください。
▷ グリース、オイル、金属粉などが適切に処理できる場所でのみ洗車を行ってください。
▷ 濃色車は塗料の組成上、傷が付きやすい性質があります。淡色車に比べてこまめにお手入れしてください。
また濃色車の塗装は、小さな引っかき傷でも淡色車に比べて傷が目立ちやすい特性があります。
▷ 直射日光の下や、塗装面の温度が高いときは洗車しないでください。
▷ 手洗いを行うときは、柔らかいスポンジ、洗車用ブラシ、カー・シャンプーを使用して多量の水で洗ってください。
ポルシェ・カー・シャンプーの使用を推奨します。
▷ 洗車を開始するときは、はじめに車両にたっぷりと水をかけ、表面の主な汚れを洗い流してください。

▷ 洗剤を使った後は、水で十分にすすぎ、セームで拭き取ってください。
ウィンドウには、ボディを洗ったときと同じセームを使用しないでください。

⚠ 警告 ブレーキ・ディスクの水膜

洗車後は、ブレーキの効きが悪くなり、ペダルを強く踏まなければならない場合があります。
▷ 洗車後は、ブレーキとステアリングの作動を点検してください。
▷ 後方の安全を確認した上で定期的にブレーキをかけ、ブレーキを乾かしてください。このとき、後方の交通状況に注意してください。

自動洗車機

自動洗車機によっては、取り付けたオプション部品やボディ表面から突出しているパーツが損傷する恐れがあります。
特に次のパーツは、損傷の可能性が高まります：
– フロント・ワイパー（レイン・センサー機能により不意に作動することのないよう、洗車機で洗車する前に必ずワイパー・レバーをOFF（**0**の位置）にしてください。）
– ドア・ミラー（必ず格納してください。）
– 固定式リヤ・スポイラー、または上昇させたリヤ・スポイラー（上昇させたリヤ・スポイラーは必ず格納してください。）
– ホイール（幅広リム、高偏平タイヤは特に注意が必要です。）
– 高光沢ホイールまたはシルク・グロス・ホイール（傷が付きやすいため、洗車時にホイール洗浄用ブラシで擦らないでください。）
▷ 自動洗車機を使用する前に、洗車スタッフに確認してください。
▷ ドアやリッドの継目、またはドアの下枠など洗車機で洗えない箇所は手で洗い、手仕上げで拭いてください。

塗装の保護

車両の塗装を機械的、化学的なダメージから保護するためには以下の作業が必要です：
– 定期的にお手入れをしてください。
– 必要に応じて磨いてください。
– 染みや汚れを取り除いてください。
– 塗装の損傷箇所は、速やかに補修してください。

i インフォメーション

▷ ほこりの粒子で塗装面を傷めることがあるため、乾いた布で車両のほこりを払わないでください。
▷ 艶消し仕上げの部品にワックスや光沢剤を塗布すると、艶消し効果がなくなります。

保護

塗装面は、経年変化で徐々に艶が失われます。
▷ 定期的にワックスをかけて保護してください。
▷ 洗車後は塗装保護剤を塗布し、塗装面を保護するために丁寧に磨いてください。

この作業により塗装の光沢と強度を保つことができます。また、塗装面に新しい汚れが付着しにくくなり、ばい煙が浸透しにくくなります。

つや出し（ポリッシュ）

通常のワックスでは塗装の艶が戻らないときのみ、光沢剤を使用してください。
ポルシェ・ペイント・ポリッシュの使用を推奨します。

汚れ、染みの除去

▷ タール、グリース、昆虫の死骸などは色褪せの原因になるため、ポルシェ社が推奨するタール除去剤か、インセクト・リムーバーで速やかに取り除いてください。
▷ 除去処理を行った後は、直ちに水で洗い流してください。

小さな傷の補修

▷ 亀裂、引っかき傷、飛び石による塗装面の小さな傷は、ボディの腐食が進行する**前**に修理してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ボディが腐食したときは、はじめに錆を完全に除去してください。錆を取り除いたら、その箇所にプライマー（防錆剤）を塗布してから、上塗り塗装を施してください。
ペイント・データは車両のデータ・バンクに表示されています。
▷ 「車台番号」（241ページ）を参照してください。

ウィンドウの清掃

▷ 定期的にウィンドウ・クリーナーを使用して、ウィンドウの内側と外側を清掃してください。
ポルシェ・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。

▷ ボディを拭き取ったセームで乾いたウィンドウを拭かないでください。
ワックスや光沢剤がウィンドウに付着し、視界が悪くなる恐れがあります。

▷ 昆虫の死骸は、ポルシェ推奨のインセクト・リムーバーで取り除いてください。

 インフォメーション

ドア・ウィンドウにはウィンドウの汚れを抑制する（疎水性の）撥水剤がコーティングされています。
このコーティングは経年変化により徐々に効果が弱まります。また新たにコーティングすることができます。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ワイパー・ブレードのお手入れ

良好な視界を確保するためには、ワイパー・ブレードをきれいな状態に保つことが不可欠です。

▷ 「ワイパー・ブレード」(194ページ）を参照してください。

アンダーコーティングの補修

車両下部は、化学的および物理的なダメージに耐えるよう保護されています。しかし、走行中に保護コーティングが損傷することは避けられません。

▷ ポルシェ正規販売店で定期的に車両下部の点検を受け、必要に応じて保護コーティングを修理してください。

警告 エキゾースト・システム付近の可燃物

エキゾースト・システム部に防錆剤やアンダー・コーティング剤を塗布すると、運転中に過熱して引火する恐れがあります。

▷ エキゾースト・マニホールド、エキゾースト・パイプ、触媒コンバーター、ヒート・シールド、およびその周囲には、アンダー・コーティング剤や防錆剤を塗布しないでください。

ヘッドライト、ライト類、内外装のプラスチック部品、接着フィルム、アダプティブ・クルーズ・コントロールのレーダー・センサー、およびリバース・カメラの清掃

下記の点を必ず守ってください：

▷ ヘッドライト、ライト類、プラスチック部品およびパーツの表面を清掃するときは、きれいな水と少量の中性洗剤、またはインテリア・ウィンドウ・クリーナー**のみ**を使用してください。
柔らかいスポンジや不織布を使用してください。

▷ 内装のプラスチック部品に直接水やインテリア・ウィンドウ・クリーナーをスプレーしないでください。最初はスポンジまたは布にスプレーしてください。洗剤がコントローラーやスイッチなどに侵入し、損傷させる恐れがあります。

 インフォメーション

プラスチック表面の清掃には、インテリア・ウィンドウ・クリーナーを使用することもできます。クリーナーの容器に記載されている注意事項を遵守してください。
ポルシェ・インテリア・ウィンドウ・クリーナーの使用を推奨します。

▷ 力をかけずに優しく表面を拭いてください。

▷ 表面が乾いた状態で清掃しないでください。

▷ 他の化学成分が入ったクリーナーや溶剤を使用しないでください。

▷ 清掃した部分を、きれいな水で洗い流してください。

軽合金製ホイール

軽合金製ホイールの表面に付着した金属の微粒子（ブレーキ・ダストに含まれる真ちゅうや銅など）は長期間放置しないでください。
金属同士の接触による腐食が発生し、小さな穴（ピッチング）が生じます。

 インフォメーション

保護塗装の酸化被膜を破壊するような光沢剤やpH値の不正なクリーナー、研磨機具、研磨剤などは使用しないでください。

▷ **ポルシェ指定軽合金製ホイール・クリーナー（pH値9.5）をご使用ください。pH値が不正な洗剤を使用すると、ホイール表面の保護層を傷めます。**
ポルシェ軽合金製ホイール・クリーナーの使用を推奨します。

▷ 可能であれば、2週間ごとにホイールをスポンジか洗車ブラシで洗浄してください。冬季に凍結防止剤がまかれる地域や、ばい煙が多い地域では、毎週洗浄するようにしてください。

▷ 3ヶ月に1回、ホイールを洗浄した後にワックスまたは腐食性がないグリース（例：ワセリン）を塗布してください。
柔らかい布でホイール表面にグリースをすり込んでください。
▷ 「自動洗車機」（199ページ）を参照してください。

⚠ 警告 クリーナーなどの溶剤によるブレーキ・ディスク上の膜の発生

ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどが付着したままにすると、ブレーキ・ディスクに膜ができて、ブレーキ性能を損なう恐れがあります。
▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着しないようにしてください。
▷ ブレーキ・ディスクにホイール・クリーナーなどの溶剤が付着した場合、高圧洗浄機などで完全に洗い流してください。
▷ 周囲の交通状況に注意してブレーキを作動させ、ブレーキ・ディスクを乾かしてください。

ステンレス・テール・パイプ

ステンレス製テール・パイプは、ほこり、高温の熱、排気ガスの残留物で変色することがあります。
市販のポリッシュ・ペーストまたは金属用のつや出し剤を使用することによって元の光沢を取り戻すことができます。

ドア、ルーフ、リッドとウィンドウ・シールの清掃

知識

インナー・ドア・シールをコーティングしている潤滑剤は、不適切な清掃や洗剤の使用によりダメージを受けることがあります。
▷ 合成洗剤や溶剤を使用しないでください。
▷ 防錆剤を使用しないでください。

▷ シールの汚れ（傷、汚れ、凍結防止剤、砂塵など）は、温かい石鹸水で定期的に洗浄してください。
▷ 凍結する恐れがある場合は、適切なカー・ケア用品でアウター・ドア・シール、リッドやフラップのシールを保護してください。

革製品のお手入れ

本革の表面に見られる天然のしわや傷、虫が刺したような跡、模様の違いや色合いの微妙な変化が、高品質本革の天然素材としての魅力を一層引き立てます。
下記の点に注意して、お手入れを行ってください：

知識

不適切なクリーナー、洗剤、保護剤などを使用すると、本革を傷める原因になります。
▷ 刺激性の強い洗剤や、硬い清掃用品を使用しないでください。
▷ 表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
▷ 革製品上の水滴は直ちに取り除いてください。

▷ 無色の柔らかい毛織物または市販のマイクロ・ファイバー布を湿らせて、表面の細かな汚れを拭き取り、すべてのタイプの本革を定期的にお手入れしてください。
▷ 汚れがひどいときは、レザー・クリーナーを使用してください（水染み/湿気による染み以外）。
容器の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨します。
▷ 清掃後は、本革専用のケア剤でお手入れしてください。
ポルシェ・レザー・ケア・リキッドの使用を推奨します。

シート・ベンチレーション付きシート

水染み/湿気による染みのお手入れの諸注意

雨水や湿気により、表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革に染みを付ける可能性があります。

水染み/湿気による染みを取り除く

前提条件：
– シート・ヒーターおよびシート・ベンチレーションをOFFにしてください。
– 直射日光が当たらないようにしてください。
– 水染み/湿気による染みを取り除く際は、レザー・クリーナーやお手入れ製品を使用しないでください。
▷ 清潔な吸水性スポンジと蒸留水を使用して、シート・クッションまたはバックレストの表面全体を拭き取ってください。
表面に小さな穴を開けたメッシュ加工の本革は、裏側まで湿らせないよう注意してください。
▷ シート・カバーは直射日光を避けて室温で完全に乾かしてください。
シート・カバーを乾かす際、シート・ヒーターやシート・ベンチレーションをONにしないでください。
▷ 乾いた後、シート・カバーを乾燥した不織布で拭いてください。

カーペット、フロア・マットの清掃

▷ 掃除機か、中程度の硬さのブラシで清掃してください。
▷ ひどい汚れや染みは、染み抜き剤で除去してください。
ポルシェ・ステイン・リムーバーの使用を推奨します。
フロア・カーペットの汚れや傷付きを防ぐため、この車両に適したサイズの固定具付きフロア・マットをカー・アクセサリーとして用意しています。

⚠ 警告 ペダル操作の妨げ

不適切なフロア・マットや正しく固定されていないフロア･マットはペダルの可動域を制限したり、ペダル操作を妨げたりする可能性があります。

▷ フロア・マットなどでペダルの動きを妨げないようにしてください。
フロア・カーペットの上に敷くのみのマットを使用しないでください。

エアバッグ・カバーの清掃

⚠ 危険 不適切な清掃

エアバッグの周りを不適切な方法で清掃すると、エアバッグ・システムが故障する恐れがあります。事故が起きた場合にエアバッグ・システムが作動しない恐れがあります。

▷ ステアリング・ホイールのパッド、インストルメント・パネル、フロント・シート、ドア・パネルなどの部品を改造しないでください。

▷ これらの部品を清掃するときは、ポルシェ正規販売店にお任せください。

内張りの清掃

▷ ピラーやサン・ブラインドなどのファブリック・ライニングは、素材に適した洗剤やドライ・フォームと柔らかいブラシを使用して清掃してください。

アルカンターラのお手入れ

アルカンターラの清掃に、本革用のカー・ケア用品を使用しないでください。

日常のお手入れとしては、表面を柔らかいブラシで拭けば十分です。

研磨材を使用したり、強く擦ったりすると、アルカンターラの表面が傷むので注意してください。

軽度の汚れの清掃

▷ 柔らかい布を水または中性の石鹸水で濡らして、汚れを拭き取ってください。

頑固な汚れの清掃

▷ 柔らかい布を、ぬるま湯または薄めたクリーニング用溶剤で濡らして、外側から汚れた部分を軽くたたいてください。

シートベルトの清掃

▷ シートベルトは、刺激性の少ない洗剤で清掃してください。

▷ シートベルトを乾燥させるときは、直射日光を避けてください。

▷ 適切な洗剤のみを使用してください。

▷ シートベルトを染色および脱色しないでください。
ベルト素材の強度が低下し、安全性が損なわれます。

車両の長期保管

車両を長期間保管する場合は、ポルシェ正規販売店にご相談ください。スタッフが、腐食防止対策、特別なお手入れとメンテナンス、保管方法などについてアドバイス致します。

▷ 「バッテリー」(223ページ) を参照してください。

バッテリーを切り離した状態で車両をロックする場合のインフォメーション：

▷ 「セントラル・ロッキング・システムが故障した場合の運転席側ドアの緊急ロック」(20ページ) を参照してください。

リサイクル

使用済み自動車のリサイクルに関しては、日本国内の法律により定められています。

ポルシェ社の車両はリサイクル性を考慮して開発されています。

▷ 法に定められた適切なリサイクル処理を行うため、廃車の際はポルシェ正規販売店にご相談ください。

軽修理

軽修理について 204
クーラント・レベルの点検と補充 205
ブレーキ・フルード 206
パワー・ステアリング 207
エア・クリーナーの交換 207
室内防塵用フィルターの交換 207
タイヤとホイール 207
ホイール取り付け面 214
ホイール・ボルト 215
パンクしたとき 216
スペーサー＊ 217
電気系統 219
バッテリー 223
外部電源、ジャンパー・ケーブルによる
始動 226
キー（リモート・コントロール）用電池の
交換 227
バルブ・リスト 228
バルブの交換 228
ヘッドライト 229
ヘッドライト調整 232
左側通行から右側通行への変更に伴う
ヘッドライトの切り替え 233
けん引およびけん引によるエンジンの
始動 234
消火器＊ 237
発炎筒 238

＊ 日本仕様に設定はありません。

軽修理について

ポルシェ車に関するすべてのメンテナンス作業は、ポルシェ正規販売店で実施することを推奨致します。

十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束致します。

お客様ご自身でメンテナンスされる場合につきましても、細心の注意を払って作業していただくようお願い致します。本書に掲載された注意事項を守った場合にのみ、信頼できる走行性能が保証されます。

不適切なメンテナンスを行うと、保証期間中でも保証が適用されないことがあります。

インフォメーション

国別の法規によっては、工具セットやスペア・パーツの携行が義務付けられている場合があります。運転前には必ず確認をしてください。

インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

⚠ 警告 有毒な排気ガスの吸引

排気ガスを吸引して中毒を起こす危険があります。

排気ガスは無色無臭の一酸化炭素を含んでいます。一酸化炭素は少量でも人体に有害で、中毒を起こす恐れがあります。

▷ エンジンを作動させた状態で作業するときは、必ず車両を屋外に駐車させるか、または換気の良い場所で行ってください。

⚠ 危険 車両の油脂類、燃料蒸発ガスへの引火、爆発性ガスの爆発の危険

燃料、エンジン・オイル、トランスミッション・オイルなど、車両に使用される油脂類の多くは非常に引火しやすい性質を持っています。燃料蒸発ガスは発火、爆発する危険があります。鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生することがあります。

▷ バッテリーや燃料系統の近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所のみで実施してください。

⚠ 警告 有害な補充液

エンジン・オイル、ブレーキ液、クーラントなどは人体に有害（毒性、刺激性、腐食性）です。

▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

▷ これらの油脂類は、お子様の手が届かない所に保管し、廃棄する場合は定められた処理方法を遵守してください。

⚠ 警告 高温のエンジン部品やクーラント

エンジン作動中は、エンジンと周辺の部品、エキゾースト・システム、クーラントなどが非常に熱くなっています。

クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出す恐れがあります。

▷ 加熱した車両部品、特にエンジンとエキゾースト・システムの近くでは、十分注意して作業を行ってください。

▷ エンジン・ルーム内の作業を行う前に、エンジンをOFFにし、十分に冷やしてください。

▷ エンジンが熱いときにクーラント・リザーブ・タンクのキャップを開く場合は、細心の注意を払ってください。

⚠ 警告 エンジン・ルーム・ブロワ、ラジエーター・ファン、ドライブ・ベルト、エンジン付近の他の可動部品

エンジン・ルームで作業を行うときは、手、指、衣服の一部（ネクタイ、袖など）、ネックレス、長い髪などがエンジン・ルーム・ブロワやドライブ・ベルトなどの可動部品に絡まる恐れがあります。

エンジンを停止してから約30分間はエンジン・ルーム内の温度が監視されます。

この間は、温度に応じてエンジン・ルーム・ブロワが作動し続けたり、作動し始めたりすることがあります。

▷ この近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにし、十分に注意して作業してください。

車両前側のラジエーター・ファンは、エンジンが作動中のときに作動し続けたり、不意に作動し始めたりすることがあります。

▷ これらの近くで作業を行うときは、エンジンをOFFにしてください。
▷ 身体、衣服、装飾品の一部がラジエーター・ファン、エンジン・ルーム・ブロワ、ドライブ・ベルト、その他の可動部品に絡まることのないように、十分注意してください。

⚠ 警告 イグニッション・システムによる感電

イグニッションがONのときは、イグニッション・システムのすべてのケーブルと配線に高電圧が作用しています。
▷ イグニッション・システムにかかわる作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

⚠ 警告 不十分な車体の固定

車両がしっかり固定されていない、または正しく固定されていない場合、修理作業中に車両が不意に動いたり、ジャッキやリフティング・プラットフォームなどのリフト装置から落下したりする恐れがあります。
▷ やむを得ずエンジンをかけたまま作業する場合は、必ずエレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させてください。**更に**、ギヤ・レバーをニュートラルに入れるか、またはPDKセレクター・レバーを**P**の位置に入れてください。
▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず安定したサポート・スタンドで車体を支えてください。
▷ 車両は必ず、車両下回りにある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
▷ 車両をジャッキアップ後は、エンジンを始動しないでください。エンジンの振動により車両がサポートから落下する恐れがあります。

クーラント・レベルの点検と補充

エンジン・クーラントには、年間を通じた腐食防止と、–37°Cまでの凍結防止の働きがあります。

クーラント・レベルを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。クーラント・レベルはマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されたときにのみ点検する必要があります。
▷ 「警告と情報メッセージの概要」(108ページ)を参照してください。
▷ ポルシェ社が認証した凍結防止剤のみを使用してください。

⚠ 警告 高温のクーラント

エンジン作動中のクーラントは非常に熱くなっています。クーラント・タンクには圧力がかかっています。クーラント・タンクを不用意に開くと、熱いクーラントが突然吹き出して火傷をする恐れがあります。
▷ エンジンが熱いときにクーラント・リザーブ・タンクのキャップを開くときは、細心の注意を払ってください。

知識

クーラントがあふれて損傷する恐れがあります。トランク・ルームとトランク・ルーム内の荷物が汚れる恐れがあります。

クーラントを点検したり補充するときは、こぼしてトランク・ルームや荷物を汚さないように注意してください。

C - クーラント・レベル・インジケーター

インストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに警告メッセージが表示されているときのクーラント・レベルの点検：

1. キャップを反時計回りに回して取り外してください。
2. エンジンが熱いときは、リザーバーのキャップを布で覆ってください。
   慎重にリザーバーのキャップを開き、内部の圧力を逃がしてください。
   圧力が完全に抜けてから、キャップを完全に取り外してください。
3. クーラント・レベルを読み取ってください。
   水平な場所に停車し**エンジンが冷えているときに**、クーラント・レベル・インジケーター**C**がMINとMAXマークの間に保たれるようにしてください。

4. 必要に応じてクーラントを補充してください。不凍液と蒸留水を同量混ぜ合わせた物のみを補充してください。
クーラントの不凍液の割合：
50％（–37℃までの凍結防止）
クーラント・レベル・インジケーター **C**がMAXマークに到達したときが上限です。
MAXマークを超えないようにしてください。
5. リザーバーのキャップがしっかりとロックするまでねじ込んでください。
6. キャップを取り付け、時計回りに回してください。
7. 冷却システムを点検してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

緊急で水のみを補充した場合は、速やかに不凍液の混合比率を修正してください。
クーラントの減りが著しい場合は、冷却システムに漏れが発生しています。
▷ 早急に修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルード

ブレーキ・フルードを定期的に点検することは、メンテナンスの一部です。
フルード液量は常にMINマークとMAXマークの間に維持されなければなりません。
ブレーキ・パッド/ディスクの摩耗に伴って液面が自動的に調整され、液面が少し低下することがありますが、これは正常な現象です。
液量の減少が著しいときや、MINマークを下回ったときは、ブレーキ・システムに漏れが発生していることが考えられます。
▷ ポルシェ正規販売店で、直ちにブレーキ・システムの点検を受けてください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ブレーキ・フルードの交換

ブレーキ液には吸湿性があり、長期間使用すると大気中の水分を吸収します。ブレーキ液が水分を含むと沸点が下がり、ブレーキ性能に悪影響を及ぼします。
▷ 「整備手帳」に記載された規定の使用期間に従って、定期的にブレーキ・フルードを交換することが重要です。

(!) 警告灯および警告メッセージ

ブレーキ液量が許容範囲を下回ったときや、ブレーキ回路に不具合が発生してペダルの踏み代が過大になると、インストルメント・パネルの警告灯、およびマルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージが異常を知らせます。

インフォメーション

走行中に警告灯および警告メッセージが表示されたときは：
▷ 直ちに適切な場所に停車してください。
▷ 運転を続けないでください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。
マルチファンクション・ディスプレイに表示される警告メッセージに関するインフォメーション：
▷ 「警告と情報メッセージの概要」（108ページ）を参照してください。

パワー・ステアリング

⚠ 警告 パワー・ステアリング・アシスト機能の不具合によるステアリング操作力の増大

エンジンが停止しているとき（けん引時やスタート/ストップ・モードのときなど）は、操舵力はアシストされません。
ステアリング操作に大きな力が必要になります。
▷ このような車両をけん引するときは十分注意してください。
▷ ポルシェ正規販売店で故障を修理してください。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

エア・クリーナーの交換

定期的なフィルター・エレメントの交換は、メンテナンスの一部です。
▷ ほこりの多い場所では、より頻繁に清掃し、必要に応じて交換してください。
▷ 「メンテナンスの諸注意」（191ページ）を参照してください。

室内防塵用フィルターの交換

定期的なフィルターの交換は、メンテナンスの一部です。
フィルターが汚れると、空気の流入量が減り、ウィンドウが曇るなどの現象が起こります。
▷ ポルシェ正規販売店でフィルターを交換してください。
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

インフォメーション

室内防塵用フィルターは、車内に取り込む外気から、ほこりや花粉などを取り除きます。
▷ 外気が排気ガスなどで汚れている場所では、内気循環に切り替えてください。

タイヤとホイール

タイヤの寿命は、空気圧やホイール・アライメント以外に、お客様の運転スタイルにも大きく左右されます。
急加速や高速でのコーナリング、ブレーキを酷使する運転スタイルは、タイヤの摩耗を早めます。また、外気温度が高いときや悪路での走行も、タイヤのトレッド面の摩耗を早める原因です。エンジンと同様、タイヤも正常な状態で使用しなければなりません。
タイヤを正しく取り扱うことで、長期にわたって安全な走行が可能になります。
いつまでも安全に車両をお使いいただくために、以下のタイヤの取り扱い方法を遵守してください。

インフォメーション

装着されているサマー・タイヤはスポーツ・カー用に特別に開発されたハイ・パフォーマンス・タイヤです。
外気温が低い（15°C以下）場合、このタイヤの特性は変化します。
外気温が低いときに駐車操作やハンドル操作を行うと、ノイズが発生する場合があります。

荷重と速度

▷ 車両に規定重量を超える荷物を積まないようにしてください。

下記のような状況での使用は大変危険です：
– 過積載
– タイヤの空気圧不足
– スピードの出し過ぎ
– 高い外気温度
（例：真夏の暑い日のドライブなど）

タイヤ空気圧

規定の空気圧を維持してください。

タイヤ空気圧の規定値は、以下で確認ができます：

– 運転席ドア開口部にあるタイヤ空気圧プレート、および本書の「タイヤ空気圧とテクニカル・データ」の章に掲載されています：

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」（244ページ）を参照してください。

タイヤ空気圧の規定値は、タイヤが冷えているとき(20℃)を基準にしています。

▷ 少なくとも2週間に1回はタイヤ空気圧を点検してください。必ずタイヤが冷えているときに点検してください。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（86ページ）を参照してください。

タイヤの温度が上昇すると、空気圧も高まります。

▷ タイヤの温度が高い状態で空気圧を調整しない（空気を抜かない）でください。温度が下がったときに空気圧が不足する原因になります。

タイヤのバルブ・キャップは、バルブ部分へのほこりや汚れの侵入を防ぎ、空気漏れを防ぎます。

▷ 必ずキャップをしっかりと締め付けてください。

▷ 紛失した場合は、直ちに新しいキャップを取り付けてください。

タイヤ空気圧が不足していると、タイヤが過熱して目に見えない損傷が発生します。このような損傷が発生した場合は、空気圧を調整しても正常な機能を回復できません。

タイヤの損傷

高圧洗浄機を使用すると、タイヤを傷付けることがあります。

▷ 「高圧洗浄機、スチーム・クリーナー」（198ページ）を参照してください。

⚠ 警告 目に見えないタイヤの損傷

高速走行時にタイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

▷ 定期的にタイヤの状態（側面も含めて）を点検し、異物の噛み込み、欠損、切り傷、亀裂、側面の膨れなどがないか確認してください。

▷ 縁石を乗り越えるときは、速度を下げ、できるだけ直角に通過してください。
段差が大きな縁石や、尖った縁石を乗り越えないでください。

▷ ホイール・リムを損傷した可能性があるとき（特に内側）は、専門家による点検を受けてください。

タイヤに次のような損傷を受けた場合は、安全のためにタイヤを交換してください：

– タイヤ内部の構造物の層が損傷した可能性があるとき

– タイヤ空気圧が不足しているときや、損傷箇所がある場合など、それらが原因でタイヤが過熱したり、異常な負荷がかかったりした可能性があるとき

i インフォメーション

いかなる場合も、タイヤを修理しないでください。

パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。

縁石

段差が大きな縁石や尖った物（石など）を急な角度で乗り越えると、その衝撃で目に見えない損傷が生じ、しばらくしてから不具合が現れることがあります。また、衝撃が大きいときは、ホイール・リム・フランジを損傷することもあります。

タイヤの保管

▷ タイヤは、常に乾燥した冷暗場所に保管してください。ホイールに装着していないタイヤは、立たせた状態で保管してください。

▷ 外気温度が–15℃以下の場所にサマー・タイヤを保管したり、サマー・タイヤ装着車を駐車したりしないでください。

▷ 燃料、オイル、グリースなどがタイヤに触れないようにしてください。

製造から6年以上が経過したタイヤを使用しないでください。

「タイヤは、保管して古くなった方が摩耗しにくい」という説がありますが、これは完全な誤りです。
年数が経過すると、ゴムに伸縮性を与えるために添加している化学薬品の効果が弱まり、ゴムがもろくなります。

タイヤの製造時期は、タイヤ側面のDOTコードでわかります。
コードの下4桁が製造年と週を示しており、例えば「4011」というコードであれば2011年の第40週に製造されたタイヤということになります。

トレッド（接地面の溝）

トレッドが摩耗して溝の深さが浅くなると、ハイドロプレーニング現象が発生する危険性が高まります。

▷ 安全のため、トレッドの溝にスリップ・サイン（深さ1.6mm）が**現れる前に**タイヤを交換してください。
ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

▷ タイヤのトレッドを定期的に点検してください。特に長距離走行の前後は、入念に点検してください。

ホイール・バランス

▷ 安全で快適なドライブを楽しんでいただくために、サマー・タイヤは春に、スノー・タイヤは冬に入る前にホイール・バランスの調整を受けてください。

タイヤ・バランスは、必ず適切なバランス・ウエイトを使用して行ってください。
接着式のバランス・ウエイトに洗剤が付着しないように注意してください。付着すると剥がれる恐れがあります。

オン・ザ・カー・ホイール・バランス

車両にタイヤを装着した状態でホイール・バランスを計測するときは、車両全体をリフト・アップし、ホイールが自由に回転できる状態にしなければなりません。

タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用センサー付きホイール

▷ ホイールを交換する前に、この車両の TPM システムに適合するホイールであることを確認してください。

▷ 詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

ホイールの交換

▷ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのタイヤが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。
例：
右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後ろは「RR」、左後ろは「RL」

▷ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

ホイール・アライメント

トレッドの摩耗度合いに偏りがあるときは、ホイール・アライメントに狂いがあることを示しています。この場合にはホイール・アライメントを点検してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

⚠ 警告 走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりする

走行時にハンドルをとられたり、振動が発生したりして、タイヤや車両が損傷する恐れがあります。運転操作を誤る恐れがあります。

▷ 直ちに減速してください。ただし急ブレーキをかけないでください。

▷ 停車してタイヤを点検してください。
不具合原因がわからないときは、注意して運転し、最寄りのポルシェ正規販売店で点検を受けてください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

タイヤ交換

ZR規格のタイヤは240km/hの速度に耐えられるように設計されていますが、その速度を強要するものではありません。法定速度を遵守して走行してください。

▷ 新しいタイヤに交換する前に、最新の認証タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ ポルシェ社がテストを行い、承認したタイヤのみを使用してください。

4輪に装着するタイヤは必ず同一メーカー、同一種類、同一仕様(N0、N1...)に統一してください。

新品のタイヤはグリップ性能を十分に発揮できません。

▷ 新品のタイヤを装着してから最初の100～200kmは、高速走行を避けて慎重に運転してください。

フロントまたはリヤ・タイヤ**のみ**を交換した場合は、前後タイヤのトレッド溝の深さに差があるため、それまでの走行とはっきりした違いが感じられます。この違和感は特にリヤ・タイヤを交換した場合に顕著になります。

この違和感は、走行距離が伸びるにつれて次第に減少します。

▷ ハンドリング特性の変化に合わせた運転をしてください。

タイヤの交換は、必ず専門の整備工場で実施してください。

損傷したタイヤのみを交換する場合は、左右のタイヤ・トレッド溝の深さに30%以上の差がないように注意してください。

▷ 使用経歴が不明な中古タイヤは使用しないでください。

▷ トレッド溝の深さの差を原因とする不必要な車両操作への影響を避けるため、同一アクスル上の両方のタイヤを同時に交換することをお勧めします。

タイヤ・バルブ

▷ プラスチック製のバルブ・キャップのみを使用してください。

▷ 金属製バルブの場合は、取り付けまたは交換に関する注意事項を遵守してください。

▷ ポルシェ社が認可した金属バルブのみを使用してください。

▷ バルブの汚れを防ぐため、必ずバルブ・キャップを取り付けてください。
バルブが汚れると、タイヤ空気圧減少の原因となります。

ウインター・タイヤ

⚠ 警告 最高許容速度の超過

最高許容速度を超えると、タイヤが破損する場合があります。その結果、タイヤがバースト（破裂）する恐れがあります。

▷ 装着しているタイヤの許容最高速度を超えて走行しないでください。

▷ 最高許容速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。
法定速度を遵守してください。

▷ 積雪や凍結の恐れがある時期が近づいたら、早めにウインター・タイヤを4輪すべてに装着してください。
詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ 新しいタイヤに交換する前に、最新の認証タイヤについてポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

▷ ポルシェ社がテストを行い、承認したメーカーのタイヤのみを使用してください。

インフォメーション

サマー・タイヤは外気温度が低くなると性能と快適性が低下するため、外気温度が7°C以下の状況ではウインター・タイヤの使用を推奨します。サマー・タイヤの使用を続けると、ドライ/ウェット路面に関係なく、走行中やコーナリング後の加速中にジャダー・ノイズが発生することがあります。
更に外気温度が極端に低くなると(–15°C以下)サマー・タイヤに恒久的な損傷が生じることがあります。

ウインター・タイヤは、トレッド溝の深さが4mm以下になると性能が低下します。

ホイールの交換

▷ 車両からホイールを取り外す場合は、それぞれのタイヤが付いていた位置（前後左右）と、前進時のタイヤの回転方向をマーキングしてください。
例：右前のホイールは「FR」、左前は「FL」、右後ろは「RR」、左後ろは「RL」

▷ ホイールを再度取り付けるときは、マーキングに従って同じ位置に取り付けてください。

インフォメーション

冬季は、雪や氷を除去するためのハンド・ブラシやプラスチック製スクレーパー、凍結した坂道で発進するための乾いた砂の携行を推奨します。

スノー・チェーン

スノー・チェーンはリヤ・タイヤのみに装着してください。また「テクニカル・データ」の章を参照して、スノー・チェーンの装着に適したタイヤ/ホイールを使用しなければなりません。

▷ スノー・チェーンとホイール・ハウジングのクリアランスを十分に確保するため、ポルシェ社が推奨または承認したファイン・リンク・チェーンのみを使用してください。

認定スノー・チェーンに関するインフォメーション：

▷「タイヤ、ホイール」(243ページ) を参照してください。

▷ スノー・チェーンを装着する前に、ホイール・ハウジングの内側にこびりついた雪や氷を取り除いてください。

▷ 最高速度については各国の法規に従ってください。

スペーサー＊

5mmスペーサー＊を取り付けた状態では、スノー・チェーンを装着しないでください。

▷「スペーサー＊」(217ページ) を参照してください。

知識

5mmスペーサー＊を取り付けたままスノー・チェーンを装着すると、リヤ・ホイール・ハウジングを損傷する恐れがあります。

▷ スノー・チェーンを装着する前に、4輪すべての5mmスペーサー＊を取り外してください。

▷ スペーサー＊の取り外し/取り付け：
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

A - タイヤ幅(mm)
B - 偏平率(%)
C - タイヤの構造記号（ラジアル）
D - リム径（インチ）
E - ロード・インデックス
F - 速度記号

ラジアル・タイヤの見方

速度記号

速度記号**F**は、そのタイヤの許容最高速度を示します。
この記号はタイヤの側面（サイド・ウォール）に表示されています。

T	190km/hまで
H	210km/hまで
V	240km/hまで
W	270km/hまで
Y	300km/hまで
(Y)	300km/hまで（Y記号タイヤの場合）タイヤのロード・インデックス（最大積載容量）の85%までを積載した状態で300km/h以上の速度で走行することが可能です（300km/h以上で走行する場合はタイヤ・メーカーの確認が必要です）。

 インフォメーション

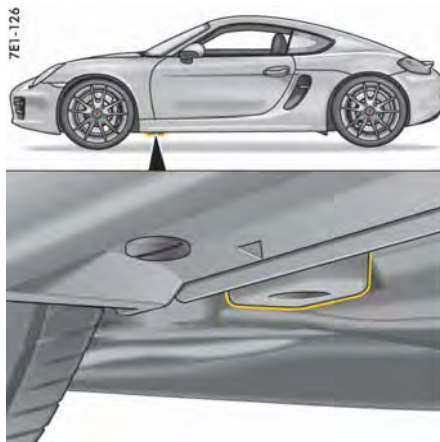
タイヤの側面に「M＋S」の表示があるタイヤに限り、許容最高速度がこの車両の最高速度に満たないタイヤを装着できます。

▷ ウインター・タイヤは「M+S」のカテゴリーに属します。

＊ 日本仕様に設定はありません。

G - リム幅（インチ）
H - リムフランジ形状記号
I - ドロップ・センター・リム記号
J - リム径（インチ）
K - ダブル・ハンプ
L - リム・オフセット(mm)

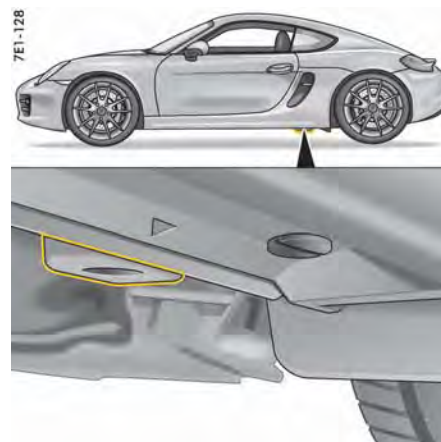
軽合金製ホイールの記号

ホイールの情報は、タイヤ・バルブの近くのホイール・スポーク裏面に刻印されています。

フロント側のリフティング・プラットフォームとジャッキのジャッキ・ポイント

リフティング・プラットフォーム、トロリー・ジャッキ、または標準ジャッキによるリフト・アップ

▷ 車両は必ず、前後にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。

▷ リフティング・プラットフォームに乗り入れるときは、車両下部とリフト・プラットフォームの間に十分なスペースがあることを確認してください。

▷ エンジン、トランスミッション、アクスルにはジャッキをかけないでください。重大な損傷を招く恐れがあります。

リヤ側のリフティング・プラットフォームおよびジャッキ用のジャッキ・ポイント

タイヤ交換

警告 車両の下に入っての作業

ジャッキから車両が滑り落ちる恐れがあります。

▷ ジャッキ・アップしてタイヤを交換する前に、すべての乗員を降ろしてください。
▷ 車両は必ず、車両下側にある規定のジャッキアップ・ポイントで持ち上げてください。
▷ 車両が斜面（上り坂や下り坂など）や道路脇に駐車されている場合は絶対にジャッキ・アップしないでください。
▷ ジャッキは、タイヤ交換時に車両を持ち上げるためのみに使用してください。
▷ やむを得ず車両の下に入って作業する場合は、必ず強固なサポート・スタンドで車両を支えてください。
ジャッキで車両を支えるのは危険ですのでおやめください。

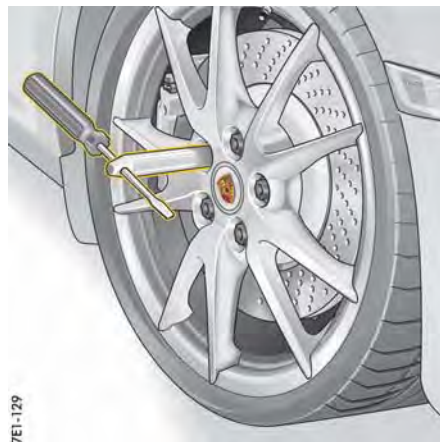
インフォメーション

タイヤ交換に必要な工具（ジャッキ、ホイール・ボルト・レンチ、組み付け補助工具など）は車両に標準装備されておりません。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

インフォメーション

前輪と後輪のタイヤ/ホイール・サイズは異なります。

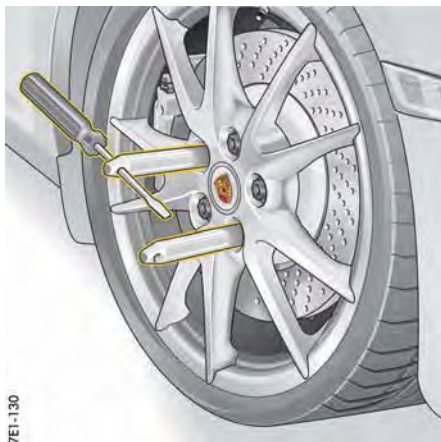
▷ 取り付ける前に、ホイール/タイヤのサイズが適正であることを確認してください。
▷ 認可されたサイズの前輪/後輪用ホイール/タイヤを必ず使用してください。

1. エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させ、1速ギヤにシフトするか、PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
   イグニッション・キーを抜き取るか、ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車の場合はコントロール・ユニットを取り外してください。
2. 必要に応じてハザード・ライトを点滅させてください。
3. 交換するタイヤの反対側の車輪に輪止めをするなどして、車両が不意に動き出さないようにしてください。
4. 取り外すホイールのボルトを少しだけゆるめてください。
5. 車両のリフト・アップは必ず所定のジャッキアップ・ポイントで行ってください。
   「リフティング・プラットフォーム、トロリー・ジャッキ、または標準ジャッキによるリフト・アップ」（212ページ）を参照してください。
6. 車両を持ち上げ、ホイールを地面から浮かせてください。

取り付け補助工具**1本**を使用（PCCB**非装備車**）

7. 図の位置にあるホイール・ボルト1本または2本を取り外してください（図を参照）。
8. 取り外したホイール・ボルトの代わりに、ホイール取り付け補助工具をねじ込んでください。

知識

ブレーキ・ディスクを損傷する恐れがあります。

▷ タイヤを交換する場合は、必ず補助工具を挿入してください。

取り付け補助工具**2本**を使用（PCCB**装着車**）

9. 残りのホイール・ボルトを取り外してください。

 インフォメーション

▷ スペーサー＊の取り外し/取り付け：
「スペーサー＊」（217ページ）を参照してください。

10. 交換するタイヤを外し、新品のタイヤを取り付けてください。

▷ 「ホイール取り付け面」（214ページ）を参照してください。

▷ 「ホイール・ボルト」（215ページ）を参照してください。

11. ホイール・ボルトを挿入し、手で仮締めしてください。

12. ホイール取り付け補助工具を外し、残りのホイール・ボルトを仮締めしてください。
すべてのホイール・ボルトを対角線方向の順に少し締め付け、ホイールの中心位置を合わせてください。

13. 必要に応じてタイヤの空気圧を調整してください。

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20°C)」（244ページ）を参照してください。
コンプレッサーはトランク・ルーム内のカバーの下にあります。
カバーの取り外しに関するインフォメーション：
「タイヤ充填コンプレッサー」（176ページ）を参照してください。

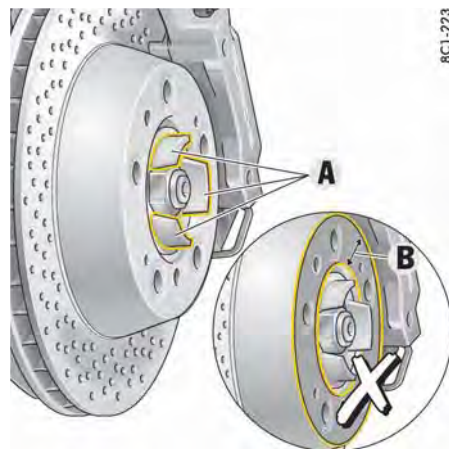
14. 車両を完全に下げた後、ジャッキを取り外してください。

15. ホイール・ボルトを対角線方向の順に完全に締め付けてください。
ホイール・ボルトを締め付けたら、直ちにトルク・レンチを使用してホイール・ボルトを160Nmの締め付けトルクで増し締めしてください。

 インフォメーション

タイヤ空気圧モニタリング・システム装備車：

▷ タイヤ空気圧モニタリング・システム装備車では、ホイール交換の後、マルチファンクション・ディスプレイで設定を更新しなければなりません。

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（86ページ）を参照してください。

ホイール取り付け面**B**に油脂類を塗布しないでください。

ホイール取り付け面

知識

ホイールおよびホイール取り付け面を損傷する恐れがあります。

▷ ブレーキ・ディスクのホイール取り付け面**B**およびホイール本体の取り付け面に**油脂類を塗布しない**でください。

▷ **A**部分のみに油脂類を塗布することができます。この部分にはOptimoly® TAグリースを薄く塗布してください。他の油脂類は使用しないでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ホイール・ボルト

▷ ホイール・ボルトは取り付ける前に、必ず清掃してください。
▷ ホイール・ボルトには油脂類を塗布しないでください。
▷ 損傷したホイール・ボルトは交換してください。
この車両専用のポルシェ純正ホイール・ボルト、またはポルシェ社が要求する性能、品質基準を満たす同等部品のみを使用してください。

締め付けトルク

ホイール・ボルトの締め付けトルク：**160Nm**

スペーサー用ホイール・ボルト＊

▷ 5mmスペーサー＊を装着する場合、**ロング・ホイール・ボルト(49mm)**でホイールを取り付けてください。

スペーサー装着時のホイール・ボルトに関するインフォメーション：

▷ 「スペーサー＊」(217ページ）を参照してください。

警告 短いホイール・ボルト

スペーサー＊を装着する場合、ロング・ホイール・ボルト(49mm)を使用しなければホイールをしっかり固定できません。短いホイール・ボルトで取り付けた場合、運転中にホイールがゆるむ恐れがあります。

▷ スペーサー＊を装着した場合は、4輪とも必ずロング·ホイール·ボルト(49mm)でホイールを取り付けてください。
▷ タイヤ交換時に長さの異なるホイール・ボルトを誤って使用することのないよう、フロント・ホイールも必ずロング・ホイール・ボルトを使用して取り付けてください。

盗難防止ホイール・ボルト・アダプター

盗難防止ホイール・ボルト

盗難防止ホイール・ボルト（装備車のみ）を脱着するためのアダプター（ソケット・レンチ）は、工具セットに収納されています。

▷ 車両を修理工場に預けるときなど、ホイールを脱着する可能性があるときは、車両のキーと一緒に盗難防止ホイール・ボルト用のアダプターも忘れずお渡しください。
▷ 盗難防止ホイール・ボルトを脱着するときは、このアダプターをホイール・ボルトとホイール・ボルト・レンチの間に入れて使用してください。
▷ アダプターを取り付けるときは、ホイール・ボルトの歯がしっかり噛み合っていることを確認してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

パンクしたとき

1. 走行車線からできるだけ離れた安全な場所に停車してください。
   ジャッキがセットできる固く平坦な滑りにくい場所に駐車してください。
2. ハザード・ライトを点滅させてください。
3. パーキング・ブレーキをかけてください。
4. シフト・レバーを1速にするか、PDKセレクター・レバーを**P**の位置にしてください。
5. フロント・ホイールを直進位置にしてください。
6. 誤ってエンジンが始動しないように、またステアリングをロックするため、イグニッション・ロックからキーまたはコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）を抜き取ってください。
7. すべての乗員を安全な場所に避難させてください。
8. 停止表示板を適切な場所に設置してください。

タイヤ・シーラントの充填

タイヤ・シーラントはトランク・ルーム内の右側ボックスに収納されています。コンプレッサーはトランク・ルーム内のカバーの下にあります。

▷ 「タイヤ充填コンプレッサー」（176ページ）を参照してください。

タイヤ・シーラントは、タイヤ・トレッドの小さな傷から空気が漏れている場合に使用できます。

パンク修理剤を使用したタイヤのシーリングは、緊急の場合に限り1回のみ、最寄りの修理工場までの短距離移動を可能にします。パンク修理剤を使うとタイヤの気密性が一時的に保持されますが、緊急の場合の応急処置であり、短距離移動のためのみに使用してください。

タイヤ・シーラント・セットの構成：

– 充填ボトル
– 充填ホース
– バルブ回し
– スペア・バルブ・インサート
– 許容最高速度表示用ステッカー
– コンプレッサー
– 操作説明書

⚠ 警告 使用の制限

タイヤ・シーラントはタイヤの小さな傷にのみ使用できます。リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

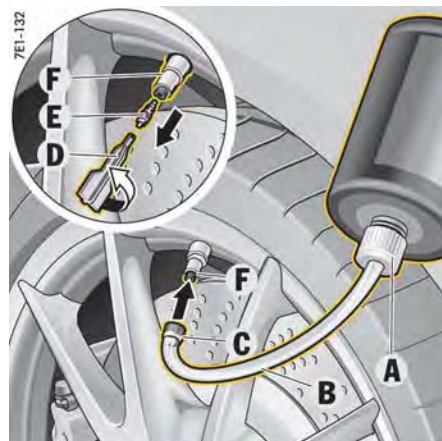
▷ タイヤ・シーラントは4mm以下の切り傷や刺傷のみに使用してください。
▷ ホイール・リムが損傷している場合は、タイヤ・シーラントを使用しないでください。

⚠ 警告 シーラントの燃焼

シーラントは強燃性であり、人体に有害です。

▷ タイヤ・シーラントを取り扱うときは、火気や裸火を近づけたり、喫煙をしたりしないでください。
▷ 皮膚、目、衣服に付着しないように注意してください。
▷ お子様の手の届かない場所に保管してください。
▷ シーラントの蒸発ガスを吸い込まないようにしてください。

シーラントが付着したとき：

▷ 皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、直ちに多量の水で洗い流してください。
▷ 衣服に付着したときは、すぐに着替えてください。
▷ パンク修理剤でアレルギー反応を起こしたときは、直ちに医師の診察を受けてください。
▷ 誤って飲み込んだときは、口の周りを多量の水でゆすぎ、更に多量の水を飲んでください。
   無理に嘔吐しないでください。
   至急医師の診察を受けてください。

A - 充填ボトル
B - 充填ホース
C - 充填ホース・プラグ
D - バルブ回し
E - バルブ・インサート
F - タイヤ・バルブ

シーラントの充填

1. タイヤの空気が抜けた原因である異物は取り除かず、そのままタイヤに残しておいてください。
2. トランク・ルームからシーラントと同封のステッカーを取り出してください。
3. 最高速度を示すステッカーを、ドライバーの目に付く場所に貼り付けてください。
4. 充填ボトル**A**を振ってください。
5. 充填ホース**B**を充填ボトルに取り付けてください。
   ここで充填ボトルを開封してください。
6. タイヤ・バルブ**F**からバルブ・キャップを取り外してください。
7. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブから取り外してください。
   バルブ・インサートは、乾いた汚れのない場所に置いてください。
8. 充填ホース**B**のプラグ**C**を取り外してください。

9. 充填ホースをタイヤ・バルブに押し付けてください。
10. 充填ボトルをタイヤ・バルブより上方に持ち上げ、ボトルを強く握って中身をすべてタイヤに充填してください。
11. 充填ホースをタイヤ・バルブから引き抜いてください。
12. バルブ回し**D**を使用して、バルブ・インサート**E**をタイヤ・バルブにしっかりねじ込んでください。
13. コンプレッサーを車両のソケットに接続し、圧力が2.5bar以上になるまでタイヤに空気を入れてください。
タイヤ空気圧がこの規定値に達しない場合は、タイヤが激しく損傷しています。
このようなタイヤで運転を続けないでください。
14. バルブ・キャップをタイヤ・バルブ**F**に取り付けてください。
15. 約10分間走行してからタイヤ空気圧を点検してください。
タイヤ空気圧が1.5bar以下の場合は、運転を中止してください。
タイヤ空気圧が1.5bar以上の場合は、指定のタイヤ空気圧に調整してください。

▷ 「冷間時のタイヤ空気圧(20℃)」(244ページ)を参照してください。

16. ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ タイヤ・シーラントに添付されている取り扱い上の注意事項を遵守してください。

⚠ 警告 タイヤ空気圧が検出されない

シーラントが付着したタイヤ空気圧センサーは、タイヤ空気圧を正しく検出できません。

▷ 損傷したタイヤを交換するときは、タイヤ空気圧センサーも必ず一緒に交換してください。

⚠ 警告 タイヤの損傷

タイヤ・シーラントを使用したタイヤの修理は、緊急の場合に限ります。

▷ 速やかにポルシェ正規販売店でタイヤを交換してください。
ポルシェ正規販売店にタイヤ・シーラントを使用したことを伝えてください。

▷ 急加速や高速でのコーナリングは避けてください。

▷ 80km/hの最高速度を遵守してください。

▷ パンク修理剤およびコンプレッサーに添付されている安全および取り扱い上の注意事項を遵守してください。

スペーサー＊

スペーサー＊を取り付けるときは、ポルシェ社が承認したホイールおよびホイール・ボルトを使用してください。スペーサーを取り付ける前に、最新の認可ホイールを確認してください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

知識

5mmスペーサー＊を取り付けたままスノー・チェーンを装着すると、リヤ・ホイール・ハウジングを損傷する恐れがあります。

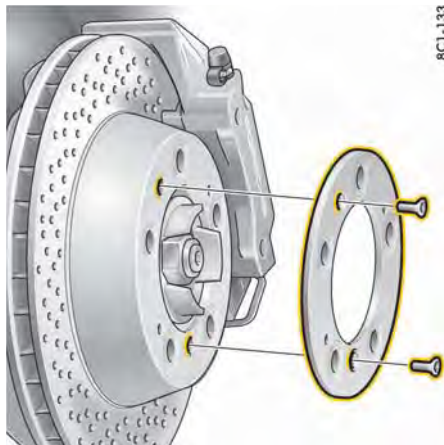
▷ スノー・チェーンを装着する前に、4輪すべての5mmスペーサーを取り外してください。

▷ スペーサー＊の脱着：
ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

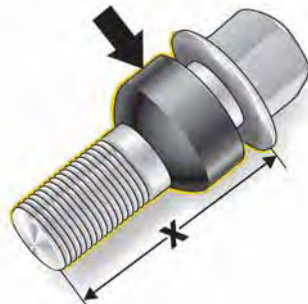
スペーサーを取り外す場合に必要となる部品：

– 皿ネジ・タイプのスクリュー（短）(M6×12)
– ホイール・ボルト（短）×1セット
– 盗難防止ホイール・ボルト（短）

必要な部品については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

スペーサー＊の取り外し

1. 「ホイールの交換」（209ページ）を参照してください。
2. 皿ネジ･タイプのスクリュー2本(M6×16)を、ホイール・ハブから取り外してください。
3. スペーサーを取り外してください。
4. ネジ部の長さが**短い**皿ネジ・タイプのスクリュー(6×12)を使用して、ブレーキ・ディスクを固定してください。
   締め付けトルク：**10Nm**

スペーサーを取り外した状態でホイールを取り付けるときは、ネジ部の長さが5mm**短い**ホイール・ボルトを使用してください。
締め付けトルク：**160Nm**

ホイール・ボルト（長）
X = ボルト首下長さ約49mm
矢印部に識別マークあり

ホイール・ボルトの識別方法

識別のためにホイール･ボルト**(長)**の球面キャップ・リングが**黒色**にメッキされています。
ホイール・ボルト（長）は、5mmスペーサー＊を**取り付けたとき**にのみ使用してください。
このホイール・ボルト（短）は、5mmスペーサー＊を**取り外したとき**にのみ使用してください。
どちらの場合も、ホイール・ボルトの締め付けトルクは160Nmです。

▷ 「スペーサー＊」（217ページ）を参照してください。

⚠ 警告 短いホイール・ボルト

スペーサー＊を装着する場合、ロング・ホイール・ボルト(49mm)を使用しなければホイールをしっかり固定できません。短いホイール・ボルトで取り付けた場合、運転中にホイールがゆるむ恐れがあります。

▷ スペーサー＊を装着した場合は、4輪とも必ずロング･ホイール･ボルト(49mm)でホイールを取り付けてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

電気系統

車両の電気/電子回路の損傷を回避するため、電装品（アクセサリー）などの取り付け作業はポルシェ正規販売店にお任せください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ ポルシェ社が承認した電装品（アクセサリー）のみを使用してください。

⚠ 警告 作業時の電気系統のショート

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

▷ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス（–）ケーブルの端子を外してください。

リレー

リレーの点検および交換は、必ずポルシェ正規販売店で実施してください。

ヒューズの交換

ショートや過負荷による電気系統の損傷を防ぐために、各々の回路がヒューズで保護されています。

ヒューズ・ボックスは運転席と助手席の足元側面にあります。

1. 交換するヒューズと関係のある電装品をOFFにしてください。
2. プラスチック・カバーを手で引っ張って開いてください。
3. ヒューズを点検するため、黄色のヒューズ・リムーバー **A**（左側のヒューズ・ボックス）を使用して、スロットから対応するヒューズ（ヒューズのリストを参照）を引き抜いてください。
   切れたヒューズは、内部の金属線が溶けていることで判別できます。
4. 同じ容量のヒューズと交換してください。
   スペア・ヒューズ**B**は左側のヒューズ・ボックスの黄色のヒューズ・リムーバーの隣にあります。
   交換する際は、ポルシェ純正ヒューズの使用を推奨します。

インフォメーション

ヒューズが何度も切れる場合は、不具合原因を早急に修理してください。

▷ ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

A - ヒューズ・リムーバー
B - スペア・ヒューズ
C - 故障診断用ソケット

左側足元のヒューズ

A列

No.	用途	A
1	左下： エアコン・ファン、R/L	40
2	左上： PSMコントロール・ユニット	40
3	右下： シート調節	25
4	未使用	

B列

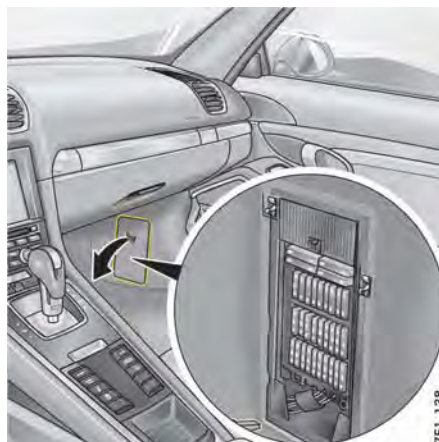
No.	用途	A
1	ヘッドライトの右側/左側通行の変更 フロント・リッド・ライト フロント･リッド･アクチュエーター ハイ・ビーム、FL ロー・ビーム、FL 車幅灯、FR 方向指示灯、RL	40
2	エキゾースト・フラップ・コントロール ハイマウント・ブレーキ・ライト、リヤ・スポイラー リヤ・リッド・アクチュエーター リヤ・フォグ・ライト、右 リバース・ライト、左 ブレーキ・ライト、左 テール・ライト、左 デイタイム・ドライビング・ライト、FL＊	15
3	アラーム・ホーン	15
4	インテリア・ライト ホール・センサー オリエンテーション・ライト ライセンス・ライト リヤ･ウィンドウ･ヒーター･リレー セントラル・ロッキングLED ドア・パネルLED アンビエント・ライト ハイマウント・ブレーキ・ライト リヤ・フォグ・ライト、左 ブレーキ・ライト、右 リバース・ライト、右 デイタイム・ドライビング・ライト、FR＊ テール・ライト、右	15
5	燃料ポンプ・システム・リレーおよびコントロール・ユニット	20
6	フィラー・フラップ開閉 ステアリング・コラム・ロック端子30 ウォッシャー・ポンプ、フロント/リヤ	10
7	未使用	
8	エアコン・コントロール・ユニット	7.5
9	インストルメント・クラスター ステアリング・コラム ストップウォッチ	10
10	PCM＊ CANアダプター	25

C列

No.	用途	A
1	センター・コンソール・ボタン・パネル ゲートウェイ・コントロール・ユニット 故障診断用ソケット イグニッション・ロック ステアリング・コラム・ロック 室内モニタリング・センサー ライト・スイッチ 左フロント・ドア・コントロール・ユニット Bluetooth電話充電器＊ ラゲッジ･コンパートメント･ライト	15
2	フットウェル・ライト イグニッション・ロックの取り外し防止ロック 方向指示灯、FL/FR ハザード・ライト・ボタンLED イグニッション・ロック・ライト 側面方向指示灯、FR/FL ハイ・ビーム、FR ロー・ビーム、FR 方向指示灯、RR 車幅灯、FL	40
3	ビークル・トラッキング・システム・コントロール・ユニット＊	5
4	ホーン	15
5	フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） リヤ・スポイラー・コントロール上昇/格納	30
6	ドア・コントロール・ユニット、FL	25
7	ヘッドライト・クリーニング・システム	30
8	PSMコントロール・ユニット	25
9	アラーム・サイレン	5
10	PASMコントロール・ユニット	5

＊ 日本仕様に設定はありません。

D列

No.	用途	A
1	リヤ・ワイパー	15
2	ホームリンク＊	5
3	左ヘッドライト	5
4	PDCコントロール・ユニット フロント・カメラ・コントロール・ユニット ゲートウェイ/故障診断用ソケット エア・クオリティ・センサー ヘッドライト・コントロール・ユニット	5
5	PSMコントロール・ユニット	5
6	ステアリング・コラム・スイッチ・モジュール ステアリング・ギヤ 冷媒圧力センサー	5
7	セレクター・レバー・コントロール・ユニット クラッチ・スイッチ・センサー	5
8	右ヘッドライト	5
9	ルーム・ミラー	5
10	シート・ベンチレーション、左	5

右側足元のヒューズ

A列

No.	用途	A
1	左下： DC/DCコンバーター、インフォテイメント	40
2	左上： DC/DCコンバーター電源供給	40
3	右下： LHDフレッシュ・エア・ブロアー・モーター LHDブロアー・レギュレーター	40
4	右上： 右シート・コントロール・ユニット シート調節	25

B列

No.	用途	A
1	レイン・センサー	5
2	エアコン・コントロール・ユニット	25
3	未使用	
4	未使用	
5	RDKコントロール・ユニット	5
6	TVチューナー＊	5
7	Burmesterサブ・ウーファー・アンプ BOSEサブ・ウーファー・アンプ	40 25
8	未使用	
9	未使用	
10	リバース・カメラ・コントロール・ユニット	5

C列

No.	用途	A
1	リヤ・ウィンドウ・ヒーター	30
2	エレクトリック・パーキング・ブレーキ・ボタン	5
3	PASMコントロール・ユニット	5
4	PDKコントロール・ユニット	20
5	温度センサー タンク漏れ自己診断（USA/韓国）＊	5
6	ワイパー・モーター	30
7	ドア・コントロール・ユニット、FR	25
8	ステアリング・コラム調整	25
9	ルーフ・コンソール	5
10	Burmesterサウンド・システム・アンプ BOSEサウンド・システム・アンプ	40 25

＊ 日本仕様に設定はありません。

D列

No.	用途	A
1	エアバッグ・コントロール・ユニット	5
2	PASMコントロール・ユニット	5
3	未使用	
4	ACCコントロール・ユニット	5
5	シート・センサー・コントロール・ユニット	5
6	シート・ベンチレーション、右	5
7	DME、PDK、VTS、BCMリヤ・コントロール・ユニット	5
8	助手席足元ソケット	20
9	センター・コンソール・ソケット シガー・ライター	20
10	グローブ・ボックス内のソケット	20

トランク・リッドの非常時ロック解除

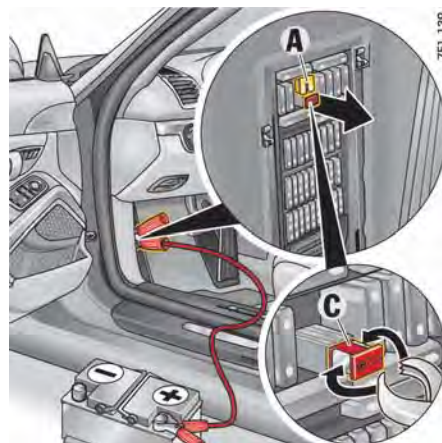
バッテリー上がりの場合、トランク・リッドを開くには外部バッテリーを使用する必要があります。

インフォメーション

この方法でエンジンを始動することは**できません。**

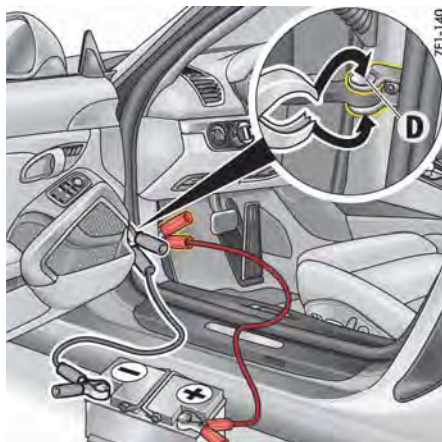
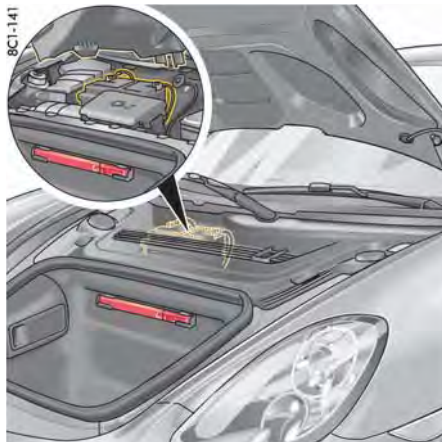
▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」（226ページ）を参照してください。

リッドのロック解除

1. キーでドア・ロックを解除してください。
2. 左側ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り外してください。
3. ヒューズ・リムーバー**A**（黄色）を使用して、ヒューズ・ボックスのプラス端子**C**（赤色）を引き出してください。

A - ヒューズ・リムーバー（黄色）
C - プラス端子（赤色）

4. 赤いジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのプラス端子と、ヒューズ・ボックスのプラス端子**C**を接続してください。

インフォメーション

バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、マイナス・ケーブルを接続したときに警報システムのホーンが鳴ります。

5. 黒色のジャンパー・ケーブルを使用して、外部バッテリーのマイナス端子と、ドア・ラッチ**D**を接続してください。
6. リモート・コントロールの　ボタンを約2秒間押して、トランク・リッドのロックを解除してください。警報システムがOFFになります。
7. マイナス・ケーブルを先に外し、次にプラス・ケーブルを外してください。
8. プラス端子**C**をヒューズ・ボックスに押し込み、ヒューズ・ボックスのプラスチック・カバーを取り付けてください。

バッテリー

バッテリーはトランク・ルーム内のプラスチック・カバーの下にあります。

カバーの取り外しに関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ充填コンプレッサー」（176ページ）を参照してください。
▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。

⚠ 警告 感電、ショートまたは火災

車両の通電部品に触れると、感電する恐れがあります。

車両電気系統への作業が原因で、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

▷ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス（–）ケーブルの端子を外してください。
▷ 工具や電気を通すアクセサリー（指輪、ブレスレット、時計など）が、車両の通電部品と接触しないように注意してください。

⚠ 警告 火災または爆発

鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生します。

▷ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス（–）ケーブルの端子を外してください。
▷ 静電気の発生を避けるため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
▷ バッテリーを取り扱う前に、車両などに触れて静電気を逃がしてください。
▷ バッテリーの近くで喫煙したり、裸火を近づけたりしないでください。ケーブル接触等による火花にも注意してください。
▷ メンテナンス作業は屋外か、または屋内の換気が良い場所でのみ実施してください。

知識

回路のショート、火災またはオルタネーターおよび電気系統を損傷する恐れがあります。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。
▷ 電気系統の作業を行うときは、必ずバッテリー・マイナス（–）ケーブルの端子を外してください。
▷ 工具や電気を通すアクセサリー（指輪、ブレスレット、時計など）が、車両の通電部品と接触しないように注意してください。
▷ マイナス側の充電用ケーブル/ジャンパー・ケーブル（黒色）は**絶対に**バッテリーへ直接接続しないでください。マイナス側の充電用ケーブル/ジャンパー・ケーブル（黒色）はトランク・ルームのアース箇所**B**に必ず接続してください。

外部電源/ジャンパー・ケーブルによる始動に関するインフォメーション：
▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」（226ページ）を参照してください。

バッテリー取り扱い上の注意

作業の前に取扱説明書をお読みください。

保護眼鏡を必ず着用してください。

お子様を絶対に近づけないでください。

爆発の危険があります。
バッテリー充電中は爆発性の高い電解質のガスが発生します：

火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。
電気配線や電装品を取り扱うときは、火花を発生させたり、ショートさせたりしないでください。
ガス抜きホースが付いたバッテリーは、ホース出口から高濃度の電解質ガスが放出されます。ガス抜きホースによじれや詰まりがないようにしてください。

酸による火傷の危険があります。
バッテリー液には極めて強い腐食性があります。
保護手袋と保護眼鏡を必ず着用してください。
ガス抜き穴からバッテリー液が漏れる恐れがあるため、バッテリーを傾けないでください。

応急処置
バッテリー液が目にかかった場合、直ちに水で数分間洗い流し、至急医師の診察を受けてください。
皮膚、衣服にかかった場合、直ちに石鹸水で中和し、大量の水で洗い流してください。
万一バッテリー液を飲み込んでしまった場合は、直ちに医者の診察を受けてください。

廃棄
古いバッテリーは、適切な廃棄場にて廃棄してください。

古いバッテリーを家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

充電状態

バッテリーを十分に充電することにより、始動時のトラブルがなくなり、バッテリーの寿命も延びます。
交通渋滞および騒音、排ガス、燃費に関する要求により、エンジン回転数、つまりオルタネーター出力は抑えられます。
その一方で、電気装備類が驚異的に増え、必要な電力は増加しています。

不意のバッテリー上がりを防ぐため、次の点に注意してください：
▷ 市街地/短距離の運転時、および渋滞時には、不要な電気装備類をOFFにしてください。
▷ 車両から離れるときは必ずキーを抜いてください。またはポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車ではイグニッションをOFFにしてください。
▷ エンジン停止時には、ポルシェ・コミュニケーション・システム（PCMおよびCDR）を使用しないでください。＊
▷ 「バッテリーの充電」（227ページ）を参照してください。

バッテリーのお手入れ

▷ バッテリー表面は清潔で乾いた状態に保ってください。
▷ 静電気の発生を避けるため、乾いた布でバッテリーを拭かないでください。
▷ バッテリー端子は必ず確実に接続してください。

冬季の走行

外気温度が低下すると、バッテリーの電圧供給および蓄電効率が低下します。更に、リヤ・ウィンドウ・ヒーター、ライト類、ヒーター、フロント・ワイパーなどの使用頻度が増えるため、冬季はより大きなバッテリー電力が必要となります。
▷ 冬になる前に、ポルシェ正規販売店でバッテリーの点検を受けてください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

インフォメーション

バッテリーの凍結を防ぐため、常に完全な充電状態を維持してください。

バッテリーが充電不足だと－5°C程度の温度でも凍結することがあります。完全に充電されている場合は－40°Cまで凍結しません。

▷ ジャンパー・ケーブルを接続する前に、凍結したバッテリーは解凍してください。

車両を保管するとき

車両を使用せず、車庫や修理工場に長期間保管する場合は、ドアやリッド類を確実に閉じてください。

▷ 「トランク・リッドの非常時ロック解除」(222ページ）を参照してください。

▷ イグニッション・キーを抜き、必要に応じてバッテリーの端子を外してください。ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車では、イグニッションをOFFにしてください。

インフォメーション

▷ バッテリーを切り離している場合、警報装置は作動しません。
バッテリーを切り離す前に車両がロックされていた場合、バッテリーを再接続したときに警報システムが作動します。

警報システムの作動を解除するには：

▷ 1回車両をロックし、再度ロックを解除してください。

警報システム、セントラル・ロッキング

▷ バッテリーの接続を外しても、警報システムやセントラル・ロッキングの作動状態は切り替わりません。

 インフォメーション

車両を使用せず、保管している間も、バッテリーは常に放電しています。

▷ 正常に使用可能な状態を保つには、約6週間ごとの充電またはトリクル充電器の使用が必要です。

▷ 取り外したバッテリーは、湿気がなく風通しの良い冷暗所に保管し、凍結に注意してください。

バッテリーの交換

バッテリーは年月の経過とともに消耗します：バッテリーの寿命は通常の使用状態に左右され、特に、お手入れ、気候、走行条件（距離、積載物）によって違ってきます。

バッテリー本体に表示された規格/仕様のみでは、そのバッテリーがポルシェ社の要求する基準を満たしているかどうかを判断することができません。

 インフォメーション

▷ 新しいバッテリーを取り付けた後は、コントロール・ユニットの初期化が必要です。ポルシェ正規販売店にご相談ください。この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ バッテリーの脱着は、ポルシェ正規販売店など専門知識があるワークショップのみで実施してください。

▷ バッテリーを交換するときは、車両に合った性能のバッテリーのみを使用してください。
この車両は**AGM**（**A**bsorbed **G**lass **M**at=浸透ガラス・マット）バッテリー専用に設計されています。車両の完全な機能性は、AGMバッテリーを搭載した場合にのみ保証されます。
ポルシェ純正バッテリーの使用を推奨します。

▷ バッテリーの廃棄に関する指示を遵守してください。

車両の作動復帰

バッテリーを接続した後、または**完全に上がってしまった**バッテリーを充電した場合、インストルメント・パネルのPSM警告灯が点灯し、マルチファンクション・ディスプレイに故障を示すメッセージが表示されます。

この場合は以下の手順により対処することができます。

1. エンジンを始動してください。
   キーまたはイグニッション・ロックのコントロール・ユニット（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）をイグニッション・ロック位置**2**に**2回**回してください。
2. 車両停止状態で、ステアリングを左右に少しずつ回した後、PSM警告灯が消灯し、マルチファンクション・ディスプレイのメッセージが消去されるまで短距離を直線走行させてください。
3. 警告灯および警告メッセージが**消えない場合**：最寄りのポルシェ正規販売店まで慎重に運転し、故障を修理してください。
4. 警告灯および警告メッセージが消えた場合：安全な場所に停車してください。
5. パワー・ウィンドウの停止位置を保存してください。

パワー・ウィンドウの停止位置の保存に関するインフォメーション：

▷ 「バッテリー接続後のウィンドウ停止位置の保存」（59ページ）を参照してください。

6. タイヤ空気圧モニタリング・システム装備車は、タイヤの情報を保存してください。

タイヤ空気圧モニタリング・システムの登録に関するインフォメーション：

▷ 「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（86ページ）を参照してください。

外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動

バッテリーが上がったときは、他の車両のバッテリーを使用してエンジンを始動したり、ジャンパー・ケーブルを使用して外部電源を接続することができます。

どちらの車両も12Vバッテリー搭載車でなくてはなりません。供給車側のバッテリーの容量(Ah)が、バッテリーが上がった車両のバッテリーの容量に比べ低すぎないよう確認してください。

上がったバッテリーを車両電気系統に正しく接続してください。

⚠ 警告 電気系統またはジャンパー・ケーブルのショートおよび火災

不適切なジャンパー・ケーブルの使用や、ジャンパー・ケーブルによる始動が適切に行われなかった場合、ショートする恐れがあります。ショートは火災の原因となります。

▷ ジャンパー・ケーブルはエンジン始動に適した製品を使用し、バッテリー容量に対して十分な断面積があることを確認してください。また、端子接続部のクリップが完全に絶縁体で覆われているものを使用してください。ジャンパー・ケーブルのメーカーが定めた取り扱い方法を遵守してください。

▷ 車両同士を接触させないでください。電流が流れ、ショートする危険性があります。

▷ 指輪、ネックレス、時計バンドなど、電気を通す装飾品が通電部に触れないように注意してください。

⚠ 警告 腐食性のある酸性のバッテリー液

鉛バッテリーには腐食性のあるバッテリー液が入っています。

▷ バッテリーを傾けないでください。

▷ ジャンパー・ケーブルを接続する前に、凍結したバッテリーは解凍してください。

⚠ 警告 爆発性ガスへの引火または爆発

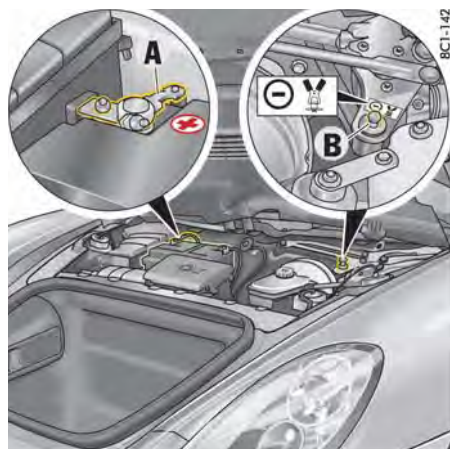
鉛バッテリー充電時には爆発性の高い混合ガスが発生します。

▷ 火気、火花、裸火を近づけたり、そばで喫煙したりすることは絶対に避けてください。またケーブルを接続した瞬間の火花にも注意してください。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

▷ ジャンパー・ケーブルは絶対にバッテリーへ直接接続しないでください。ジャンパー・ケーブルは、必ずトランク・ルーム内のジャンパー・ケーブル接続用端子に接続してください。

▷ ジャンパー・ケーブルを接続する前に必ず凍結したバッテリーを解凍してください。

+ = バッテリーのプラス端子**A**
– = 外部電源/ジャンパー・ケーブル接続用のアース箇所**B**

外部電源/ジャンパー・ケーブルによる始動

必ず下記の手順に従ってください：

1. トランク・ルーム・カバーを取り外してください。
   カバーを取り外すには：
   「タイヤ充填コンプレッサー」（176ページ）を参照してください。
2. プラス側のケーブル（赤色）をまずジャンプ・スタートするバッテリーのプラス端子**A**に接続し、次に支援車のバッテリーのプラス端子（+）に接続してください。
3. マイナス側のケーブル（黒色）を支援車のバッテリーのマイナス端子に接続し、次にアース箇所**B**に接続してください。
4. 支援車のエンジンを始動し、回転数を上げてください。
5. エンジンを始動してください。
   ジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動するときは、スターターを15秒以上作動させないでください。始動に失敗したときは、1分以上待ってから再試行してください。
6. エンジンが作動状態のまま、マイナス側のケーブルをアース箇所**B**から外してください。次に、支援車のバッテリー・マイナス端子からケーブルを外してください。
7. エンジンが作動状態のまま、支援車のバッテリー・プラス（+）端子からケーブルを外してください。次に、ジャンプ・スタートするバッテリーのプラス端子**A**からケーブルを外してください。

バッテリーの充電

ポルシェ正規販売店でスタッフにご相談の上、車両に合ったバッテリー充電器をお求めください。

▷ バッテリー充電器メーカーの取扱説明書に従ってください。
▷ バッテリーが凍結している場合は、充電する前に解凍してください。
▷ 十分に換気ができる場所でバッテリーを充電してください。

1. 充電器をバッテリーのプラス端子**A**とトランク・ルームのアース箇所**B**に接続してください。
   ケーブルを確実に接続してから、バッテリー充電器の電源プラグを差し込み、充電器のスイッチをONにしてください。
2. 充電器のスイッチをONにしてください。
3. バッテリーの充電が完了したら、充電器のスイッチをOFFにしてから、ケーブルを外してください。

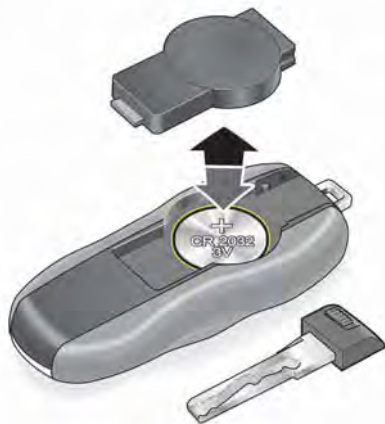
▷ 「車両の作動復帰」（225ページ）を参照してください。

キー（リモート・コントロール）用電池の交換

インフォメーション

▷ 電池を廃棄処分するときは、定められた手順に従ってください。

車両キー

リモート・コントロールの電池が消耗すると、メッセージ「**車両キー内のバッテリーを交換します**」がインストルメント・パネルのマルチファンクション・ディスプレイに表示されます。
速やかに電池を交換してください。

電池の交換(CR 2032、3V)

1. エマージェンシー・キーを取り出してください。

エマージェンシー・キーに関するインフォメーション：

▷ 「エマージェンシー・キー」（21ページ）を参照してください。

2. 小さなドライバーなどを使用して、キー・ハウジング背面のカバーを持ち上げてください。
3. 電池を交換してください（電極の向きに注意してください）。
4. カバーを元通りにして、しっかりとはめ合わせてください。
5. エマージェンシー・キーを元に戻してください。

バルブ・リスト

用途	形状	ワット数
補助ハイ・ビーム（バイキセノン・ヘッドライト/PDLSまたはPDLS Plus付きバイキセノン・ヘッドライト）	H7	55W
ロー・ビーム（ハロゲン・ヘッドライト）	H7	55W
ハイ・ビーム（ハロゲン・ヘッドライト）	H9	65W
方向指示灯（フロント）	HY	21W
方向指示灯（サイド）	WY	5W

バルブの交換

発光ダイオード（LED）とロングライフ・バルブの交換

デイタイム・ドライビング・ライト＊、フロント・サイド・ライト、リヤ方向指示灯、バイキセノン・ヘッドライトのガス・ディスチャージ・バルブ、テール・ライト、フォグ/リバース・ライト、ライセンス・ライト、ハイマウント・ブレーキ・ライト、およびルーム・ライトには、発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブが使用されています。

LEDは個別に交換できません。

ロングライフ・バルブの交換には専門知識が必要です。

▷ 発光ダイオード(LED)とロングライフ・バルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

▷ 国によっては予備用バルブの携行が義務付けられています。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

警告 感電

バイキセノン・ヘッドライトには高電圧が作用しています。

▷ ヘッドライト周辺の作業を行うときは、感電しないように十分注意してください。

▷ バルブ交換の前に、ライトをOFFにし、イグニッションをOFFにしてください。

知識

不適切な容量（ワット数）のバルブを取り付けると、損傷する恐れがあります。

高出力（ハイ・ワット）バルブを使用すると、ライト・ハウジングが損傷する恐れがあります。

知識

ショートによる損傷の恐れがあります。

▷ バルブを交換するときは、必ず電装関係のスイッチをOFFにしてください。

インフォメーション

バルブに汚れやグリースを付着させないでください。

▷ バルブに素手で触れないでください。
バルブ交換時は、きれいな布または柔らかい紙でバルブを包んでください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

ヘッドライト

知識

摩擦や過熱によりヘッドライトが損傷する恐れがあります。

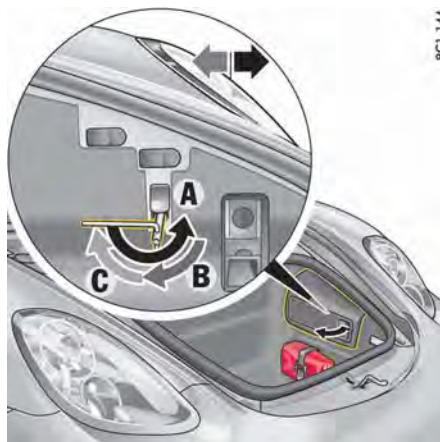
▷ ヘッドライトにカバー（フィルムやストーン・ガードなど）を装着しないでください。

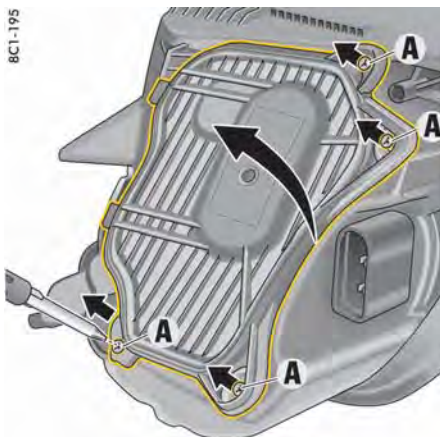
インフォメーション

気温と湿度により、ヘッドライトが曇ることがあります。十分な距離を走行すると、この曇りは取れます。

▷ 通気を確保するため、ヘッドライトとボディの隙間にカバーをしないでください。

ヘッドライトの取り外し

1. トランク・リッドを開いてください。
2. 工具セットを取り外してください。
3. ヘッドライト・リリース機構のカバーを開いてください。
4. 工具セットのソケット・レンチをロック解除用のスピンドルにあててください。
   レンチの先が後方へ水平になるようにしてください。
5. レンチを約180°**A**方向へ回転させてください。
   ヘッドライトのロックが解除され、わずかに押し出されます。
6. ソケット・レンチを約90°垂直になるまで**B**方向に下げて、その位置を保ってください。
7. この状態でヘッドライトのロックは解除されており、少し持ち上げて前方へ引くとフェンダーから取り外すことができます。
8. コネクターを外してください。

ヘッドライトの取り付け

1. コネクターを接続してください（カチッというクリック音が聞こえます）。
2. ヘッドライトをガイド・レールに挿入し、フェンダーにいっぱいまで押し込んでください。
3. ヘッドライトを後方へ押しながらソケット・レンチを後方へ水平になるように**C**の位置まで回してください。
   ヘッドライト・ロッキング機構が締結する音と感触があります。
4. レンチを取り外し、ヘッドライト・リリース機構のカバーを閉じてください。
5. 工具セットを取り付けてください。
6. すべてのライトの作動を点検してください。

ロー・ビーム/ハイ・ビーム用バルブの交換（ハロゲン・ヘッドライト装備車）

インフォメーション

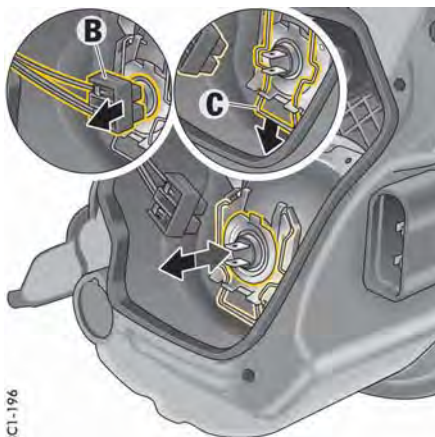
バイキセノン・ヘッドライト装備車のハロゲン補助ハイ・ビーム・バルブの交換には専門知識が必要です。

▷ これらのバルブの交換はポルシェ正規販売店にお任せください。
この作業はポルシェ正規販売店での実施を推奨します。十分なトレーニングを受けた経験豊かなスタッフが、最新の技術情報と専用工具や専用装置を駆使し、確かな整備をお約束します。

ヘッドライト・ハウジングのカバーの開き方

1. ヘッドライトを取り外してください。

▷ 「ヘッドライトの取り外し」（229ページ）を参照してください。

2. スクリュー **A**4本を取り外してください。

3. ハウジング・カバーを取り外してください。

ロー・ビーム・ヘッドライトのバルブ交換

1. コネクター **B**を外してください。

2. 固定クリップ**C**を押し下げてください。

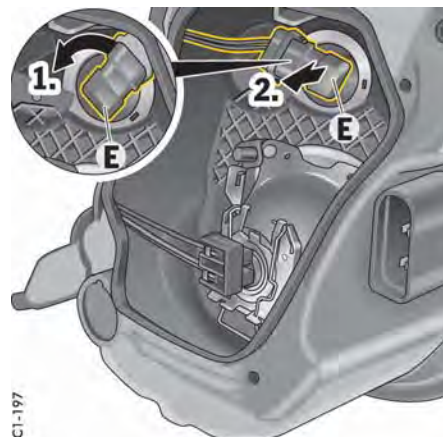
3. 不具合のあるバルブを交換してください。交換したバルブが正しく取り付けられていることを確認してください。

4. 固定クリップ**C**を押し上げてください。

5. コネクター **B**を接続してください。

6. ハウジング・カバーをタブに取り付け、4本のスクリュー **A**を取り付けてください。

7. ヘッドライトを取り付けて、バルブの作動を点検してください。

▷ 「ヘッドライトの取り付け」（229ページ）を参照してください。

ハイ・ビーム・ヘッドライトのバルブ交換

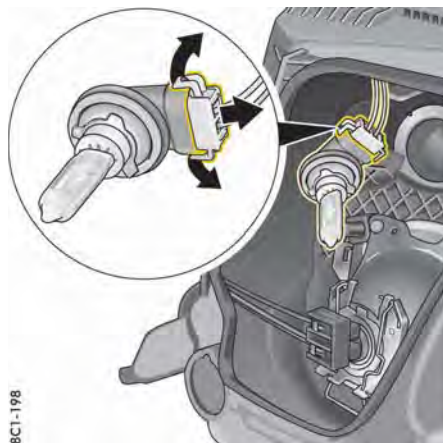
インフォメーション

バルブ・ホルダーの作業を容易にするために、バルブ・ホルダー上の丸いヘッドライト・ハウジング・カバーを取り外してください。

▷ タブを引いて丸いハウジング・カバーを取り外してください。

---

1. バルブ・ホルダー **E**を反時計回りにいっぱいまで回してください。

2. バルブ・ホルダー **E**を取り外してください（バヨネット・ロック）。

3. リリース･タブを両方とも引き、コネクターを外してください。
4. 不具合のあるバルブをバルブ・ホルダーごと交換してください。
5. バルブ・ホルダー **E**を差し込み、時計回りにいっぱいまで回してください。
6. ハウジング・カバーをタブに取り付け、4本のスクリュー **A**を取り付けてください。
7. ヘッドライトを取り付けて、バルブの作動を点検してください。

▷ 「ヘッドライトの取り付け」(229ページ) を参照してください。

方向指示灯 (フロント) のバルブ交換

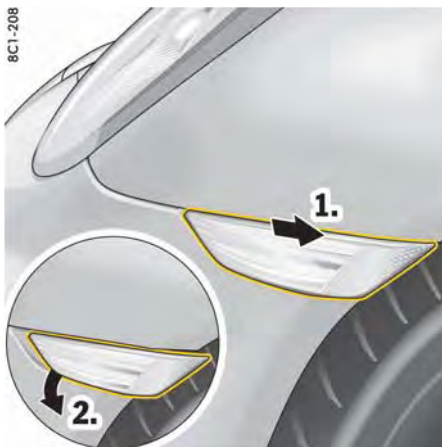
ヘッドライト・ハウジングのカバーの開き方

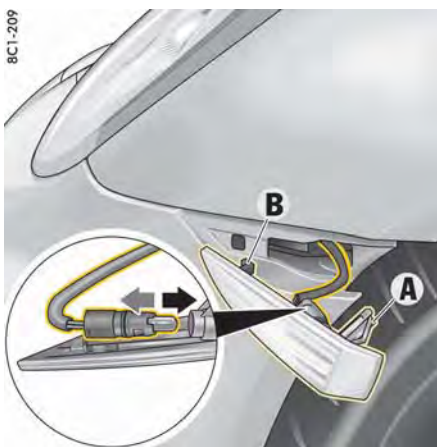
1. ヘッドライトを取り外してください。

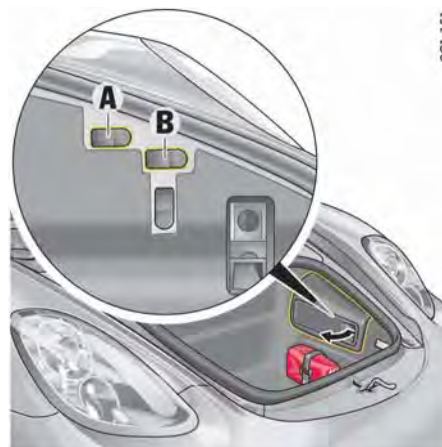
▷ 「ヘッドライトの取り外し」(229ページ) を参照してください。

2. タブを引いてハウジング・カバーを取り外してください。

3. バルブ・ホルダー **A**を取り外してください。
4. バルブを交換してください (バヨネット・ロック)。
5. バルブ･ホルダー**A**をガイドに差し込み、いっぱいまで押し込んでください。
6. ハウジング・カバーを閉じてください。
7. ヘッドライトを取り付けて、バルブの作動を点検してください。

▷ 「ヘッドライトの取り付け」(229ページ) を参照してください。

方向指示灯（サイド）のバルブ交換

1. タブ**B**が外れるまで、方向指示灯のハウジングを後方に引いてください。
2. 方向指示灯のハウジングを取り外してください。

A - スプリング
B - タブ

3. バルブ・ホルダーを取り外してください。
4. バルブをホルダーから取り外し、新しいバルブと交換してください。
5. バルブ・ホルダーをガイドに差し込み、いっぱいまで押し込んでください。
6. 最初に方向指示灯ハウジングのスプリング**A**部を差し込み、次にタブ**B**がはまるまで後方に引いてください。
7. 方向指示灯ハウジングを離し、バルブの作動を点検してください。

A - 高さ調整
B - 横方向の調整

ヘッドライト調整

ヘッドライトの調整は、専用の調整装置がある整備工場のみで実施してください。
調整は車両を走行中と同じ状態にして行ってください。

左側通行から右側通行への変更に伴うヘッドライトの切り替え

車両通行帯（右側通行または左側通行）が異なる国で走行するときは、ヘッドライトの照射方向を切り替える必要があります。これによりロー・ビームの照射方向が左右対称に切り替わり、対向車のドライバーの眩惑を防ぐことができます。

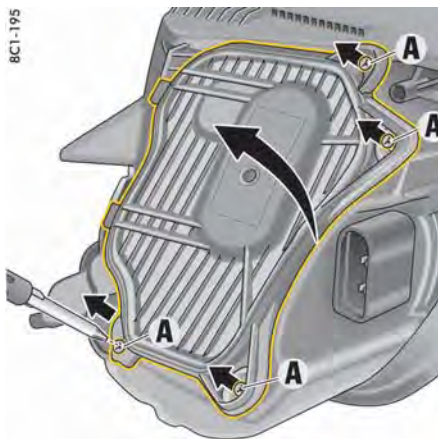
 インフォメーション

ヘッドライトの照射方向を切り替えたときは、元に戻すことを忘れないでください。

ヘッドライトの照射方向の切り替え(ダイナミック・コーナリング・ライト装備車)

ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS/PDLS Plus)装備車のバイキセノン・ヘッドライトは、マルチファンクション・ディスプレイで切り替える必要があります。イグニッションをONにするたびに、マルチファンクション・ディスプレイにメッセージ「**ライト 左側通行/右側通行が切り替えられました**」が表示されます。

ヘッドライトの照射方向を切り替えたときは、元に戻すことを忘れないでください。

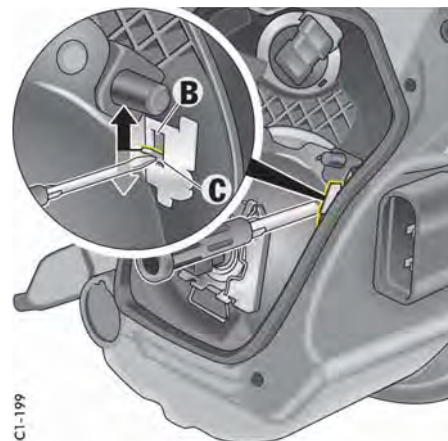
▷「右側/左側通行でヘッドライトを切り替える（アダプティブ・ライト・システム）」（99ページ）を参照してください。

ヘッドライトの照射方向の切り替え(ダイナミック・コーナリング・ライト非装備車)

 インフォメーション

ダイナミック・コーナリング・ライト(PDLS/PDLS Plus)非装備車のバイキセノン・ヘッドライトは左側または右側通行用に切り替えできません。このタイプのヘッドライトの配光は両方の通行帯に共通で、対向車の眩惑を防止します。

1. ヘッドライトを取り外してください。

▷「ヘッドライトの取り外し」（229ページ）を参照してください。

2. スクリュー **A** 4本を取り外してください。
3. ハウジング・カバーを取り外してください。

ヘッドライト
B - 左側通行用メタル・タブの位置
C - 右側通行用メタル・タブの位置

4. **左側通行の場合**：工具セットのドライバーを使用して、メタル・タブを押し上げて**B**位置に合わせてください。
   右側通行の場合：工具のセットのドライバーを使用して、メタル・タブを押し下げて**C**位置に合わせてください。
5. ハウジング・カバーをヘッドライトに取り付け、4本のスクリューを取り付けてください。
6. ヘッドライトを取り付けて、作動を点検してください。

▷「ヘッドライトの取り付け」（229ページ）を参照してください。

7. もう一方のヘッドライトも調整してください。

けん引およびけん引によるエンジンの始動

 インフォメーション

▷ けん引およびけん引によるエンジンの始動を行うときは、法規等を遵守してください。
▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。
発進する前に、けん引する車両とけん引される車両の両方のドライバーが、けん引によるエンジンの始動とけん引時の通常とは異なる運転特性をしっかりと理解しておくことが大切です。
▷ 電気系統の不具合が発生している場合、エレクトリック・パーキング・ブレーキやステアリング・コラム・ロックを解除するために外部電源の接続が必要なことがあります。

けん引ロープ

▷ けん引ロープの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
▷ けん引ロープの定格荷重を遵守してください。けん引ロープの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
▷ けん引ロープでけん引するときは、けん引ロープをけん引フックに固定する前に、けん引フックを車両に取り付けてください。
けん引フックの取り付け/取り外しに関するインフォメーション：
「けん引フック」(236ページ) を参照してください。
▷ ブレーキが故障した車両を**けん引しない**でください。
▷ けん引による走行中は、ロープがたるまないように注意し、ロープに急な衝撃を与えないでください。

けん引バー

▷ けん引バーの規格と取り扱い方法は、製品メーカーの取扱説明書を参照してください。製品メーカーが指示する注意事項と取り扱い方法に従ってください。
▷ けん引バーの定格荷重を遵守してください。けん引バーの許容荷重が、けん引される車両の重量よりも大きいことを確認してください。製品メーカーが指定する定格荷重を超えてはなりません。
▷ けん引バーを斜め方向に**取り付けない**でください。
▷ ブレーキが故障した車両を**けん引しない**でください。

けん引または押しがけによる始動

バッテリーに不具合があるとき、あるいはバッテリーが完全に上がってしまった場合には、バッテリーを交換するかジャンパー・ケーブルを使用してエンジンを始動させてください。
▷ 「バッテリー」(223ページ) を参照してください。
▷ 「外部電源、ジャンパー・ケーブルによる始動」(226ページ) を参照してください。

PDKトランスミッション装備車のけん引または押しがけによる始動

▷ この車両では、トランスミッションの重大な損傷を避けるため、けん引または押しがけによるエンジンの始動ができません。

マニュアル・トランスミッション装備車のけん引または押しがけによる始動

▷ 触媒コンバーター装備車は、エンジンが冷えている場合に限りけん引または押しがけによる始動ができます。エンジンが熱いと、未燃焼ガスにより触媒コンバーターが損傷する場合があります。

けん引

車両をけん引する場合、自車より車両重量の大きい車両はけん引しないでください。

⚠ 警告 パワー・アシスト機能が作動しないことによる操舵力とブレーキ踏力の増加

けん引される車両のエンジンが停止している場合、ステアリング・アシストが働きません。ブレーキやステアリング操作に大きな力が必要となります。
▷ 車両をけん引するときは十分注意してください。

エンジンが停止している場合、トランスミッション・オイルが循環しません。トランスミッションの損傷を回避するため、次の点に注意してください：

PDKトランスミッション装備車の4輪が接地した状態でのけん引：

▷ PDKトランスミッションが緊急作動モードにある場合（警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」が表示されます）、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。
▷ セレクター・レバーの緊急解除を行った場合、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

▷ PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。
セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを1回始動しなければなりません。セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイでもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。

▷ けん引中は、4輪すべてが常に接地していなければなりません。
また、けん引中にブレーキ・ライトと方向指示灯が作動し、ステアリング・ロックがかからないようにするため、イグニッションをONにしておかなければなりません。

▷ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。
けん引距離は50km以内にしてください。
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

PDKトランスミッション装備車の片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引：

▷ PDKトランスミッションが緊急作動モードにある場合（警告メッセージ「**T/M故障 安全に停車してください**」が表示されます）、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

▷ セレクター・レバーの緊急解除を行った場合、車両をけん引しないでください。車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

▷ PDKセレクター・レバーを**N**の位置にしてください。
セレクター・レバーの表示も含めて正しく**N**の位置にするには、車両をけん引する前にエンジンを1回始動しなければなりません。セレクター・レバーが**N**の位置にあり、ディスプレイでもセレクター・レバー位置が**N**になれば、車両をけん引できます。

▷ イグニッションをOFFにしてください。
イグニッション・キーをイグニッション・ロックに残して、ステアリングがロックしないようにしてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装着車では、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。

▷ 「緊急操作 – イグニッション・キー / コントロール・ユニットの抜き取り」（19ページ）を参照してください。

▷ けん引される車両が周囲から目立つようにしてけん引してください。

▷ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。
けん引距離は50km以内にしてください。
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

マニュアル・トランスミッション装備車の4輪が接地した状態でのけん引：

▷ ギヤシフト・レバーをニュートラルにしてください。

▷ けん引中は、4輪すべてが常に接地していなければなりません。
また、けん引中にブレーキ・ライトと方向指示灯が作動し、ステアリング・ロックがかからないようにするため、イグニッションをONにしておかなければなりません。

マニュアル・トランスミッション装備車の片側のアクスルを持ち上げた状態でのけん引：

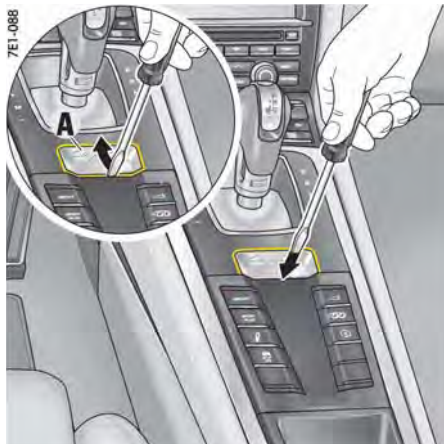
▷ イグニッションをOFFにしてください。
イグニッション・キーをイグニッション・ロックに残して、ステアリングがロックしないようにしてください。
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装着車は、コントロール・ユニットをイグニッション・ロックから取り外して、キーを挿入してください。

▷ 「緊急操作 – イグニッション・キー / コントロール・ユニットの抜き取り」（19ページ）を参照してください。

▷ ギヤシフト・レバーをニュートラルにしてください。

▷ けん引される車両が周囲から目立つようにしてけん引してください。

▷ けん引されるときの速度は50km/h以下にしてください。
けん引距離は50km以内にしてください。
50kmを超える場合は、車両輸送専用車またはトレーラーを使用してください。

リヤけん引フック

PDKセレクター・レバーの緊急解除

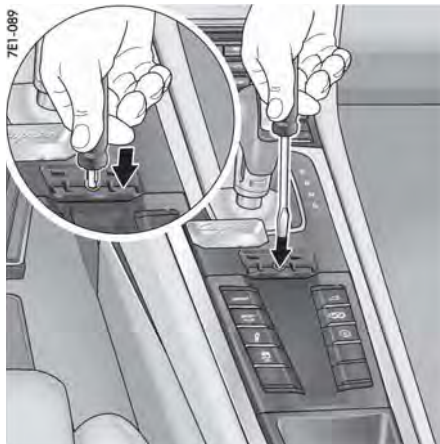
電気系統が故障した場合は、セレクター・レバーを「N」位置に動かすため、セレクター・レバーの緊急解除を行ってください。

知識

車両が不意に動き出して損傷する恐れがあります。PDKセレクター・レバーを緊急解除した場合、車両が固定されていません。

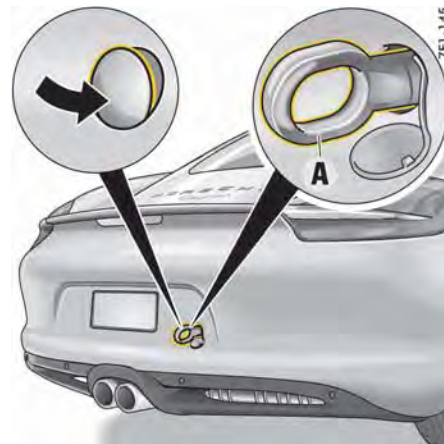
▷ 緊急解除を行う前に、エレクトリック・パーキング・ブレーキを作動させるか、必要に応じて輪止めを使用して、車両が動き出すのを防止してください。

セレクター・レバーの解除

1. 工具セットからドライバーを取り出してください。
2. ドライバーを使用して、慎重にバッジ**A**を矢印部からこじるようにして外してください。
3. ドライバーを垂直に穴の中に差し込み、セレクター・レバー・ロックを押し下げながら、セレクター・レバーのリリース・ボタンを押し、セレクター・レバーを「N」位置に動かしてください。
4. バッジ**A**を取り付けてください。

雪や砂などで立ち往生した車両の救援

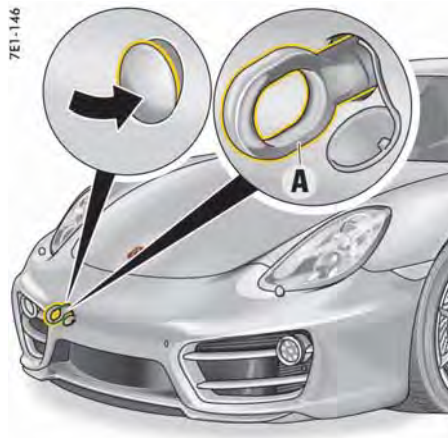
▷ 立ち往生した車両を救出するときは十分に注意してください。

▷ 車両を急に引っ張ったり、角度を付けて斜め方向に引いたりしないでください。

▷ 可能な限り、立ち往生した車両を進入したタイヤの軌跡に沿って元の方向に引き出してください。

けん引フック

けん引フックはトランク・ルーム内の左側の工具セットの中にあります。

けん引フックの取り付け

1. プラスチック・カバーの下端をバンパー内に押し込んで、カバーを外してください。
2. カバーをバンパーから引き出し、カバーに付いているひもで吊り下げられた状態にしてください。
3. けん引フック**A**をいっぱいにねじ込み（逆ねじ）、手で締め付けてください。

フロントけん引フック

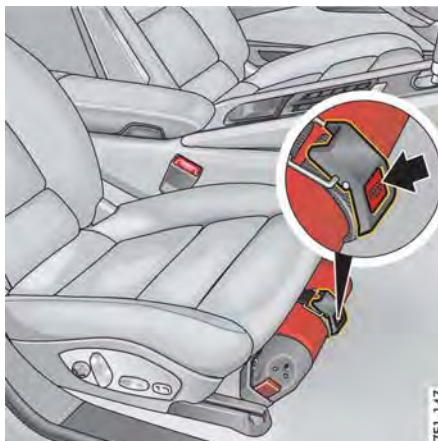
けん引フックの取り外し

1. けん引フックAを外してください（時計回りに回転させてください（逆ねじ））。
2. 開口部の下端にプラスチック・カバーを差し込んでください。
3. カバーをかぶせ、上端を押してバンパーにはめ込んでください。
4. けん引フックを工具セットに収納してください。

鉄道、船舶、積載車での輸送

▷ ロープ等で車両を固定するときは、ホイールでのみ固定してください。

▷ 室内モニタリング・システムと傾斜センサー＊を解除してください。

▷ 「警報システム」（188ページ）を参照してください。

消火器＊

車両に消火器が装備されている場合、助手席シートの下に取り付けられています。

▷ 緊急時に消火器を取り外す場合、片手で消火器を押さえて、消火器ホルダーの**PRESS**ボタン（**矢印**）をもう片方の手で押してください。

インフォメーション

▷ 消火器の最終点検日を確認してください。定期点検の期間を過ぎた消火器は正しく作動しないことがあります。

▷ 必ず消火器の取扱説明書の指示に従ってください。

▷ 消火器のハンドルに貼付されている消火器メーカーの安全に関する指示に従ってください。

▷ 消火器は1～2年ごとにポルシェ正規販売店で点検を行ってください。

▷ 消火器を使用した後は消火剤を再充填してください。

＊ 日本仕様に設定はありません。

発炎筒

発炎筒は、事故や故障で路上に停車したとき、周囲に危険を知らせるために使用します。

発炎筒は、助手席足元前部のドア側に固定してあります。

警告 火傷や火災につながる恐れがあります

▷ 燃料などの可燃物の近くでは使用しないでください。引火する恐れがあります。

▷ 発炎筒を使用するときは、顔や身体に向けたり、近づけないでください。火傷をする恐れがあります。

▷ お子様がさわらないように注意してください。誤って使用すると火傷をしたり、車を損傷する恐れがあります。

注意 トンネルの中などで使用すると、事故につながる恐れがあります

▷ トンネルの中など換気が悪い場所で使用すると、発炎筒の煙で視界が遮られて事故につながる恐れがあります。必要に応じてハザード・ライトを使用してください。

発炎筒の使い方

1. キャップを外してください。本体をひねりながら、ケースから取り出してください。
2. 本体を逆に向けて、ケースに差し込んでください。
3. 本体の点火部を、キャップの擦り薬でこすると着火します。

知識

▷ 発炎筒の燃焼時間は約5分間です。

発炎筒には有効期限があります。表示してある有効期限が切れる前に、新しい発炎筒に交換してください。ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

タイヤ空気圧とテクニカル・データ

車両の識別データ 241
エンジン・データ（メーカー発表値）.......242
燃費とエミッション（メーカー発表値）...242
タイヤ、ホイール 243
冷間時のタイヤ空気圧(20°C) 244
重量（メーカー発表値）............................246
充填容量 247
動力性能（メーカー発表値）.....................248
車両寸法（メーカー発表値）.....................248

車台番号

車両の識別データ

スペア・パーツの注文や問い合わせをする場合は、必ず車台番号を明示してください。

車台番号

車台番号はフロント・ウィンドウ枠の左下にあります。

ビークル・プレート＊

ビークル・プレート＊

ビークル・プレートは助手席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。

タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレート

タイヤ空気圧プレートは運転席側ドア・シル（ドア開口部）に貼られています。

データ・バンク

車両の大切な情報が記載されているデータ・バンクは、整備手帳の中に添付されています。データ・バンクは紛失したり、破損したりしても再注文することはできません。

＊ 日本仕様に設定はありません。

エンジン・データ（メーカー発表値）

	Cayman	Cayman S	Cayman GTS
シリンダー数	6	6	6
総排気量	2,706 cm^3	3,436 cm^3	3,436 cm^3
最高出力(80/1269/EEC)	202 kW (275 hp)	239 kW (325 hp)	250 kW (340 hp)
エンジン回転数	7,400 rpm	7,400 rpm	7,400 rpm
最大トルク(80/1269/EEC)	290 Nm	370 Nm	380 Nm
エンジン回転数	4,500～6,500 rpm	4,500～5,800 rpm	4,750～5,800 rpm
エンジン・オイル消費量	最大0.8 ℓ/1,000 km	最大0.8 ℓ/1,000 km	最大0.8 ℓ /1,000 km
エンジン許容最高回転数	7,800 rpm	7,800 rpm	7,800 rpm

燃費とエミッション（メーカー発表値）

Euro 5および6に基づく測定法：このデータはNEDC(New European Driving Cycle)のEuro5および6 EU規制No.195/2013に基づく測定方法に則って標準仕様車で測定したものです。このデータは、すべての仕様の車両に合致するものではありません。また、メーカーがそれを保証するものでもありません。これらのデータは各仕様別のモデル比較のために利用できますが、詳細についてはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

Euro 4に基づく測定法：ECE-R.83およびECE-R.101の基準に則って測定したデータです。

	市街地走行 (ℓ/100 km)	ハイウェイ走行 (ℓ/100 km)	複合 (ℓ/100 km)	総CO_2 (g/km)
	燃費（オート・スタート/ストップ機能装備車）			
Cayman マニュアル・トランスミッション	11.8	6.4	8.4	195
Cayman PDKトランスミッション	10.9	6.2	7.9	183
Cayman S マニュアル・トランスミッション	12.7	7.1	9.0	211
Cayman S PDKトランスミッション	11.4	6.3	8.2	190
Cayman GTS マニュアル・トランスミッション	12.7	7.1	9.0	211
Cayman GTS PDKトランスミッション	11.4	6.3	8.2	190

タイヤ、ホイール

▷ 指定のタイヤとホイールのサイズは広範囲のテストを元に認可されているものです。
ポルシェ社が承認したタイヤを装着することで、この車両に最適な走行性能が得られます。
タイヤは積載容量係数（92など）と最高速度の記号文字（Yなど）以上の性能のものを使用してください。
新しいタイヤを装着するときやタイヤ交換時は：「タイヤとホイール」（207ページ）を参照してください。
▷ 2) のマークが付いた以下のホイールでは5mmスペーサー＊の使用が可能です。
▷ スノー・チェーンのクリアランスは、1)のマークが付いたタイヤ/ホイールのサイズを組み合わせた場合にのみ保証されます。スノー・チェーンはリヤ・ホイールのみに装着できます。スノー・チェーンを装着したときの最高速度については各国の法規に従ってください。ポルシェ社の認可したファインリンク・クロスタイプ・チェーンまたはエッジ・チェーンのみをご使用ください。
▷ タイヤ、ホイール、スノー・チェーンに関する最新の認定状況については、ポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

	Cayman	Cayman S	Cayman GTS
18インチ・ホイール FA/RA	8 J x 18、RO 57 2) / 9 J x 18、RO 47 2)	8 J x 18、RO 57 / 9 J x 18、RO 47	8 J x 18、RO 57 / 9 J x 18、RO 47
サマー・タイヤ FA/RA	235/45 ZR 18 94Y / 265/45 ZR 18 101Y	–	–
ウインター・タイヤ FA/RA	235/45 R 18 94V / 265/45 R 18 101V 1)	235/45 R 18 94V / 265/45 R 18 101V 1)	235/45 R 18 94V / 265/45 R 18 101V 1)
19インチ・ホイール FA/RA	8 J x 19、RO 57 / 9.5 J x 19、RO 45	8 J x 19、RO 57 / 9.5 J x 19、RO 45	8 J x 19、RO 57 / 9.5 J x 19、RO 45
サマー・タイヤ FA/RA	235/40 ZR 19 (92Y) / 265/40 ZR 19 (98Y)	235/40 ZR 19 (92Y) / 265/40 ZR 19 (98Y)	–
ウインター・タイヤ FA/RA	235/40 R 19 92V / 265/40 R 19 98V	235/40 R 19 92V / 265/40 R 19 98V	235/40 R 19 92V / 265/40 R 19 98V
20インチ・ホイール FA/RA**または**	8 J x 20、RO 57 / 9.5 J x 20、RO 45	8 J x 20、RO 57 / 9.5 J x 20、RO 45	8 J x 20、RO 57 / 9.5 J x 20、RO 45
20インチ・ホイール FA/RA	8.5 J x 20、RO 57 / 10 J x 20、RO 50	8.5 J x 20、RO 57 / 10 J x 20、RO 50	8.5 J x 20、RO 57 / 10 J x 20、RO 50
サマー・タイヤ FA/RA	235/35 ZR 20 (88Y) / 265/35 ZR 20 (95Y)	235/35 ZR 20 (88Y) / 265/35 ZR 20 (95Y)	235/35 ZR 20 (88Y) / 265/35 ZR 20 (95Y)

FA=フロント・アクスル、RA=リヤ・アクスル

＊ 日本仕様に設定はありません。

冷間時のタイヤ空気圧(20°C)

これらの標準タイヤとコンフォート・タイヤの空気圧は、ポルシェ社が認可したメーカーおよび仕様のタイヤのみに適用します。

サマー・タイヤの標準空気圧

	18インチ・ホイール		19インチ・ホイール		20インチ・ホイール	
	FA	RA	FA	RA	FA	RA
Cayman	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.0 bar (29 psi)	2.1 bar (30 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)
Cayman S	–	–	2.0 bar (29 psi)	2.1 bar (30 psi)	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)
Cayman GTS	–	–	–	–	2.3 bar (33 psi)	2.3 bar (33 psi)

FA=フロント・アクスル、RA=リヤ・アクスル

ウインター・タイヤの標準空気圧

	18インチ・ホイール		19インチ・ホイール	
	FA	RA	FA	RA
Cayman	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)
Cayman S、Cayman GTS	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)	2.2 bar (31 psi)

FA=フロント・アクスル、RA=リヤ・アクスル

270km/hの速度までに対応するサマー・タイヤのコンフォート・タイヤ空気圧（20インチ・ホイール、タイヤ空気圧モニタリング(TPM)、「コンフォート」メニュー装備車両のみ）

コンフォート・タイヤ空気圧を使用するための条件

– 20インチ・ホイール
– タイヤ空気圧モニタリング(TPM)を装備している
– TPMの「**コンフォート**」メニューが使用可能である

手順

マルチファンクション・ディスプレイおよびタイヤ空気圧モニタリング(TPM)の使用とタイヤ空気圧タイプに関するインフォメーション：

▷「マルチファンクション・ディスプレイの操作」（76ページ）を参照してください。
▷「タイヤ空気圧メニュー（タイヤ空気圧モニタリング、TPM）」（86ページ）を参照してください。

1. マルチファンクション・ディスプレイでメイン・メニュー「**タイヤ空気圧**」を選択し、決定してください。

2.「**コンフォート**」を選択し、決定してください。

マルチファンクション・ディスプレイで、メイン・メニュー「**タイヤ空気圧**」および「**コンフォート**」メニューが利用可能な場合にのみ、タイヤにコンフォート・プレッシャーを設定することができます。

コンフォート・プレッシャーをタイヤに設定するには：

3. マルチファンクション・ディスプレイでメイン・メニュー「**タイヤ空気圧**」を選択し、決定してください。

4.「**充填情報**」メニューを選択し、決定してください。

インフォメーション

タイヤ空気圧を補正するときは、「**充填情報**」ディスプレイに表示される空気圧の差のみを使用してください。

5. 補正すべきタイヤ空気圧をディスプレイから読み取り、規定圧力をタイヤに設定してください。

警告 タイヤ空気圧の不足

タイヤ空気圧モニタリング(TPM)は装備によって、「**コンフォート**」選択は国によって異なるため、すべての国別仕様で使用可能ではありません。

タイヤ空気圧が低い状態で高速走行すると、タイヤが破損します。

▷ タイヤ空気圧モニタリング(TPM)**装備車で**「**コンフォート**」を選択した車両のタイヤにのみコンフォート・タイヤ空気圧を設定してください。

	20インチ・ホイール	
	FA	RA
Cayman	2.1 bar (30 psi)	2.1 bar (30 psi)
Cayman S、Cayman GTS	2.1 bar (30 psi)	2.1 bar (30 psi)

FA=フロント・アクスル、RA=リヤ・アクスル

重量（メーカー発表値）

	Cayman	Cayman	Cayman S	Cayman S
	マニュアル・トランスミッション	PDKトランスミッション	マニュアル・トランスミッション	PDKトランスミッション
空車重量（装備により異なります）：				
DIN 70020規格	1,330 kg～1,400 kg	1,360 kg～1,430 kg	1,340 kg～1,410 kg	1,370 kg～1,440 kg
70/156/EEC規格 [1]	1,405 kg～1,475 kg	1,435 kg～1,505 kg	1,415 kg～1,485 kg	1,445 kg～1,515 kg
最大軸荷重、フロント [2]	780 kg	780 kg	785 kg	785 kg
最大軸荷重、リヤ [2]	905 kg	945 kg	905 kg	945 kg
総重量 [2]	1,655 kg	1,685 kg	1,665 kg	1,695 kg

	Cayman GTS	Cayman GTS
	マニュアル・トランスミッション	PDKトランスミッション
空車重量（装備により異なります）：		
DIN 70020規格	1,345 kg～1,410 kg	1,375 kg～1,440 kg
70/156/EEC規格 [1]	1,420 kg～1,485 kg	1,450 kg～1,515 kg
最大軸荷重、フロント [2]	785 kg	785 kg
最大軸荷重、リヤ [2]	905 kg	945 kg
総重量 [2]	1,665 kg	1,695 kg

1) 車両重量には運転者1名+荷物分(75kg)の重量が含まれています。

2) 最大総重量および最大軸荷重を超えないようにしてください。
知識：追加アクセサリーなどが装備されている場合は、それに応じて積載重量が減少します。

充填容量

ポルシェ社が承認したフルード、燃料のみを使用してください。詳しくはポルシェ正規販売店にお問い合わせください。

エンジン・オイル交換（フィルターを含む）	約7.5リットル
燃料タンク	約64リットル（予備用約10リットルを含む）
燃料のオクタン価	この車両のエンジンは、**EN228に基づき、金属系添加物を含まない、オクタン価が98RON/88MONの無鉛プレミアム・ガソリン**を使用したときに、最高の性能と燃費を達成するように設計されています。 この車両のエンジンはエタノール含有量10％以下の燃料の使用に対応しています。エタノール含有燃料を使用すると、燃費が悪化することがあります。 オクタン価が**95RON/85MON以上**の金属系添加物を含まない無鉛ガソリンを使用した場合、エンジンのノッキング・コントロール・システムが自動的に点火時期を調整します。 金属系添加物を含まない95RON/85MON以下の無鉛ガソリンを使用すると、エンジン出力が低下し、燃費が悪化することがあります。 ▷ このような燃料を使用した場合はアクセル・ペダルを全開にしないでください。
フロント・ウィンドウ/ヘッドライト・ウォッシャー・システム	約6リットル

動力性能（メーカー発表値）

DIN規定の空車重量で計測しています。なお動力性能を損なう付加装置（特殊タイヤなど）は使用していません。

	最高速度	0～100km/h発進加速（括弧内の数値は「スポーツ・プラス」モード）
Cayman マニュアル・トランスミッション	266 km/h	5.7 秒
Cayman PDKトランスミッション	264 km/h	5.6 (5.4) 秒
Cayman S マニュアル・トランスミッション	283 km/h	5.0 秒
Cayman S PDKトランスミッション	281 km/h	4.9 (4.7) 秒
Cayman GTS マニュアル・トランスミッション	285 km/h	4.9 秒
Cayman GTS PDK トランスミッション	283 km/h	4.8 (4.6) 秒

車両寸法（メーカー発表値）

	Cayman、Cayman S	Cayman GTS
全長	4,380 mm	4,404 mm
ドア・ミラーを含まない全幅	1,801 mm	1,801 mm
ドア・ミラーを含む全幅	1,978 mm	1,978 mm
DIN規格空車重量での車高	1,295 mm	1,284 mm
ホイールベース	2,475 mm	2,475 mm
最大積載時の地上高	94 mm～111 mm（シャーシ・バージョンによる）	96 mm～110 mm（シャーシ・バージョンによる）
最小回転直径	11 m	11 m

数字

2ゾーン・オート・エアコン 51

A

A/C MAXボタン
エアコン・システム 49, 53
A/Cボタン
エアコン・システム 48, 52
ABD（オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル）
機能説明 161
ABS（アンチロック・ブレーキ・システム）
インストルメント・パネルの警告灯 164
機能説明 163
ACC
アダプティブ・クルーズ・コントロール 135
ASR（アンチ・スリップ・コントロール）
機能説明 161
AUTO（ライト・スイッチ） 61
ドライビング・ライト・アシスタント 61
AUXインターフェース、取り付け位置 149

C

CDR
ラジオ 149

E

ETC 149

G

G-Forceディスプレイ 95

H

HOLD機能
機能説明 162

I

iPodインターフェース、取り付け位置 149
ISOFIXシステム
助手席エアバッグのON/OFF 38
推奨するチャイルド・シート 34, 35
チャイルド・シートの規定の取り付け方向 32

M

MFSボタンの割り当て 106

P

PADM、ダイナミック・エンジン・マウント 166
PASM（ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント）
概要 159
機能説明 164
シャーシ設定の選択 165
マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ 165
PCCB（ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ）
一般的なインフォメーション 133
PCM（ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント）、インフォメーション 149
PDK
惰性走行モード 154
PDKセレクター・レバー
緊急解除 236
PDKセレクター・レバーの緊急解除 236
PDKトランスミッション 151, 152
キックダウン 156
故障 153
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 155
スポーツ・モード 155
セレクター・レバー・ポジション 153
走行制限プログラム 158
Porsche Doppelkupplung(PDK) 151
キックダウン 156
故障 153
ステアリング・ホイールでのギヤ・シフト 155
スポーツ・モード 155
セレクター・レバー・ポジション 152
走行制限プログラム 158
惰性 151, 154
惰性走行モード 154
ローンチ・コントロール 155
PSM（ポルシェ・スタビリティ・マネージメント）
OFFにする 161
ONにする 161
概要 159
機能説明 160
タコメーターのマルチファンクション・ライト 162
マルチファンクション・ディスプレイの警告灯 225
PTV（ポルシェ・トルク・ベクトリング）
概要 159

T

TPM（タイヤ空気圧モニタリング） 86

U

USBインターフェース、取り付け位置 149

あ

アームレスト
小物入れ（フロント）、開く 171
アシスタンス・システム
Porsche Active Safe （ポルシェ・アクティブ・セーフ）の設定 107
アダプティブ・クルーズ・コントロール(ACC) 135
ON/OFF 139
機能説明 135
クルーズ・コントロールの中断/再開 142
車間距離の設定 140
操作ステータス 139
操作方法 137
速度の設定/設定速度の変更 139
表示方法 138
ポルシェ・アクティブ・セーフ 145
レーダー・センサー 136
例外 143
アダプティブ・ライト・システム、ドライビング・ライト・アシスタント 61
圧力
タイヤ(bar/psi) 244
アルカンターラ、お手入れの諸注意 202
アルミニウム・リム
お手入れの諸注意 200
記号 212
安全に関する知識
警告ラベル 2
アンダーコーティング、お手入れの諸注意 200
アンチ・スリップ・コントロール(ASR)
機能説明 161
アンチロック・ブレーキ・システム(ABS)
機能説明 163
アンビエント・ライト 66

い
イージー・エントリー機能 27
イグニッション・ロック
　イグニッション・キーの取り外し、
　PDKトランスミッション 153
　キーの緊急操作 19
　機能説明 126
イモビライザー
　ON/OFF 189
　機能説明 189
インストルメント・クラスター
　オドメーター（積算距離計） 73
　警告灯およびインジケーター・ライト、概要 ... 72
　水温計 97
　スピードメーター 73
　タコメーター（回転計） 73
　燃料計 74
　油温計 97
　ライト調節 64
インストルメント・パネル
　オドメーター（積算距離計） 73
　警告灯およびインジケーター・ライト、概要 ... 72
　水温計 97
　スピードメーター 73
　タコメーター（回転計） 73
　燃料計 74
　油温計 97
　ライト調節 64
インテリア・ライト
　アンビエント・ライト 66
　オリエンテーション・ライト 66
　ルーム・ライト 66
インフォメーションを知らせるメッセージ
　概要 108

う
ウインター・タイヤ
　一般的なインフォメーション 210
　タイヤ交換 213
　保管 208
ウィンドウ
　お手入れの諸注意 200
　キーによる開閉（リモート・コントロール） 59
　スイッチによる開閉 58
　停止位置の保存 59
　ドア・ハンドルのボタンで閉じる
　（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車） 59
　バッテリー接続後の調節 59
ウェルカム・ホーム機能
　ONにする 62
ウォッシャー・フルード
　充填容量 247
ウォッシャー液
　不凍液 194
　補充 194
運転
　サーキットで 125
　スポーツ・モード 125
運転席
　オドメーター（積算距離計） 73
　警告灯およびインジケーター・ライト、概要 72
　水温計 97
　スピードメーター 73
　タコメーター（回転計） 73
　燃料計 74
　油温計 97
　ライト調節 64
運転席メモリー 121
運転中の装備の設定および操作 125
運搬（カー・トレイン、フェリーなど）
　傾斜センサー＊をOFFにする 188
運搬（鉄道、船舶など）
　車両の固定 237

え
エア・クリーナー、メンテナンス上の諸注意 207
エア・ベント
　開閉操作 55
　調節 55
エアコン
　（2ゾーン・エアコン） 51
　A/C MAXモードのON/OFF 53
　送風口を切り替える 51, 55
　送風量の設定 50
　内気循環モードのON/OFF 50, 53
　フロント・ウィンドウ・デフロスター 49, 53
　マニュアル・エアコン 48
エアコン・コンプレッサー
　エアコン・コンプレッサーに関するイン
　フォメーション 48, 52
エアコン・システム
　A/C MAXモードのON/OFF 49
　A/CモードのON/OFF 48, 52
　エアコン・コンプレッサーに関するイン
　フォメーション 48, 52
　エアコン・コンプレッサーのON/OFF 48, 52
　温度センサー 51
　温度の設定 50, 54
　間接ベンチレーション・パネル 55
　自動内気循環モードの設定 54
　送風量の設定 54
　バッテリー電圧低下時の自動OFF 48, 52
エアバッグ
　安全に関する注意事項 30
　お手入れの諸注意 202
　機能説明 31
　助手席エアバッグOFF警告灯 39
　助手席エアバッグのON/OFF 38
　タコメーターのエアバッグ警告灯 31
　取り付け位置 31
　廃棄 31
エアバッグ警告ラベル 33
エキゾースト・システム
　スポーツ 168
エマージェンシー・キー 21
エミッション・コントロール・システム 195
エミッション・コントロール（チェック・エンジン）
　機能説明 75
エミッション値 242
エラー・メッセージ
　概要 108
エレクトリック・パーキング・ブレーキ
　解除する 131
　緊急ブレーキ機能 131
　警告灯 131
　操作 131
　発進時のパーキング・ブレーキ自動解除 131
　ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 191
エンジン
　エンジンの自動始動（オート・スタート/
　ストップ機能） 129
　オイル・レベル・ゲージ 81
　オイル・レベルの点検 192
　オイルの補充 193
　始動 128
　自動始動（オート・スタート/ストップ
　機能） 129
　自動停止（オート・スタート/ストップ
　機能） 129
　手動始動（オート・スタート/ストップ
　機能） 129
　停止 128
　テクニカル・データ 242
　慣らし運転の知識 124
　冷却システム 97
エンジン・オイル
　圧力計 98
　一般的なインフォメーション 193
　エンジン油圧 108
　温度計 97
　給油口 193
　交換量 247

＊ 日本仕様に設定はありません。

消費量 242
マルチファンクション・ディスプレイでの
オイル・レベルの警告 192
エンジン・ドラッグ・トルク・コントロール(MSR)
機能説明 161
エンジン許容最高回転数
マニュアル・トランスミッション 151
エントリー&ドライブ
作動待機のOFF 18
室内モニタリング・システムをOFFにする
(ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車) 188
ポルシェ・エントリー&ドライブによるドア・
ロックの解除 12
ポルシェ・エントリー&ドライブによるドアの
ロック 14
アンテナの位置 22
エントリー機能、乗車時のカーテシー・ライトの
点灯 62

お

オーディオ・インターフェース、取り付け位置 149
オート・スタート/ストップ機能
ON/OFF 130
エンジンの自動始動 129
エンジンの自動停止 129
作動条件 129
操作方法 129
ディスプレイ 130
例外 129
オートマチック・カミング・ホーム・ライト、
カーテシー・ライト
ウェルカム・ホーム機能 62
エントリー機能 62
オートマチック・スピード・コントロール
(クルーズ・コントロール)
OFFにする 135
ONにする 134
加速 134
機能説明 134
減速 134
速度の設定 134
中断操作 135
オートマチック・トランスミッション 151
オートマチック・ブレーキ・ディファレンシャル
(ABD)
機能説明 161
オイル
圧力計、油圧 98
一般的なインフォメーション 193
温度計 97
交換量 247
補充 193
マルチファンクション・ディスプレイでの
オイル・レベルの警告 192
油圧 108
レベル・ゲージ 81
レベルの点検 81, 192
応急処置セット＊ 175
オクタン価、燃料 196
お手入れ
アルカンターラ 202
アンダーコーティング 200
ウィンドウ 200
エアバッグ 202
革製品 201
軽合金製ホイール 200
高圧洗浄機の使用 198
シートベルト 202
シール 201
車両の長期保管 202
洗車、諸注意 198
知識 198
塗装 199
ファブリック・ライニング 202
ヘッドライト、プラスチック部品、
接着フィルム 200
ホイール・ボルト 215
ホイール取り付け面 214
お手入れの諸注意
アルカンターラ 202
アンダーコーティング 200
ウィンドウ 200
エアバッグ 202
カーペット 201
革製品 201
軽合金製ホイール 200
高圧洗浄機の使用 198
シートベルト 202
シール 201
車両の長期保管 202
洗車 198
超音波センサー、パーキング・アシス
タント 200
塗装 199
ファブリック・ライニング 202
ヘッドライト、プラスチック部品、
接着フィルム 200
ホイール・ボルト 215
ホイール取り付け面 214
マット 201
リバース・カメラ 200
レーダー・センサー 200
お出かけの前の点検 124
オドメーター(積算距離計)
表示 73
リセット 73
オリエンテーション・ライト 66
オルタネーター
車両エレクトリカル・システムの警告 74
温度の設定
エアコン・システム 50, 54
オンボード・コンピューター
オイル・レベルの測定 81
操作方法 76
タイヤ空気圧モニタリング 86
パーソナル設定の保存と呼び出し 121
マルチファンクション・ディスプレイ 76
メニュー概要 79

か

カーテシー・ライト、エントリー機能 62
カーペット、お手入れの諸注意 201
海外旅行 126
外部オーディオ・ソース、インターフェース 149
開閉操作とロック
概要 10
キーを使用する 11
キーによるドア・ロックの解除(リモート・
コントロール) 12
車内からのドアの開閉操作とロック 14
車両のロックが解除できない 17
トランク・ルーム 15
パーソナル設定の保存/呼び出し 121
ポルシェ・エントリー&ドライブ装備車 11
ポルシェ・エントリー&ドライブによるドア・
ロックの解除 12
ポルシェ・エントリー&ドライブによるドア
のロック 14
概要
車外からの開閉操作とロック 10
フロント・ワイパー 67
カウンター・ステアリング・アシスタンス 161
格納式リヤ・スポイラー
操作方法 169
カップ・ホルダー 172
ガレージ・ドア・オープナー＊
機能説明 183
操作 184
プログラミングした信号の消去 184
プログラミング信号(可変コード式
システム) 185
プログラミング信号(固定コード式
システム) 185
革、お手入れの諸注意 201

＊ 日本仕様に設定はありません。

き

キー
エマージェンシー・キーを取り外す 21
緊急操作、イグニッション・ロック 19
スペア・キー 22
ドアのロック 13
ドアのロック解除 12
パーソナル設定の保存と呼び出し 121
バッテリーの交換 227
キー（リモート・コントロール）
イグニッション・ロック内のキー/コントロール・ユニットの緊急操作 19
ウィンドウの開閉（ポルシェ・エントリー＆ドライブ非装備車） 59
ドアのロック 13
ドアのロック解除 12
バッテリーの交換 227
キー（リモート・コントロール）の電池交換 227
キックダウン
Porsche Doppelkupplung(PDK) 156
ギヤ・ポジション・ディスプレイ
PDKトランスミッション/マニュアル・トランスミッション 74
マニュアル・トランスミッション 151
ギヤシフト
ギヤシフト・アシスト 94
マニュアル・トランスミッション 150
ギヤシフト・アシスト 94
給油 197
緊急解除
リッド 222
緊急操作
イグニッション・ロック内のイグニッション・キー/コントロール・ユニット 19
トランク・リッド 17
フィラー・フラップ（燃料給油口カバー） 197

く

クーラント（冷却水）
補充 205
レベルの点検 205
クラッチ
マニュアル・トランスミッション 150
クルーズ・コントロール
OFFにする 135
ONにする 134
加速 134
機能説明 134
減速 134
速度の設定 134
中断操作 135
車台番号、位置 241
グローブ・ボックス
開く 171
ロックする 171
クロノメーター 92

け

計器照明 64
軽合金製ホイール
お手入れの諸注意 200
記号 212
警告音 75
警告メッセージ
概要 108
タイヤ空気圧 91
警告ラベル 2
傾斜センサー＊
キーによるOFF（リモート・コントロール） 188
機能表示 188
ドア・ハンドルのボタンでOFFにする（ポルシェ・エントリー＆ドライブ） 188
軽修理
けん引 234
けん引による始動 234
知識 204
パンクしたとき 216
警報システム
OFFにする 188
ONにする 188
機能説明 188
警報システムの誤作動を回避するために 189
警報をOFFにする 188
室内モニタリング・システムおよび傾斜センサー＊をOFFにする 188
ロックした車両に残る人/動物 188
減光
インストルメント・ライトの明るさ調節 64
インテリア・ライトの明るさ調節 66
けん引
一般的なインフォメーション 234
けん引バー 234
けん引フックのねじ込み 236
けん引ロープ 234
けん引による始動、バッテリー上がりなど 234
けん引フック
工具セット内 176
けん引防止（傾斜センサー＊）
キーによるOFF（リモート・コントロール） 188
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車でOFFにする 188

こ

コーナリング・ライト
ダイナミック 62
高圧洗浄機
取扱説明書 198
工具 176
工具セット 176
交通標識表示 147
国外での走行 126
故障
イグニッション・ロック内のイグニッション・キー/コントロール・ユニットの緊急操作 19
イグニッション・ロック内のイグニッション・キーの緊急操作 19
ウィンドウ停止位置の保存 59
開閉操作時 17
緊急時のフィラー・フラップの操作 197
トランク・リッドの緊急操作 17
パーキング・アシスタント 182
パワー・ウィンドウ 59
故障診断用ソケット 219
知識 126
故障の表示
概要 108
小物入れ
グローブ・ボックス 171
シート後方 172
収納 171
フロント・アームレスト、開く 171
コントロール・システム
概説（PSM、PASM、PTV） 159
コンフォート・タイヤ・プレッシャー
車速警告 89
コンフォート・タイヤ空気圧
テクニカル・データ 245
コンフォート・プレッシャー
車速警告 89
選択 89
コンフォート・メモリー 121
コンフォート設定
キーへの保存 121
メモリー・ボタンへの保存 121
コンプレッサー
タイヤ空気圧 176

さ

サーキット 125
サマー・タイヤ
タイヤ交換 213
保管 208
サンバイザー 46

＊ 日本仕様に設定はありません。

し

シート
シート位置の調節 ...25
シート位置の保存/呼び出し ...121
推奨するチャイルド・シート ...34, 35
チャイルド・シート・システム ...32
フロント・シート位置の調節 ...25
ベビー・シート、ベビー・キャリア ...38
シート・バックレストを前方へ倒す ...26
シート・ヒーター
OFFにする ...27
ONにする ...27
シート・ベンチレーター ...28
OFFにする ...28
ONにする ...28
シート・メモリー ...121
シート位置の調節 ...25
シートベルト
お手入れの諸注意 ...202
シートベルト・プリテンショナーの機能説明 ...29
シートベルトを外す ...30
タコメーターの警告灯 ...29
知識 ...28
着用 ...29
シートベルト・プリテンショナー
機能説明 ...29
シール、車両のお手入れ ...201
シガー・ライター ...174
時刻の設定 ...103
室内防塵用フィルター、メンテナンス上の諸注意 ...207
室内モニタリング・システム ...188
キーによるOFF（リモート・コントロール）...188
ドア・ハンドルのボタンでOFFにする
（ポルシェ・エントリー＆ドライブ）...188
始動
エンジン ...128
エンジンの自動始動（オート・スタート/
ストップ機能）...129
自動車電話および無線装置、インフォメーション ...149
自動内気循環モードの設定
エアコン・システム ...54
自動防眩機能のON/OFF ...43
シフト・ギヤ
Porsche Doppelkupplung(PDK) ...151
シフトアップ・インジケーター ...73
シフトアップ・インジケーター ...73
シャーシ・コントロール・システム
概説（PSM、PASM、PTV）...159
シャーシ設定
機能説明 ...164
選択 ...165
シャーシ番号、位置 ...241
車幅灯
点灯する ...61
車両情報
マルチファンクション・ディスプレイの
呼び出し ...80
車両寸法（メーカー発表値）...248
車両設定
Porsche Active Safe（ポルシェ・アクティブ・
セーフ）の設定 ...107
エアコン設定 ...102
キーへの保存 ...121
警告/インフォメーション音量を設定する ...106
言語設定 ...105
工場出荷時の設定に戻す ...95
設定メニューの選択 ...95
単位の設定 ...105
パーソナル・ボタンへの保存 ...121
日付と時刻の設定 ...103
マルチファンクション・ステアリング・
ホイールのボタンの割り当て変更 ...106
マルチファンクション・ディスプレイの調節 ...95
マルチファンクション・ディスプレイの変更 ...96
ライト/視界の設定 ...99
ロックの設定 ...101
車両データ ...241
車両ドア
開閉操作時の故障 ...17
キーによるロック解除（リモート・コント
ロール）...12
キーよるロック（リモート・コントロール）...13
車内からのロック ...14
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック
（キーレス操作）...14
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるロック
解除（キーレス操作）...12
車両の技術的な仕様変更に関するインフォメー
ション ...124
車両を持ち上げる
リフティング・プラットフォーム、トロリー・
ジャッキ、または標準ジャッキによる ...212
ジャンパー・ケーブルによる始動、外部電源 ...226
充填容量
ウォッシャー・フルード ...247
エンジン・オイル ...247
概要 ...247
クーラント（冷却水）...247
燃料 ...247
フルードおよび燃料の概要 ...247
収納
収納オプション ...171
収納スペース
グローブ・ボックス ...171
シート後方の小物入れ ...172
フロント・アームレストの小物入れを開く ...171
重量、テクニカル・データ ...246
消火器＊の収納位置 ...237
触媒コンバーター ...195
エミッション・コントロール（チェック・
エンジン）...75
助手席エアバッグ
ON/OFF ...38
オーバーヘッド・コンソールの警告灯 ...39
助手席エアバッグOFF
オーバーヘッド・コンソールの警告灯 ...39
助手席ミラー
格納する ...42
調節 ...41
パーキング・エイドの調節 ...42

す

スタート/ストップ機能 ...129
スチーム・ジェット・クリーナー、取扱説明書 ...198
ステアリング ...207
カウンター・ステアリング・アシスタンス ...161
ステアリング・コラム・ロック ...189
ステアリング・トルク・パルス ...161
ステアリング・ホイール
イージー・エントリー機能のON/OFF ...27
ステアリング・ロック ...126
調節 ...44
電話機能付きマルチファンクション・
ステアリング・ホイール ...46
ヒーターのON/OFF ...44
マルチファンクション・ステアリング・
ホイールの機能説明 ...45
ステンレス・テール・パイプ ...126
お手入れの諸注意 ...201
ストップウォッチ ...92
スノー・チェーン
一般的なインフォメーション ...210
スピード・コントロール（クルーズ・コントロール）
OFFにする ...135
ONにする ...134
加速 ...134
機能説明 ...134
減速 ...134
速度の設定 ...134
中断操作 ...135

＊ 日本仕様に設定はありません。

スピードメーター 73
スペーサー＊
一般的なインフォメーション 217
スノー・チェーンを使用するとき 211
取り外し 218
スペア・キー 22
スポーツ・エキゾースト・システム 168
スポーツ・クロノ 92
スポーツ・モード 125
ON/OFF 166
Porsche Doppelkupplung(PDK) 155

せ

セーフロック 13
制限速度表示 147
制限速度表示＊
制限速度の表示＊ 148
性能、テクニカル・データ 242
接着フィルム、お手入れの諸注意 200
設定
キーへの保存 121
車両ドアを開いたときに呼び出す 122
設定変更の理由 122
パーソナル設定の保存 121
マルチファンクション・ディスプレイの調節 ... 95
セレクター・レバー位置表示、PDKトランスミッション 152
洗車、諸注意 198
センター・アームレスト
小物入れ（フロント）、開く 171
セントラル・ロッキング 14
キーによるドア・ロックの解除（リモート・コントロール） 12
車内からのドアの開閉操作とロック 14
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドア・ロックの解除 12
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 14
セントラル・ロッキング・システム
機能説明 22

そ

走行距離の表示 85
走行時間の表示 85
走行制限プログラム、PDK 158
送風口 51, 55
送風量の設定
エアコン・システム 50, 54
ソケット(12V) 174

た

ダイナミック・エンジン・マウント(PADM) 166
ダイナミック・コーナリング・ライト 62
タイヤ
新しいタイヤの慣らし運転 124
一般的なインフォメーション 207
ウインター・タイヤ（一般的なインフォメーション） 210
交換 213
シーラント 216
種類とサイズの設定 88
スノー・チェーン（一般的なインフォメーション） 210
タイヤ空気圧、データ(bar/psi) 244
タイヤ空気圧プレート 241
タイヤ交換（一般的なインフォメーション） ... 209
パンク修理 216
保管 208
ラジアル・タイヤの見方 211
タイヤ・シーラント/パンク修理剤 216
タイヤ・バルブ 210
タイヤ空気圧
空気圧(bar/psi) 244
警告 90
現在の設定 87
コンフォート・プレッシャー 89
コンフォート・プレッシャー車速警告 89
システムの登録 89
車速警告 91
タイヤ空気圧プレート 241
データ(bar/psi) 244
補充情報 87
タイヤ空気圧プレート 241
タイヤ空気圧モニタリング(TPM) 86
タイヤ交換 213
タイヤ充填コンプレッサー 176
タイヤ修理用シーラント/シール・セット 216
タイヤの速度記号 211
タコメーター（回転計）
ディスプレイ 73
惰性 154
惰性走行モード 130, 154
縦方向の加速度
ディスプレイ 95

ち

チェック・エンジン（エミッション・コントロール）
機能説明 75
警告灯 75
遅延消灯
ONにする 62
地上高 125
チャイルド・シート
ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け 40
規定の取り付け方向 32
助手席エアバッグのON/OFF 38
推奨するチャイルド・シート 34, 35
チャイルド・シート・システム
ISOFIXチャイルド・シート・システムの取り付け 40
規定の取り付け方向 32
助手席エアバッグのON/OFF 38
推奨するチャイルド・シート 34
駐車
PDKトランスミッション 152
機能説明、パーキング・アシスタント 180
パーキング・アシスタント用センサー 180
パーキング・ブレーキを作動させる 131
超音波センサー、パーキング・アシスタント 180

て

データ・バンク 241
テール・パイプ 126
ステンレス、お手入れの諸注意 201
停止
エンジン 128
エンジンの自動停止（オート・スタート/ストップ機能） 129
停止制御
機能説明 162
停止表示板＊ 175
デイタイム・ドライビング・ライト＊ 61
テクニカル・データ
エンジン 242
重量（メーカー発表値） 246
タイヤ、ホイール 243
タイヤ空気圧(bar/psi) 244
動力性能（メーカー発表値） 248
燃料消費量 242
デジタル・スピードメーター 73
テスト・スタンド
ブレーキ・テスト 191
電気系統
知識 219
非常時ロック解除、トランク・リッド 222
電話
一般的なインフォメーション 149
電話＊
マルチファンクション・ディスプレイからの使用 83

＊ 日本仕様に設定はありません。

と

ドア
　開閉操作時の故障 ... 17
　キーによるロック解除（リモート・コントロール） ... 12
　キーによるロック（リモート・コントロール） ... 13
　車内からの開閉操作とロック ... 14
　ドア・ロックの解氷 ... 198
　ポルシェ・エントリー &ドライブによるロック（キーレス操作） ... 14
　ポルシェ・エントリー &ドライブによるロック解除（キーレス操作） ... 12
ドア・ポケット ... 15
ドア・ミラー
　格納する ... 42
　設定の保存（メモリー機能） ... 42
　調節 ... 41
　パーキング・エイドの調節 ... 42
ドア・ミラー・ヒーター
　ON/OFF ... 56
ドアのロック ... 13
冬季の走行 ... 224
盗難防止ホイール・ボルト
　収納 ... 176
盗難防止ホイール・ボルト用ソケット・レンチ
　使用 ... 215
盗難を防止するために ... 189
動力性能、テクニカル・データ ... 248
閉じる
　車両ドアとポルシェ・エントリー &ドライブ（キーレス操作） ... 14
　車両に残る人/動物 ... 13
塗装
　お手入れの諸注意 ... 199
　傷の補修 ... 199
　つや出し（ポリッシュ） ... 199
　保護する ... 199
　汚れ、染みの除去 ... 199
ドライビング・ライト・アシスタント
　ダイナミック・コーナリング・ライト ... 62
　デイタイム・ドライビング・ライト＊ ... 61
　点灯する ... 61
　ロー・ビーム ... 61
トランク・リッドを閉じる ... 16
トランク・ルーム
　開閉操作とロック ... 15
　概要 ... 175, 177
　非常時ロック解除 ... 222
トランスミッション
　Porsche Doppelkupplung(PDK) ... 151
　マニュアル・トランスミッション ... 150
トランスミッションおよびシャーシ・コントロール・システム
　概説（PSM、PASM、PTV） ... 159
トリップ・メーター
　ディスプレイ ... 73
　リセット ... 73
トリップ情報 ... 85
ドリンク・ホルダー ... 172
トルク、テクニカル・データ ... 242

な

内気循環ボタン
　エアコン ... 50, 53
内気循環モードをONにする
　エアコン・システム ... 50, 53
ナビゲーション・システム
　マルチファンクション・ディスプレイからの使用 ... 84
慣らし運転
　新しいタイヤ ... 124
　新しいブレーキ・パッド ... 124
　オイル消費量/燃費 ... 124
　慣らし運転の知識 ... 124

に

人間工学に基づいた設定
　キーへの保存 ... 121
　メモリー・ボタンへの保存 ... 121

ね

燃料
　オクタン価 ... 196
　給油 ... 196
　消費量 ... 242
　燃料計 ... 74
　燃料残量警告灯 ... 74
　燃料タンクの容量 ... 247
　品質 ... 196
　予備燃料タンク ... 195
燃料計 ... 74
燃料計の表示変更 ... 98
燃料残量での走行可能距離 ... 98

の

上り坂での発進アシスタンス
　機能説明 ... 162

は

パーキング・アシスタント
　OFFにする ... 182
　機能説明 ... 180
　センサー ... 180
パーキング・エイド
　ドア・ミラー下向き自動切り替え ... 42
　パーキング・アシスタント用センサー ... 180
パーキング・ブレーキ
　解除する ... 131
　操作 ... 131
　発進時のパーキング・ブレーキ自動解除 ... 131
　ブレーキ・テスト・スタンドでの測定 ... 191
パーキング・ブレーキ（エレクトリック・パーキング・ブレーキ）
　解除する ... 131
　操作 ... 131
パーキング・ライトの点灯 ... 65
ハイ・ビーム・ヘッドライト ... 64
　操作レバー ... 64
排気量、テクニカル・データ ... 242
灰皿
　掃除する ... 173
　開く ... 173
バケット・シート ... 26
ハザード・ライトのON/OFF ... 65
発進
　上り坂での発進アシスタンス ... 162
　発進時のパーキング・ブレーキ自動解除 ... 131
　ローンチ・コントロール ... 155
発進アシスタント ... 162
発炎筒 ... 238
バッテリー
　一般的なインフォメーション ... 223
　お手入れ ... 224
　キーの交換 ... 227
　交換 ... 225
　車両エレクトリカル・システムの警告 ... 74
　ジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動 ... 226
　充電 ... 227
　接続後の作業 ... 225
　冬季の走行 ... 224
　取り付け位置 ... 223
　バッテリーの注意事項 ... 224
バッテリー上がり時のジャンパー・ケーブルによるエンジンの始動 ... 226
バニティー・ミラー ... 46
バルブ
　概要 ... 228
　交換 ... 228
パワー・ウィンドウ
　運転席ドア・コントロール・パネルの概要 ... 58
　キーによるウィンドウの開閉（リモート・コントロール） ... 59

＊ 日本仕様に設定はありません。

キーによる開閉（リモート・コントロール）..... 59
故障 59
助手席ドア・コントロール・パネルの概要 58
スイッチによるウィンドウの開閉 58
停止位置の保存 59
ドア・ハンドルのボタンでウィンドウを閉じる（ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車）..... 59
バッテリー接続後の調節 59
パワー・ウィンドウ停止位置の保存 59
パワー・ステアリング 207
パンクしたとき 216
汎用（ユニバーサル）オーディオ・インターフェース、取り付け位置 149

ひ

ビークル・プレート＊、位置 241
左側通行（ヘッドライトの切り替え）..... 233
日付の設定 103
ヒューズ、ヒューズの交換 219
ヒルホルダー（発進アシスタント）
機能説明 162

ふ

ファブリック・ライニング（お手入れの諸注意）..... 202
ファン設定
エアコン・システム 50, 54
フィラー・フラップ、緊急操作 197
フィルター
エア・クリーナー、メンテナンス上の諸注意 207
室内防塵用フィルター、メンテナンス上の諸注意 207
フット・ブレーキ
安全に関する知識 132
警告メッセージ（ブレーキ摩耗）..... 133
不凍液
ウォッシャー液の割合 194
クーラントの割合 206
プラスチック部品、お手入れの諸注意 200
フルードおよび燃料
ウォッシャー・フルード 247
エンジン・オイル 247
クーラント（冷却水）..... 247
燃料 247
ブレーキ
新しいパッドの慣らし運転 124
警告メッセージ（ブレーキ摩耗）..... 133
テスト・スタンド 191
パーキング・ブレーキの作動/解除 131
フット・ブレーキ 132
ブレーキ・パッドの警告メッセージ 133
ブレーキ・ディスク 125
ブレーキ・パッド 125
新しいブレーキ・パッドの慣らし運転 124
警告メッセージ（ブレーキ）..... 133
ブレーキ・フルード 125
交換 206
スピード・メーター警告灯 206
フロア・マット、お手入れの諸注意 201
フロント・ウィンドウ・ウォッシャー・システム
ウォッシャー液の補充 194
充填容量 247
不凍液 194
フロント・ウィンドウ・デフロスター 49, 53
エアコン 49, 53
フロント・シート
シート位置の調節 25
調節 25
フロント・ワイパー
お手入れの諸注意 200
概要 67
操作レバー 68
フロント・ワイパー、1回作動（ワンタッチ操作）..... 68
フロント・ワイパー、高速作動 68
フロント・ワイパー、低速作動 68
フロント・ワイパー /ウォッシャー・システム 68
リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする 70
レイン・センサー感度の調節 69
レイン・センサーの調節 69
レイン・センサーをONにする 68
フロント・ワイパー /ウォッシャー・レバー
フロント・ワイパー、1回作動（ワンタッチ操作）..... 68
フロント・ワイパー、高速作動 68
フロント・ワイパー、低速作動 68
フロント・ワイパー /ウォッシャー・システム 68
リヤ・ワイパーの間欠作動をONにする 70
レイン・センサーの調節 69
レイン・センサーをONにする 68

へ

平均車速の表示 85
平均燃費の表示 85
ヘッドライト
ウォッシャー・システムの操作 69
お手入れの諸注意 200
知識 229
調整 232
取り付け 229
取り外し 229
左側/右側通行の切り替え 233
ベビー・シート 38
規定の取り付け方向 32
助手席エアバッグのON/OFF 38
推奨するチャイルド・シート 34, 35

ほ

ホームリンク（ガレージ・ドア・オープナー）＊
機能説明 183
操作 184
プログラミングした信号の消去 184
プログラミング信号（可変コード式システム）..... 185
プログラミング信号（固定コード式システム）..... 185
ホーン 5
ホイール
一般的なインフォメーション 207
ウインター・タイヤ（一般的なインフォメーション）..... 210
概要 243
軽合金製ホイールの記号 212
交換 213
サイズ 243
スノー・チェーン（一般的なインフォメーション）..... 210
タイヤ・シーラント 216
タイヤ・バルブ 210
タイヤ空気圧、データ(bar/psi) 244
タイヤ空気圧プレート 241
タイヤ空気圧モニタリング(TPM)用センサー ... 209
タイヤ交換（一般的なインフォメーション）... 209
盗難防止ホイール・ボルト 176
盗難防止ホイール・ボルト（ソケット・レンチ）..... 215
取り付け面 214
パンク修理 216
ホイール・バランス 209
ホイール・ボルト（お手入れの諸注意）..... 215
ホイール取り付け面 214
保管 208
ラジアル・タイヤの見方 211
リム・オフセット 243
ホイール取り付け面 214, 215
ボイス・コントロール 150
方向指示灯操作レバー 64
保存
パーソナル設定 121

＊ 日本仕様に設定はありません。

ポルシェ・アクティブ・サスペンション・マネージメント(PASM)
概要 ... 159
機能説明 ... 164
マルチファンクション・ディスプレイの警告メッセージ ... 165
ポルシェ・アクティブ・セーフ ... 145
ポルシェ・エントリー＆ドライブ
作動待機のOFF ... 18
車両のロック ... 14
車両のロック解除 ... 12
アンテナの位置 ... 22
ポルシェ・コミュニケーション・マネージメント(PCM)、インフォメーション ... 149
ポルシェ・スタビリティ・マネージメント(PSM)
OFFにする ... 161
ONにする ... 161
概要 ... 159
機能説明 ... 160
タコメーターのマルチファンクション・ライト ... 162
ポルシェ・セラミック・コンポジット・ブレーキ(PCCB)
一般的なインフォメーション ... 133
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム・プラス(PDLS Plus) ... 63
ポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS) ... 62
ポルシェ・トルク・ベクトリング(PTV)
概要 ... 159
機能説明 ... 165

ま

マニュアル・エアコン ... 48
マルチファンクション・ステアリング・ホイール
MFSボタン ... 77
MFSボタンの割り当て ... 106
機能説明 ... 45
作動原理 ... 77
電話機能 ... 46
マルチファンクション・ステアリング・ホイールのボタンの割り当て変更 ... 106
マルチファンクション・ディスプレイ
オイル・レベルの点検 ... 81
機能を作動させる/メニューを開く/オプションを見る ... 78
警告メッセージ ... 108
項目数の多いリストの閲覧 ... 78
車両情報の呼び出し ... 80
ステアリング・ホイール・レバーの操作 ... 76
スポーツ・クロノ ... 93
操作方法 ... 76
タイヤ空気圧警告 ... 90
タイヤ空気圧モニタリング ... 86
電話の使用 ... 83
トリップ情報 ... 85
ナビゲーション・システムの操作 ... 84
表示エリア ... 77
マルチファンクション・ステアリング・ホイールの操作 ... 77
メニュー概要 ... 79
ラジオ放送局の選択 ... 83

み

右側通行（ヘッドライトの切り替え） ... 233
ミラー
自動防眩機能のON/OFF ... 43
ドア・ミラー・ヒーター ... 56
ドア・ミラー設定の保存（メモリー機能） ... 42
ドア・ミラーの格納 ... 42
ドア・ミラーの調節 ... 41
パーキング・エイド使用時のドア・ミラーの調整 ... 183
バニティー・ミラー ... 46

む

無線装置および自動車電話、インフォメーション ... 149

め

メモリー ... 121
メンテナンス
ウォッシャー液の補充 ... 194
エア・クリーナーの交換 ... 207
エンジン・オイル・レベルの点検 ... 192
エンジン・オイルの補充 ... 193
クーラント・レベルの点検と補充 ... 205
室内防塵用フィルターの交換 ... 207
メンテナンスの諸注意 ... 191

も

モニタリング・センサー（室内）
キーによるOFF（リモート・コントロール） ... 188
ドア・ハンドルのボタンでOFFにする（ポルシェ・エントリー＆ドライブ） ... 188

よ

横方向の加速度
ディスプレイ ... 95
予備燃料 ... 197
予備燃料タンク ... 195

ら

ライト
インテリア・ライトの自動点灯/消灯 ... 66
ウェルカム・ホーム機能をONにする ... 62
お手入れの諸注意 ... 200
車両から離れるときに点灯する ... 62
乗車時に点灯 ... 62
乗車時のカーテシー・ライトの点灯 ... 62
バルブ・リスト ... 228
バルブの交換 ... 228
ヘッドライト・パッシング ... 64
ライト・スイッチ
AUTO機能 ... 61
概要 ... 61
ラゲッジ・カバー ... 178
ラゲッジ・コンパートメント ... 177
ラジオ
CDR ... 149

り

リサイクル、使用済み自動車の廃棄 ... 202
リッド
非常時ロック解除、トランク・リッド ... 222
リバース・カメラ ... 182
リモート・コントロール
キーの電池交換 ... 227
ドアのロック ... 13
ドアのロック解除 ... 12
リヤ・ウィンドウ・ヒーター
ON/OFF ... 56
リヤ・スポイラー、作動原理 ... 169
リヤ・フォグ・ライト
点灯する ... 61
ドライビング・ライトの調節 ... 62
リヤ・ワイパー
間欠作動をONにする ... 70
リレー
交換 ... 219

る

ルーム・ミラー
自動防眩機能のON/OFF ... 43
調節 ... 43
ルーム・ライト ... 66

れ

レース用タイヤ ... 125
冷却システム
マルチファンクション・ディスプレイの警告 ... 97

＊ 日本仕様に設定はありません。

レイン・センサー
ONにする 68
調節 69

ろ

ロー・ビーム
点灯/消灯 61
ローンチ・コントロール 155
ロック
車内からのドアのロック 14
車両ドアとキー（リモート・コントロール） 13
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス操作） 14
車両に残る人/動物 13
パーソナル設定のキーへの保存 121
ポルシェ・エントリー＆ドライブ装備車 11
ロック解除
キーからパーソナル設定を呼び出す 121
キーによるドア・ロックの解除（リモート・コントロール） 12
車内からドアを開く 14
車両のロックが解除できない 17
ドアのロック解除機能の設定 13
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドア・ロックの解除（キーレス操作） 12
ロックする
キーを使用する 11
車内からのドアのロック 14
車両ドアとポルシェ・エントリー＆ドライブ（キーレス操作） 14
ポルシェ・エントリー＆ドライブによるドアのロック 14

わ

ワイパー・ブレード
お手入れの諸注意 200
交換 194

- 車両の仕様およびオプションの変更により、この取扱説明書の内容の一部が車両と一致しない場合があります。
- 説明図は一部日本仕様と異なる点があります。
- この取扱説明書に関してのお問い合わせは下記までお願い致します。

ポルシェ ジャパン株式会社　アフターセールス部

〒153-0064
東京都目黒区下目黒1-8-1
アルコタワー16F

車両受領証
（販売店で保管）

VIN：車両識別ナンバー

エンジンナンバー

上記車両については、取扱説明書および整備手帳に記載されている車両の取扱い、および保証内容、並びに納車点検内容の説明を受け了承の上、車両およびツールキットを完全な状態で受領しました。

販売店スタンプ

日時

お客様の署名

無線装置の検査マーク

ヨーロッパ

ポルシェ社では、当社車両に装着されている無線装置が指令1999/5/ECおよび他の関連規約の基本要件に適合していることを承認します。

ブラジル

SA1-363

"Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário."

イスラエル

שם הדגם (Hebrew :Model name)
5Wk50137 / 28-4003-61004-3-00 / 7PP905865

SA1-366

שם היצרן וכתובתו (Hebrew : Manufacturer and address)
Continental AG
Siemensstraße 12
93055 Regensburg

SA1-367

マレーシア

RAAU/25A/0409/S(09-0408)

シンガポール

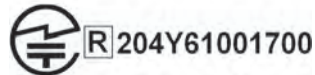
Complies with IDA Standards DB01752

中国

CMIIT ID:2011DJ4971
CMIIT ID:2009DJ5053
CMIIT ID:2009DJ4899

台湾

CCAB10LP3800T1

日本

アラブ首長国連邦

TRA REGISTERED No:0016889 / 09,
DEALER No:0014972/08

メキシコ

Radar de largo alcance, 77GHz,
MARCA:BOSCH, MODELO:LRR3,
COFETEL:(RCPBOLR09-0828)

モロッコ

AGREE PAR L'ANRT MAROC
Numéro d'agrément :MR 5371 ANRT 2010
Date d'agrément :02 / 02 / 2010

韓国

南アフリカ